

R8国分北小学校渡り廊下B改築工事

図 面 リ ス ト

図面番号	図面名	縮尺	図面番号	図面名	縮尺	図面番号	図面名	縮尺
A-01	タイトル・図面リスト	NO SCALE	A-25	渡り廊下B 立面図・矩計図	1/30、1/100	S-01	構造設計標準仕様	NO SCALE
A-02	特記仕様書（新営その1）	NO SCALE	A-26	渡り廊下B 1・2階平面詳細図、足洗い・手洗い断面詳細図	1/30、1/50	S-02	鉄筋コンクリート構造配筋標準図（1）	NO SCALE
A-03	特記仕様書（新営その2）	NO SCALE	A-27	渡り廊下B R階平面詳細図	1/50	S-03	鉄筋コンクリート構造配筋標準図（2）	NO SCALE
A-04	特記仕様書（新営その3）	NO SCALE	A-28	渡り廊下B 展開図	1/50	S-04	鉄筋コンクリート構造配筋標準図（3）	NO SCALE
A-05	特記仕様書（新営その4）	NO SCALE	A-29	渡り廊下B 1・2建具キープラン、建具表	1/50、1/100	S-05	鉄筋構造標準図（1）	NO SCALE
A-06	特記仕様書（新営その5）	NO SCALE	A-30	渡り廊下B 1・2階天井伏図	1/100	S-06	鉄筋構造標準図（2）	NO SCALE
A-07	特記仕様書（新営その6）	NO SCALE	A-31	渡り廊下B 雑詳細図1	1/5、1/20	S-07	QLデッキ合成スラブ設計・施工標準	NO SCALE
A-08	特記仕様書（新営その7）	NO SCALE	A-32	渡り廊下B 雑詳細図2	1/5	S-08	ポーリング柱状図	NO SCALE
A-09	特記仕様書（新営その9）	NO SCALE	A-33	仮設計画図1・外構図	1/30、1/100 1/300	S-09	砕石パイル特記仕様書	NO SCALE
A-10	特記仕様書（新営その10）	NO SCALE	A-34	仮設計画図2	1/200	S-10	渡り廊下B 地盤改良伏図、基礎伏図、2階梁床伏図、R階梁床伏図	1/100
A-11	特記仕様書（新営その11）	NO SCALE	A-35	解体工事特記仕様書	NO SCALE	S-11	渡り廊下B 基礎リスト、地中梁リスト、台柱・柱脚リスト	1/40
A-12	特記仕様書（新営その12）	NO SCALE	A-36	既存渡り廊下B撤去図 平面図・立面図・断面詳細図	1/30、1/100	S-12	渡り廊下B 軸組図（1）	1/100
A-13	特記仕様書（新営その13）	NO SCALE	A-37	既存渡り廊下B撤去図 基礎伏図・梁伏図・架構図・詳細図	1/30、1/100	S-13	渡り廊下B 部材リスト	1/30
A-14	特記仕様書（新営その14）	NO SCALE						
A-15	特記仕様書（新営その15）	NO SCALE						
A-16	特記仕様書（新営その16）	NO SCALE						
A-17	特記仕様書（新営その18） 工事区分表・材料・機材等の品質及び性能	NO SCALE						
A-18	特記仕様書（新営その19） 建築材料等品質性能表	NO SCALE						
A-19	特記仕様書（新営その21） 建築非構造部材耐震性能	NO SCALE						
A-20	附近見取図、配置図	NO SCALE 1/400						
A-21	建物面積表	1/200						
A-22	敷地求積図	1/400						
A-23	外部・内部仕上表、石綿含有建材使用箇所一覧表	NO SCALE						
A-24	渡り廊下B 1・2・R階平面図	1/100						

特記



株式会社 JUN 設計
 鹿児島県知事登録 第1-2-18
 〒899-4501 鹿児島県霧島市福山町福山4690番地6
 TEL(0995)56-2938 FAX(0995)56-2709

工事名 R8国分北小学校渡り廊下B改築工事

設計図

図面番号 A-01

図面名 タイトル・図面リスト

縮尺 A1: NO SCALE
A3: NO SCALE

一級建築士登録 第385156号
 榊元 由香

設計 榊元

担当 榊元

構造 榊元

製図 榊元

年月日 R04_03

1 各章共通事項 (続き) ○ 白蟻防除工事 ○ 鹿児島県トライアル 発注制度の製品等	● 一級技能士 [1.5.2] 下記により適用する技能士については、適用する工事作業中、1名以上の者が自ら作業をするともに、他の技能者に対して、施工品質の向上を図るための作業指導を行う	2 仮設工事 ● 監督職員事務所 (2.3.1) ● 工事用水 ● 工事用電力 ● 足場その他 ● 現場表示板	● 設けない ○ 設ける 面積規模：() m ² 程度 監督職員ｽﾍﾞｰｽと工事監理業務の職員ｽﾍﾞｰｽは、間仕切り壁等で仕切る 監督職員事務所の仕上げ <table border="1"> <tr> <th>部位等</th> <th>仕 上 げ</th> </tr> <tr> <td>床</td> <td>合板張り又は強化コンクリート張り</td> </tr> <tr> <td>内壁、天井</td> <td>合板又はせっこうボード張り、合成樹脂化粧合板張り</td> </tr> <tr> <td>屋根</td> <td>塗装溶融垂れ止めつき鋼板張り、又は鉄板張り、鋼合板張り</td> </tr> </table> 構内既存の施設 ● 利用できる (● 有償 ○ 無償) ○ 利用できない 構内既存の施設 ● 利用できる (● 有償 ○ 無償) ○ 利用できない 屋根面に設ける足場と装備機材の組合せ ○ 別途 ● 図示 規格 ※ 下図による ○ 監督職員の承諾による 材質 ※ 県産杉板 ● 監督職員の承諾による ※ 設置位置は、監督職員との協議による。また取付けは、強風に対し安全な工法とする	部位等	仕 上 げ	床	合板張り又は強化コンクリート張り	内壁、天井	合板又はせっこうボード張り、合成樹脂化粧合板張り	屋根	塗装溶融垂れ止めつき鋼板張り、又は鉄板張り、鋼合板張り						
	部位等	仕 上 げ															
	床	合板張り又は強化コンクリート張り															
	内壁、天井	合板又はせっこうボード張り、合成樹脂化粧合板張り															
屋根	塗装溶融垂れ止めつき鋼板張り、又は鉄板張り、鋼合板張り																
	この工事については、(公社)日本しろあり対策協会(以下、「協会」という。)発行「防除施工標準仕様書」(以下、「防除」という。)による この項目に記載の〔防 〕内表示番号は、防除の当該項目を示す ○ 使用薬剤は、協会認定薬剤のうち、非有機リン系薬剤とする ○ 工事施工者は、原則として協会登録施工業者とする ○ 土壌処理 処理の適用区分 ○ 行う ○ 行わない [防 I.2] 処理の方法 ○ 帯状散布法、面状散布法の一つ [防 I.3.(1)] 又はその組み合わせによって行う ○ 木材処理 処理の適用区分 ○ 行う ○ 行わない [防 I.2] 処理の方法 ○ 吹付け処理法、塗布処理法の一つ [防 I.4.(1)] 又はその組み合わせによって行う ○ 処理の箇所 ○ 木造の場合 ○ I.4.(2)①～⑥及び⑧に規定する箇所 ○ 陸梁、合掌、小屋梁、間仕切、桁、火打梁などと敷桁又は軒桁との仕口面 ○ 2階梁、火打梁と胴差との仕口面 ○ 木造以外の場合 ○ I.4.(2)⑦に規定する箇所 ○ 2以上の階の床面より1m以内にある木部でコンクリート、石、レンガに接する面 ○ 保証書及び期間 白蟻防除工事について、下記事項を記載した5年保証書を提出すること なお、保証書については元請業者と白蟻防除工事施工業者と連帯とする (7) 工事名称 (イ) 建物の所在地 (ロ) 建物の構造・用途・面積 (エ) 白蟻防除工事の施工面積 (カ) 防除処理別並びに使用薬剤名、製造者名、施工年月日 (キ) 登録施工業者会員名簿 (ク) 施工した防除士の氏名及び登録番号・取得年月日・登録年月日 (ケ) 保証期間 ○ 工事施工にあたり、協会発行「しろあり防除施工における安全管理基準」を遵守すること 製品名 () 施工箇所 ○ 図示による ○ ()	3 土工事 ● 埋戻し及び盛土 (3.2.3) 材料及び工法 ○ 標準仕様書(表3.2.1)による 種別 ○ A種 ● B種 ○ C種 ○ D種 C種の場合 (発生場所) (連絡先) (運搬 ○ 発生原因者側 ○ 本工事 km) ○ 材料 () 工法 () ○ 建設発生土の処理 (3.2.5) ○ 構外指示の場所 受け入れ施設 () 受け入れ場所 () 受け入れ場所での処置 (○ 敷きならし ○ たい積) 搬出距離 () km 処分費 ○ 有償 ○ 無償 上記に示す受け入れ施設等は参考であり、実施にあたっては監督職員と協議のうえ決定する。 ○ 構内指示の場所 処理の場所 ○ 図示 ○ () 処理の方法 (○ 敷きならし ○ たい積)															
		4 7 下記の章は、特記仕様書(新営)による 4章 地業工事 5章 鉄筋工事 6章 コンクリート工事 7章 鉄骨工事															
			設 計 者 (株)JUN設計 鹿児島県知事登録 第 1-2-18 号 〒899-4501 鹿児島県霧島市福山町福山4690番地6 TEL 0995-56-2938 FAX 0995-56-2709	権元 由香 印 一級建築士登録 第 365156 号 所長 (権元) 担当 (権元) 製 (権元) 図 (権元)	法 適 合 確 認 ○○○○構造設計事務所 登録 第 1-00-000 号 鹿児島県○○市○○町○○○ ○○○○設備設計事務所 登録 第 1-00-000 号 鹿児島県○○市○○町○○○	・構造設計 ・構造法適合確認 構造設計一級建築士 第 0000 号 ○○ ○○ 印 ・設備設計 ・設備法適合確認 設備設計一級建築士 第 0000 号 ○○ ○○ 印	設計年月日 令和 4年 3月 工事名称 R8国分北小学校渡り廊下B改修工事 図面名称 特記仕様書(新営その2)	図面番号 A-03									

霧島市建築改修工事特記仕様書

4 地盤調査の結果

● 地盤調査の結果

● 支持地盤等

調査位置、柱状図、地層構成、地下水位

● 図示による () ○ ()

○ 杭基礎 (4.3.4、5) (4.4.4) (4.5.5、6)

支持層の位置及び土質(基礎ぐいの先端の位置含む)

○ 図示による () ○ ()

● 直接基礎

支持地盤の種類及び位置(基礎底部の位置含む)

● 図示による () ○ ()

長期設計支持力度

○ () kN/m² ● (図示)

試験掘(根切り底)による支持地盤の確認 (3.2.1)

○ 行う 位置等は図示による ()

○ 行わない

○ 地盤の載荷試験 (4.2.4)

載荷試験の方法

○ 地盤工学会基準 JGS 1521による ○ ()

試験の位置、載荷荷重

○ 図示による () ○ ()

種類 (4.3.1) (4.3.3)~(4.3.6)

○ 遠心力高強度プレストレストコンクリート杭(PHC杭)

○ 外殻鋼管付きコンクリート杭(SC杭)

SC杭の鋼管材料 ○ SKK400 ○ SKK490

○ プレストレスト鉄筋コンクリート杭(PRC杭)

○ ()

試験掘

○ 行う

孔径はオーガー径とする 位置及び長さは図示による ()

試験掘の施工は試験杭の施工に先立ち行う

○ 行わない (4.2.2) (4.3.3)

杭の種類、性能及び曲げ強度等による区分(種別)、寸法、継手の箇所数等

	種類	コンクリート強度(N/mm ²)	杭径(mm)	杭長(m)	継手数	長期設計支持力(kN/本)
試験杭	上杭					
	中杭					
	下杭					
本杭	上杭					
	中杭					
	下杭					

試験杭の施工 ○ 本杭の施工に先立ち行う ○ ()

試験杭の位置、本数 ○ 最初の本 ○ 図示による ()

杭先端部形状

○ 開放形 ○ 半開放形 ○ 閉そく形 ○ ()

工法 (4.3.1)

○ セメントミルク工法 (4.3.4)

掘削深さ

○ 図示による ()

杭の支持層への根入れ長さ

○ 図示による ()

杭の精度

水平方向の位置ずれ

○ 杭径の1/4かつ100mm以下 ○ ()

建込み時の杭の鉛直度

○ 1/100以内 ○ ()

○ 特定埋込杭工法 (4.3.5)

○ H13国土交通省告示第1113号第6による地盤の許容支持力式で $\alpha=250$ を採用できる工法 図示による ()

○ 上記以外の特定埋込杭工法 図示による ()

工法

○ プレボーリング拡大根固め工法

○ 中掘り拡大根固め工法

○ ()

杭周固定液

○ 使用する

○ 使用しない

杭の支持層への根入れ長さ

○ 評定等の評価内容による

○ 図示による ()

4 地盤工事 (続き)

杭の精度

水平方向の位置ずれ

○ 評定等の評価内容による ○ ()

建込み時の杭の鉛直度

○ 評定等の評価内容による ○ ()

杭の継手の工法 (4.3.6)

○ 溶接継手

標準仕様書4.3.6による

溶接材料 (4.3.3) (7.2.5)

○ 標準仕様書7.2.5(1)(2)による

○ 図示による ()

○ 機械式継手(継手部に接続金具を用いた方式のもの)工法

○ 評定等を受けた工法 (図 による)

杭頭の処理 (4.3.8)

○ 行う

処理方法(切断にともなう補強方法含む)

○ 図示による () ○ ()

○ 行わない

杭頭の中詰め材料 (4.3.8)

○ 基礎のコンクリートと同調合のもの ○ ()

鋼杭の材料 (4.4.3)~(4.4.5)

○ SKK400 ○ SKK490 ○ ()

杭の種類、寸法、継手等 (4.2.2) (4.4.3)

	種類	杭径(mm)	板厚(mm)	杭長(m)	継手数	長期設計支持力(kN/本)	備考
試験杭	上杭						
	中杭						
	下杭						
本杭	上杭						
	中杭						
	下杭						

試験杭の施工 ○ 本杭の施工に先立ち行う ○

試験杭の位置、本数 ○ 最初の本 ○ 図示による ()

工法 (4.4.1)

○ 特定埋込杭工法 (4.3.5)

○ H13国土交通省告示第1113号第6による地盤の許容支持力式で $\alpha=250$ を採用できる工法 図示による ()

○ 上記以外の特定埋込杭工法 図示による ()

工法

○ 中掘り拡大根固め工法

○ ()

杭の支持層への根入れ長さ

○ 評定等の評価内容による

杭の精度

水平方向の位置ずれ

○ 評定等の評価内容による

建込み時の杭の鉛直度

○ 評定等の評価内容による

杭の継手の工法 (4.4.5)

○ 溶接継手

形状

○ JIS A 5525による ○ ()

溶接材料 (4.4.3) (7.2.5)

○ 標準仕様書 7.2.5(1)(2)による

○ 図示による ()

○ 機械式継手

工法

○ 評定等を受けた工法 (図 による)

杭頭の処理 (4.4.6)

○ 行う

処理方法(切断にともなう補強方法含む)

○ 図示による () ○ ()

○ 行わない

杭頭の中詰め材料 (4.4.6)

○ 基礎のコンクリートと同調合のもの

4 地盤工事 (続き)

○ 場所打ち工法

コンクリート杭地業

工法 (4.5.1) (4.5.5、6)

○ アースドリル工法

安定液 ○ 使用する ○ 使用しない

○ リバース工法

○ オールケーシング工法

孔内の水張り ○ 行う ○ 行わない

併用する工法

○ 場所打ち鋼管コンクリート杭工法 図示による ()

鋼管巻き材料 ○ SKK400 ○ SKK490 ○ ()

○ 拡底杭工法 図示による ()

安定液 ○ 使用する ○ 使用しない

○ ()

杭径、長さ、仕様等 (4.5.1) (4.5.4)~(4.5.6)

○ 図示による () ○ ()

試験杭 (4.2.2) (4.5.5、6)

試験杭の施工 ○ 本杭の施工に先立ち行う ○ ()

試験杭の位置、本数 ○ 最初の本 ○ 図示による ()

孔壁の保持状況(孔壁測定) (4.5.5、6)

○ 行う

測定方法、測定箇所は図示による ()

○ 行わない

杭の支持層への根入れ長さ

○ 図示による () ○ ()

杭の精度

水平方向の位置ずれ

○ 杭径の1/4かつ100mm以下 ○ 評定等の評価内容による

建込み時の杭の鉛直度

○ 1/100以内 ○ 評定等の評価内容による

測定方法、測定箇所は図示による ()

材料その他 (4.5.4)

鉄筋の種類

種類の記号	呼び名	備考
○ SD295		
○ SD345		
○		

帯筋の加工及び組立

○ 図示による(鹿児島県鉄筋コンクリート造配筋標準図 §2)

○ ()

鉄筋の最小かぶり厚さ ○ 図示による ()

鉄筋かごの補強

○ ()

組み立てた鉄筋の節ごとの継手

○ 重ね継手

重ね継手の長さ ○ 図示による () ○ ()

○ ()

主筋の基礎底盤への定着長さ

○ 図示による () ○ ()

セメントの種類 (6.3.1)

○ 高炉セメントB種 図示による ()

コンクリートの種別

○ A種 ○ B種

○ 評定等の評価内容による

コンクリートの設計基準強度()N/mm²

スランブ

○ 21cm ○ 18cm

構造体強度補正值(S)

○ ()

○ 3N/mm²

○ 評定等の評価内容による

4 地盤工事 (続き)

● 砂利地業

材料 (4.6.2)

● 再生クラッシュラン 図示による () ○ 切込砂利又は切込砕石 (4.6.3)

厚さ及び使用範囲 (4.6.3)

厚さ	使用範囲
○ 60	基礎下、基礎梁下、土間コンクリート下、土間スラブ下
● 120	土間コンクリート下

コンクリートの仕様 (4.6.4) (6.14.1~3)

● 特記仕様書6章 無筋コンクリートによる ○ ()

セメントの種類 (6.3.1)

● 高炉セメントB種 図示による () ○ ()

厚さ及び使用範囲 (4.6.4)

厚さ	使用範囲
● 50	基礎下、基礎梁下、土間スラブ下
○	

材料 (4.6.2、5)

○ ポリエチレンフィルム厚さ0.15mm以上 ○ ()

範囲

○ 建物内の土間スラブ及び土間コンクリート下(ピット下を除く)

○ ()

防湿層の位置

○ 図示による () ○ ()

材料 (4.7.2) (4.7.3)

固化材の種類 ○ ()

工法

方式

○ 機械攪拌方式 ○ ()

改良体の設計基準強度(Fc)、改良対象土、改良範囲、改良厚さ

○ 図示による () ○ ()

室内配合試験

対象地層、供試体数

○ 図示による () ○ ()

六価クロム溶出試験

○ 行う ○ 行わない

試験施工

○ 行わない

○ 行う

位置等

○ 図示による () ○ ()

改良工事完了後の試験

検査対象、コア採取方法、供試体数、検査方法

○ 図示による () ○ ()

六価クロム溶出試験

○ 行う ○ 行わない

試験掘

○ 行う 位置等は図示による ()

○ 行わない

材料 (4.8.2) (4.8.3)

固化材の種類 ○ ()

工法

方式

○ 原位置混合方式 ○ ()

改良体の設計基準強度(Fc)、改良対象土、改良範囲、改良厚さ

○ 図示による () ○ ()

室内配合試験

対象地層、供試体数

○ 図示による () ○ ()

六価クロム溶出試験

○ 行う ○ 行わない

改良工事完了後の試験

検査対象、コア採取方法、供試体数、検査方法

○ 図示による () ○ ()

六価クロム溶出試験

○ 行う ○ 行わない

霧島市建築改修工事特記仕様書

設 (株) JUN設計

鹿児島県知事登録 第 1-2-18 号

〒899-4501 鹿児島県霧島市福山町福山4690番地6

TEL 0995-56-2938 FAX 0995-56-2709

榎元 由香 印

一級建築士登録 第 365156 号

所長 榎元 担当 榎元 製図 榎元

法適合確認

〇〇〇〇構造設計事務所

登録 第 1-00-000 号

鹿児島県〇〇市〇〇町〇〇〇

〇〇〇〇設備設計事務所

登録 第 1-00-000 号

鹿児島県〇〇市〇〇町〇〇〇

・構造設計 ・構造法適合確認

構造設計一級建築士 第 0000 号

〇〇〇〇

・設備設計 ・設備法適合確認

設備設計一級建築士 第 0000 号

〇〇〇〇

設計年月日 令和 4年 3月

工事名称 R8国分北小学校渡り廊下B改築工事

図面名称 特記仕様書(新営その3)

図面番号 A-04

<p>5 鉄筋工事</p> <p>● 鉄筋の種類</p> <table border="1"> <tr><td colspan="3">鉄筋の種類等 (5. 2. 1)</td></tr> <tr><td>種類の記号</td><td>呼び名</td><td>備考</td></tr> <tr><td>● SD295</td><td></td><td>・D10～D16</td></tr> <tr><td>● SD345</td><td></td><td>・D19～D25</td></tr> <tr><td>○</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>○</td><td></td><td></td></tr> </table> <p>● 溶接金網</p> <table border="1"> <tr><td colspan="4">鉄線の形状等 (5. 2. 2)</td></tr> <tr><td>種類</td><td>種類の記号</td><td>鉄線の形状、網目寸法、鉄線の径(mm)</td><td>使用部位</td></tr> <tr><td>● 溶接金網</td><td>WFP</td><td>丸鋼、150×150、φ6.0</td><td>・2.R階 床</td></tr> <tr><td>○</td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>● 鉄筋の継手</p> <table border="1"> <tr><td colspan="3">鉄筋の継手の方法等 (5. 3. 4) (5. 4. 4～6) (5. 5. 3) (5. 6. 3)</td></tr> <tr><td>部位</td><td>継手の方法</td><td>呼び名</td></tr> <tr><td>柱・梁の主筋</td><td>● ガス圧接 ○ 機械式継手 ○ 溶接継手 ● 重ね継手</td><td>D19以上 D19未満</td></tr> <tr><td>耐力壁の鉄筋</td><td>○ 重ね継手 ○</td><td></td></tr> <tr><td>その他の鉄筋 ()</td><td>● 重ね継手 ○</td><td></td></tr> </table> <p>継手位置 (5. 3. 4)</p> <p>○ 図示による (鹿児島県鉄筋コンクリート造配筋標準図 図3-1-2)</p> <p>柱及び梁主筋の重ね継手の長さ</p> <p>● 図示による () ○ ()</p> <p>耐力壁の重ね継手の長さ</p> <p>○ 図示による (鹿児島県鉄筋コンクリート造配筋標準図 表3-1)</p> <p>○ 図示による ()</p> <p>● 鉄筋の定着</p> <p>鉄筋の定着長さ (5. 3. 4)</p> <p>○ 図示による (鹿児島県鉄筋コンクリート造配筋標準図 3-2)</p> <p>● 図示による () ○ ()</p> <p>機械式定着工法</p> <p>○ 適用する</p> <p>適用箇所</p> <p>○ 図示による () ○ ()</p> <p>種類</p> <p>○ 摩擦圧接接合 ○ 蝶合グラウト固定</p> <p>○ 嵌合グラウト固定</p> <p>工法</p> <p>○ 第三者機関の評定等を取付している工法とする</p> <p>必要定着長さ</p> <p>○ 評定等の評価内容による</p> <p>補強筋形状</p> <p>○ 評定等の評価内容による</p> <p>かぶり厚さ</p> <p>○ 評定等の評価内容による</p> <p>品質確認</p> <p>○ 評定等の評価内容による</p> <p>検査</p> <p>○ 評定等の評価内容による</p> <p>● 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔 (溶接金網含む)</p> <p>最小かぶり厚さ(目地底から算出を行う) (5. 3. 5)</p> <p>○ 図示による (鹿児島県鉄筋コンクリート造配筋標準図 表4-1)</p> <p>● 図示による () ○ ()</p> <p>柱及び梁の主筋にD29以上の使用の有無</p> <p>● 無し</p> <p>○ 有り 適用箇所()</p> <p>主筋のかぶり厚さ</p> <p>○ 鉄筋径の1.5倍以上</p> <p>○ ()</p> <p>軽量コンクリートを適用する場合</p> <p>○ 有り 適用箇所()</p> <p>○ 最小かぶり厚さに加える厚さ () mm</p> <p>耐久性上不利な箇所がある場合 (塩害等を受けるおそれのある部分等)</p> <p>○ 無し</p> <p>○ 有り 適用箇所()</p> <p>○ 図示 (鹿児島県鉄筋コンクリート造配筋標準図 表4-1) に加える厚さ() mm</p> <p>鉄筋相互のあき (特殊な鉄筋を除く) (5. 3. 5)</p> <p>○ 図示による (鹿児島県鉄筋コンクリート造配筋標準図 2-4)</p> <p>● 図示による () ○ ()</p>	鉄筋の種類等 (5. 2. 1)			種類の記号	呼び名	備考	● SD295		・D10～D16	● SD345		・D19～D25	○			○			鉄線の形状等 (5. 2. 2)				種類	種類の記号	鉄線の形状、網目寸法、鉄線の径(mm)	使用部位	● 溶接金網	WFP	丸鋼、150×150、φ6.0	・2.R階 床	○				鉄筋の継手の方法等 (5. 3. 4) (5. 4. 4～6) (5. 5. 3) (5. 6. 3)			部位	継手の方法	呼び名	柱・梁の主筋	● ガス圧接 ○ 機械式継手 ○ 溶接継手 ● 重ね継手	D19以上 D19未満	耐力壁の鉄筋	○ 重ね継手 ○		その他の鉄筋 ()	● 重ね継手 ○		<p>5 鉄筋工事 (続き)</p> <p>● 各部配筋</p> <p>各部配筋 (5. 3. 7)</p> <p>○ 図示による (鹿児島県鉄筋コンクリート造配筋標準図)</p> <p>● (図示)</p> <p>圧接完了後の圧接部の試験 (5. 4. 10)</p> <p>● 超音波探傷試験</p> <p>○ 引張試験</p> <p>試験方法等</p> <p>○ 図示による () ○ ()</p> <p>適用箇所 (5. 5. 3)</p> <p>○ 図示による () ○ ()</p> <p>H12建告第1463号に適合する性能 (5. 5. 3)</p> <p>○ A級 ○ ()</p> <p>種類 (5. 5. 3)</p> <p>○ ねじ筋鉄筋継手</p> <p>充填方式</p> <p>○ 無機グラウト方式 ○ 有機グラウト方式</p> <p>○</p> <p>○ 端部ねじ加工継手</p> <p>○ モルタル充填継手</p> <p>○ ()</p> <p>工法 (5. 5. 3)</p> <p>○ 第三者機関の評定等を取付している工法</p> <p>○ 図示による ()</p> <p>鉄筋相互のあき (5. 5. 3)</p> <p>○ 評定等の評価内容による</p> <p>○ 図示による (鹿児島県鉄筋コンクリート造配筋標準図 2-4)</p> <p>○ ()</p> <p>品質の確認 (5. 5. 3)</p> <p>○ 評定等の評価内容による</p> <p>○ 図示による ()</p> <p>検査</p> <p>○ 評定等の評価内容による ○ ()</p> <p>施工完了後の継手部の試験</p> <p>○ 外観試験</p> <p>試験対象 ○ 全数</p> <p>試験項目及び合否判定</p> <p>○ 標準仕様書 表5. 5. 1～表5. 5. 3による</p> <p>○ 評定等の評価内容による</p> <p>不合格となった場合の措置 (5. 5. 6)</p> <p>○ 標準仕様書 表5. 5. 6(1)(ア)～(ウ)による</p> <p>○ 図示による () ○ ()</p> <p>○ 超音波測定試験</p> <p>試験対象</p> <p>○ 抜取り</p> <p>ロット ○ 1組の作業班が1日に行った継手箇所にて、最大200箇所程度とする</p> <p>○ ()</p> <p>試験の箇所数</p> <p>1ロットに対して () 箇所</p> <p>○ 全数</p> <p>試験項目 ○ 挿入長さ (5. 5. 6)</p> <p>不合格となった場合の措置</p> <p>○ 図示による () ○ ()</p> <p>適用箇所 (5. 6. 3)</p> <p>○ 図示による () ○ ()</p> <p>H12建告第1463号に適合する性能 (5. 6. 3)</p> <p>○ A級 ○ ()</p> <p>溶接継手の工法 (5. 6. 3)</p> <p>○ 図示による ()</p> <p>鉄筋相互のあき (5. 6. 3)</p> <p>○ 標準仕様書5. 3. 5(4)による</p> <p>○ 評定等の評価内容による</p> <p>○ 図示による (鹿児島県鉄筋コンクリート造配筋標準図 2-4)</p> <p>○</p> <p>施工完了後の溶接部の試験 (5. 6. 5)</p> <p>○ 外観試験</p> <p>試験対象 ○ 全数</p> <p>○ 超音波探傷試験</p> <p>試験対象</p> <p>○ 抜取り</p> <p>○ 標準仕様書5. 6. 5(イ)による</p> <p>○ ()</p> <p>○ 全数</p> <p>○ 機械式継手</p> <p>○ 溶接継手</p>	<p>5 鉄筋工事 (続き)</p> <p>● 帯筋</p> <p>組立の形の種別</p> <p>○ 図示による (鹿児島県鉄筋コンクリート造配筋標準図 2-3)</p> <p>● H形 ○ ()形</p> <p>○ 図示による ()</p> <p>補強方法</p> <p>○ 図示による (鹿児島県鉄筋コンクリート造配筋標準図 §7)</p> <p>○ 図示による ()</p> <p>配筋方法</p> <p>○ 図示による (鹿児島県鉄筋コンクリート造配筋標準図 図10-5-1)</p> <p>○ 図示による ()</p> <p>出隅部分及び出隅受け部の補強筋</p> <p>○ 図示による () ○ ()</p> <p>○ 壁開口部の補強</p> <p>一般壁</p> <p>○ 図示による (鹿児島県鉄筋コンクリート造配筋標準図 12-2)</p> <p>(○ A形 ○ B形)</p> <p>○ 図示による ()</p> <p>耐震壁</p> <p>○ 図示による ()</p> <p>補強形式</p> <p>○ 図示による (鹿児島県鉄筋コンクリート造配筋標準図 12-3)</p> <p>(○ H形 ○)</p> <p>○ 図示による ()</p> <p>配筋種別</p> <p>○ 図示による (鹿児島県鉄筋コンクリート造配筋標準図 12-3)</p> <p>○ 図示による ()</p> <p>梁貫通孔 (部材記号含む) 及び配筋種別リスト</p> <p>○ 図示による ()</p> <p>○ 図示による (鹿児島県鉄筋コンクリート造配筋標準図 §6)</p> <p>● 図示による ()</p> <p>● 基礎梁主筋の継手</p> <p>6 コンクリート工事</p> <p>● コンクリートの種類 (6. 2. 1)</p> <p>● コンクリートの種類 (6. 2. 1)</p> <p>● I 類 (JIS A 5308への適合を認証されたコンクリート)</p> <p>○ II 類 (I 類以外で JIS A 5308に適合したコンクリート)</p> <p>普通コンクリート (6. 2. 2)</p> <table border="1"> <tr><td>設計基準強度</td><td>気乾単位容積質量(t/m3)</td><td>適用箇所</td></tr> <tr><td>○ 24</td><td>○ 2.3程度</td><td></td></tr> <tr><td>● 21</td><td></td><td>基礎、地中梁</td></tr> <tr><td>● 18</td><td></td><td>スラブ、土間</td></tr> </table> <p>構造体強度補正值(S) ● 標準仕様書表6. 3. 2による ○ ()</p> <p>スラブの位置 (単位 : cm) (6. 2. 4)</p> <table border="1"> <tr><td>打込み箇所</td><td>基礎、基礎梁、土間スラブ</td><td>柱、梁、スラブ、壁</td><td>土間</td></tr> <tr><td>所要スラブ</td><td>15</td><td>15</td><td>15</td></tr> </table> <p>● セメント (6. 3. 1)</p> <p>種類 (6. 3. 1)</p> <p>● 普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種 (普通ポルトランドセメントの品質はJIS R 5210に示された規定の他、水和熱が7日で352J/g以下、かつ28日目で402J/g以下のものとする。)</p> <p>適用箇所 ()</p> <p>● 高炉セメントB種</p> <p>適用箇所 (捨コン)</p> <p>○ フライアッシュセメントB種</p> <p>適用箇所 ()</p> <p>○ ()</p> <p>アルカリシリカ反応性による区分 (6. 3. 1)</p> <p>● A ○ B</p> <p>● 混和剤 (6. 3. 1)</p> <p>混和剤の種類</p> <p>● 標準仕様書6. 3. 1(4)(a)による ○ ()</p> <p>○ 混和材 (6. 3. 1)</p> <p>混和材の種類</p> <p>○ 標準仕様書6. 3. 1(4)(b)による ○ ()</p> <p>● 骨材</p> <p>● 混和材料</p>	設計基準強度	気乾単位容積質量(t/m3)	適用箇所	○ 24	○ 2.3程度		● 21		基礎、地中梁	● 18		スラブ、土間	打込み箇所	基礎、基礎梁、土間スラブ	柱、梁、スラブ、壁	土間	所要スラブ	15	15	15	<p>6 コンクリート工事 (続き)</p> <p>○ マスコンクリート (6. 13. 1、2)</p> <p>セメントの種類 (6. 13. 1、2)</p> <p>○ 高炉セメントB種</p> <p>○ 普通ポルトランドセメント</p> <p>○ 中熱ポルトランドセメント</p> <p>○ 低熱ポルトランドセメント</p> <p>○ フライアッシュセメントB種</p> <p>○ シリカセメント</p> <p>適用箇所</p> <p>○ 図示による () ○ ()</p> <p>混和材料 (6. 13. 2)</p> <p>○ 混和剤</p> <p>混和剤の種類</p> <p>○ 標準仕様書6. 13. 2(2)(7)による ○ ()</p> <p>○ 混和材</p> <p>混和材の種類</p> <p>○ 標準仕様書6. 13. 2(2)(4)による ○ ()</p> <p>スラブ (6. 13. 2)</p> <p>○ 15cm ○ ()</p> <p>構造体強度補正值(S) (6. 13. 2)</p> <p>○ 標準仕様書表6. 13. 1による ○ ()</p> <p>コンクリートの種類 (6. 14. 1)</p> <p>● 普通コンクリート ○ ()</p> <p>設計基準強度 (6. 14. 1)</p> <p>● 18N/mm2 ○ ()</p> <p>スラブ</p> <p>○ 15cm又は18cm ● (8cm)</p> <p>セメントの種類</p> <p>○ 普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種</p> <p>● 高炉セメントB種</p> <p>○ フライアッシュセメントB種</p> <p>適用箇所 (6. 14. 1)</p> <p>● 標準仕様書6. 14. 1(4)による箇所</p> <p>○ 標準仕様書6. 14. 1(4)以外の箇所</p> <p>○ 図示による () ○ ()</p> <p>○ 打継ぎの位置</p> <p>ひび割れ誘発目地</p> <p>打継目地</p> <p>打継ぎの位置</p> <p>○ 標準仕様書6. 6. 4(1)による ○ 図示による ()</p> <p>目地寸法 (6. 6. 4)(6. 8. 1)(9. 7. 3)</p> <p>○ 標準仕様書9. 7. 3(1)(ア)による</p> <p>○ 図示による ()</p> <p>ひび割れ誘発目地の位置・形状・寸法</p> <p>○ 図示による () ○ ()</p> <p>● コンクリートの仕上り (6. 2. 5)(6. 8. 2)</p> <p>合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げ</p> <p>● コンクリートの打放し仕上げ種別と適用箇所は図示による</p> <p>コンクリートの仕上りの平たんさ</p> <table border="1"> <tr><td>種別</td><td>適用箇所</td></tr> <tr><td>● a種</td><td>巾木、パラペット</td></tr> <tr><td>○ b種</td><td></td></tr> <tr><td>○ c種</td><td></td></tr> </table> <p>○ 打増し厚さ (打放し仕上げ部) (6. 8. 1)</p> <p>○ 打放し仕上げ(仕上塗材、塗装等の仕上げを行う部分を含む)の打増し厚さ(外部に面する部分に限る) (6. 8. 1)</p> <p>○ 20mm ○ ()</p> <p>○ 打放し仕上げ(仕上塗材、塗装等の仕上げを行う部分を含む)の打増し厚さ(内部に面する部分に限る) (6. 8. 1)</p> <p>○ ()</p> <p>● 型枠 (6. 8. 2)</p> <p>せき板の材料及び厚さ (6. 8. 2)</p> <p>● 合板 (● 12mm ○)</p> <p>○</p> <p>○ 断熱材を兼用した型枠材の使用 (6. 8. 3)</p> <p>○ 行う 適用箇所()</p> <p>○ 行わない</p> <p>○ 外壁タイル張りで、MOR工法又は目荒らし(高圧水洗)工法を行う場合は外部側に20mmの打増しを行う (6. 8. 2)</p> <p>スリーブの材質・規格等 (6. 8. 2)</p> <p>○ 図示による () ● 標準仕様書6. 8. 2(9)(ア)、(イ)による</p> <p>実施要領 (6. 5. 1)</p> <p>○ 図示による ()</p> <p>構-2. 1. コンクリートの単位水量測定</p> <p>○ ()</p>	種別	適用箇所	● a種	巾木、パラペット	○ b種		○ c種		<p>設計年月日 令和 4年 3月</p> <p>工事名称 R8国分北小学校渡り廊下B改築工事</p> <p>図面名称 特記仕様書 (新営その4)</p> <p>図面番号 A-05</p>
鉄筋の種類等 (5. 2. 1)																																																																																	
種類の記号	呼び名	備考																																																																															
● SD295		・D10～D16																																																																															
● SD345		・D19～D25																																																																															
○																																																																																	
○																																																																																	
鉄線の形状等 (5. 2. 2)																																																																																	
種類	種類の記号	鉄線の形状、網目寸法、鉄線の径(mm)	使用部位																																																																														
● 溶接金網	WFP	丸鋼、150×150、φ6.0	・2.R階 床																																																																														
○																																																																																	
鉄筋の継手の方法等 (5. 3. 4) (5. 4. 4～6) (5. 5. 3) (5. 6. 3)																																																																																	
部位	継手の方法	呼び名																																																																															
柱・梁の主筋	● ガス圧接 ○ 機械式継手 ○ 溶接継手 ● 重ね継手	D19以上 D19未満																																																																															
耐力壁の鉄筋	○ 重ね継手 ○																																																																																
その他の鉄筋 ()	● 重ね継手 ○																																																																																
設計基準強度	気乾単位容積質量(t/m3)	適用箇所																																																																															
○ 24	○ 2.3程度																																																																																
● 21		基礎、地中梁																																																																															
● 18		スラブ、土間																																																																															
打込み箇所	基礎、基礎梁、土間スラブ	柱、梁、スラブ、壁	土間																																																																														
所要スラブ	15	15	15																																																																														
種別	適用箇所																																																																																
● a種	巾木、パラペット																																																																																
○ b種																																																																																	
○ c種																																																																																	
<p>霧島市建築改修工事特記仕様書</p>		<p>設計者 (株) J U N 設計</p> <p>鹿児島県知事登録 第 1-2-18 号</p> <p>〒899-4501 鹿児島県霧島市福山町福山4690番地6</p> <p>TEL 0995-56-2938 FAX 0995-56-2709</p>	<p>権元 由香 印</p> <p>一級建築士登録 第 365156 号</p> <p>所長 権元 担当 権元 製図 権元</p>	<p>法適合確認</p> <p>○○○○構造設計事務所</p> <p>登録 第 1-00-000 号</p> <p>鹿児島県○○市○○町○○○</p> <p>● 構造設計 ・ 構造法適合確認</p> <p>構造設計一級建築士 第 0000 号</p> <p>○○ ○○ 印</p> <p>○○○○設備設計事務所</p> <p>登録 第 1-00-000 号</p> <p>鹿児島県○○市○○町○○○</p> <p>● 設備設計 ・ 設備法適合確認</p> <p>設備設計一級建築士 第 0000 号</p> <p>○○ ○○ 印</p>	<p>設計年月日 令和 4年 3月</p> <p>工事名称 R8国分北小学校渡り廊下B改築工事</p> <p>図面名称 特記仕様書 (新営その4)</p> <p>図面番号 A-05</p>																																																																												

<p>7 鉄骨工事</p> <p>● 鉄骨製作工場</p> <p>● 鉄骨製作工場における施工管理技術者</p> <p>● 鋼材</p> <p>● 高力ボルト</p> <p>● 普通ボルト</p> <p>○ 溶融亜鉛めっき高力ボルト</p> <p>● アンカーボルト</p>	<p>鉄骨製作工場の加工能力 (7.1.3)</p> <p>● 建築基準法第68条の25に基づき国土交通大臣から構造方法等の認定を取得している鉄骨製作工場又は同等以上の能力のある工場 (M)グレード以上</p> <p>○ 監督職員の承諾する工場</p> <p>● 配置する (7.1.4)</p> <p>○ 配置しない</p> <p>種類等 (7.2.1)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類の記号</th> <th>適用箇所</th> <th>規格</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>SS400</td> <td>● 図示による ()</td> <td>● JISによる ○ 大臣認定による</td> </tr> <tr> <td>BCR295</td> <td>● 図示による ()</td> <td>○ JISによる ● 大臣認定による</td> </tr> <tr> <td>SN490C</td> <td>● 図示による ()</td> <td>● JISによる ○ 大臣認定による</td> </tr> <tr> <td></td> <td>○ 図示による ()</td> <td>○ JISによる ○ 大臣認定による</td> </tr> </tbody> </table> <p>有効細長比(圧縮材に限る)</p> <p>● 図示による ○ ()</p> <p>板厚方向に引張力を受ける鋼材の試験</p> <p>○ 行う 適用箇所 () ● 行わない</p> <p>高力ボルトの種類 (7.2.2)(7.3.2)(7.4.1~7.4.9)</p> <p>● トルシア形高力ボルト</p> <p>○ JIS形高力ボルト</p> <p>○ ()</p> <p>ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 (7.3.2)</p> <p>● 図示による () ○ ()</p> <p>JIS形高力ボルトの締付け(本締め)</p> <p>ナットの回転工法の場合で、ボルトの長さがねじの呼びの5倍を超える場合の回転量</p> <p>○ 図示による () ○ ()</p> <p>摩擦面の処理方法</p> <p>● 標準仕様書7.4.2(1)による</p> <p>○ ()</p> <p>○ すべり試験の実地 (7.4.2)</p> <p>○ すべり係数試験 ○ すべり耐力試験</p> <p>すべり試験を実施する場合、標準仕様書7.4.2(1)(イ)による摩擦面の確認は、本試験で作成した対比試験片で行うこと。</p> <p>ボルト及びナットの材料 (7.2.3)(7.3.2)(7.3.8)</p> <p>● 標準仕様書 表7.2.3による</p> <p>○ JIS B 1180 (六角ボルト) 及び JIS B 1181 (六角ナット) による</p> <p>○ JIS B 1180 (六角ボルト) 附属書JA (規定) 及び JIS B 1181 (六角ナット) 附属書JA (規定) による</p> <p>座金</p> <p>● 標準仕様書7.2.3(4)による ○ ()</p> <p>ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 (7.3.2)</p> <p>● 図示による () ○ ()</p> <p>ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 (7.3.2)</p> <p>○ 図示による () ○ ()</p> <p>摩擦面の処理方法 (7.12.5)</p> <p>○ ブラスト処理(表面粗度50µmRz以上)又はリン酸塩処理</p> <p>リン酸塩処理とした場合はすべり係数値の確認を行う。</p> <p>すべり係数試験</p> <p>試験方法</p> <p>「高力ボルト接合設計施工ガイドブック(日本建築学会)」による</p> <p>● 構造用アンカーボルト</p> <p>種類</p> <p>● ABR400 ○ ABR490 ○ ()</p> <p>○ 建方用アンカーボルト</p> <p>種類</p> <p>○ SS400 ○ ()</p> <p>アンカーボルト及びナットのねじの公差域クラス及び仕上げの程度</p> <p>○ 標準仕様書 表7.2.3による ○ ()</p>	種類の記号	適用箇所	規格	SS400	● 図示による ()	● JISによる ○ 大臣認定による	BCR295	● 図示による ()	○ JISによる ● 大臣認定による	SN490C	● 図示による ()	● JISによる ○ 大臣認定による		○ 図示による ()	○ JISによる ○ 大臣認定による	<p>7 鉄骨工事 (続き)</p> <p>● 溶接材料</p> <p>○ ターンバックル</p> <p>● 床構造用のデッキプレート</p> <p>○ スタッド</p> <p>● 柱底均しモルタル</p> <p>● 工作図</p> <p>● 製作精度</p> <p>○ 仮組</p> <p>○ 溶接作業を行う技能資格者の技量付加試験</p>	<p>○ 標準仕様書7.2.4以外のアンカーボルト</p> <p>適用箇所</p> <p>○ 図示による () ○ ()</p> <p>種類</p> <p>○ SS400 ○ ()</p> <p>アンカーボルト及びナットのねじの公差域クラス及び仕上げの程度</p> <p>○ 標準仕様書 表7.2.3による</p> <p>ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 (7.3.2)</p> <p>● 図示による () ○ ()</p> <p>溶接材料 (7.2.5)</p> <p>● 標準仕様書7.2.5(1)(2)による</p> <p>○</p> <p>種類 (7.2.6)</p> <p>建築用ターンバックル胴 ○ 割枠式 ○ ()</p> <p>建築用ターンバックルボルト○ 羽子板ボルト ○ ()</p> <p>ねじの呼び ○ 図示による () ○ ()</p> <p>材質、形状及び寸法 (6.8.2)(7.2.7)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>適用箇所</th> <th>材質・形状・寸法</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○ デッキプレート 単独の構造</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>● デッキプレートとコンクリートとの合成スラブとする構造</td> <td>2.R階 床</td> <td>QL99-50-12</td> <td>コンクリート厚80</td> </tr> </tbody> </table> <p>床型枠用を使用する場合、受注者は施工に先立ち、安全性を確認すること</p> <p>開口部補強要領(補強筋の定着長さ等を含む)</p> <p>○ 図示による () ○ ()</p> <p>鉄骨部材への溶接方法 (7.7.8)</p> <p>● 図示による () ○ ()</p> <p>耐火認定</p> <p>● 有り</p> <p>耐火時間</p> <p>● 図示による () ○ ()</p> <p>○ 無し</p> <p>種類等 (7.2.8)(7.7.6, 7)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>呼び名</th> <th>呼び長さ(mm)</th> <th>適用箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○ 16</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 19</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 22</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>モルタルの種類 (7.2.9)</p> <p>● 無収縮モルタル</p> <p>無収縮モルタルの材料、調合等</p> <p>● 標準仕様書7.2.9(2)(ア)から(エ)による ○ ()</p> <p>○ 標準仕様書7.2.9(1)によるモルタル</p> <p>監督職員による現寸検査 (7.3.2)</p> <p>● 行わない ○ 行う</p> <p>増築工事等を含め、既存建築物との取り合う箇所がある場合は現場実測の上作成を行う</p> <p>鉄骨の製作精度は、JASS6付則6「鉄骨精度検査基準」に加えて次による</p> <p>通しダイアフラムの突合せ継手の食い違い寸法 (7.3.3)</p> <p>● H12建告第1464号第二号イ(2)による</p> <p>○ ()</p> <p>アンダーカットの寸法</p> <p>● H12建告第1464号第二号イ(3)による</p> <p>○ ()</p> <p>食い違い・仕口のずれの検査方法及び補強方法</p> <p>○ 「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」による</p> <p>○ ()</p> <p>仮組を行う範囲 (7.3.10)</p> <p>○ 図示による () ○ ()</p> <p>試験の要領及び試験を要する溶接箇所 (7.6.3)</p> <p>○ 図示による () ○ ()</p>		適用箇所	材質・形状・寸法	備考	○ デッキプレート 単独の構造				● デッキプレートとコンクリートとの合成スラブとする構造	2.R階 床	QL99-50-12	コンクリート厚80	呼び名	呼び長さ(mm)	適用箇所	○ 16			○ 19			○ 22			<p>7 鉄骨工事 (続き)</p> <p>● 溶接接合</p> <p>○ 現場溶接</p> <p>● 入熱、バス間温度の溶接条件</p> <p>● 溶接部の試験</p> <p>● 錆止め塗装</p>	<p>開先の形状 (7.6.4)</p> <p>● 図示による () ○ ()</p> <p>スラップの形状 (7.6.7)</p> <p>● 図示による () ○ ()</p> <p>鋼製エンドタブを切断する部分 (7.6.7)</p> <p>○ 全て</p> <p>○ 見え掛り部となる部分</p> <p>● 切除する部分なし</p> <p>○ ()</p> <p>切断範囲</p> <p>○ 鋼製エンドタブ、裏当て金等は、梁フランジの端から5mm以下を残して直線状に切断する</p> <p>なお、切断面が交差する場合は交差部をアール状に加工する</p> <p>○ ()</p> <p>切断面の仕上げ</p> <p>○ 標準仕様書7.6.7(1)(カ)(b)②による</p> <p>○ ()</p> <p>低応力高サイクル疲労を受ける部位 (7.6.7)</p> <p>○ 図示による () ○ ()</p> <p>適用箇所</p> <p>○ 図示による () ○ ()</p> <p>鋼材と溶接材料の組合せと溶接条件 (7.6.7)(7.6.10)</p> <p>○ 図示による () ○ ()</p> <p>適用箇所</p> <p>● 柱、梁、ブレースのフランジ端部の完全溶込み溶接部</p> <p>○ 図示による ()</p> <p>平12建告第1464号第二号に関する外観試験方法等</p> <p>「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」</p> <p>3.5.2 受入検査による</p> <p>○ 抜き取り検査①</p> <p>● 抜き取り検査②</p> <p>JASS 6 付則6 [鉄骨精度検査基準]の付表3「溶接」に関する試験方法等</p> <p>○ JASS 6 10.4[受入検査]e.溶接部の外観検査(1)から(5)までによる</p> <p>ただし、完全溶込み溶接部の外観検査の抜き取り検査は、超音波探傷試験の試験箇所と同一とする。外観試験の不合格箇所は、すべて標準仕様書7.6.13による補修を行い、再試験する</p> <p>完全溶込み部の超音波探傷試験 (7.6.12)</p> <p>○ 行わない</p> <p>● 行う</p> <p>● 工場溶接の場合</p> <p>○ 全数検査</p> <p>● 抜き検査</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">部</th> <th colspan="2">AQL(%)</th> <th colspan="2">● レベル II ○ レベル I</th> </tr> <tr> <th>○ 全て</th> <th>○</th> <th>○</th> <th>○</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>検査水準</td> <td>● 第6水準</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table> <p>○ 工事現場溶接の場合</p> <p>○ 全数検査</p> <p>○ 計数連続生産型抜き検査</p> <p>AQL(%) ○ 4.0 ○ 2.5</p> <p>塗料の範囲 (7.8.4)(18.3.2)</p> <p>耐火被覆材の接着する面の塗装範囲</p> <p>● 図示による (柱、梁)</p> <p>耐火被覆材の接着する面以外の塗装範囲 (7.8.2)</p> <p>● 標準仕様書7.8.2(1)(ア)~(オ)による部分以外</p> <p>○ 図示による ()</p> <p>塗料の種類</p> <p>下記以外の鉄鋼面18章[塗装工事]による</p> <p>○ 鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブで鉄骨に溶接されたものの内側の錆止め塗料の種類</p> <p>○ 標準仕様書 表18.3.1 As種</p> <p>○ ()</p> <p>● 耐火被覆材が接着する面の塗料の種類</p> <p>● 標準仕様書 表18.3.1 (As) 種</p> <p>○ 標準仕様書 表18.3.2 () 種</p>	部	AQL(%)		● レベル II ○ レベル I		○ 全て	○	○	○	検査水準	● 第6水準	○	○	○	<p>7 鉄骨工事 (続き)</p> <p>● 耐火被覆</p> <p>● アンカーボルトの設置等</p> <p>○ 軽量形鋼構造</p> <p>○ 溶融亜鉛めっき(構造耐力上主要な部分)</p> <p>○ 梁貫通孔の補強</p>	<p>種類、材料、工法等 (7.9.2~8)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>材料・工法</th> <th>性能(耐火時間)</th> <th>適用箇所(部位・部分)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>● 耐火材 吹付け</td> <td>○ 乾式吹付けロウケル ● 半乾式吹付けロウケル ○ 湿式ロウケル ○ ○</td> <td>1時間耐火</td> <td>柱、梁</td> </tr> <tr> <td>○ 耐火板 張り</td> <td>○ 繊維混入けい酸がくみ板 ○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 耐火材 巻付け</td> <td>○ 高断熱ロウケル ○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 5mm張り</td> <td>—</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 耐火塗料</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>構造用アンカーボルトの形状及び寸法</p> <p>● 図示による () ○ ()</p> <p>建方用アンカーボルトの保持及び埋込み工法 (7.10.3)</p> <p>種別 ○ A種 ○ B種</p> <p>構造用アンカーボルトの保持及び埋込み</p> <p>● 適切なアンカーフレーム等を設置して固定する方法</p> <p>構造用アンカーフレームの形状及び寸法</p> <p>種別 ● 図示による ()</p> <p>○ 図示による ()</p> <p>柱底均しモルタルの厚さ及び工法の種別 (7.10.3)</p> <p>● 標準仕様書 表7.10.2 A種 モルタル厚さ (30)</p> <p>○ 標準仕様書 表7.10.2 B種 モルタル厚さ ()</p> <p>接合部(ボルト接合の場合) (7.11.2)</p> <p>○ 普通ボルト接合 ○ ()</p> <p>もや、鋼線類の取付け用ボルトを普通ボルト接合とする場合は、ボルトに有効な戻止めをする (7.5.1)</p> <p>種別等 (7.12.4)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>亜鉛めっきの種類</th> <th>材料</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A種</td> <td>最小板厚6.0mm以上の形鋼、鋼板</td> </tr> <tr> <td>B種</td> <td>最小板厚3.2mm以上、6.0mm未満の形鋼、鋼板</td> </tr> <tr> <td>C種</td> <td>普通ボルト・ナット類、アンカーボルト類 最小板厚1.6mm以上、3.2mm未満の形鋼、鋼板</td> </tr> </tbody> </table> <p>素地ごしらは、JIS H 8641による</p> <p>適用箇所</p> <p>○ 図示による () ○ ()</p> <p>補強方法</p> <p>○ 補強プレート法</p> <p>○ ()</p> <p>適用箇所</p> <p>○ 図示による () ○ ()</p>	種類	材料・工法	性能(耐火時間)	適用箇所(部位・部分)	● 耐火材 吹付け	○ 乾式吹付けロウケル ● 半乾式吹付けロウケル ○ 湿式ロウケル ○ ○	1時間耐火	柱、梁	○ 耐火板 張り	○ 繊維混入けい酸がくみ板 ○			○ 耐火材 巻付け	○ 高断熱ロウケル ○			○ 5mm張り	—			○ 耐火塗料				亜鉛めっきの種類	材料	A種	最小板厚6.0mm以上の形鋼、鋼板	B種	最小板厚3.2mm以上、6.0mm未満の形鋼、鋼板	C種	普通ボルト・ナット類、アンカーボルト類 最小板厚1.6mm以上、3.2mm未満の形鋼、鋼板
種類の記号	適用箇所	規格																																																																																										
SS400	● 図示による ()	● JISによる ○ 大臣認定による																																																																																										
BCR295	● 図示による ()	○ JISによる ● 大臣認定による																																																																																										
SN490C	● 図示による ()	● JISによる ○ 大臣認定による																																																																																										
	○ 図示による ()	○ JISによる ○ 大臣認定による																																																																																										
	適用箇所	材質・形状・寸法	備考																																																																																									
○ デッキプレート 単独の構造																																																																																												
● デッキプレートとコンクリートとの合成スラブとする構造	2.R階 床	QL99-50-12	コンクリート厚80																																																																																									
呼び名	呼び長さ(mm)	適用箇所																																																																																										
○ 16																																																																																												
○ 19																																																																																												
○ 22																																																																																												
部	AQL(%)		● レベル II ○ レベル I																																																																																									
	○ 全て	○	○	○																																																																																								
検査水準	● 第6水準	○	○	○																																																																																								
種類	材料・工法	性能(耐火時間)	適用箇所(部位・部分)																																																																																									
● 耐火材 吹付け	○ 乾式吹付けロウケル ● 半乾式吹付けロウケル ○ 湿式ロウケル ○ ○	1時間耐火	柱、梁																																																																																									
○ 耐火板 張り	○ 繊維混入けい酸がくみ板 ○																																																																																											
○ 耐火材 巻付け	○ 高断熱ロウケル ○																																																																																											
○ 5mm張り	—																																																																																											
○ 耐火塗料																																																																																												
亜鉛めっきの種類	材料																																																																																											
A種	最小板厚6.0mm以上の形鋼、鋼板																																																																																											
B種	最小板厚3.2mm以上、6.0mm未満の形鋼、鋼板																																																																																											
C種	普通ボルト・ナット類、アンカーボルト類 最小板厚1.6mm以上、3.2mm未満の形鋼、鋼板																																																																																											
<p>霧島市建築改修工事特記仕様書</p>	<p>設計者 (株) J U N 設計</p> <p>鹿児島県知事登録 第 1-2-18 号</p> <p>〒899-4501 鹿児島県霧島市福山町福山4690番地6</p> <p>TEL 0995-56-2938 FAX 0995-56-2709</p>	<p>権元 由香 印</p> <p>一級建築士登録 第 365156 号</p> <p>所長 権元 担当 権元 製図 権元</p>	<p>法適合確認</p> <p>○○○○構造設計事務所</p> <p>登録 第 1-00-000 号</p> <p>鹿児島県○○市○○町○○○</p> <p>○○○○設備設計事務所</p> <p>登録 第 1-00-000 号</p> <p>鹿児島県○○市○○町○○○</p> <p>・構造設計 ・構造法適合確認</p> <p>構造設計一級建築士 第 0000 号</p> <p>○○○○</p> <p>・設備設計 ・設備法適合確認</p> <p>設備設計一級建築士 第 0000 号</p> <p>○○○○</p>	<p>設計年月日 令和 4年 3月</p> <p>工事名称 R8国分北小学校渡り廊下B改築工事</p> <p>図面名称 特記仕様書(新営その5)</p> <p>図面番号 A-06</p>																																																																																								

8 コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント工事

8 コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント工事 (8.2.2、3、5、8)

○ 補強コンクリートブロック造

ブロックの種類等

断面形状及び圧縮強さによる区分	正味厚さ (mm)	モジュール呼び寸法 (mm)		化粧の有無	適用箇所	備考
		長さ	高さ			
○ 空洞ブロック(16)	○ 120 ○ 150	○ 400 ○	○ 200 ○	○ 無 ○ 有		
○	○	○	○	○ 無 ○ 有		

モジュールの調合 (容積比)

○ 標準仕様書(表8.2.1)による

○ セメント () : 砂 ()

各部の配筋

○ 図示 ○

目地仕上げ

○ 押し目地仕上げ ○ 化粧目地仕上げ

モジュール又はコンクリートで充填するブロックの範囲

○ 図示 ○

8.3.2、3、4

ブロックの種類等

断面形状及び圧縮強さによる区分	正味厚さ (mm)	モジュール呼び寸法 (mm)		化粧の有無	(表8.3.1)以外の適用箇所	備考
		長さ	高さ			
○ 空洞ブロック(16)	○ 120 ○ 150	○ 400 ○	○ 200 ○	○ 無 ○ 有		
○ 型枠状ブロック20	○ 120 ○ 150	○ 400 ○	○ 200 ○	○ 無 ○ 有		
○	○	○	○	○ 無 ○ 有		
○	○	○	○	○ 無 ○ 有		

塀の厚さ (mm)

塀の高さが2m以下 ○ 120 ○

塀の高さが2mを超え ○ 150 ○

壁鉄筋の継手、定着及び末端部の折り曲げ形状

○ 図示 ○ ()

各部の配筋

○ 図示 ○ ()

化粧目地の有無 ○ 無 ○ 有

工法

コンクリートブロック積層壁の積高さは、壁厚の25倍かつ3,500以内とし、その他の部分は同厚の鉄筋コンクリート造垂壁とする

8.4.2~5

ALCパネルの区分等

区分	単位荷重 (N/m)		厚さ (mm)	幅及び長さ	耐火性能	構法の種別
	正荷重	負荷重				
○ 外壁用	○ 一般 ○ ヌナ	○ 平 ○ 意匠	○ 100 ○	図示による	○ なし ○ 1時間	○ A種 ○ B種
○ 間仕切壁用	○ 一般 ○ ヌナ	○ 平 ○ 意匠	○ 100 ○	図示による	○ なし ○ 1時間	○ C種 ○ D種 ○ E種
○ 屋根用	—	—	○ 100 ○	図示による	○ 30分 ○ 1時間	○ F種
○ 床用	—	—	○ 100 ○	図示による	○ 1時間 ○ 2時間	

パネル相互の接合部に挿入する耐火目地材 ○

外壁、屋根パネルの構造

1章 適用区分による風圧力の (○ 1.0 ○ 1.15 ○ 1.3) 倍の風圧力に対応した構造

外壁パネル構造法及び間仕切壁パネル構造法における耐震性能

建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による

パネル幅の最小限度を300mm未満とする場合

○ 図示 ○

パネル短辺小口相互の接合部、外壁、間仕切壁パネルの出隅及び入隅のパネル接合部並びにパネルと他部材との取り合い部の目地幅

○ 10~20mm ○

外壁、間仕切壁パネルの伸縮調整目地への耐火目地材の充填

○ 適用する ○ 適用しない

8 押出成形セメント板 (ECP) (8.5.2~5)

パネルの種類	形状	厚さ (mm)	幅 (mm)	工法の種別	耐火性能
● 外壁パネル	● F ○ F-R	○ 50	○ 450	● A種	○ 30分
	○ D ○ D-R	● 60	● 615	○ B種	● 1時間
	○ T ○ T-R	○ 100	○ 600	○ C種	○ 2時間
○ 間仕切壁パネル	○ F ○ F-R	○ 50	○ 450	○ B種	○ 30分
	○ D ○ D-R	○ 60	○ 600	○ C種	○ 1時間
	○ T ○ T-R	○ 100	○ 600	○ C種	○ 2時間

注) F:フラットパネル、D:デザインパネル、T:タイルレスパネル

外壁パネルの工法

1章 適用区分による風圧力の (○ 1.0 ● 1.15 ○ 1.3) 倍の風圧力に対応した工法

外壁パネル構造法及び間仕切壁パネル構造法における耐震性能

建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による

パネル幅の最小限度を300mm未満とする場合

○ 図示 ○

パネル相互の目地幅

● パネル幅900mm以下

長辺 (15) mm 短辺 (15) mm

○ パネル幅900mmを超える

長辺 () mm 短辺 () mm

出隅及び入隅のパネル接合目地の目地幅 (mm)

● 15 ○

耐火構造以外の目地及び隙間の処理

● パネルの製造所の仕様 ○

やむを得ず欠き込み等を行う場合は、下表の寸法を限度とし、欠損部分を考慮した強度を確認した資料を提出する。

	孔あけ及び欠き込みの大きさ	切断後のパネルの残り部分の幅
パネルに孔あけを設ける場合	短辺 ○ パネル幅の1/2以下、かつ、300mm以下	150mm以上
	長辺 ○ 500mm以下	300mm以上
パネルに欠き込みを設ける場合	短辺 ○ パネル幅の1/2以下、かつ、300mm以下	300mm以上
	長辺 ○ 500mm以下	300mm以上

9 防水工事 (続き)

9 アスファルト防水 (9.2.2~5)

屋根保護防水

防水層の種類

種別	施工箇所	断熱材	絶縁用シート
○ A-1			○ 0.15mm以上又は フットレングス270g/m ² 程度
○ A-2			
○ A-3			
○ B-1			○ フットレングス270g/m ² 程度
○ B-2			
○ B-3			
○ AI-1		(種類)	○ フットレングス270g/m ² 程度
○ AI-2		○ JIS A 9521に基づく押出法製 スランフォール断熱材3種DA(スチ層付き)	
○ AI-3			
○ BI-1		○	○
○ BI-2		(厚さ) (mm)	
○ BI-3		○ 25 ○ 50 ○	

改質アスファルトフィングシートの種類及び厚さ

○ 標準仕様書(表9.2.3)及び(表9.2.6)による

○ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ

用途による区分 ○ 材料による区分 ○ R種

厚さ () mm以上

部分粘着層付改質アスファルトフィングシートの種類及び厚さ

○ 標準仕様書(表9.2.5)及び(表9.2.6)による

○ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ

用途による区分 ○ 材料による区分 ○ R種

厚さ () mm以上

立上り部への断熱材及び絶縁用シート

○ 設置しない ○ 設置する

平場の保護コンクリートの厚さ

こて仕上げ ○ 水下80mm以上 ○

床材張り ○ 水下60mm以上 ○

9 防水工事 (続き)

立上り部の保護方法

○ 乾式保護材

窯業系パネルI類 厚さ () mm 幅 () mm

(品質・性能・試験方法) 建築材料等品質性能表による

○ れんが押え (○ JIS A 1250 ○)

○ コンクリート押え

○ モルタル押え (屋内)

屋根露出防水

防水層の種類

種別	施工箇所	断熱材	仕上塗材	
			種類	使用量
○ D-1			○ アスファルトフィング 類の製造所の 仕様	○ アスファルトフィング 類の製造所の 仕様
○ D-2				
○ D-3				
○ D-4			○	○
○ D1-1		標準仕様書9.2.2(9) (種類) ○ (厚さ) (mm) ○ 25 ○		
○ D1-2				

高日射反射率防水の適用

○ 適用する ○ 適用しない

改質アスファルトフィングシートの種類及び厚さ

○ 標準仕様書(表9.2.8)による

○ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ

用途による区分 ○ 材料による区分 ○ R種

厚さ () mm以上

部分粘着層付改質アスファルトフィングシートの種類及び厚さ

○ 標準仕様書(表9.2.7)及び(表9.2.8)による

○ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ

用途による区分 ○ 材料による区分 ○ R種

厚さ () mm以上

絶縁断熱工法のルーフレイン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置

○ 図示 ○

絶縁工法及び断熱断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量

種類 ○ アスファルトフィング 類の製造所の指定

○

設置数量 ○ アスファルトフィング 類の製造所の指定

○ (個)

屋内防水

防水層の種類

種別	施工箇所	種別	施工箇所
○ E-1		○ E-2	

保護層 ○ 設ける (○ 図示 ○) ○ 設けない

E-1の工程3を行う部位

○ 貯水槽、浴室等常時水に接する部位 ○

防水層下地の立上り

○ コンクリート打放し仕上げ

標準仕様書(表6.2.4) [打放し仕上げ種別]のB種

○

立上り部の押え金物の材質、形状及び寸法

○ 7Mニガム製 L-30×15×2.0mm程度

○

防水層の下地のモルタル塗り

○ 適用する (施工範囲 ○ 図示 ○)

○ 適用しない

屋根排水溝 ○ 図示 ○

施工標識

○ 監督職員と表示内容を協議し、指示の位置に標識を取り付ける

9 改質アスファルトシート防水 (9.3.2、3)

屋根露出防水

防水層の種類

種別	施工箇所	断熱材	防湿用シート	仕上塗材	
				種類	使用量
○ AS-T1			○ 設ける (改質アスファルト シートの製造 所の仕様)	○ 改質アスファルト シートの製造 所の仕様	
○ AS-T2					
○ AS-T3					
○ AS-T4					
○ AS-J1			○ 設けない	○	
○ AS1-T1		標準仕様書 9.3.2(3) (ケ) (種類) ○ (厚さ) (mm) ○ 25 ○ 50 ○			
○ AS1-J1					

高日射反射率防水の適用

○ 適用する ○ 適用しない

改質アスファルトフィングシートの種類及び厚さ

○ 標準仕様書(表9.3.1)から(表9.3.3)による

○ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ

用途による区分 ○ 材料による区分 ○ R種

厚さ () mm以上

粘着層付改質アスファルトフィングシートの種類及び厚さ

○ 標準仕様書(表9.3.2)及び(表9.3.3)による

○ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ

用途による区分 ○ 材料による区分 ○ R種

厚さ () mm以上

部分粘着層付改質アスファルトフィングシートの種類及び厚さ

○ 標準仕様書(表9.3.2)及び(表9.3.3)による

○ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ

用途による区分 ○ 材料による区分 ○ R種

厚さ () mm以上

立上り部の押え金物の材質、形状及び寸法

○ 7Mニガム製 L-30×15×2.0mm程度

○

絶縁工法及び屋根露出防水断熱断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量

種類 ○ アスファルトフィング 類の製造所の指定

○

設置数量 ○ アスファルトフィング 類の製造所の指定

○ (個)

施工標識

○ 監督職員と表示内容を協議し、指示の位置に標識を取り付ける

9 防水工事（続き）	<p>○ 合成高分子系ルーフィングシート防水 (9.4.2~4)</p> <p>防水層の種類</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">種別</th> <th rowspan="2">施工箇所</th> <th rowspan="2">可塑性移行防止シートの材質</th> <th rowspan="2">断熱材</th> <th colspan="2">仕上塗料</th> </tr> <tr> <th>種類</th> <th>使用量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○ S-F1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○ ルーフィングシートの製造所の仕様</td> <td>○ ルーフィングシートの製造所の仕様</td> </tr> <tr> <td>○ S-F2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ S-M1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○ ルーフィングシートの製造所の仕様</td> <td>○ ルーフィングシートの製造所の仕様</td> </tr> <tr> <td>○ S-M2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ SI-F1</td> <td></td> <td></td> <td>標準仕様書 9.4.2(3)(4)(b) (種類)</td> <td>○ ルーフィングシートの製造所の仕様</td> <td>○ ルーフィングシートの製造所の仕様</td> </tr> <tr> <td>○ SI-F2</td> <td></td> <td></td> <td>○ 25 (厚さ) (mm)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ SI-M1</td> <td></td> <td></td> <td>標準仕様書 9.4.2(3)(4)(a) (種類)</td> <td>○ ルーフィングシートの製造所の仕様</td> <td>○ ルーフィングシートの製造所の仕様</td> </tr> <tr> <td>○ SI-M2</td> <td></td> <td>○ 発泡エチレンシート</td> <td>○ 25mm</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>高日射反射率防水の適用 <input type="checkbox"/> 適用する <input type="checkbox"/> 適用しない</p> <p>S-F1、S-M1、S-F2、S-M2の仕様 <input type="checkbox"/> 非歩行仕様 <input type="checkbox"/> 軽歩行仕様</p> <p>SI-M1及びSI-M2における防湿用フィルム <input type="checkbox"/> 設置する <input type="checkbox"/> 設置しない</p> <p>S-M2またはSI-M2の立上り部の工法 <input type="checkbox"/> 接着工法 立上り面のシート厚さ <input type="checkbox"/> 1.5mm <input type="checkbox"/> () mm <input type="checkbox"/> 機械的固定方法</p> <p>屋内防水 防水層の種類</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">種別</th> <th rowspan="2">施工箇所</th> <th colspan="2">保護層</th> </tr> <tr> <th>平場のタイル塗り厚</th> <th>立上り部の保護タイル塗り厚</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○ S-C1</td> <td></td> <td></td> <td>○ 7mm以下</td> </tr> </tbody> </table> <p>平場のタイル床塗りにおける床の目地割及び種類 目地割 <input type="checkbox"/> 目地割2m程度、最大目地間隔3m程度 <input type="checkbox"/> 目地の種類 <input type="checkbox"/> 押し目地 <input type="checkbox"/></p> <p>合成高分子系ルーフィングシートの種類及び厚さ <input type="checkbox"/> 標準仕様書(表9.4.1)から(表9.4.3)による <input type="checkbox"/> JIS A 60081に基づく種類及び厚さ 種類 <input type="checkbox"/> 厚さ <input type="checkbox"/> () mm以上</p> <p>固定金具の材質、形状及び寸法 <input type="checkbox"/> 厚さ0.4mm以上の防錆処理した鋼板、ステンレス鋼板又はそれら鋼板の片面若しくは両面に樹脂を積層加工したものの <input type="checkbox"/></p> <p>接着工法の場合の脱気装置の種類及び設置数量 種類 <input type="checkbox"/> ルーフィングシートの製造所の指定 <input type="checkbox"/> 設置数量 <input type="checkbox"/> ルーフィングシートの製造所の指定 <input type="checkbox"/> (個)</p> <p>接着工法の場合のプレキャストコンクリート部材下地の目地処理 <input type="checkbox"/> 行う <input type="checkbox"/> (図示 <input type="checkbox"/>) <input type="checkbox"/> 行わない</p> <p>プレキャストコンクリート部材の入隅部の増張り (種別S-F1、SI-F1の場合) <input type="checkbox"/> 行う <input type="checkbox"/> (図示 <input type="checkbox"/>) <input type="checkbox"/> 行わない</p> <p>機械的固定工法の場合の一般部のルーフィングシートの張付け 1章 適用区分による風圧力の (<input type="checkbox"/> 1.0 <input type="checkbox"/> 1.15 <input type="checkbox"/> 1.3) 倍の風圧力に対応した工法 施工標識 <input type="checkbox"/> 監督職員と表示内容を協議し、指示の位置に標識を取り付ける</p>	種別	施工箇所	可塑性移行防止シートの材質	断熱材	仕上塗料		種類	使用量	○ S-F1				○ ルーフィングシートの製造所の仕様	○ ルーフィングシートの製造所の仕様	○ S-F2						○ S-M1				○ ルーフィングシートの製造所の仕様	○ ルーフィングシートの製造所の仕様	○ S-M2						○ SI-F1			標準仕様書 9.4.2(3)(4)(b) (種類)	○ ルーフィングシートの製造所の仕様	○ ルーフィングシートの製造所の仕様	○ SI-F2			○ 25 (厚さ) (mm)			○ SI-M1			標準仕様書 9.4.2(3)(4)(a) (種類)	○ ルーフィングシートの製造所の仕様	○ ルーフィングシートの製造所の仕様	○ SI-M2		○ 発泡エチレンシート	○ 25mm			種別	施工箇所	保護層		平場のタイル塗り厚	立上り部の保護タイル塗り厚	○ S-C1			○ 7mm以下	9 ● 塗膜防水 (9.5.3)	<p>防水層の種類</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">種別</th> <th rowspan="2">施工箇所</th> <th colspan="2">仕上塗料</th> <th rowspan="2">保護層</th> </tr> <tr> <th>種類</th> <th>使用量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>● X-1</td> <td>● 屋根(平部)</td> <td>○ 主材料の製造所の仕様</td> <td>● 主材料の製造所の仕様</td> <td></td> </tr> <tr> <td>● X-2</td> <td>● 屋根(立上部)</td> <td>○ 主材料の製造所の仕様</td> <td>● 主材料の製造所の仕様</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ Y-1</td> <td>○ 地下外壁防水</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ Y-2</td> <td>○ 屋内防水</td> <td></td> <td></td> <td><input type="checkbox"/> 適用する <input type="checkbox"/> 保護タイル <input type="checkbox"/> 保護コンクリート <input type="checkbox"/> 適用しない</td> </tr> </tbody> </table> <p>高日射反射率防水の適用 <input type="checkbox"/> 適用する <input checked="" type="checkbox"/> 適用しない</p> <p>ルーフィング系塗膜防水X-1の脱気装置の種類及び設置数量 種類 <input type="checkbox"/> 主材料の製造所の仕様 <input type="checkbox"/> 設置数量 <input type="checkbox"/> 主材料の製造所の仕様 <input type="checkbox"/> (個)</p> <p>ゴムアスファルト系塗膜防水Y-1、Y-2の工数及び各工の使用量 <input type="checkbox"/> 主材料の製造所の仕様 <input type="checkbox"/></p> <p>施工標識 ● 監督職員と表示内容を協議し、指示の位置に標識を取り付ける</p>	種別	施工箇所	仕上塗料		保護層	種類	使用量	● X-1	● 屋根(平部)	○ 主材料の製造所の仕様	● 主材料の製造所の仕様		● X-2	● 屋根(立上部)	○ 主材料の製造所の仕様	● 主材料の製造所の仕様		○ Y-1	○ 地下外壁防水				○ Y-2	○ 屋内防水			<input type="checkbox"/> 適用する <input type="checkbox"/> 保護タイル <input type="checkbox"/> 保護コンクリート <input type="checkbox"/> 適用しない	10 ○ 石材等 (10.2.1、3)	<p>天然石</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>岩石の種類</th> <th>等級</th> <th>形状及び寸法 (mm)</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>表面仕上げの種類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○ 床石</td> <td></td> <td>○ 2等品</td> <td>○ 正方形に近い矩形 (石材1枚の面積が 0.8㎡以下)</td> <td>○ 図示</td> <td>○ 粗磨き ○ 本磨き</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td></td> <td>○ 2等品</td> <td>○ 正方形に近い矩形 (石材1枚の面積が 0.8㎡以下)</td> <td>○ 図示</td> <td>○ 粗磨き ○ 本磨き</td> </tr> </tbody> </table> <p>シットパナー仕上げのバフ仕上げの有無 <input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし</p> <p>テラゾロック</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>種石の種類</th> <th>種石の大きさ (mm)</th> <th>形状による区分</th> <th>仕上げ面による区分</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>表面仕上げの種類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>○ 大理石</td> <td>○ 1.5~12</td> <td>○ 平もの</td> <td>○ 片面</td> <td>○ 図示</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>○ 花こう岩</td> <td>○</td> <td>○ 役もの</td> <td>○ 両面</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>テラゾール</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>種石の種類</th> <th>種石の大きさ (mm)</th> <th>寸法による区分</th> <th>表面仕上げの種類</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>○ 大理石</td> <td>○ 1.5~12</td> <td>○ 300型</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>○ 花こう岩</td> <td>○</td> <td>○ 400型</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>取付け用タイル、既調合の目地タイル、石表面処理材、裏打ち処理材金物の固定に使用する充填材料等 <input type="checkbox"/> 専門工事業者の指定する製品 <input type="checkbox"/></p> <p>受金物 材質 <input type="checkbox"/> SUS304 <input type="checkbox"/> 形状及び寸法 <input type="checkbox"/> 図示</p> <p>アンカの材質及び寸法 材質 <input type="checkbox"/> SS400 <input type="checkbox"/> 寸法 <input type="checkbox"/></p> <p>あと施工アンカの材質、寸法等 種類 <input type="checkbox"/> 材質 <input type="checkbox"/> 寸法 <input type="checkbox"/></p> <p>ドレンパイプの材質 <input type="checkbox"/> 樹脂製パイプ クラスシタ巻き25~35φ <input type="checkbox"/></p> <p>石表面処理 <input type="checkbox"/> 適用する <input type="checkbox"/> 適用しない</p> <p>裏打ち処理 <input type="checkbox"/> 適用する <input type="checkbox"/> 適用しない</p> <p>下地ごしらえ <input type="checkbox"/> あと施工アンカ・横筋流し工法 <input type="checkbox"/> 流し筋工法 <input type="checkbox"/> あと施工アンカ工法</p> <p>目地 一般目地 <input type="checkbox"/> シーリング材 目地幅 <input type="checkbox"/> 標準仕様書(10.3.3)(5)(7)(d)による <input type="checkbox"/> 目地タイル 目地幅 <input type="checkbox"/> 6mm以上 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 既調合の目地タイル 種類 <input type="checkbox"/> 6mm以上 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 目地幅 <input type="checkbox"/> 6mm以上 <input type="checkbox"/></p> <p>伸縮調整目地 位置 <input type="checkbox"/> 標準仕様書(表11.1.1)による <input type="checkbox"/> 図示 シーリング材 <input type="checkbox"/> 標準仕様書(9.7.3)による <input type="checkbox"/> 目地寸法 <input type="checkbox"/> 幅・深さとも10mm以上 <input type="checkbox"/> 図示</p> <p>受金物 材質 <input type="checkbox"/> SUS304 <input type="checkbox"/> 形状及び寸法 <input type="checkbox"/> 図示</p> <p>アンカの材質及び寸法 材質 <input type="checkbox"/> SS400 <input type="checkbox"/> 寸法 <input type="checkbox"/></p>	施工箇所	岩石の種類	等級	形状及び寸法 (mm)	厚さ (mm)	表面仕上げの種類	○ 床石		○ 2等品	○ 正方形に近い矩形 (石材1枚の面積が 0.8㎡以下)	○ 図示	○ 粗磨き ○ 本磨き	○		○ 2等品	○ 正方形に近い矩形 (石材1枚の面積が 0.8㎡以下)	○ 図示	○ 粗磨き ○ 本磨き	施工箇所	種石の種類	種石の大きさ (mm)	形状による区分	仕上げ面による区分	寸法 (mm)	表面仕上げの種類		○ 大理石	○ 1.5~12	○ 平もの	○ 片面	○ 図示			○ 花こう岩	○	○ 役もの	○ 両面			施工箇所	種石の種類	種石の大きさ (mm)	寸法による区分	表面仕上げの種類	備考		○ 大理石	○ 1.5~12	○ 300型				○ 花こう岩	○	○ 400型			10 ○ 石工事（続き）	<p>○ ケイ酸質系塗布防水 (9.6.1、3、4)</p> <p>防水層の種類</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○ G-U1</td> <td></td> <td>○ G-UP</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>防水層の下地 壁 (<input type="checkbox"/> コンクリート打放し仕上げ(表6.2.4 B種)) <input type="checkbox"/> 天井部 (<input type="checkbox"/> コンクリート打放し仕上げ(表6.2.4 B種)) <input type="checkbox"/></p> <p>下地処理 コンクリートの打継ぎ箇所の処理 <input type="checkbox"/> 打継ぎ部分に対し、幅30mm程度の目地棒を用いる。目地棒の除去後、水洗い清掃し、ケイ酸質系塗布防水材の製造所の仕様により、ポリマーセメントタイルを充填する。 <input type="checkbox"/> 図示による <input type="checkbox"/> 標準仕様書(9.6.4)(2)の(イ)、(ウ)以外の下地処理 <input type="checkbox"/> 図示 <input type="checkbox"/> 型枠締付け材にコンが使用されている部位及び防水剤の塗布面以外の下地処理 <input type="checkbox"/> 図示 <input type="checkbox"/></p> <p>下表以外は、標準仕様書(9.7.1)による ただし、外装壁タイル接着剤張り目地の場合のシーリングは11章に、カーテッジ目地の場合のシーリングは、17章による</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>シーリング材の種類 (記号)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>版間・サツ廻り</td> <td>MS-2</td> </tr> </tbody> </table> <p>仕上げを行わない施工箇所 <input type="checkbox"/> 図示 <input checked="" type="checkbox"/> 版間・サツ廻り</p> <p>シーリング材の目地寸法 ● 標準仕様書(9.7.3)(1)(7)~(9)による <input type="checkbox"/> 図示 <input type="checkbox"/></p> <p>接着性試験 ● 簡易接着性試験 <input type="checkbox"/> 引張接着性試験</p>	種別	施工箇所	種別	施工箇所	○ G-U1		○ G-UP		施工箇所	シーリング材の種類 (記号)	版間・サツ廻り	MS-2	10 ○ 石工事	<p>○ 施工 (10.1.3、5)</p> <p>石材の割付け <input type="checkbox"/> 図示 粗面仕上げの場合のみ込みとなる部分の仕上げ <input type="checkbox"/> 図示 <input type="checkbox"/></p> <p>屋内の床を本磨きとする場合のワックスがけ <input type="checkbox"/> 行う (適用箇所 <input type="checkbox"/> すべて <input type="checkbox"/>) <input type="checkbox"/> 行わない</p>	<p>あと施工アンカの材質、寸法等 種類 <input type="checkbox"/> 材質 <input type="checkbox"/> 寸法 <input type="checkbox"/></p> <p>石表面処理 <input type="checkbox"/> 適用する <input type="checkbox"/> 適用しない</p> <p>裏打ち処理 <input type="checkbox"/> 適用する <input type="checkbox"/> 適用しない</p> <p>下地ごしらえ <input type="checkbox"/> あと施工アンカ・横筋流し工法 <input type="checkbox"/> あと施工アンカ工法</p> <p>目地 一般目地 <input type="checkbox"/> シーリング材 目地幅 <input type="checkbox"/> 標準仕様書(表9.7.1)による <input type="checkbox"/> 目地タイル 目地幅 <input type="checkbox"/> 6mm以上 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 既調合の目地タイル 種類 <input type="checkbox"/> 6mm以上 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 目地幅 <input type="checkbox"/> 6mm以上 <input type="checkbox"/></p> <p>伸縮調整目地 位置 <input type="checkbox"/> 6m程度ごと <input type="checkbox"/> 図示 シーリング材 <input type="checkbox"/> 標準仕様書(表9.7.1)による <input type="checkbox"/> 目地寸法 <input type="checkbox"/> 幅・深さとも10mm以上 <input type="checkbox"/> 図示</p> <p>外壁乾式工法 (10.2.2)(10.5.2、3)</p> <p>乾式工法の方式による金物の種類、形状、寸法等 <input type="checkbox"/> 図示 <input type="checkbox"/> 標準仕様書(表10.2.4)による (方式: <input type="checkbox"/> スリット方式 <input type="checkbox"/> ロッキング方式)</p> <p>アンカの材質及び寸法 <input type="checkbox"/> ステンレス(SUS304) M10 <input type="checkbox"/></p> <p>あと施工アンカの材質、寸法等 種類 <input type="checkbox"/> 材質 <input type="checkbox"/> 寸法 <input type="checkbox"/></p> <p>だぼ用の穴の位置 <input type="checkbox"/> 標準仕様書(10.5.2)(2)(7)による <input type="checkbox"/> 図示</p> <p>石表面処理 <input type="checkbox"/> 適用する <input type="checkbox"/> 適用しない</p> <p>裏打ち処理 <input type="checkbox"/> 適用する <input type="checkbox"/> 適用しない</p> <p>建築基準法に基づく耐風圧に対応した工法 1章 適用区分による風圧力の (<input type="checkbox"/> 1.0 <input type="checkbox"/> 1.15 <input type="checkbox"/> 1.3) 倍の風圧力に対応した構法</p> <p>目地 目地幅及び深さ <input type="checkbox"/> 8mm以上 <input type="checkbox"/> シーリング材 <input type="checkbox"/> 標準仕様書9章7節による <input type="checkbox"/> 図示</p> <p>床及び階段の石張り (10.6.2、3)</p> <p>透水性吸収防水材 床石張り <input type="checkbox"/> 適用する <input type="checkbox"/> 適用しない</p> <p>石表面処理 床石張り <input type="checkbox"/> 適用する <input type="checkbox"/> 適用しない 階段張り <input type="checkbox"/> 適用する <input type="checkbox"/> 適用しない</p> <p>裏打ち処理材 床石張り <input type="checkbox"/> 適用する <input type="checkbox"/> 適用しない</p> <p>目地 目地幅(屋外) <input type="checkbox"/> (屋内) <input type="checkbox"/></p> <p>一般目地 <input type="checkbox"/> シーリング材 目地幅及び深さ <input type="checkbox"/> 6mm以上 <input type="checkbox"/> 種類 <input type="checkbox"/> 標準仕様書(表9.7.1)による <input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/> 目地タイル 目地幅(屋外) <input type="checkbox"/> 4mm以上 <input type="checkbox"/> (屋内) <input type="checkbox"/> 3~6mm以上 <input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/> 既調合の目地タイル 目地幅(屋外) <input type="checkbox"/> 4mm以上 <input type="checkbox"/> (屋内) <input type="checkbox"/> 3~6mm以上 <input type="checkbox"/></p> <p>伸縮調整目地 位置 <input type="checkbox"/> 床面積30㎡ごと、細長い通路の場合6mごと及び他の部材と取り合う箇所 <input type="checkbox"/> 図示 シーリング材 <input type="checkbox"/> 標準仕様書(表9.7.1)による <input type="checkbox"/> 目地寸法 <input type="checkbox"/> 幅・深さとも10mm以上 <input type="checkbox"/> 図示</p>
						種別	施工箇所	可塑性移行防止シートの材質	断熱材	仕上塗料																																																																																																																																																																		
種類	使用量																																																																																																																																																																											
○ S-F1				○ ルーフィングシートの製造所の仕様	○ ルーフィングシートの製造所の仕様																																																																																																																																																																							
○ S-F2																																																																																																																																																																												
○ S-M1				○ ルーフィングシートの製造所の仕様	○ ルーフィングシートの製造所の仕様																																																																																																																																																																							
○ S-M2																																																																																																																																																																												
○ SI-F1			標準仕様書 9.4.2(3)(4)(b) (種類)	○ ルーフィングシートの製造所の仕様	○ ルーフィングシートの製造所の仕様																																																																																																																																																																							
○ SI-F2			○ 25 (厚さ) (mm)																																																																																																																																																																									
○ SI-M1			標準仕様書 9.4.2(3)(4)(a) (種類)	○ ルーフィングシートの製造所の仕様	○ ルーフィングシートの製造所の仕様																																																																																																																																																																							
○ SI-M2		○ 発泡エチレンシート	○ 25mm																																																																																																																																																																									
種別	施工箇所	保護層																																																																																																																																																																										
		平場のタイル塗り厚	立上り部の保護タイル塗り厚																																																																																																																																																																									
○ S-C1			○ 7mm以下																																																																																																																																																																									
種別	施工箇所	仕上塗料		保護層																																																																																																																																																																								
		種類	使用量																																																																																																																																																																									
● X-1	● 屋根(平部)	○ 主材料の製造所の仕様	● 主材料の製造所の仕様																																																																																																																																																																									
● X-2	● 屋根(立上部)	○ 主材料の製造所の仕様	● 主材料の製造所の仕様																																																																																																																																																																									
○ Y-1	○ 地下外壁防水																																																																																																																																																																											
○ Y-2	○ 屋内防水			<input type="checkbox"/> 適用する <input type="checkbox"/> 保護タイル <input type="checkbox"/> 保護コンクリート <input type="checkbox"/> 適用しない																																																																																																																																																																								
施工箇所	岩石の種類	等級	形状及び寸法 (mm)	厚さ (mm)	表面仕上げの種類																																																																																																																																																																							
○ 床石		○ 2等品	○ 正方形に近い矩形 (石材1枚の面積が 0.8㎡以下)	○ 図示	○ 粗磨き ○ 本磨き																																																																																																																																																																							
○		○ 2等品	○ 正方形に近い矩形 (石材1枚の面積が 0.8㎡以下)	○ 図示	○ 粗磨き ○ 本磨き																																																																																																																																																																							
施工箇所	種石の種類	種石の大きさ (mm)	形状による区分	仕上げ面による区分	寸法 (mm)	表面仕上げの種類																																																																																																																																																																						
	○ 大理石	○ 1.5~12	○ 平もの	○ 片面	○ 図示																																																																																																																																																																							
	○ 花こう岩	○	○ 役もの	○ 両面																																																																																																																																																																								
施工箇所	種石の種類	種石の大きさ (mm)	寸法による区分	表面仕上げの種類	備考																																																																																																																																																																							
	○ 大理石	○ 1.5~12	○ 300型																																																																																																																																																																									
	○ 花こう岩	○	○ 400型																																																																																																																																																																									
種別	施工箇所	種別	施工箇所																																																																																																																																																																									
○ G-U1		○ G-UP																																																																																																																																																																										
施工箇所	シーリング材の種類 (記号)																																																																																																																																																																											
版間・サツ廻り	MS-2																																																																																																																																																																											
霧島市建築改修工事特記仕様書	<p>設計者 (株) J U N 設計 鹿児島県知事登録 第 1-2-18 号 〒899-4501 鹿児島県霧島市福山町福山4690番地6 TEL 0995-56-2938 FAX 0995-56-2709</p>	<p>権元 由香 印 一級建築士登録 第 365156 号</p> <p>法適合確認 〇〇〇〇構造設計事務所 登録 第 1-00-000 号 鹿児島県〇〇市〇〇町〇〇〇 〇〇〇〇設備設計事務所 登録 第 1-00-000 号 鹿児島県〇〇市〇〇町〇〇〇</p>	<p>〇〇〇〇構造設計事務所 登録 第 1-00-000 号 鹿児島県〇〇市〇〇町〇〇〇</p> <p>・構造設計 ・構造法適合確認 構造設計一級建築士 第 0000 号 〇〇〇〇</p> <p>・設備設計 ・設備法適合確認 設備設計一級建築士 第 0000 号 〇〇〇〇</p>	<p>設計年月日 令和 4年 3月</p> <p>工事名称 R8国分北小学校渡り廊下B改築工事</p> <p>図面名称 特記仕様書(新営その7)</p>	<p>図面番号 A-08</p>																																																																																																																																																																							

12 木工事（続き）	○ 接着剤 (12.2.2) 接着剤は可塑性(難揮発性の可塑性を除く)が添付されていないものとする 杉・ヒノキ 放散量 ○ F☆☆☆☆ ○
	○ 防腐・防蟻・防虫処理等 (12.3.1.2) ○ 防腐、防蟻処理を省略できる樹種による製材 適用部位 () ○ 工場における薬剤の加圧注入等 改修標準仕様書(12.3.1)(ア)(a)による加圧式保存処理 適用部位 () ○ 標準仕様書(12.3.1)(ア)(b)による加圧式保存処理 保存処理の性能 () インジゲン ○ 適用する ○ 適用しない
	○ 薬剤の塗布等による防腐・防蟻処理 薬剤の種類 ○ 標準仕様書(12.3.1)(イ)(a)による ○ 付属書A(規定)に基づく表面処理用木材保存剤による ○ 適用部位 () 処理方法 ○ 標準仕様書(12.3.1)(イ)(b)による ○
	○ 薬剤の接着材への混入による防腐、防蟻処理 適用部位 ()
	○ 合板等の加圧注入処理等の適用 適用部位 ()
	○ 不燃処理木材等 (12.3.3) ○ 不燃材料 適用部位 () ○ 準不燃材料 適用部位 () ○ 難燃材料 適用部位 ()
	○ 内部間仕切軸組及び床組 (12.4.1) ○ 間仕切軸組に用いる木材の樹種名 ○ 杉又は松(製材を用いる場合) ○
	○ 床組に用いる木材の樹種名 ○ 杉又は松(製材を用いる場合) ○
	○ 土間スラブの類の場合の土台、転ばし大引き及び転ばし根太 ○ ひのき又は12章3節による保存処理木材 ○
	○ 窓、出入口その他 (12.5.1) ○ 窓、出入口その他に用いる木材の樹種名 ○ 吊元枠、水掛けの下枠及び敷居はひのき、その他は松又は杉(製材を用いる場合) ○
	○ 床板張り (12.6.1) ○ 縁甲板及び上りかまちに用いる木材の樹種名 ○ ひのき(製材を用いる場合) ○
	○ 壁及び天井下地 (12.7.1) ○ 壁胴縁、野縁受棧、野縁及び吊木に用いる木材の樹種名 ○ 杉又は松(製材を用いる場合) ○

13 屋根及びとい工事	○ 長尺金属板葺 (13.2.2、3) 下葺材料 ○ アスファルト・フィング 940 ○ 改質アスファルト・フィング 下葺材 (○ 一般タイプ ○ 複層材タイプ ○ 粘着層付タイプ)
	工法 1章 適用区分による風圧力の (○ 1.0 ○ 1.15 ○ 1.3) 倍 の風圧力に対応した工法
	雪止め ○ 設置する(図示)
	○ 折板葺 (13.2.2)(13.3.2、3) 施工場所 形式 山高、山どおしによる区分 耐力による区分 材料による区分 厚さ(mm) 野先面戸板 耐火性能 ○ 重ね形 ○ 鋼板製 ○ 有 ○ 30分 ○ はせ締め形 ○ アルミ合板 ○ 無 ○ 無し ○ かん合形 製 ○
	材料 ○ JIS G 3322の屋根コイル(CGLCR-20-AZ150) ○ ()
	タクトレムにJIS G 3322以外の鋼材を直接外気の影響を受けない屋外で使用する場合の表面処理 (標準仕様書(表14.2.2)による ○ E種 ○ F種)
	断熱材張り ○ 行う 断熱材の種類: 厚さ: mm 防火性能: 時間 ○ 行わない
	折板のけらば納め ○ けらば包みによる方法 ○
	工法 1章 適用区分による風圧力の (○ 1.0 ○ 1.15 ○ 1.3) 倍 の風圧力に対応した工法
	○ 粘土瓦葺 (13.4.2、3) 施工場所 種類 産地 役物瓦の種類 雪留め瓦 製法による区分 形状による区分 寸法による区分 ○ 適用する ○ 適用しない ○ 適用する ○ 適用しない
	棧瓦の防災瓦の使用 ○ 適用する ○ 適用しない
	JIS A 5208に基づく凍害試験等 ○ 行う ○ 行わない
瓦葺木 材質 ○ 杉 ○ 寸法 ○ 幅21mm×高さ15mm以上 ○	
棟補強用心材 材質 ○ 杉 ○ 寸法 ○ 幅40mm×高さ30 ○	
瓦緊結用釘及びびねじ 種類 () 径 () 長さ ()	
棟補強等に使用する金物等 材質 ○ ステンレス製 ○ 溶融亜鉛めっき処理を行った鋼製 形状、寸法及び留付け方法 ○ 図示 ○	
工法 1章 適用区分による風圧力の (○ 1.0 ○ 1.15 ○ 1.3) 倍 の風圧力に対応した工法	

13 屋根及びとい工事（続き）	風耐力又は地震力に対応した瓦の緊結方法等 ○ 図示 ○
	瓦葺木の留付け工法 ○ 図示 ○
	棟の工法 ○ 7寸丸伏せ棟又はF形用冠伏せ棟 ○ のし積み棟 ○
	面戸、雀口、葺土の露出する瓦接合部に仕上げを施す場合 ○ もみり ○ 瓦葺き用しっくい
	○ といの材種 (13.5.2、3) 種別 材種 径 施工箇所 備考 たてどい ○ 硬質ポリ塩化ビニル管 ○ 配管用鋼管 ○ ステンレス鋼管 SUS304 ● 硬質ポリ塩化ビニル管(5寸) 100 図示 軒どい ○
	防露材の杉・ヒノキ放散量 ○ F☆☆☆☆ ○
	鋼管製といの防露巻き ○ 使用する(工法: ○ 標準仕様書(表13.5.4)による ○) ○ 適用しない
	とい受け金物 (13.5.2) 材種 ○ 標準仕様書(表13.5.2)による (溶融亜鉛めっきを行ったもの) ○ ステンレス製 形状 ○ 市販品(とい径100以下) ○ 25x4.5mm以上(とい径100を超えるもの) 取付け間隔 ○ 標準仕様書(表13.5.2)による ○
	足金物 材種 ○ 標準仕様書(表13.5.2)による (溶融亜鉛めっきを行ったもの) ● ステンレス製 ● 市販品 ○ 取付け間隔 ○ 標準仕様書(表13.5.2)による ● 1000
	多雪地域 ○ 適用しない ○ 適用する
	ルーフドレンの材種その他 種別 呼び 施工箇所 材種 ○ ろく屋根用 ○ ねじ込み式 ○ 80 ○ 100 ○ 125 たて形I型 ○ ○ 150 ○ ○ ● ろく屋根用 ● ねじ込み式 ○ 80 ● 100 ○ 125 横形I型 ○ ○ 150 ○ ○ 図示 鋼鉄製 ○ 平鋼用 ○ ねじ込み式 ○ 50 ○ 80 ○ 100 ○ 差し込み式 ○ 50 ○ 75 ○ 100 ○ 平鋼用 ○ ねじ込み式 ○ 50 ○ 80 ○ 100 ○ 差し込み式 ○ 50 ○ 75 ○ 100
	○ ステンレスの表面仕上げ (14.2.1) 種類 施工箇所(手すり、ラフ、建具以外) ○ A75(0.1)程度 ○ 鏡面仕上げ程度 ○ No.28程度
● アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理 (14.2.1)(14.2.2) 種別 色合い等 施工箇所(成形板、空木、建具以外) 備考 BB-1種 ● 標準色(シルバー) EXP.J ○ 特注色()	
陽極酸化皮膜の着色方法 ● 二次電解着色 ○ 三次電解着色	

14 金属工事（続き）	○ 鉄鋼の垂鉛めっき (14.2.2)(14.2.3) 表面処理方法 種別 施工箇所(手すり、ラフ以外) 溶融亜鉛めっき ○ A種 ○ B種 ○ C種 ○ D種 電気亜鉛めっき ○ E種 ○ F種
	● 軽量鉄骨天井下地 (14.4.2~4) 野縁等の種類 屋外 (● 25形 ○ 19形) 屋内 (● 19形 ○ 25形) 野縁受、吊り骨材及びインサートの間隔 ● 900程度 ○ 図示 ○ 周辺部の端からの間隔 ○ 図示 ● 150 野縁の間隔 ● 300程度 ○ 図示 ○ ○ 吊り骨材の間隔が900mmを超える場合 補強方法 ○ 図示 ○ ○ 天井のふとところが1.5m以上3.0m以下の場合 補強方法 ○ 標準仕様書(14.4.4)(8)による ○ 図示 ○ 天井のふとところが3.0mを超える場合 補強方法 ○ 図示 ○ ○ 天井下地材における耐震性を考慮した補強 補強箇所 ○ 図示 ○ 補強方法 ○ 図示 ○ ○ 天井下地材における耐風圧性を考慮した補強 (1. 一般共通事項の品質計画による) 補強箇所 ○ 図示 ○ 補強方法 ○ 図示 ○
	耐震性能 建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による
	屋外の軒天井、L'ロイ天井等の工法 1章 適用区分による風圧力の (○ 1.0 ○ 1.15 ○ 1.3) 倍 の風圧力に対応した工法 (14.5.3、4)
	スリット、ランナーの種類 ● 標準仕様書(表14.5.1)によるスリットの高さによる区分に応じた種類 ● 図示 ○
	スリットの高さが5.0mを超える場合 ○ 図示 ○
	出入口及びこれに準ずる開口部の補強 ● 標準仕様書(表14.5.4)(5)による ○
	○ 金属成形板張り (14.6.2、3) 種別 製法 形状 板幅(mm) 板厚(mm) 表面処理 種別 色合い等 ○ 75(0.1) ○ 押出し ○ フラット ○ 100 ○ 1.0 ○ ○ D-6 ○ 目地有 ○ ○ プレハ ○ 目地無 ○ ○ 凹凸 ○
	取付け用下地 ○ 標準仕様書(14.4)による ○ 図示 伸縮調整継手 ○ 設ける(施工箇所 ○ 図示 ○) ○ 設けない
	屋外の軒天井、L'ロイ天井等の工法 1章 適用区分による風圧力の (○ 1.0 ○ 1.15 ○ 1.3) 倍 の風圧力に対応した工法
	取付け用下地 ○ 標準仕様書(14.4)による ○ 図示 伸縮調整継手 ○ 設ける(施工箇所 ○ 図示 ○) ○ 設けない

霧島市建築改修工事特記仕様書	設計者 (株) J U N 設計 鹿児島県知事登録 第 1-2-18 号 〒899-4501 鹿児島県霧島市福山町福山4690番地6 TEL 0995-56-2938 FAX 0995-56-2709	権元 由香 印 一級建築士登録 第 365156 号	法適合確認	〇〇〇〇構造設計事務所 登録 第 1-00-000 号 鹿児島県〇〇市〇〇町〇〇〇	・構造設計 ・構造法適合確認 構造設計一級建築士 第 0000 号 〇〇〇〇	設計年月日 令和 4年 3月	図面番号
				〇〇〇〇設備設計事務所 登録 第 1-00-000 号 鹿児島県〇〇市〇〇町〇〇〇	・設備設計 ・設備法適合確認 設備設計一級建築士 第 0000 号 〇〇〇〇	工事名称 R8国分北小学校渡り廊下B改築工事	
				図面名称 特記仕様書(新営その9)	A-09		

<p>14 金属工事 (続き)</p>	<p>●アルミニウム製笠木 (14.7.2、3)</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">施工箇所</th> <th rowspan="2">種類</th> <th rowspan="2">製品幅</th> <th rowspan="2">呼称肉厚</th> <th colspan="2">表面処理</th> </tr> <tr> <th>種類</th> <th>色合い等</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">屋根</td> <td>○ 押出し250形</td> <td>○ 240 ○ 250</td> <td>○ 1.6以上</td> <td>● BB-1種</td> <td>● 標準色 (シアン)</td> </tr> <tr> <td>● 押出し300形</td> <td>○ 300 ● 325</td> <td>● 1.8以上</td> <td></td> <td>○ 特注色 ()</td> </tr> <tr> <td rowspan="2"></td> <td>○ 押出し350形</td> <td>○ 350</td> <td>○ 2.0以上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○ 2.0以上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>○ 板材折曲げ形</td> <td>○</td> <td>○ 2.0以上</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>表面処理は表14.2.1による</p> <p>棟上避雷導体の形式 ● 無 ○ 有 (実厚2.0以上)</p> <p>笠木の固定金具の工法等 取付け用下地 ● 標準仕様書(14.4)による ○ 図示</p> <p>笠木の固定金具の工法等 1章 適用区分による風圧力の (○ 1.0 ● 1.15 ○ 1.3) 倍の風圧力に対応した工法</p> <p>●手すり及びタラップ (14.8.2、3) (20.2.12)</p> <p>材料及び仕上げ 手すり ○ 図示 ● SUS304 表面処理 ○ HL程度 ● #400 ○ 鋼製 表面処理 ○ 溶融亜鉛めっきC種 ○</p> <p>タラップ ○ 図示 ○ SUS304 (スリップ止め加工 ○ あり ○ なし) ○ 鋼製 表面処理 ○ 溶融亜鉛めっき 標準仕様書(表14.2.2)による種類 ○ C種 ○ 種</p>	施工箇所	種類	製品幅	呼称肉厚	表面処理		種類	色合い等	屋根	○ 押出し250形	○ 240 ○ 250	○ 1.6以上	● BB-1種	● 標準色 (シアン)	● 押出し300形	○ 300 ● 325	● 1.8以上		○ 特注色 ()		○ 押出し350形	○ 350	○ 2.0以上			○	○	○ 2.0以上				○ 板材折曲げ形	○	○ 2.0以上			<p>15 左官工事 (続き)</p> <p>○せっこうボード その他のボード下地 (15.2.5)</p> <p>せっこうボード及びせっこうボードの種類及び厚さ 種類 (○ GB-R ○ GB-L ○) 長さ () mm</p> <p>木質系セメント板の種類及び厚さ 種類 () 長さ () mm</p> <p>建築基準法に基づく耐力壁の指定 ○ 指定あり ○ 指定なし (15.2.6)</p> <p>○こまい下地 (15.2.7)</p> <p>○木ずり下地 (15.2.7)</p> <p>○セルフレベリング材 塗り (15.5.2)</p> <p>○仕上塗材仕上げ (15.6.2)</p> <p>建物内部に使用する塗料のホルムアルデヒド放散量 ○ F☆☆☆☆ ○</p> <p>仕上塗材の種類 ○ 薄付け仕上げ塗材</p> <table border="1"> <tr> <th>種類(呼び名)</th> <th>仕上げの形状</th> <th>工法</th> <th>吸放湿性</th> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○ 適用する</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○ 適用する</td> </tr> </table> <p>防火材料 ○ 建築基準法に基づく指定又は認定品 ()</p> <p>○厚付け仕上げ塗材</p> <table border="1"> <tr> <th>種類(呼び名)</th> <th>仕上げの形状</th> <th>工法</th> <th>吸放湿性</th> <th>上塗材</th> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○ 適用する</td> <td>○ 適用する</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○ 適用する</td> <td>○ 適用する</td> </tr> </table> <p>防火材料 ○ 建築基準法に基づく指定又は認定品 ()</p> <p>○複層仕上げ塗材</p> <table border="1"> <tr> <th>種類(呼び名)</th> <th>仕上げの形状</th> <th>工法</th> <th>上塗材の種類</th> <th>耐水性及び耐塩の種類</th> </tr> <tr> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td>溶媒 ○ 水系 ○ 770系 ○ 耐塩形2種</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>外観 ○ 珪酸系 ○ つやあり耐塩形1種 ○ つやなし ○ 770系 ○ 珪酸系 ○ ふっ素系</td> <td></td> </tr> </table> <p>防火材料 ○ 建築基準法に基づく指定又は認定品 ()</p> <p>○軽量骨材仕上げ塗材</p> <table border="1"> <tr> <th>種類(呼び名)</th> <th>防火材料</th> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </table> <p>内壁目地の形状 ○ V形目地付き ○ (15.6.4)</p> <p>標準仕様書(15.7.2)による (15.7.2)</p> <p>○せっこうプラスター 塗り (15.8.3)</p> <p>下塗り ○ 既調合プラスター(下塗り用) ○ 現場調合プラスター(下塗り用)</p> <p>上塗り ○ 既調合プラスター(上塗り用) ○ しっくい塗り (15.12.2、3)</p> <p>○ロックウール吹付け 量 (15.12.2、3)</p> <p>ロッキングのホルムアルデヒド放散量 ○ F☆☆☆☆ ○</p> <p>接着剤のホルムアルデヒド放散量 ○ F☆☆☆☆ ○</p> <p>仕上げ吹付け厚さ ○ 図示 ○ 25mm ○</p> <p>色彩 ○ 着色 ○ 原色</p>	種類(呼び名)	仕上げの形状	工法	吸放湿性	○	○	○	○ 適用する	○	○	○	○ 適用する	種類(呼び名)	仕上げの形状	工法	吸放湿性	上塗材	○	○	○	○ 適用する	○ 適用する	○	○	○	○ 適用する	○ 適用する	種類(呼び名)	仕上げの形状	工法	上塗材の種類	耐水性及び耐塩の種類	○			溶媒 ○ 水系 ○ 770系 ○ 耐塩形2種					外観 ○ 珪酸系 ○ つやあり耐塩形1種 ○ つやなし ○ 770系 ○ 珪酸系 ○ ふっ素系		種類(呼び名)	防火材料	○	○	○	○	<p>15 左官工事 (続き)</p> <p>○しっくい塗り (15.10.2、3)</p> <p>しっくい ○ 既調合材料 色しっくい ○ 適用する ○ 適用しない ○ 現場調合材料</p> <p>下地 ○ せっこうボード ○ せっこうボード ○ 珪藻土塗り ○ 木ずり ○ こまい土壁 ○ 下塗りをせっこうプラスターとし上塗りに使用する場合 ○</p> <p>既調合しっくいの調合 ○ せっこうボード下地 ○ 標準仕様書(表15.10.1) ○ ○ 珪藻土塗り下地 ○ 標準仕様書(表15.10.2) ○ ○ せっこうボード下地 ○ 製造所の仕様による ○</p> <p>現場調合しっくいの調合及び各層の塗厚 ○ 木ずりの下地 ○ 標準仕様書(表15.10.1) ○ ○ せっこうプラスター下地、こまい下地 ○ 標準仕様書(表15.10.2) ○</p> <p>既調合しっくいの上塗り仕上げ工法 ○ 押え仕上げ ○ なで切り仕上げ ○ バケツ仕上げ (15.11.2~5、7、8)</p> <p>のり ○ 土壁用ののり ○ ぶのり ○ つのまた ○ ぎんなんそう ○ 粉末海藻 ○ ○ 砂壁用ののり ○ ぶのり ○ つのまた ○ こんにやくのり ○ にわか ○ 合成高分子系混和剤 ○</p> <p>色土 ○ 土物仕上げに用いる土色の種類 () ○ 大津仕上げに用いる土壁の種類 ()</p> <p>色砂の種類 ○ 天然砂と岩石の砕砂 ○ 人工的に着色、製造したもの</p> <p>下塗りの調合 ○ 標準仕様書(表15.11.2) ○</p> <p>塗厚 ○ 標準仕様書(表15.11.8)による ○ 建築基準法に基づく耐力壁のある場合 ()</p> <p>こまい壁の工程 ○ A種 ○ B種</p> <p>○こまい壁塗りの上塗りとする土物仕上げの工法の種類 ○ 土物仕上げ工法 ○ 水ごね土物1工法 ○ 水ごね土物2工法 ○ のりさし土物工法 ○ ねりごね土物工法</p> <p>○ 砂壁仕上げ工法 ○ 切返し仕上げ工法</p> <p>○こまい壁塗りの上塗りとする大津仕上げの工法の種類 ○ 普通大津仕上げ工法 ○ 大津みがき仕上げ工法</p> <p>ちりじやりく ○ 図示 ○</p>	<p>16 建具工事 (続き)</p> <p>●アルミニウム製建具 (16.2.2、4、5) (16.2.1、2)</p> <p>性能等級 ○ 外部に面する建具の種類 (コンクリート系下地及び鉄骨下地) ○ A種 (建具符号 ○ 建具表による) ○ B種 (建具符号 ○ 建具表による) ○ C種 (建具符号 ○ 建具表による)</p> <p>○ 外部に面する建具の種類 (木下地) ○ D種 (建具符号 ○ 建具表による) ○ E種 (建具符号 ○ 建具表による)</p> <p>●上記によらない場合 耐風圧性の等級 (S-5) 気密性の等級 (A-4) 水密性の等級 (W-5) (建具符号: ● 建具表による)</p> <p>枠の見込み寸法 (● 建具表による)</p> <p>防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級 (○) (建具符号: ○ 建具表による)</p> <p>断熱ドア・断熱サッシ 断熱性の等級 (○) (建具符号: ○ 建具表による)</p> <p>材料 ステンレス鋼板 ○ SUS304、SUS340J1L、又はSUS443J1 ○ ステンレス製のくつずりの仕上げ ○ HL ○</p> <p>形状及び仕上げ 表面処理 (外部に面する建具) 種類 (標準仕様書(表14.2.1)による) ● BB-1種 ○ BB-2種 着色 ● 標準色 ○ 特注色 表面処理 (屋内の建具) 種類 (標準仕様書(表14.2.1)による) ○ BC-1種 ○ BC-2種 着色 ○ 標準色 ○ 特注色 結露水の処理方法 ○ 水貯め式 ● 排水水</p> <p>工法 水切り板、ぜん板 ● 図示 ○ 木下地の場合の内付け建具 ○ 適用しない ○ 適用する (16.2.3)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>材質</th> <th>線径</th> <th>網戸</th> </tr> <tr> <td>○ 防虫網</td> <td>○ 合成樹脂製 ○ 玻璃纤维入り合成樹脂製 ○ ステンレス(SUS316)製</td> <td>○ 0.25mm以上 ○</td> <td>○ 16~18mm ○</td> </tr> <tr> <td>○ 防鳥網</td> <td>○ ステンレス(SUS304)製</td> <td>○ 1.5mm</td> <td>○ 網目寸法15mm</td> </tr> </table> <p>○樹脂製建具 (16.2.5) (16.3.2) (16.3.5)</p> <p>性能等級 ○ 外部に面する建具の種類 (コンクリート系下地及び鉄骨下地) ○ A種 (建具符号 ○ 建具表による) ○ B種 (建具符号 ○ 建具表による) ○ C種 (建具符号 ○ 建具表による)</p> <p>○ 外部に面する建具の種類 (木下地) ○ D種 (建具符号 ○ 建具表による) ○ E種 (建具符号 ○ 建具表による)</p> <p>○上記によらない場合 耐風圧性の等級 () 気密性の等級 () 水密性の等級 () (建具符号: ○ 建具表による)</p> <p>断熱ドア、断熱サッシ 断熱性の等級 (○ H-4 ○ H-5 ○ H-6) (建具符号: ○ 建具表による)</p> <p>外部に面する建具の日射熱取得性の等級 ○</p> <p>枠の見込み寸法 ○ 建具表による</p>	種類	材質	線径	網戸	○ 防虫網	○ 合成樹脂製 ○ 玻璃纤维入り合成樹脂製 ○ ステンレス(SUS316)製	○ 0.25mm以上 ○	○ 16~18mm ○	○ 防鳥網	○ ステンレス(SUS304)製	○ 1.5mm	○ 網目寸法15mm
施工箇所	種類					製品幅	呼称肉厚	表面処理																																																																																												
		種類	色合い等																																																																																																	
屋根	○ 押出し250形	○ 240 ○ 250	○ 1.6以上	● BB-1種	● 標準色 (シアン)																																																																																															
	● 押出し300形	○ 300 ● 325	● 1.8以上		○ 特注色 ()																																																																																															
	○ 押出し350形	○ 350	○ 2.0以上																																																																																																	
	○	○	○ 2.0以上																																																																																																	
	○ 板材折曲げ形	○	○ 2.0以上																																																																																																	
種類(呼び名)	仕上げの形状	工法	吸放湿性																																																																																																	
○	○	○	○ 適用する																																																																																																	
○	○	○	○ 適用する																																																																																																	
種類(呼び名)	仕上げの形状	工法	吸放湿性	上塗材																																																																																																
○	○	○	○ 適用する	○ 適用する																																																																																																
○	○	○	○ 適用する	○ 適用する																																																																																																
種類(呼び名)	仕上げの形状	工法	上塗材の種類	耐水性及び耐塩の種類																																																																																																
○			溶媒 ○ 水系 ○ 770系 ○ 耐塩形2種																																																																																																	
			外観 ○ 珪酸系 ○ つやあり耐塩形1種 ○ つやなし ○ 770系 ○ 珪酸系 ○ ふっ素系																																																																																																	
種類(呼び名)	防火材料																																																																																																			
○	○																																																																																																			
○	○																																																																																																			
種類	材質	線径	網戸																																																																																																	
○ 防虫網	○ 合成樹脂製 ○ 玻璃纤维入り合成樹脂製 ○ ステンレス(SUS316)製	○ 0.25mm以上 ○	○ 16~18mm ○																																																																																																	
○ 防鳥網	○ ステンレス(SUS304)製	○ 1.5mm	○ 網目寸法15mm																																																																																																	
<p>15 左官工事</p>	<p>○モルタル塗り (15.3.2、5)</p> <p>珪藻土 ○ 現場調合材料 ○ 既調合材料 (材料:)</p> <p>既製目地材 ○ 設ける 施工箇所 () 形状 (○ 図示 ○) ○ 設けない</p> <p>床の目地 ○ 設ける 目地割り ○ 2m程度 (最大目地間隔3m程度) ○ 目地の種類 ○ 押し目地 ○ ○ 設けない</p> <p>外装壁の張り下地等の下地珪藻土塗り及び下地調整塗材塗りの接着剤試験 ○ 適用する ○ 適用しない</p> <p>○防水剤 (品質・性能・試験方法) 建築材料等品質性能表による</p> <p>○ラス系下地 (15.2.4)</p> <p>ラス系下地 ○ 二層下地通気構法 ○ 単層下地通気構法 換気口部の措置 ○ 公共木造建築工事標準仕様書(11.4.3)(2)の ○ ○ 直張りラスモルタル下地 ○ 直張りラスシートモルタル下地</p> <p>建築基準法に基づく耐力壁、耐火構造、準耐火構造等の指定 ○</p> <p>ラスの材料 材料 () 種類 () 単位面積あたりの質量 ()</p> <p>ラスシートの材料 目による区分 (○ M ○) 山高、山付け、質量及び溶接区分による区分 (○ LS4 (建築基準法に基づく耐力壁) ○) ステップの形状及び寸法 () 直張りラスシートモルタル下地で建築基準法に基づく耐力壁のラスの施工 ()</p>	<p>○ALCパネルの場合 の下地処理 (15.6.4)</p> <p>○マステック塗料塗り (15.7.2)</p> <p>○せっこうプラスター 塗り (15.8.3)</p> <p>下塗り ○ 既調合プラスター(下塗り用) ○ 現場調合プラスター(下塗り用)</p> <p>上塗り ○ 既調合プラスター(上塗り用) ○ しっくい塗り (15.12.2、3)</p> <p>○ロックウール吹付け 量 (15.12.2、3)</p> <p>ロッキングのホルムアルデヒド放散量 ○ F☆☆☆☆ ○</p> <p>接着剤のホルムアルデヒド放散量 ○ F☆☆☆☆ ○</p> <p>仕上げ吹付け厚さ ○ 図示 ○ 25mm ○</p> <p>色彩 ○ 着色 ○ 原色</p>	<p>16 建具工事</p> <p>○防火戸 (16.1.3)</p> <p>○見本の製作等 (16.1.4)</p> <p>○防火建物部品 (16.1.6)</p> <p>○建具表による</p> <p>建具見本の製作 ○ 行う (建具符号:) ○ 行わない</p> <p>建具見本製作の目的等 ○</p> <p>特殊な建具の仮組 ○ 行う (建具符号:) ○ 行わない</p> <p>○ 適用する ○ 建具表による ○ 適用しない</p>	<p>○網戸等 (16.2.3)</p> <p>○樹脂製建具 (16.2.5) (16.3.2) (16.3.5)</p> <p>性能等級 ○ 外部に面する建具の種類 (コンクリート系下地及び鉄骨下地) ○ A種 (建具符号 ○ 建具表による) ○ B種 (建具符号 ○ 建具表による) ○ C種 (建具符号 ○ 建具表による)</p> <p>○ 外部に面する建具の種類 (木下地) ○ D種 (建具符号 ○ 建具表による) ○ E種 (建具符号 ○ 建具表による)</p> <p>○上記によらない場合 耐風圧性の等級 () 気密性の等級 () 水密性の等級 () (建具符号: ○ 建具表による)</p> <p>断熱ドア、断熱サッシ 断熱性の等級 (○ H-4 ○ H-5 ○ H-6) (建具符号: ○ 建具表による)</p> <p>外部に面する建具の日射熱取得性の等級 ○</p> <p>枠の見込み寸法 ○ 建具表による</p>																																																																																																
<p>霧島市建築改修工事特記仕様書</p>		<p>設計者 (株)JUN設計 鹿児島県知事登録 第 1-2-18 号 〒899-4501 鹿児島県霧島市福山町福山4690番地6 TEL 0995-56-2938 FAX 0995-56-2709</p>	<p>権元 由香 印 一級建築士登録 第 365156 号</p> <p>法適合確認</p> <p>〇〇〇〇構造設計事務所 登録 第 1-00-000 号 鹿児島県〇〇市〇〇町〇〇〇</p> <p>〇〇〇〇設備設計事務所 登録 第 1-00-000 号 鹿児島県〇〇市〇〇町〇〇〇</p>	<p>設計年月日 令和 4年 3月 工事名称 R8国分北小学校渡り廊下B改築工事 図面名称 特記仕様書(新営その10)</p> <p>図面番号 A-10</p>																																																																																																

<p>16 建具工事 (続き)</p> <p>○ 鋼製建具 (16.2.2) (16.4.2~4)</p> <p>○ 鋼製軽量建具 (16.2.2) (16.5.2~4)</p>	<p>材料</p> <p>ガラス ○ 複層ガラス(組合せは建具表による) ○</p> <p>ステン製のくつずりの仕上げ ○ HL ○</p> <p>形状及び仕上げ</p> <p>表面色 ○ 標準色 ○ 特注色</p> <p>工法</p> <p>水切り板、ぜん板 ○ 図示 ○</p> <p>木下地の場合の内付け建具 ○ 適用しない ○ 適用する</p> <p>性能値等</p> <p>簡易気密型ドアット</p> <p>○ 適用する (建具符号 ○ 建具表による)</p> <p>○ 適用しない</p> <p>外部に面する建具の耐風圧性</p> <p>耐風圧性の等級 (○)</p> <p>(建具符号: ○ 建具表による)</p> <p>防音ドア・防音サッシ</p> <p>遮音性の等級 (○)</p> <p>(建具符号: ○ 建具表による)</p> <p>断熱ドア・断熱サッシ</p> <p>断熱性の等級 (○)</p> <p>(建具符号: ○ 建具表による)</p> <p>耐震性能</p> <p>建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による</p> <p>材料</p> <p>ステン鋼板 ○ SUS304、SUS340J1L、又はSUS443J1 ○</p> <p>ステン製のくつずりの仕上げ ○ HL ○</p> <p>形状及び仕上げ</p> <p>鋼板類の厚さ ○ 標準仕様書(表16.4.2)による</p> <p>○</p> <p>使用箇所 ()</p> <p>標準型鋼製建具の形式及び寸法</p> <p>○ 建具表による</p> <p>性能値等</p> <p>簡易気密型ドアット</p> <p>○ 適用する (建具符号 ○ 建具表による)</p> <p>○ 適用しない</p> <p>防音ドア・防音サッシ</p> <p>遮音性の等級 (○)</p> <p>(建具符号: ○ 建具表による)</p> <p>防音性能を求める戸 (建具表による)</p> <p>防音充填剤</p> <p>○ グラスウールまたはロックウール ○</p> <p>断熱ドア・断熱サッシ</p> <p>断熱性の等級 (○)</p> <p>(建具符号: ○ 建具表による)</p> <p>耐震性能</p> <p>建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による</p> <p>材料</p> <p>鋼板 ○ 垂鉛めっき鋼板 ○ ビニル被覆鋼板</p> <p>○ 彩鋼板 ○ ステン鋼板</p> <p>ステン鋼板 ○ SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1</p> <p>ステン製のくつずりの仕上げ ○ HL程度 ○ No.2B程度 ○</p> <p>召合せ、縦小口包み板の材質 ○ ステン鋼板 ○ 鋼板</p> <p>形状及び仕上げ</p> <p>鋼板類の厚さ ○ 標準仕様書(表16.5.1)による</p> <p>○</p> <p>使用箇所 ()</p> <p>標準型鋼製軽量建具の形式及び寸法</p> <p>○ 建具表による</p>	<p>16 建具工事 (続き)</p> <p>○ ステンレス製建具 (16.2.2) (16.4.2) (16.6.2~5)</p> <p>○ 木製建具 (16.7.2~4)</p>	<p>性能値等</p> <p>簡易気密型ドアット</p> <p>○ 適用する (建具符号 ○ 建具表による)</p> <p>○ 適用しない</p> <p>外部に面する建具の耐風圧性</p> <p>耐風圧性の等級 (○)</p> <p>(建具符号: ○ 建具表による)</p> <p>防音ドア・防音サッシ</p> <p>遮音性の等級 (○)</p> <p>(建具符号: ○ 建具表による)</p> <p>断熱ドア・断熱サッシ</p> <p>断熱性の等級 (○)</p> <p>(建具符号: ○ 建具表による)</p> <p>耐震性能</p> <p>建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による</p> <p>材料</p> <p>ステン鋼板 ○ SUS304、SUS340J1L、又はSUS443J1 ○</p> <p>ステン製のくつずりの仕上げ ○ HL程度 ○ No.2B程度 ○</p> <p>形状及び仕上げ</p> <p>表面仕上げ ○ HL程度 ○ 鏡面仕上げ ○</p> <p>工法</p> <p>ステン鋼板の曲げ加工</p> <p>○ 普通曲げ ○ 角出し曲げ (○ a角 ○ b角 ○ c角)</p> <p>建具材の加工、組立時の含有率</p> <p>○ A種 ○ B種 ○</p> <p>建物内部の木製建具に使用する表面材のホルム放散量</p> <p>○ F☆☆☆☆又は標準仕様書(16.7.2)(2)(イ)(a)による</p> <p>○</p> <p>○ フラッシュ戸</p> <p>表面材のホルム放散量等</p> <p>○ 標準仕様書(16.7.2)(2)(イ)(a)による ○</p> <p>接着剤のホルム放散量</p> <p>○ F☆☆☆☆ ○</p> <p>表面材の合板の種類</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>合板の種類</th> <th>規格等</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○ 普通合板</td> <td>表面の樹脂</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>生地、透明塗料塗り (○ 90%程度 ○)</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>不透明塗料塗り (○ 50%程度 ○)</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>板面の品質 (○ 広葉樹1等 ○)</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>接着の程度 (○ 1類 ○ 2類)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 天然木</td> <td>樹種名 ()</td> <td></td> </tr> <tr> <td>化板合板</td> <td>接着の程度 (○ 1類 ○ 2類)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 特殊加工</td> <td>化板加工の方法 ○ プリット</td> <td></td> </tr> <tr> <td>化板合板</td> <td>○ 樹脂系化板合板</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>○ 樹脂系化板合板</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>接着の程度 (○ 1類 ○ 2類)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ MDF</td> <td>○ 普通MDF ○ 素地MDF 記号 ()</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>○ 化板MDF 記号 ()</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>○ 曲げ強さによる区分</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>○ 耐水性による区分</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>表面材の厚さ ○ 標準仕様書(表16.7.6)による ○</p> <p>引戸の召合せかまちのいんろう付きの適用</p> <p>○ 適用しない ○ 適用する</p> <p>○ かまち戸</p> <p>かまち樹種 () 鏡板樹種 ()</p> <p>見込み寸法 ○ 36mm ○ 建具表による</p>	合板の種類	規格等	備考	○ 普通合板	表面の樹脂			生地、透明塗料塗り (○ 90%程度 ○)			不透明塗料塗り (○ 50%程度 ○)			板面の品質 (○ 広葉樹1等 ○)			接着の程度 (○ 1類 ○ 2類)		○ 天然木	樹種名 ()		化板合板	接着の程度 (○ 1類 ○ 2類)		○ 特殊加工	化板加工の方法 ○ プリット		化板合板	○ 樹脂系化板合板			○ 樹脂系化板合板			接着の程度 (○ 1類 ○ 2類)		○ MDF	○ 普通MDF ○ 素地MDF 記号 ()			○ 化板MDF 記号 ()			○ 曲げ強さによる区分			○ 耐水性による区分		<p>16 建具工事 (続き)</p> <p>● 建具用金物 (16.8.2~4)</p> <p>○ 鍵 (16.8.4)</p> <p>○ 自動ドア開閉装置 (16.9.2、3)</p>	<p>○ ふすま</p> <p>張りの種別 (○ I型 ○ II型)</p> <p>上張り (押入等の裏側以外)</p> <p>○ 鳥の子 ○ 新鳥の子又はビニル紙程度</p> <p>縁仕上げ</p> <p>○ 塗り縁 ○ 生地縁 (素地) ○ 生地縁 (ウレタン塗装)</p> <p>見込み寸法</p> <p>○ 19.5mm ○ 建具表による</p> <p>○</p> <p>○ 戸ぶすま</p> <p>表面材の仕上げ ○ 建具表による</p> <p>見込み寸法 ○ 30mm ○ 建具表による</p> <p>○ 紙張り障子</p> <p>見込み寸法 ○ 30mm ○ 建具表による</p> <p>枠、くつずりの材料 ○ 建具表による</p> <p>○ シンガ-箱錠</p> <p>○ レバーハンドル 材質 ○ アルミニウム合金 ○ ステン ○ 黄銅</p> <p>座金 ○ 丸座 ○ 長座</p> <p>○ 握り玉 材質 ○ ステン ○</p> <p>○ 本締まり錠</p> <p>(品質・性能・試験方法) 建築材料等品質性能表による</p> <p>○ 錠</p> <p>○ レバーハンドル 材質 ○ アルミニウム合金 ○ ステン ○ 黄銅</p> <p>座金 ○ 丸座 ○ 長座</p> <p>○ 握り玉 材質 ○ ステン</p> <p>○ グレイト錠</p> <p>レバーハンドルの材質 ○ 垂鉛合金 ○ ステン</p> <p>製造所 ○ 図示</p> <p>○ ビレット錠</p> <p>か-部の材質 ○ ステン ○ 垂鉛合金</p> <p>○ フロアピン</p> <p>○ Grade1 ○ Grade2 か-部の材質 ○ ステン</p> <p>○ ヒンジクローザ- (丁番型) 材質 ○ 鋼 (焼付け塗装)</p> <p>○ ヒンジクローザ- (ビレット型) 材質 ○ 鋼 (焼付け塗装)</p> <p>○ ドアクローザ- ○ Grade1 ○ Grade2 材質 ○ アルミニウム合金</p> <p>○ 押棒、押板 材質 ○ ステン ○ 黄銅 ○ 合成樹脂</p> <p>○ アームストップ 材質 ○ 鋼 (クロムめっき) ○ ステン</p> <p>● クレセント 材質 ● 建具製造所の仕様による</p> <p>○ 排煙オペレーター (○ 埋込 ○ 露出)</p> <p>○ マスターキー ○ 製作する (○ 新規 ○ 既存に合わせる)</p> <p>鍵の製作本数 ○</p> <p>鍵箱 ○ 無し</p> <p>○ 有り 種類 ○ 鋼製市販品 ○</p> <p>形式 ○ 30 本入 () 個</p> <p>○ 60 本入 () 個</p> <p>○ 120 本入 () 個</p> <p>○ 本入 () 個</p> <p>戸の開閉方式 ○ 建具表による</p> <p>○ 引き戸用駆動装置</p> <p>性能値</p> <p>○ 標準仕様書(表16.9.1)による (防錆 ○ 適用する ○ 適用しない)</p> <p>○ 以下による</p> <p>種類・開閉方式 ()</p> <p>耐電圧 ()</p> <p>温度上昇 ()</p> <p>耐久性(サイクル) ()</p> <p>防錆 ()</p> <p>電源 ()</p>	<p>16 建具工事 (続き)</p> <p>○ 車椅子使用者用便房出入口引き戸用駆動装置</p> <p>性能値</p> <p>○ 標準仕様書(表16.9.2)による (防錆 ○ 適用する ○ 適用しない)</p> <p>○ 以下による</p> <p>耐電圧 ()</p> <p>温度上昇 ()</p> <p>耐久性(サイクル) ()</p> <p>防錆 ()</p> <p>電源 ()</p> <p>○ 引き戸用検出装置</p> <p>性能値</p> <p>○ 標準仕様書(表16.9.3)による (防錆 ○ 適用する ○ 適用しない)</p> <p>○ 以下による</p> <p>耐電圧 ()</p> <p>防錆 ()</p> <p>防滴 ()</p> <p>電源 ()</p> <p>引き戸用検出装置の種類 (標準仕様書(表16.9.4)による)</p> <p>○ 建具表による</p> <p>タッチスイッチの種類</p> <p>○ 無線式タッチスイッチ ○ 光線式タッチスイッチ</p> <p>車椅子使用者用便房スイッチの種類</p> <p>○ 大形押しボタンスイッチ ○ 非接触スイッチ</p> <p>凍結防止措置 ○ 適用する ○ 適用しない</p> <p>性能値等 (16.10.3)</p> <p>○ 標準仕様書(表16.10.1)による</p> <p>○ 以下による</p> <p>手動開き力 ()</p> <p>手動閉じ力 ()</p> <p>閉じ速度の調整 ()</p> <p>制動区間 ()</p> <p>開閉繰返し ()</p> <p>耐衝撃性 ()</p> <p>○ 重量シャッター (16.11.2、3)</p> <p>シャッターの種類</p> <p>○ 管理用シャッター ○ 外壁用防火シャッター</p> <p>○ 屋内用防火シャッター ○ 防煙シャッター</p> <p>外壁開口部に設ける重量シャッターの耐風圧強度 () pa</p> <p>開閉方式による種類 ○ 上部電動式(手動併用) ○ 上部手動式</p> <p>安全装置</p> <p>電動式シャッターの急降下制動装置、急降下停止装置 (設置箇所 ○ 建具表による)</p> <p>電動式シャッターの障害物感知装置 (設置箇所 ○ 建具表による)</p> <p>屋内用防火シャッター若しくは防煙シャッターの危害防止装置</p> <p>○ 危害防止装置</p> <p>○ 「防火区画に用いる防火設備等の構造方法を定める件」(昭和48年12月28日建設省告示第2563号)に定める基準に適合するもの (設置箇所 ○ 建具表による)</p> <p>リモコンの有無 ○ 無</p> <p>○ 有 (○ 建具表による ○ リモコン個数 個)</p> <p>電動式の場合の電源 ○ 三相200V 0.75kW以下 (過電流保護装置付)</p> <p>管理用シャッターのシャッターケース ○ 設ける ○ 設けない</p> <p>スラット及びシャッターケース用鋼板</p> <p>鋼板の種類 ○ JIS G 3302 (溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯)</p> <p>○ JIS G 3312 (塗装溶融亜鉛めっき鋼板鋼帯)</p> <p>めっきの付着量 ○ Z12又はF12 ○</p> <p>ガイドレール、まぐさ、雨掛りに用いる座板及び座板のか-、雨掛りに用いるスイッチ類のふたの材質</p> <p>ステン鋼板 ○ SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1 ○</p>
合板の種類	規格等	備考																																																				
○ 普通合板	表面の樹脂																																																					
	生地、透明塗料塗り (○ 90%程度 ○)																																																					
	不透明塗料塗り (○ 50%程度 ○)																																																					
	板面の品質 (○ 広葉樹1等 ○)																																																					
	接着の程度 (○ 1類 ○ 2類)																																																					
○ 天然木	樹種名 ()																																																					
化板合板	接着の程度 (○ 1類 ○ 2類)																																																					
○ 特殊加工	化板加工の方法 ○ プリット																																																					
化板合板	○ 樹脂系化板合板																																																					
	○ 樹脂系化板合板																																																					
	接着の程度 (○ 1類 ○ 2類)																																																					
○ MDF	○ 普通MDF ○ 素地MDF 記号 ()																																																					
	○ 化板MDF 記号 ()																																																					
	○ 曲げ強さによる区分																																																					
	○ 耐水性による区分																																																					
<p>霧島市建築改修工事特記仕様書</p>		<p>設 (株) JUN 設計</p> <p>鹿児島県知事登録 第 1-2-18 号</p> <p>〒899-4501 鹿児島県霧島市福山町福山4690番地6</p> <p>TEL 0995-56-2938 FAX 0995-56-2709</p>	<p>権元 由香 印</p> <p>一級建築士登録 第 365156 号</p> <p>所 権元 担 権元 製 権元 長 当 図 元</p>	<p>法適合確認</p> <p>○○○○構造設計事務所</p> <p>登録 第 1-00-000 号</p> <p>鹿児島県○○市○○町○○○</p> <p>○○○○設備設計事務所</p> <p>登録 第 1-00-000 号</p> <p>鹿児島県○○市○○町○○○</p> <p>● 構造設計 ● 構造法適合確認</p> <p>構造設計一級建築士 第 0000 号</p> <p>● 設備設計 ● 設備法適合確認</p> <p>設備設計一級建築士 第 0000 号</p>	<p>設計年月日 令和 4年 3月</p> <p>工事名称 R8国分北小学校渡り廊下B改築工事</p> <p>図面名称 特記仕様書(新営その11)</p> <p>図面番号 A-11</p>																																																	

16 16

建具工事 (続き)

○ 軽量シャッター (16.12.2~4)

開閉方式の種類 ○ 手動式 ○ 上部電動式 (手動併用)

耐風圧強度 () Pa

シャッターケース ○ 設ける ○ 設けない

安全装置 電動シャッターの急降下停止装置
○ 設置する (設置箇所 ○ 建具表による ○)
○ 設置しない

電動シャッターの障害物感知装置 (設置箇所 ○ 建具表による)

スラットの材質の種類
○ JIS G 3312 (塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯) めっきの付着量 (○ Z06又はF06 ○)
○ JIS G 3322 (塗装溶融55%7μmニッケル-亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯) めっきの付着量 (○ AZ90 ○)

スラットの形状 ○ インターロック形 ○ オーバーラッピング形

ガイドレール、座板の材質 ○ ステンレス (SUS304) ○ 溶融亜鉛めっき鋼板

電動式の場合の危害防止機構 ○ 有 (障害物感知装置自動閉鎖型)

電動式の場合の電源 ○ 単相100V (過電流保護装置付) ○ ()

シャッター材料による区分	耐風圧性能区分	開閉方式による区分	収納形式による区分	ガイドレールの材料
○ 2F-4Fタイプ	○ 125	○ バランス式	○ スラット形	○ 溶融亜鉛めっき鋼板
○ 7μmニッケルめっき	○ 100	○ チェック式	○ ロッド形	○ ステンレス鋼板
○ 7μmニッケルめっき	○ 75	○ 電動式	○ バック形	
	○ 50		○ オーバーラッピング形	

オーバーヘッドドアの障害物感知装置 (設置箇所 ○ 建具表による)

● ガラス (9.7) (16.14.2~4)

○ フロートガラスの品質及び厚さの呼びによる種類 ○ 建具表による

○ 型板ガラスの厚さによる種類 ○ 建具表による

○ 網入りガラス及び線入板ガラスの網又は線の形状、板の表面の状態及び厚さの呼びによる種類 ○ 建具表による

○ 合わせガラス
材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに合わせガラスの合計厚さ及び特性による種類
○ 建具表による
形状による種類
○ 平面合わせガラス ○ 曲面合わせガラス
落球衝撃はく離特性並びにショットパイク衝撃特性による種類
○ I類 ○ II-1類 ○ II-2類 ○ III類

● 強化ガラス
形状による種類、材料板ガラスの種類、厚さの呼びによる種類及び特性による種類
● 建具表による
破片の状態及びショットパイク衝撃特性による種類
○ I類 ○ III類

○ 熱線吸収板ガラス
板ガラスによる種類、厚さによる種類
○ 建具表による
性能による種類
○ 1種 ○ 2種

○ 複層ガラス
材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに複層ガラスの厚さ
○ 建具表による
断熱性による区分

16 17

建具工事 (続き)

○ T1 ○ T2 ○ T3 ○ T4 ○ T5 ○ T6
日射取得性、日射遮蔽性による区分
○ G ○ S
封入気体の種類
○ 空気 ○ アルゴン ○

○ 熱線反射ガラス
材料板ガラスの種類及び厚さによる種類
○ 建具表による
日射熱遮蔽性による区分
○ 1種 ○ 2種 ○ 3種
映像調整
○ 行わない ○ 行う

○ 倍強度ガラス
材料板ガラスの種類及び厚さの呼びによる種類
○ 建具表による

ガラス端部の小口加工
対象箇所 ○ 建具表による ○ 図示
仕上げの程度 ()

ガラス留め材及び溝の大きさ

建具の種類	ガラス留め材	ガラス溝の大きさ (mm)
7μmニッケルめっき	● シーリング材 (SR-1) ○ グレージングガラス ○ グレージングチャンネル形 ○	● 建具の製造所の仕様による ○ 図示 ○
鋼板及び鋼製軽量	○ シーリング材 (SR-1) ○	○ 建具の製造所の仕様による ○ 図示 ○
ステンレス製	○ シーリング材 (SR-1) ○	○ 建具の製造所の仕様による ○ 図示 ○
樹脂製	○ シーリング材 (SR-1) ○ ガラス ○ グレージングチャンネル形 ○	○ 建具の製造所の仕様による ○ 図示 ○

耐震性能 建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による

種類	記号		その他性能等
	内貼り用	外貼り用	
○ 日射調整7μm	○ SC-1	○ SC-2	
○ 低放射7μm	○ LE		
○ 衝撃破壊対応ガラス飛散防止7μm	○ GI-1	○ GI-2	
○ 相関変位破壊対応ガラス飛散防止7μm	○ GD-1	○ GD-1	
○ ガラス通過防止7μm	○ DF		

品質は、JIS A 5759による

17 17

カーテンウォール工事 (続き)

○ 取付方法、性能等 (17.1.3) (17.2.2) (17.3.2)

取付方法 ○ 層間方式 ○ 柱、梁方式 ○ 方立方式
○ スパンドレル方式 ○

性能

耐風圧性	水密性	気密性	遮音性	断熱性	耐火性	耐温度差性(℃)
					○ 30分 ○ 1時間 ○	○ 80 ○ 70 ○ 60 ○

耐風圧性
1章 適用区分による風圧力の (○ 1.0 ○ 1.15 ○ 1.3) 倍の風圧力に対応した工法

主要部材の耐風圧性能 (ガラスを除く)

支間距離 (h)	耐風圧性能
4m以下	○ たわみ量が±(1/150)×h かつ絶対量20mm以下であること ○
4mを超える	○

耐震性能 建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による

17 17

カーテンウォール工事 (続き)

○ メタルカーテンウォール (17.2.2、3、5)

性能の確認及び判定方法
○ 性能の確認及び判定方法が確認できる資料を提出し、監督職員の承諾を受ける

金属系材料の種類 ○ アルミ材 ○ 鋼材 ○ ステンレス鋼材

シーリング材の種類 (目地等) 種類及び寸法等 ○ 図示 ○

ガラスの取付け材料
○ シーリング 種類 ○ SR-2 ○ SR-1
支持方法 ○ 4辺支持 ○
○ 構造ガラス 施工箇所 ○ 図示 ○
材質 ○ カロリレンス系 ○ EPDM系 ○ シリコン系
寸法 (mm) ○ H型 ○ Y型 ○ C型
ガラス板厚 () 支持枠の厚さ ()
ウェブの寸法 ()

断熱材の種類 () 厚さ (mm) ()
施工箇所 ○ 図示 ○

形状及び仕上げ
製品の寸法許容差 ○ 標準仕様書 (表17.2.1) による
○

見え掛かり部の仕上げ (アルミ材の場合) 規格等 標準仕様書 (16.2.3) による
種別 (標準仕様書 (表14.2.1) による)
○
着色 ○ 標準色 ○ 特注色

(鋼材及びステンレス鋼材の場合) ○

ガラス溝の寸法、形状等
○ カーテンウォールの製造所の仕様 ○

取付け
カーテンウォール部材の取付け位置の寸法許容差
目地の幅 ○ ±3mm ○
目地心の通り ○ 2mm ○
目地両側の段差 ○ 2mm ○
各階の基準墨から各部材までの距離 ○ ±3mm ○

耐火処理
適用部位 ○ 図示 ○
材料、種別 ○ 図示 ○

材料
コンクリート
種類 ○ 普通コンクリート ○ 軽量コンクリート1種 ○
品質 設計基準強度 (Fc) ○ 30N/mm2 ○
スラング ○ 12cm ○
気乾単位容積質量 ○ 普通コンクリートの場合
2.1t/m3を超え2.5t/m3以下
○ 軽量コンクリートの場合
1.8t/m3~2.1t/m3

単位水量の最大値 ○ 185kg/m3 ○
鉄筋 種類の記号 ○ SD295 ○
補強鉄線 径 (mm) ○ 3.2 ○ 4.0 ○ 5.0 ○ 6.0
網目寸法 ○

シーリング材の種類 (目地等)
種類及び寸法等 ○ 図示 ○

ガラスの取付け材料
○ 構造ガラス 施工箇所 ○ 図示 ○
材質 ○ カロリレンス系 ○ EPDM系 ○ シリコン系
寸法 (mm) ○ H型 ○ Y型 ○ C型
ガラス板厚 ()
支持枠の厚さ ()
ウェブの寸法 ()

耐火処理
適用部位 ○ 図示 ○
材料、種別 ○ 図示 ○

17 18

塗装工事

● 材料 (18.1.3)

● 素地ごしらえ (18.2.2~7)

内部に使用する塗料は、原則水性系のものとする

屋内で使用する塗料の揮発性有機化合物 (VOC) 放散量 ● F☆☆☆☆ ○

防火材料 ● 屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする
○ 次の箇所を除き防火材料とする (箇所:)

下地面等		種別
木部	不透明塗料塗りの場合	○ A種 ○ B種
	透明塗料塗りの場合	● B種 ○ A種
鉄鋼面 (DP以外)		○ C種 ○ A種 ○ B種
鉄鋼面 (DPのみ)		○ B種 ○ A種 ○ C種
亜鉛めっき鋼板 (鋼製建具等以外)		○ A種 ○ B種
亜鉛めっき鋼板 (鋼製建具等)		○ B種
珪酸塩面及びせっこう面		○ B種 ○ A種
コンクリート面 (DP以外) 及びALON® 珪酸塩面		○ B種 ○ A種
押出成形ポリ面板面		○ A種 ○ B種
コンクリート面 (DPのみ)		○ A種 ○ B種
せっこうボード面及びその他ボード面		● B種 ○ A種

霧島市建築改修工事特記仕様書

設 (株) JUN設計
鹿儿島県知事登録 第 1-2-18 号
〒899-4501 鹿儿島県霧島市福山町福山4690番地6
TEL 0995-56-2938 FAX 0995-56-2709

榊元 由香 印
一級建築士登録 第 365156 号

所長 榊元 担当 榊元 製図 榊元

法適合確認

〇〇〇〇構造設計事務所
登録 第 1-00-000 号
鹿儿島県〇〇市〇〇町〇〇〇
〇〇〇〇設備設計事務所
登録 第 1-00-000 号
鹿儿島県〇〇市〇〇町〇〇〇

・構造設計 ・構造法適合確認
構造設計一級建築士 第 0000 号
〇〇〇〇
印

・設備設計 ・設備法適合確認
設備設計一級建築士 第 0000 号
〇〇〇〇
印

設計年月日 令和 4年 3月
工事名称 R8国分北小学校渡り廊下B改築工事
図面名称 特記仕様書 (新営その12)

図面番号
A-12

18 塗装工事 (続き)	<p>○ 錆止め塗料塗り (18.3.2、3)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>下地面等</th> <th>塗料の種類</th> <th>錆止め塗料の種類</th> <th>錆止め塗料塗りの工程</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">鉄鋼面</td> <td>SOP</td> <td>As種</td> <td>見え掛り：A種、見え隠れ：B種</td> </tr> <tr> <td>DP</td> <td>Cs種及びDs種</td> <td>標準仕様書(表18.3.4)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">亜鉛めっき鋼面</td> <td>EP-G</td> <td>Bs種 ○ As種</td> <td>見え掛り：A種、見え隠れ：B種</td> </tr> <tr> <td>SOP</td> <td>○ As種 ○ Bz種</td> <td>鋼製建具等：A種、上記以外：B種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">DP</td> <td>Bz種</td> <td>表18.3.6</td> <td></td> </tr> <tr> <td>EP-G</td> <td>Cz種</td> <td>鋼製建具等：A種、上記以外：B種</td> </tr> </tbody> </table> <p>● 塗装 (18.4.1～18.13.2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>塗 装</th> <th>種 別</th> <th>塗料の種類</th> <th>高日射反射率塗料</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">○ 合成樹脂鋼面 ペイント塗り(SOP)</td> <td>木部屋外</td> <td>○ A種 ○ B種</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>木部屋内</td> <td>○ B種 ○ A種</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>鉄鋼面</td> <td>○ B種 ○ A種</td> <td>○ 適用する</td> </tr> <tr> <td>亜鉛めっき面</td> <td>—</td> <td>○ 適用する</td> </tr> <tr> <td>● クリアー塗り(DL)</td> <td>● B種 ○ A種</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>○ 7714樹脂系非水分散形塗料塗り(NAD)</td> <td>○ B種 ○ A種</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">○ 耐候性塗料塗り (DP)</td> <td>鉄鋼面</td> <td>—</td> <td>上塗り塗料の等級 () 級 ○ 適用する</td> </tr> <tr> <td>亜鉛めっき鋼面</td> <td>—</td> <td>上塗り塗料の等級 () 級 —</td> </tr> <tr> <td>コンクリート面及び 押出成形シート板面</td> <td>○ A種 ○ B種 ○ C種</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>コンクリート面、砂利面、 押出成形シート板面、 せつこうボード面、 その他ボード面等</td> <td>○ B種 ○ A種</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">○ つや有り合成樹脂 樹脂ペイント 塗り(EP-G)</td> <td>コンクリート面、砂利面、 押出成形シート板面、 せつこうボード面、 その他ボード面等</td> <td>○ B種 ○ A種</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>屋内の鉄鋼面</td> <td>○ B種 ○ A種</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>● 合成樹脂樹脂ペイント塗り(EP)</td> <td>● B種 ○ A種</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>○ アルキド樹脂ニス塗り(UC)</td> <td>○ B種 ○ A種</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>○ ビックリ塗り</td> <td></td> <td></td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>○ 特殊機床床材</td> <td></td> <td></td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>○ 木材保護塗料塗り(WP)</td> <td>○ B種 ○ A種</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>高日射反射率塗料(表)を適用する場合の適用箇所は、屋上又は屋根面の金属面とする</p> <p>クリアー塗り(DL)A種の工程2の適用 ○ 適用する (着色剤： ○ 溶剤系着色剤 ○ 油性染料着色剤) ○ 適用しない</p> <p>アルキド樹脂ニス塗り(UC)の工程1の適用 ○ 適用する ○ 適用しない</p> <p>特殊機床床材の工程等 ○</p> <p>○ 高日射反射率塗料塗り 屋根用高日射反射率塗料(JIS K 5675) 種類 ○ 2種 ○ 等級 () 級 塗付け量(kg/m²) ○ 塗料製造所の仕様による</p> <p>○ フッ素樹脂塗装 打放しコンクリート面保護工法 (下塗材) 水性 浸透性吸水防止材 (上塗材) ○ 水性フッ素樹脂クリアー ○ 水性フッ素樹脂クリアー</p> <p>○ 焼付塗装</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>素材</th> <th>焼付種類</th> <th>仕上げ</th> <th>コート</th> <th>ペー</th> <th>部 位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">○ 7714系</td> <td>○ フッ素樹脂</td> <td>○ グラッド</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ アルキド樹脂</td> <td>○ グラッド</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 7714樹脂</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">○ スチール</td> <td>○ フッ素樹脂</td> <td>○ グラッド</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ アルキド樹脂</td> <td>○ グラッド</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 7714樹脂</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">○ 亜鉛めっき 鋼板</td> <td>○ フッ素樹脂</td> <td>○ グラッド</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ アルキド樹脂</td> <td>○ グラッド</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 7714樹脂</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	下地面等	塗料の種類	錆止め塗料の種類	錆止め塗料塗りの工程	鉄鋼面	SOP	As種	見え掛り：A種、見え隠れ：B種	DP	Cs種及びDs種	標準仕様書(表18.3.4)	亜鉛めっき鋼面	EP-G	Bs種 ○ As種	見え掛り：A種、見え隠れ：B種	SOP	○ As種 ○ Bz種	鋼製建具等：A種、上記以外：B種	DP	Bz種	表18.3.6		EP-G	Cz種	鋼製建具等：A種、上記以外：B種	塗 装	種 別	塗料の種類	高日射反射率塗料	○ 合成樹脂鋼面 ペイント塗り(SOP)	木部屋外	○ A種 ○ B種	—	木部屋内	○ B種 ○ A種	—	鉄鋼面	○ B種 ○ A種	○ 適用する	亜鉛めっき面	—	○ 適用する	● クリアー塗り(DL)	● B種 ○ A種	—	—	○ 7714樹脂系非水分散形塗料塗り(NAD)	○ B種 ○ A種	—	—	○ 耐候性塗料塗り (DP)	鉄鋼面	—	上塗り塗料の等級 () 級 ○ 適用する	亜鉛めっき鋼面	—	上塗り塗料の等級 () 級 —	コンクリート面及び 押出成形シート板面	○ A種 ○ B種 ○ C種	—	コンクリート面、砂利面、 押出成形シート板面、 せつこうボード面、 その他ボード面等	○ B種 ○ A種	—	○ つや有り合成樹脂 樹脂ペイント 塗り(EP-G)	コンクリート面、砂利面、 押出成形シート板面、 せつこうボード面、 その他ボード面等	○ B種 ○ A種	—	屋内の鉄鋼面	○ B種 ○ A種	—	● 合成樹脂樹脂ペイント塗り(EP)	● B種 ○ A種	—	○ アルキド樹脂ニス塗り(UC)	○ B種 ○ A種	—	○ ビックリ塗り			—	○ 特殊機床床材			—	○ 木材保護塗料塗り(WP)	○ B種 ○ A種	—	—	素材	焼付種類	仕上げ	コート	ペー	部 位	○ 7714系	○ フッ素樹脂	○ グラッド				○ アルキド樹脂	○ グラッド				○ 7714樹脂					○ スチール	○ フッ素樹脂	○ グラッド				○ アルキド樹脂	○ グラッド				○ 7714樹脂					○ 亜鉛めっき 鋼板	○ フッ素樹脂	○ グラッド				○ アルキド樹脂	○ グラッド				○ 7714樹脂					<p>19 内装工事 (続き)</p> <p>○ 下地の工法 (19.2.3)</p> <p>● ビニル床シート(表) (19.2.2、3)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類の記号</th> <th>色 柄</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>● F5(複層ビニル床シート)</td> <td>○ 無地</td> <td>● 2.0</td> <td>木目調</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>● 柄物</td> <td>○</td> <td>防滑性</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○ 柄物</td> <td>○</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>接合部の処理 ● 熱溶接工法 ○</p> <p>(19.2.2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 別</th> <th>色 柄</th> <th>寸 法</th> <th>厚 さ(mm)</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○ T1(単層ビニル床シート(接着型))</td> <td>○ 無地</td> <td>○ 300×300</td> <td>○ 2.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ FT(複層ビニル床シート(接着型))</td> <td>○ 柄物</td> <td>○ 450×450</td> <td>○ 2.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ KT(2層ビニル床シート)</td> <td>○</td> <td>○ 500×500</td> <td>○ 3.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ FOA(置敷きビニル床シート(置敷き型))</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ FOB(置敷きビニル床シート(置敷き型))</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(19.2.2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 別</th> <th>厚 さ(mm)</th> <th>寸 法</th> <th>性 能</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○ 帯電防止床シート ()</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 帯電防止床シート ()</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 耐動荷重性床シート ()</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 防滑性床シート ()</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 防滑性床シート ()</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>材質の種類 ● 軟質 ○ 硬質 高さ(mm) ○ 60 ○ 75 ● 100 厚さ(mm) ● 1.5以上 ○</p> <p>種類 ○ 単層品 ○ 積層品 色柄 () 厚さ(mm) ○ 寸法(mm) (×)</p> <p>(19.2.2)</p> <p>○ ゴム床タイル (19.2.2)</p> <p>○ カーペット敷き(表) (19.3.2、3)</p> <p>○ 織じゅうたん</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>織り方</th> <th>パイル形状</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○ ウェットカーペット</td> <td>○ 無地パイル</td> </tr> <tr> <td>○ フリットカーペット</td> <td>○ ノーフリット</td> </tr> <tr> <td>○ フリットカーペット</td> <td>○ ノーフリット</td> </tr> </tbody> </table> <p>色柄 ○ 模様のない無地 ○</p> <p>パイル糸の種類等 ○ 無地の織りじゅうたんの種別 (○ A種 ○ B種 ○ C種) ○</p> <p>帯電性 ○ 適用する ○ 適用しない</p> <p>織じゅうたんの接合方法 ○ ヒートボンド工法 ○ つづり縫い</p> <p>下敷き材 ○ 反毛フェルト(JIS L 3204)の第2種2号 呼び厚さ8mm ○</p> <p>○ タフタッドカーペット</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>パイル形状</th> <th>パイル長さ(mm)</th> <th>工 法</th> <th>帯電性</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○ ノーフリット</td> <td>○ 5~7</td> <td>○ 全面接着工法</td> <td>○ 適用する</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ ノーフリット</td> <td>○ 4~6</td> <td>○ グラッド工法</td> <td>○ 適用しない</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ ノーフリット併用</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>下敷き材 (ケリッパ-工法の場合) ○ 反毛フェルト(JIS L 3204)の第2種2号 呼び厚さ8mm ○</p> <p>タフタッドカーペット用接着剤の放散量 ○ F☆☆☆☆ ○</p>	種類の記号	色 柄	厚さ(mm)	備 考	● F5(複層ビニル床シート)	○ 無地	● 2.0	木目調	○	● 柄物	○	防滑性	○	○ 柄物	○		種 別	色 柄	寸 法	厚 さ(mm)	備 考	○ T1(単層ビニル床シート(接着型))	○ 無地	○ 300×300	○ 2.0		○ FT(複層ビニル床シート(接着型))	○ 柄物	○ 450×450	○ 2.5		○ KT(2層ビニル床シート)	○	○ 500×500	○ 3.0		○ FOA(置敷きビニル床シート(置敷き型))	○	○	○		○ FOB(置敷きビニル床シート(置敷き型))	○	○	○		種 別	厚 さ(mm)	寸 法	性 能	備 考	○ 帯電防止床シート ()	○		○		○ 帯電防止床シート ()	○	○	○		○ 耐動荷重性床シート ()	○				○ 防滑性床シート ()	○				○ 防滑性床シート ()	○	○			織り方	パイル形状	○ ウェットカーペット	○ 無地パイル	○ フリットカーペット	○ ノーフリット	○ フリットカーペット	○ ノーフリット	パイル形状	パイル長さ(mm)	工 法	帯電性	備 考	○ ノーフリット	○ 5~7	○ 全面接着工法	○ 適用する		○ ノーフリット	○ 4~6	○ グラッド工法	○ 適用しない		○ ノーフリット併用	○				<p>19 内装工事 (続き)</p> <p>○ タフタッドカーペット</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>パイルの形状</th> <th>種 別</th> <th>施工箇所</th> <th>寸 法</th> <th>総厚さ(mm)</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">○ ノーフリット</td> <td>○ 第一種</td> <td></td> <td>○ 500×500</td> <td>○ 6.5</td> <td>帯電防止</td> </tr> <tr> <td>○ 第二種</td> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> <td>及び</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">○ ノーフリット</td> <td>○ 第一種</td> <td></td> <td>○ 500×500</td> <td>○ 6.5</td> <td>防汚加工品</td> </tr> <tr> <td>○ 第二種</td> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">○ ノーフリット併用</td> <td>○ 第一種</td> <td></td> <td>○ 500×500</td> <td>○ 6.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 第二種</td> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>色柄 ○ 無地 ○ 柄物</p> <p>タフタッドカーペット用接着剤の放散量 ○ F☆☆☆☆ ○</p> <p>タフタッドカーペットの敷き方 平場 ○ 市松敷き ○ 模様流し ○ 階段部分 ○ 市松敷き ○ 模様流し ○</p> <p>見切り、押え金物 材質 () 種類 () 形状等 ○ 図示 ○</p> <p>(19.4.2、3)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 別</th> <th>施工箇所</th> <th>工 法</th> <th>仕 上 げ の 種 別</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">○ 厚膜型塗床材 弾性樹脂系塗床材</td> <td></td> <td></td> <td>○ 平滑仕上げ ○ 防滑仕上げ ○ つや消し仕上げ</td> </tr> <tr> <td></td> <td>○ 薄膜流し展べ工法</td> <td>○ 平滑仕上げ</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">○ 厚膜型塗床材 非弾性樹脂系塗床材</td> <td></td> <td>○ 厚膜流し展べ工法</td> <td>○ 防滑仕上げ</td> </tr> <tr> <td></td> <td>○ 樹脂貼付工法</td> <td>○ 平滑仕上げ</td> </tr> <tr> <td>○ 厚膜型塗床材</td> <td></td> <td></td> <td>○ 平滑仕上げ</td> </tr> </tbody> </table> <p>塗床材の放散量 ○ F☆☆☆☆ ○</p> <p>(19.5.2~5)</p> <p>○ フローリング張り(表)</p> <p>フローリングの放散量等 ○ 標準仕様書(19.5.2)(2)(ア)~(オ)のいずれか ○</p> <p>各工法に使用する接着剤の放散量 ○ F☆☆☆☆ ○</p> <p>○ 単層フローリング(フローリングボード等) 工法 ○ 釘留め工法 (○ 根太張り ○ 直張り) ○ 接着工法 樹種 ○ なら ○ 間伐材等の適用 ○ 適用する ○ 適用しない</p> <p>○ 複合フローリング 工法 ○ 釘留め工法 (○ 根太張り ○ 直張り) ○ 接着工法 樹種 ○ なら ○ 種別 ○ A種 ○ B種 ○ C種 間伐材等の適用 ○ 適用する ○ 適用しない</p> <p>接着工法の場合の不陸緩和材 ○ 合成樹脂発泡シート ○</p> <p>○ 現場塗装仕上げ ○ アルキド樹脂ニス塗り ○ オイルフィッシュの上、ワックス塗り ○ 生地そのまま、ワックス塗り</p>	パイルの形状	種 別	施工箇所	寸 法	総厚さ(mm)	備 考	○ ノーフリット	○ 第一種		○ 500×500	○ 6.5	帯電防止	○ 第二種		○	○	及び	○ ノーフリット	○ 第一種		○ 500×500	○ 6.5	防汚加工品	○ 第二種		○	○		○ ノーフリット併用	○ 第一種		○ 500×500	○ 6.5		○ 第二種		○	○		種 別	施工箇所	工 法	仕 上 げ の 種 別	○ 厚膜型塗床材 弾性樹脂系塗床材			○ 平滑仕上げ ○ 防滑仕上げ ○ つや消し仕上げ		○ 薄膜流し展べ工法	○ 平滑仕上げ	○ 厚膜型塗床材 非弾性樹脂系塗床材		○ 厚膜流し展べ工法	○ 防滑仕上げ		○ 樹脂貼付工法	○ 平滑仕上げ	○ 厚膜型塗床材			○ 平滑仕上げ	<p>19 内装工事 (続き)</p> <p>○ 畳敷き (19.6.2)</p> <p>種別 ○ A種 (畳表： ○ JS ○ J1) ○ B種 ○ C種 (畳床： ○ PS-C20 ○ PS-C25 ○ PS-C30) ○ D種 (畳床： ○ KT-I ○ KT-II ○ KT-III ○ KT-K ○ KT-N)</p> <p>下地の種類 ○ 標準仕様書(表12.6.1)による床組 ○ 断熱材/断熱材下地(ノック) (表) (表) ○</p> <p>畳表及び畳床は放散量、70%以上及び70%以上を発生しないか、発生が極めて少ない材料を使用したものとする</p> <p>衝撃緩和型畳 (畳表： ○ C1 ○ C2)</p> <p>MDF及びパーティクルボードの放散量 ○ F☆☆☆☆ ○ (19.7.2、3)</p> <p>合板の放散量 ● 標準仕様書(19.7.2)(2)(イ)~(d)のいずれか ○</p> <p>合板の防虫処理の運用 ○ 行う ● 行わない</p> <p>接着剤の放散量 ○ F☆☆☆☆ ○</p> <p>木質系シート板(表)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 別</th> <th>厚 さ(mm)、規格等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○ 硬質木質系シート板(NF)</td> <td>○ 15 ○ 20 ○ 25 ○ 図示</td> </tr> <tr> <td>○ 中質木質系シート板(NM)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 普通木質系シート板(N)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 硬質木質系シート板(NF)</td> <td>○ 12 ○ 15 ○ 18 ○ 21</td> </tr> <tr> <td>○ 普通木質系シート板(N)</td> <td>○ 30 ○ 図示</td> </tr> </tbody> </table> <p>繊維強化シート板</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 別</th> <th>厚 さ(mm)、規格等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>● けい酸強化シート板(9472)</td> <td>● 6 ○ 8 ○ 図示</td> </tr> <tr> <td>普通ボード 0.8FK</td> <td>○ 突付け ● 目隠し</td> </tr> <tr> <td>○ 化粧けい酸強化シート板(9472)</td> <td>○ 910×2,730 ○ (目地) ○ 目隠しシールド工法 ○ シールド工法 (○ 74製 ○ 樹脂製) (厚さ) ○ 6(不燃) ○ 8(不燃) ○ (仕上げ) ○ UV塗装 ○ シールド張り ○ 突板張り ○ 一般塗装 ○</td> </tr> </tbody> </table> <p>火山性ガラス質複層板(VSボード)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 別</th> <th>厚 さ(mm)、規格等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○ 火山性ガラス質複層板</td> <td>○ 図示 ○</td> </tr> <tr> <td>種別 ○ 図示 ○</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	種 別	厚 さ(mm)、規格等	○ 硬質木質系シート板(NF)	○ 15 ○ 20 ○ 25 ○ 図示	○ 中質木質系シート板(NM)		○ 普通木質系シート板(N)		○ 硬質木質系シート板(NF)	○ 12 ○ 15 ○ 18 ○ 21	○ 普通木質系シート板(N)	○ 30 ○ 図示	種 別	厚 さ(mm)、規格等	● けい酸強化シート板(9472)	● 6 ○ 8 ○ 図示	普通ボード 0.8FK	○ 突付け ● 目隠し	○ 化粧けい酸強化シート板(9472)	○ 910×2,730 ○ (目地) ○ 目隠しシールド工法 ○ シールド工法 (○ 74製 ○ 樹脂製) (厚さ) ○ 6(不燃) ○ 8(不燃) ○ (仕上げ) ○ UV塗装 ○ シールド張り ○ 突板張り ○ 一般塗装 ○	種 別	厚 さ(mm)、規格等	○ 火山性ガラス質複層板	○ 図示 ○	種別 ○ 図示 ○	
	下地面等	塗料の種類	錆止め塗料の種類	錆止め塗料塗りの工程																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
鉄鋼面	SOP	As種	見え掛り：A種、見え隠れ：B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	DP	Cs種及びDs種	標準仕様書(表18.3.4)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
亜鉛めっき鋼面	EP-G	Bs種 ○ As種	見え掛り：A種、見え隠れ：B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	SOP	○ As種 ○ Bz種	鋼製建具等：A種、上記以外：B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
DP	Bz種	表18.3.6																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	EP-G	Cz種	鋼製建具等：A種、上記以外：B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
塗 装	種 別	塗料の種類	高日射反射率塗料																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
○ 合成樹脂鋼面 ペイント塗り(SOP)	木部屋外	○ A種 ○ B種	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	木部屋内	○ B種 ○ A種	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	鉄鋼面	○ B種 ○ A種	○ 適用する																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	亜鉛めっき面	—	○ 適用する																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
● クリアー塗り(DL)	● B種 ○ A種	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
○ 7714樹脂系非水分散形塗料塗り(NAD)	○ B種 ○ A種	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
○ 耐候性塗料塗り (DP)	鉄鋼面	—	上塗り塗料の等級 () 級 ○ 適用する																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	亜鉛めっき鋼面	—	上塗り塗料の等級 () 級 —																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	コンクリート面及び 押出成形シート板面	○ A種 ○ B種 ○ C種	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	コンクリート面、砂利面、 押出成形シート板面、 せつこうボード面、 その他ボード面等	○ B種 ○ A種	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
○ つや有り合成樹脂 樹脂ペイント 塗り(EP-G)	コンクリート面、砂利面、 押出成形シート板面、 せつこうボード面、 その他ボード面等	○ B種 ○ A種	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	屋内の鉄鋼面	○ B種 ○ A種	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	● 合成樹脂樹脂ペイント塗り(EP)	● B種 ○ A種	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	○ アルキド樹脂ニス塗り(UC)	○ B種 ○ A種	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
○ ビックリ塗り			—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
○ 特殊機床床材			—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
○ 木材保護塗料塗り(WP)	○ B種 ○ A種	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
素材	焼付種類	仕上げ	コート	ペー	部 位																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
○ 7714系	○ フッ素樹脂	○ グラッド																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	○ アルキド樹脂	○ グラッド																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	○ 7714樹脂																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
○ スチール	○ フッ素樹脂	○ グラッド																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	○ アルキド樹脂	○ グラッド																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	○ 7714樹脂																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
○ 亜鉛めっき 鋼板	○ フッ素樹脂	○ グラッド																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	○ アルキド樹脂	○ グラッド																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	○ 7714樹脂																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
種類の記号	色 柄	厚さ(mm)	備 考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
● F5(複層ビニル床シート)	○ 無地	● 2.0	木目調																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
○	● 柄物	○	防滑性																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
○	○ 柄物	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
種 別	色 柄	寸 法	厚 さ(mm)	備 考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
○ T1(単層ビニル床シート(接着型))	○ 無地	○ 300×300	○ 2.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
○ FT(複層ビニル床シート(接着型))	○ 柄物	○ 450×450	○ 2.5																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
○ KT(2層ビニル床シート)	○	○ 500×500	○ 3.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
○ FOA(置敷きビニル床シート(置敷き型))	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
○ FOB(置敷きビニル床シート(置敷き型))	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
種 別	厚 さ(mm)	寸 法	性 能	備 考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
○ 帯電防止床シート ()	○		○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
○ 帯電防止床シート ()	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
○ 耐動荷重性床シート ()	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
○ 防滑性床シート ()	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
○ 防滑性床シート ()	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
織り方	パイル形状																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
○ ウェットカーペット	○ 無地パイル																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
○ フリットカーペット	○ ノーフリット																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
○ フリットカーペット	○ ノーフリット																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
パイル形状	パイル長さ(mm)	工 法	帯電性	備 考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
○ ノーフリット	○ 5~7	○ 全面接着工法	○ 適用する																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
○ ノーフリット	○ 4~6	○ グラッド工法	○ 適用しない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
○ ノーフリット併用	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
パイルの形状	種 別	施工箇所	寸 法	総厚さ(mm)	備 考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
○ ノーフリット	○ 第一種		○ 500×500	○ 6.5	帯電防止																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	○ 第二種		○	○	及び																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
○ ノーフリット	○ 第一種		○ 500×500	○ 6.5	防汚加工品																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	○ 第二種		○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
○ ノーフリット併用	○ 第一種		○ 500×500	○ 6.5																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	○ 第二種		○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
種 別	施工箇所	工 法	仕 上 げ の 種 別																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
○ 厚膜型塗床材 弾性樹脂系塗床材			○ 平滑仕上げ ○ 防滑仕上げ ○ つや消し仕上げ																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
		○ 薄膜流し展べ工法	○ 平滑仕上げ																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
○ 厚膜型塗床材 非弾性樹脂系塗床材		○ 厚膜流し展べ工法	○ 防滑仕上げ																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
		○ 樹脂貼付工法	○ 平滑仕上げ																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
○ 厚膜型塗床材			○ 平滑仕上げ																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
種 別	厚 さ(mm)、規格等																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
○ 硬質木質系シート板(NF)	○ 15 ○ 20 ○ 25 ○ 図示																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
○ 中質木質系シート板(NM)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
○ 普通木質系シート板(N)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
○ 硬質木質系シート板(NF)	○ 12 ○ 15 ○ 18 ○ 21																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
○ 普通木質系シート板(N)	○ 30 ○ 図示																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
種 別	厚 さ(mm)、規格等																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
● けい酸強化シート板(9472)	● 6 ○ 8 ○ 図示																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
普通ボード 0.8FK	○ 突付け ● 目隠し																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
○ 化粧けい酸強化シート板(9472)	○ 910×2,730 ○ (目地) ○ 目隠しシールド工法 ○ シールド工法 (○ 74製 ○ 樹脂製) (厚さ) ○ 6(不燃) ○ 8(不燃) ○ (仕上げ) ○ UV塗装 ○ シールド張り ○ 突板張り ○ 一般塗装 ○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
種 別	厚 さ(mm)、規格等																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
○ 火山性ガラス質複層板	○ 図示 ○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
種別 ○ 図示 ○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
19 内装工事	<p>● 接着剤 (19.2.2)</p> <p>ビニルシート、ビニル床材、ゴム床材用接着剤の放散量 ● F☆☆☆☆ ○</p> <p>接着剤は可塑剤(難揮発性の可塑剤を除く)が添付されていないものとする</p> <p>施工箇所の下地がコンクリート系下地及び木質下地以外の場合の接着剤の種類 ○ 図示 ○</p>	<p>設計者 (株) J U N 設計 鹿児島県知事登録 第 1-2-18 号 〒899-4501 鹿児島県霧島市福山町福山4690番地6 TEL 0995-56-2938 FAX 0995-56-2709</p> <p>権元 由香 印 一級建築士登録 第 365156 号</p> <p>法適合確認</p> <p>〇〇〇〇構造設計事務所 登録 第 1-00-000 号 鹿児島県〇〇市〇〇町〇〇〇</p> <p>〇〇〇〇設備設計事務所 登録 第 1-00-000 号 鹿児島県〇〇市〇〇町〇〇〇</p> <p>・構造設計 ・構造法適合確認 構造設計一級建築士 第 0000 号 〇〇〇〇</p> <p>・設備設計 ・設備法適合確認 設備設計一級建築士 第 0000 号 〇〇〇〇 印</p> <p>設計年月日 令和 4年 3月 工事名称 R8国分北小学校渡り廊下B改築工事 図面名称 特記仕様書(新営その13)</p> <p>図面番号 A-13</p>																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															

霧島市建築改修工事特記仕様書

19 内装工事 (続き)	繊維板	種 類	厚さ(mm)、規格等
	○ 繊維板(MDF)	○ 図示	○ 3 ○ 7 ○ 9 ○ 12 ○
	○ ハードボード	○ 図示	○ 2.5 ○ 3.5 ○ 5 ○ 7
	○ 素地ハードボード	○	
○ 床研磨板(RN)	○ 研磨板(RS)	○ 内装用化粧ハードボード(DI)	
○ 床研磨板(RN)	○ 研磨板(RS)	○ 外装用化粧ハードボード	
○ 化粧ハードボード	○ 図示	○ 9 ○ 12 ○ 15 ○ 18	
○ A級化粧ハードボード(A-1B)	○		
○ 天井仕上げ材	○		
○ 内装仕上げ材	○		
パネライ	種 類	厚さ(mm)、規格等	
○ 単板張りパネライ	○ 図示	○ 10 ○ 12 ○ 15 ○ 18	
○ 無研磨板(VN)	○		
○ 研磨板(VS)	○		
○ 化粧パネライ	○ 図示	○ 10(難燃) ○ 12(難燃) ○	
○ 単板パネライ(DV)	○		
○ プラスチックパネライ(DO)	○		
○ 塗装(DC)	○		
吸音材	種 類	厚さ(mm)、規格等	
○ ロックウール化粧吸音板(RR)	○ 9(不燃) ○ 12(不燃) ○ 15(不燃)		
○ フライクイブ	○		
○ 凹凸クイブ	○		
○ ロックウール吸音ボード(1号)	○ 図示 ○ 25 ○		
○ グラスウール吸音ボード(32K)	○ 25(ガラスウール包み) ○		
せっこうボード	種 類	厚さ(mm)、規格等	
● せっこうボード(GB-R)	● 12.5(不燃) ○ 15(不燃) ○		
○ シンクボード(GB-S)	○ 12.5 (○ 不燃 ○ 準不燃)		
○ 強化せっこうボード(GB-F)	○ 12.5(不燃) ○ 15(不燃)		
● 化粧せっこうボード(GB-D)	● 15(準不燃) 9.5(準不燃)		
○ せっこうボード(GB-L)	○ 9.5		
○ 不燃難燃せっこうボード(GB-NC)	○ 9.5(不燃)		
○ 化粧無し(下地張り用)	○		
○ 化粧有り(15mm厚)	○		
合板類	種 類	厚さ(mm)、規格等	
● 普通合板	○ 図示 ● T-2		
品名: 9mm合板	● 5.5		
単板の樹種名: 7mm			
板面品質: 2等以上			
○ 天然木化粧板	○ 図示 ○		
化粧板の単板の樹種名:			
○ 特殊加工化粧板	○ 図示 ○		
品名:			
接着の程度:			
単板の樹種名:			
化粧加工の方法:			
○ オバーレイ	○ プラット		
○ 塗装	○		

19 内装工事 (続き)	その他ボード類	種 類	厚さ(mm)、規格等
	○ 樹脂化粧板	JIS K 6903による	○ 1.2 ○
	○		
	○		
天井のボード類(ロックウール吸音板を除く)の重ね張りをを行う場合	○ 図示による ○		
合板類の張付け	○ A種 ● B種		
せっこうボードの目地工法等	目地工法の種類		
● 仕上げ表による			
突付け工法及び目透し工法のエッジの種類	● Aタイプ ○ Bタイプ		
遮音シール材	○ 適用する ○ アル系又はウレタン系シール材		
○ 適用しない	○ ジョイントパウト (JIS A 6914)		
ホルムアルデヒド放散量	○ F☆☆☆☆ ○		
壁紙張り			
断熱材			

19 内装工事 (続き)	○ 床下地材	○ 乾式遮音二重床用床下地材 (樹脂製支柱式) ○ 断熱性床下地材
	○ 化粧塩ビシート	BL認定及び「建築物の遮音性能基準と設計指針(第2版)(日本建築学会)」で規定する「床衝撃音レベルに関する適用等級」の2級程度を有するものとし、製造所の仕様による
	○ システム天井	
	○ 浴室天井材	
20 ユニット及びその他工事 (続き)	○ フリーアクセスフロア	
	○ 移動間仕切り	
	○ 移動間仕切り	
	○ 移動間仕切り	

20 ユニット及びその他工事 (続き)	○ 可動間仕切	
	○ 移動間仕切り	
	○ 移動間仕切り	
	○ 移動間仕切り	

霧島市建築改修工事特記仕様書	設計者	(株) J U N 設計 鹿児島県知事登録 第 1-2-18 号 〒899-4501 鹿児島県霧島市福山町福山4690番地6 TEL 0995-56-2938 FAX 0995-56-2709	権元 由香 印 一級建築士登録 第 365156 号	法適合確認	〇〇〇〇構造設計事務所 登録 第 1-00-000 号 鹿児島県〇〇市〇〇町〇〇〇	・構造設計 ・構造法適合確認 構造設計一級建築士 第 0000 号 〇〇〇〇	設計年月日 令和 4年 3月	図面番号
					〇〇〇〇設備設計事務所 登録 第 1-00-000 号 鹿児島県〇〇市〇〇町〇〇〇	・設備設計 ・設備法適合確認 設備設計一級建築士 第 0000 号 〇〇〇〇	工事名称 R8国分北小学校渡り廊下B改築工事	A-14
							図面名称 特記仕様書(新営その14)	

2.0 ユニット及びその他工事 (続き)

○ トイレブース (20.2.5)

表面材の材料	色柄	脚部形状	トイレット	
			形状	材質
○ F51樹脂系化粧板	○ 無地	○ 幅木タイプ	○ 標準	○ 製造所の仕様
○ F12樹脂系化粧板	○ 柄物	○	○ F	○ F&M製 ○ ステン製

吊り方式 ○ 中心吊り、戸当たり付 ○

パネル材料の熱膨張係数 ○ F☆☆☆☆ ○

○ 手すり (20.2.6)

○ 集成材手すり

形式	径	材種	仕上
○ 1段	○ 35φ ○ 45φ ○	○ F	○ DL
○ 2段	○ 35φ ○	○	○

○ 既製手すり (樹脂製)

形式	径	ブラケット	備考
○ 0型(1段)	○ 40φ ○	F&M合金製(心材共)	指づめ防止材共
○ 0型(2段)	○ 34φ ○		

点字標示板 () 箇所
JIS T 0921に基づく点字の表示原則及び表示方法による
○ カリカネット製 大きさ: 120×150程度 厚み: 0.1mm程度
○ 塩ビ製 大きさ: 100×125程度 厚み: 0.1mm程度

○ 視覚障害者用床タイル (11.2.2) (19.2.2)

施工箇所	種類	寸法(mm)	厚さ(mm)
屋内	○ 塩化ビニル製	○ 300×300 ○	○ 7.0 ○
	○ 樹脂製	○ 300×300 ○	○ 17程度
	○ レンコンクリート製	○ 300×300 ○	○ 30 ○
屋外	○ 樹脂製	○ 300×300 ○	○ 17程度
	○ レンコンクリート製	○ 300×300 ○	○ 30 ○
	○ コンクリート製	○ 300×300 ○	○ 60

視覚障害者用ブロッカー等の突起の形状及びその配列はJIS T 9251による

○ 樹脂系点字紙 (熱転写用)
寸法 ○ 300角 ○ 500角
色 ○ 黄色 ○
留付け 両面からの挟み込みネジ式又は接着式

● 階段滑り止め (20.2.7)

材種及び形状等
材種 ○ ステン製 ○ 黄銅製押出形材 ○ F&M製押出形材 ○
形状 ● タイ型(タイの材質: ゴム又は合成樹脂等) ○ タイ型
端部の形状 ● フラットあり 材質 ● ゴム又は合成樹脂 ○ フラットなし ○

寸法(幅) ● 35mm程度 ○ 40mm程度 ○ 50mm程度
取付け工法 ● 接着工法 ● 埋込み工法

○ 床目地棒 (20.2.8)

床仕上げの異なる箇所には目地棒を入れる
○ ステン製: □型(幅40程度、厚1.5) (標準詳細図4-31-1)
○ ステン製: 6×12 (標準詳細図4-31-2)
○ 黄銅製: 6×12 (標準詳細図4-31-2)

○ 黒板及びホワイトボード (20.2.9)

○ 黒板 区分 ○ 焼付け ○
種類 ○ 鋼製黒板 ○ ほうろう黒板 ○
色 ○ 緑 ○

○ 約イボード

○ 鏡 (20.2.10)

取付箇所 ()
寸法(mm) ○ 図示 ○
厚さ(mm) ○ 5 ○

○ 表示 (20.2.11)

衝突防止表示
○ 設置する (設置場所: ○ 図示 ○)
形状・寸法 (○ 30φ ○)
材質 (○ ステン製 ○)
○ 設置しない

2.0 ユニット及びその他工事 (続き)

○ 煙突ライニング (20.2.13)

誘導標識、非常用出入口等の表示
○ 消防法に適合する市販品 ○

室名札、ピクトグラム、案内板等の形状、寸法、材質、色、書体、印刷等の種別、取付け形式等 (案内用図記号は、JIS Z 8210による)
○ 図示による

適用安全使用温度 ○ 400℃まで ○ 650℃まで ○

工法 ○ 鋼製ユニット煙突 (煙突用成形ライニング材)
○

○ キャスター耐火材 煙突用成形ライニング材の製造所の指定する製品とする (20.2.14)

形式	操作方式	種類	スライの種類	スライ幅(mm)	ギヤ、レールの材質	幅、高さ、取付箇所
○ 横形	○ 手動	○ ギヤ式	○ F&M合金製	○ 25	○ 鋼製	○ 図示
		○ コード式				
		○ 操作棒式				
	○ 電動	—				
○ 縦形	○ 手動	○ 2本操作コード式	○ F&Mスライ	○ 80	○ F&M合金製	○ 図示
		○ 1本操作コード式				
		○ 電動				
	○ 電動	—				

横型ブラインドにおいてF&M合金製の製品を使用する場合は、㊦とする
なお、調達基準は以下の通りとする

明度L+値	日射反射率
○ 70.0以下	40.0%以上
○ 70.0~80.0以下	50.0%以上
○ 80.0以上	60.0%以上

縦型ブラインドのスライの材質
○ F&Mスライ: 焼付け塗装仕上げ
○ カスライ: 消防法で定める防炎性能の表示がある特殊樹脂加工

ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する場合は、㊦とする (20.2.15)

操作方式	スライの材質	その他の材料	幅・高さ取付箇所	品質等
○ スライ式	○ 繊維製	○ 製造所の仕様	○ 図示	○
○ コード式	○ 合成・天然繊維製		○	
○ 電動式	○ 木製			

スクリーンの仕様
消防法で定める防炎性能の表示があるもの
ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する場合は、㊦とする (20.2.16)

形式	開閉操作	ひだの種類	商品名(程度)	取付箇所
○ シングル	○ 手引き	○ フォスひだ		○ 図示
	○ 引分け	○ ひも引き	○ 箱ひだ、つまひだ	○
	○ 電動	○ プレンひだ、片ひだ		
○ シングル	○ 手引き	○ フォスひだ		○ 図示
	○ 引分け	○ ひも引き	○ 箱ひだ、つまひだ	○
	○ 電動	○ プレンひだ、片ひだ		

生地仕様
消防法で定める防炎性能の表示があるもの
ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する場合は、㊦とする

暗幕カーテンの両端、上部及び召し合せの重なり
○ 300mm以上 ○

○ カーテン (20.2.17)

材料による区分 ○ F&M製又はF&M合金の押出成形型材 ○ ステン製
強さによる区分 ○ 10-90 ○
仕上げ ○ F&M製 ○
形状 ○ 角形 ○

○ カーテンレール (20.2.18)

2.0 ユニット及びその他工事 (続き)

○ ブラインドボックス及びカーテンボックス

溝幅×深さ(mm) ○ 90×150 ○ 120×80 ○ 120×150
○ 150×80 ○ 図示 ○

材質 ○ 集成材 (仕上げ:)
○ F&M製 押出型材 (市販品)
標準仕様書(表14.2.1)による種別
○ BC-1 ○ BC-2
色合い
○ 標準色 ()
○ 特注色 ()
○ 鋼製 (仕上げ:)

材質 ○ F&M製押出型材 ○
○ シルバー ○ 焼付 ○
施工箇所 ○ 図示

材質 ○ F&M製押出型材 ● 塩化ビニル製
施工箇所 ● 仕上げ表による ○

材質 ○ F&M製押出型材
○ フック: 耐荷重30kg程度 2個/m

材種	寸法	形式	外枠	内枠
● F&M製	● 450×450	● 一般型	○ 屋内外用	● 樹脂タイプ
○	○ 600×600	● 屋内用	○ 目地タイプ	○ 目地タイプ
	○	○ 気密型		

(品質・性能・試験方法) 建築材料等品質性能表による

材種	寸法	型式	備考
(底板) ○ 鋼製	○ 450×450	○ 一般型	○ 屋内外用 ○ 鍵付き
○	○ 600×600	○ 密閉型	○ 屋内用 ○ 鍵なし
(枠) ○ F&M製	○		
○			
(目地) ○ ステン製			
○			

密閉型とは、ギルト、ナット等が構造にロックを装着したものとす (品質・性能・試験方法) 建築材料等品質性能表による

方向	タイプ	耐火性能	防水性能	備考
○ 垂直方向	○ 完全スリット型	○ 耐火型	○ 有り	
○ 水平方向	○	○ 非耐火型	○ 無し	

目地

目地	内壁	外壁
目地材	○ シリング材(見え掛りのみ) ○	○ シリング材(見え掛りのみ) ○ シリング材(内外とも)
目地寸法(幅mm×深さmm)	○ 20×10 ○	○ 20×10 ○

目地材の材質は、標準仕様書(表9.7.1)による

目地材の材質は、標準仕様書(表9.7.1)による

適用箇所 ○ EVタイプ ○
○ 水膨張性コンクリート打継止水材 寸法: 幅20×厚10

耐震性能 建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による

合板類、MDF及びビニルカーペット、接着剤の熱膨張係数
○ 規制対象外 ○

○ 市販品 (埋込みタイプ) ○

材質	仕上げ	寸法	原	表示
○ 鋼製	○ 焼付塗装	○ W300×H900程度	○ 有り	○ 絵、文字表示
○	○	○	○ 無し	○

○ 打継止水材

● エキスパンション・ジョイント金物

○ 造作家具

○ 消火器ボックス

○ 構造設計事務所
登録 第 1-00-000 号
鹿児島県○○市○○町○○○
● 構造設計 ● 構造法適合確認
構造設計一級建築士 第 0000 号

○ 設備設計事務所
登録 第 1-00-000 号
鹿児島県○○市○○町○○○
● 設備設計 ● 設備法適合確認
設備設計一級建築士 第 0000 号

設計年月日 令和 4年 3月
工事名称 R8国分北小学校渡り廊下B改築工事
図面番号 図面名称 特記仕様書(新営その15)

2.0 ユニット及びその他工事 (続き)

○ くつふきマット

材種	受け枠	備考
○ 塩化ビニル又はゴム製	○ ステン製(SUS304)	
○ 硬質F&M合金製	○ 硬質F&M合金	
○ ステン製(SUS304)製(ノックアップ型)	○	

○ ステンレス流し台

○ 優良住宅部品 (樹脂製) ○

上板及びシンク底部はステンレス製、単槽シンク、トラップ付

寸法	開戸	引き出し	備考
○ W1,200×D550~600×H800	○ 3枚 ○	○ 1段 ○	○ 排水口付
○ W1,500×D550~600×H800	○ 4枚 ○	○ 1段 ○	
○ W1,800×D550~600×H800	○ 4枚 ○	○ 1段 ○	

○ コンロ台

○ 優良住宅部品 (樹脂製) ○

トップトラップはステンレス製、バックガード (○ 有り ○ 無し)

寸法	開戸
○ W600×D550~600×H620	○ 2枚 ○
○ W700×D550~600×H620	○ 1枚又は2枚 ○

○ 吊戸棚

○ 優良住宅部品 (樹脂製) ○

寸法	開戸	扉板
○ W900×D350~450×H500	○ 2枚 ○	○ 1段 ○
○ W600×D350~450×H500	○ 2枚 ○	○ 1段 ○

○ 水切棚

○ フード

○ 既製品 (ステン製一般型) ○

○ 市販品 (レンジフード) (参考商品名:)
○ 標準詳細図6-11-2 (ステン板厚 ○ 0.4 ○ 1.0)

材種	形式	高さ(mm)	操作方法	固定方法	備考
○ F&M合金製	○ フード一式		○ ホット方式	○ 埋込式	
	○ 同一断面式		○ ロック式	○ ペース式	
				○ バック式	

材種 ○ ステン製 (SUS304) ○

○ 旗竿

○ 旗竿受金物

○ 車止め支柱

○ フェンス

フェンスの種類及び形状
○ ビニル被覆鉄パイプフェンス 高さ (○ 図示 ○ m)
(参考製品名:)
○ 樹脂塗装メッシュフェンス 高さ (○ 図示 ○ m)
(参考製品名:)
○ 鋼管フェンス 高さ (○ 図示 ○ m)
(参考製品名:)
○ F&Mフェンス 高さ (○ 図示 ○ m)
(参考製品名:)

○ 敷地境界標

○ コンクリートブロック製の市販品程度 ○ 金属製 (真ちゅう製50角、フック共)

○ ブレキャストコンクリート (20.3.3、4)

コンクリートの設計基準強度
○ 水セメント比55%以下、単位セメント量の最小値300kg/m³を満足する調合強度
○ 図示

配筋 ○ 配筋を定めた計算書を監督職員に提出する ○ 図示

取付け方法 ○ 図示 ○

霧島市建築改修工事特記仕様書

(株)JUN設計

鹿児島県知事登録 第 1-2-18 号
〒899-4501 鹿児島県霧島市福山町福山4690番地6
TEL 0995-56-2938 FAX 0995-56-2709

榊元 由香 印
一級建築士登録 第 365156 号

所長 榊元 担当 榊元 製図 榊元

法適合確認

○○○○構造設計事務所
登録 第 1-00-000 号
鹿児島県○○市○○町○○○
● 構造設計 ● 構造法適合確認
構造設計一級建築士 第 0000 号

○○○○設備設計事務所
登録 第 1-00-000 号
鹿児島県○○市○○町○○○
● 設備設計 ● 設備法適合確認
設備設計一級建築士 第 0000 号

設計年月日 令和 4年 3月

工事名称 R8国分北小学校渡り廊下B改築工事

図面名称 特記仕様書(新営その15)

図面番号

A-15

2 0 ユニット及びその他工事 (続き)	<p>○ 間知石及びコンクリート間知ブロック積み (20. 4. 2、3)</p> <table border="1"> <tr> <th>材 種</th> <th>種 類</th> <th>質量区分</th> <th>備 考</th> </tr> <tr> <td>○ 間知石</td> <td>○ 花こう岩 ○ 凝灰岩</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>○ コンクリート間知ブロック</td> <td>—</td> <td>○ A ○ B</td> <td></td> </tr> </table> <p>積み方 ○ 谷積み ○ 布積み</p> <p>目塗り ○ 図示 ○</p> <p>伸縮調整目地 材種 ○ 図示 ○ 厚さ ○ 図示 ○</p> <p>形状 ○ 幅 () × 高さ () ○ 図示</p> <p>仕様 ○ 下記に示す製造所の商品程度とする () ○ 以下による 枠の材質 ○ 7M20G製 ○ 表面の材質 ○ 塩ビ発泡シート張り ○</p> <p>材種 ○ マシン樹脂化粧板張り (心材: 集成材) ○ 人工大理石 奥行き (mm) ○ 約450 ○ 約600 ○ 図示</p> <p>○ 固定式</p> <table border="1"> <tr> <th>材 質</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>高さ (mm)</th> <th>備 考</th> </tr> <tr> <td>○ 網入り磨き板ガラス</td> <td>○ 6.8</td> <td>○ 500</td> <td>7M2製枠付き</td> </tr> <tr> <td>○ 網入り磨き板ガラス</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> </table> <p>○ 可動式</p> <table border="1"> <tr> <th>種 類</th> <th>材 質</th> <th>高さ (mm)</th> <th>備 考</th> </tr> <tr> <td>○ 垂直下降式 (巻取り式)</td> <td>○ 不織布 (不燃認定品) ○</td> <td>○ 500 ○ 800</td> <td>ガイドレール ○ 固定式 (壁埋込型) ○ 可動式 (天井収納型)</td> </tr> <tr> <td>○ 回転下降式</td> <td>鋼板製又は7M2製</td> <td>○ 500 ○ 800 ○</td> <td>表面仕上げ ○ 天井材張り ○</td> </tr> </table> <p>下降機構 煙感知器連動及び手動開放装置 (埋込型)</p> <p>○ 屋外掲示板</p> <p>形状 ○ 幅 () × 高さ () ○ 図示</p> <p>照明器具 ○ 有り ○ 無し</p> <p>施錠 ○ 有り ○ 無し</p> <p>製造所 下記に示す製造所の商品程度とする ()</p>	材 種	種 類	質量区分	備 考	○ 間知石	○ 花こう岩 ○ 凝灰岩	—	—	○ コンクリート間知ブロック	—	○ A ○ B		材 質	厚さ (mm)	高さ (mm)	備 考	○ 網入り磨き板ガラス	○ 6.8	○ 500	7M2製枠付き	○ 網入り磨き板ガラス	○	○		種 類	材 質	高さ (mm)	備 考	○ 垂直下降式 (巻取り式)	○ 不織布 (不燃認定品) ○	○ 500 ○ 800	ガイドレール ○ 固定式 (壁埋込型) ○ 可動式 (天井収納型)	○ 回転下降式	鋼板製又は7M2製	○ 500 ○ 800 ○	表面仕上げ ○ 天井材張り ○	2 1 排水工事 (続き)	<p>● 現場打ちの場合のコンクリート材料 設計基準強度 ● 18N/mm2 ○</p> <p>● 現場打ちの場合の鉄筋 種類の記号 ● SD295A</p> <p>○ 排水枘が現場打ちの場合の足掛け金物 ○ 標準仕様書 (21. 2. 2) (6) (材) 材質 ○ ステン製 ○ 防錆処理を行った鋼製 ○ 合成樹脂被覆加工されたもの</p> <p>凍上抑制層に用いる材料 ○ (砂を用いる場合の粒度試験) ○ 行う ○ 行わない</p> <p>○ 鑄鉄製ふた (21. 2. 1)</p> <table border="1"> <tr> <th>名 称</th> <th>種 類</th> <th>適用荷重</th> <th>壁</th> <th>備 考</th> </tr> <tr> <td>鑄鉄製</td> <td>○ 水封形</td> <td>○ T-2用</td> <td>○ 有</td> <td>左記以外の品質等は</td> </tr> <tr> <td>7M2製ふた</td> <td>○ 簡易密閉形 (V字溝)</td> <td>○ T-6用</td> <td>○ 無</td> <td>(公社) 空気調和衛生</td> </tr> <tr> <td></td> <td>○ 密閉形 (V字溝)</td> <td>○ T-20用</td> <td></td> <td>工学舎SHASE-S209に</td> </tr> <tr> <td></td> <td>○ 中ふた付き密閉形 (V字溝)</td> <td>○</td> <td></td> <td>よる。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>○ グレーチング (21. 2. 1)</p> <table border="1"> <tr> <th>材 質</th> <th>形 式</th> <th>用 途</th> <th>適用荷重</th> <th>歩行面</th> <th>蓋</th> <th>蓋のめっき (付着量)</th> <th>上面形状</th> </tr> <tr> <td>● 鋼製</td> <td>● 受枠付き、 蓋固定</td> <td>○ 溝ふた (横断用) ○ 溝ふた (側溝用) ● 溝ふた ○ U字溝用</td> <td>○ 歩行用</td> <td>○ 網目 ○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○ 凹凸形 ○</td> </tr> <tr> <td>○ ステン製</td> <td>○ 受枠付き、 蓋固定</td> <td>○ 溝ふた (横断用) ○ 溝ふた (側溝用) ○ 溝ふた ○ U字溝用</td> <td>○ 歩行用</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>—</td> <td>○ 凹凸形 ○ 凹凸形 ○ 凹凸形 ○ 凹凸形</td> </tr> </table> <p>(品質・性能・試験方法) 建築材料等品質性能表による</p> <p>種類、形状及び寸法等 ○ 図示 (21. 3. 1、2)</p> <p>地業の材料 ○ シルト ○ 山砂 ○ 川砂 ○ 砕砂 砂利地業に用いる材料 ● 再生ケラッシュ(国) ○ 切込砂利又は切込砕石</p> <p>砂利地業の厚さ ● 100 (mm) ○ 図示 ● 現場打ちの場合のコンクリート材料 設計基準強度 ● 18N/mm2 ○ ● 現場打ちの場合の鉄筋 種類の記号 ○ SD295A</p> <p>表3. 2. 1「埋戻し及び盛土の種別」による ● B種 ○ (21. 2. 1)</p> <p>● 埋戻し土 (21. 2. 1)</p>	名 称	種 類	適用荷重	壁	備 考	鑄鉄製	○ 水封形	○ T-2用	○ 有	左記以外の品質等は	7M2製ふた	○ 簡易密閉形 (V字溝)	○ T-6用	○ 無	(公社) 空気調和衛生		○ 密閉形 (V字溝)	○ T-20用		工学舎SHASE-S209に		○ 中ふた付き密閉形 (V字溝)	○		よる。		○				材 質	形 式	用 途	適用荷重	歩行面	蓋	蓋のめっき (付着量)	上面形状	● 鋼製	● 受枠付き、 蓋固定	○ 溝ふた (横断用) ○ 溝ふた (側溝用) ● 溝ふた ○ U字溝用	○ 歩行用	○ 網目 ○	○	○	○ 凹凸形 ○	○ ステン製	○ 受枠付き、 蓋固定	○ 溝ふた (横断用) ○ 溝ふた (側溝用) ○ 溝ふた ○ U字溝用	○ 歩行用	○	○	—	○ 凹凸形 ○ 凹凸形 ○ 凹凸形 ○ 凹凸形	2 2 舗装工事 (続き)	<p>○ ジリキライル 単位面積質量 ○ 60g/m²以上 ○ 厚さ (mm) ○ 0.5~1.0 ○ 引張強さ ○ 98N/5cm (10kgf/5cm) 以上 ○ 透水係数 ○ 1.5 × 10⁻¹ cm/sec 以上 ○</p> <p>試験 路床土の支持力比 (CBR) 試験 ○ 行う ○ 行わない 路床締固め度の試験 ○ 行う ○ 行わない 現場CBR試験 ○ 行う ○ 行わない</p> <p>路盤の厚さ ● 図示 ○ (22. 2. 2、3、5) (22. 3. 3、5)</p> <p>路盤材料 (標準仕様書 (表22. 3. 1) による種別) ○ グランツラン ○ 粒度調整砕石 ● 再生ケラッシュ(国) ○ 再生粒度調整砕石(国) ○ グランツラン鉄鋼スラグ(国) ○ 粒度調整鉄鋼スラグ(国) ○ 水硬性粒度調整鉄鋼スラグ(国)</p> <p>アスファルト舗装の構成及び厚さ ● 図示 ○ (22. 4. 2~6)</p> <p>材料 アスファルト ○ 再生アスファルト(国) (標準仕様書 (表22. 4. 1) による種別: ○ 60~80 ○ 80~100) ● ストレアスファルト</p> <p>骨材 ● 道路用砕石 ○ アスファルトコンクリート再生骨材(国)</p> <p>加熱アスファルト混合物等の種別 ● 密粒度アスファルト混合物 (13) ○ 細粒度アスファルト混合物 (13) ○ 密粒度アスファルト混合物 (13F)</p> <p>シーラートの乳剤の種別 ○ PK-1 ○ PK-2</p> <p>舗装の平たん性 ● 通行の支障となる水たまりを生じない程度 ○</p> <p>試験 アスファルト混合物等の抽出試験 ○ 行う ● 行わない (22. 5. 2~4、6)</p> <p>コンクリート舗装の構成及び厚さ</p> <table border="1"> <tr> <th>舗装の種類</th> <th>部 位</th> <th>構 成</th> <th>厚 さ (mm)</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">コンクリート舗装</td> <td>斜路及び駐車場</td> <td>○ 図示</td> <td>○ 図示 ○ 150 ○</td> </tr> <tr> <td>歩行者用通路</td> <td>● 図示</td> <td>● 図示 ○ 70 ○</td> </tr> </table> <p>材料 コンクリート ● 普通コンクリート、標準仕様書 (表22. 5. 1) による ○ 以下による コンクリートの種別 ○ 設計基準強度 (N/mm²) ○ 所定のスラグ (cm) ○ 8 ○ 粗骨材の最大寸法 ○ 早強ポルトランドセメント ○ 使用する ● 使用しない 注入目地材料 ○ 低弾性タイプ ○ 高弾性タイプ</p> <p>目地 ○ 標準仕様書 (表22. 5. 3) 及び (図22. 5. 1) による ● 以下による 種類 ● 伸縮及び突合せ 構造 ● 成形伸縮目地 25+80 間隔 ○ m程度ごと</p> <p>舗装の平たん性 ● 通行の支障となる水たまりを生じない程度 ○ (22. 6. 2~4)</p> <p>○ 加熱系カラー舗装 構成、厚さ ○ 図示 ○ 加熱系混合物の結合材 ○ アスファルト混合物 ○ 石油樹脂系混合物 顔料の添付物 (%) 添加材 着色骨材 () 自然石 ()</p> <p>○ カラー舗装 (22. 6. 2~4)</p>	舗装の種類	部 位	構 成	厚 さ (mm)	コンクリート舗装	斜路及び駐車場	○ 図示	○ 図示 ○ 150 ○	歩行者用通路	● 図示	● 図示 ○ 70 ○	2 2 舗装工事 (続き)	<p>○ 常温系カラー舗装 工法 ○ コート工法 ○ 塗布工法 着色部の下部 ○ アスファルト舗装 ○ コンクリート舗装 ○</p> <p>舗装の平たん性 ○ 通行の支障となる水たまりを生じない程度 ○ (22. 7. 2、3、6)</p> <p>舗装の構成及び厚さ ○ 図示 ○</p> <p>材料 骨材 ○ 道路用砕石 ○ アスファルトコンクリート再生骨材(国) (特記仕様書 (表22. 4. 1) による種別: ○ 60~80 ○ 80~100)</p> <p>舗装の平たん性 ○ 著しい不陸がないもの ○</p> <p>試験 開粒度アスファルト混合物等の抽出試験 ○ 行う ○ 行わない (22. 8. 2、3)</p> <p>○ コンクリート平板舗装(国)</p> <table border="1"> <tr> <th>種 類</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>目地材</th> <th>備 考</th> </tr> <tr> <td>○ 普通平板 (N)</td> <td>○ 300角</td> <td>○ 60</td> <td>○ 砂</td> <td>表面加工</td> </tr> <tr> <td>○ 透水平板 (P)</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○ 砂</td> <td>○ 研ぎ出し</td> </tr> <tr> <td>○ 保水性平板 (M)</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○ 洗い出し ○ たたき出し</td> </tr> </table> <p>クッション材 ○ 砂 ○ 空練りモルタル</p> <p>普通平板は(国)(再生材料を用いた舗装用ブロック)、透水平板は(国)(透水性コンクリート)とする。ただし、調達困難な場合は監督職員と協議を行うものとする</p> <p>仕上り面の平たん性 ○ 歩行の支障となる段差がないものとし、コンクリート平板間の段差は3mm以内とする ○</p> <p>○ インターロックブロック舗装(国)</p> <table border="1"> <tr> <th>種 類</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>形状寸法</th> <th>曲げ強度 (N/mm²)</th> <th>備 考</th> </tr> <tr> <td>○ 普通ブロック (N)</td> <td>厚路</td> <td>○ 図示</td> <td>○ 5.0</td> <td>表面加工</td> </tr> <tr> <td>○ 透水性ブロック (P)</td> <td>○ 80</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>○ 保水性ブロック (M)</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>○ 普通ブロック (N)</td> <td>歩行者用通路</td> <td>○ 図示</td> <td>○ 3.0</td> <td>張り方</td> </tr> <tr> <td>○ 透水性ブロック (P)</td> <td>○ 60</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○ ベルトボンド</td> </tr> <tr> <td>○ 保水性ブロック (M)</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○ ストレッチボンド ○ 図示</td> </tr> </table> <p>クッション材 ○ 砂 ○ 空練りモルタル</p> <p>歩行者用通路に使用する普通ブロック(再生材料を用いた舗装用ブロック)、透水性ブロックは(国)(透水性コンクリート)とする。</p> <p>仕上り面の平たん性 ○ 歩行に支障となる段差がないものとし、インターロックブロック間の段差は3mm以内とする ○</p> <p>○ 舗石舗装</p> <table border="1"> <tr> <th>種 類</th> <th>形状・寸法 (mm)</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>施工方法</th> <th>基 層</th> <th>基層の厚さ (mm)</th> </tr> <tr> <td>○ 花こう岩</td> <td>○ 割石</td> <td>○</td> <td>○ うろこ張り</td> <td>○ コンクリート版</td> <td>○ 70</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○ 図示</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○ コンクリート混合物</td> <td>○ 50</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> </table> <p>クッション材 ○ 砂 ○ 空練りモルタル</p> <p>仕上り面の平たん性 ○ 歩行に支障となる段差がないものとし、舗石間の段差は3mm以内とする ○ (22. 9. 2)</p> <p>種別 ○ A種 (施工範囲 : ○ 図示 ○ 通路 ○) ○ B種 (施工範囲 : ○ 図示 ○ 建物周囲その他 ○)</p>	種 類	寸法 (mm)	厚さ (mm)	目地材	備 考	○ 普通平板 (N)	○ 300角	○ 60	○ 砂	表面加工	○ 透水平板 (P)	○	○	○ 砂	○ 研ぎ出し	○ 保水性平板 (M)	○	○	○	○ 洗い出し ○ たたき出し	種 類	厚さ (mm)	形状寸法	曲げ強度 (N/mm ²)	備 考	○ 普通ブロック (N)	厚路	○ 図示	○ 5.0	表面加工	○ 透水性ブロック (P)	○ 80	○	○	○	○ 保水性ブロック (M)	○	○	○	○	○ 普通ブロック (N)	歩行者用通路	○ 図示	○ 3.0	張り方	○ 透水性ブロック (P)	○ 60	○	○	○ ベルトボンド	○ 保水性ブロック (M)	○	○	○	○ ストレッチボンド ○ 図示	種 類	形状・寸法 (mm)	厚さ (mm)	施工方法	基 層	基層の厚さ (mm)	○ 花こう岩	○ 割石	○	○ うろこ張り	○ コンクリート版	○ 70	○	○ 図示	○	○	○ コンクリート混合物	○ 50						○	<p>霧島市建築改修工事特記仕様書</p> <p>設 計 者 (株) J U N 設 計 鹿児島県知事登録 第 1-2-18 号 〒899-4501 鹿児島県霧島市福山町福山4690番地6 TEL 0995-56-2938 FAX 0995-56-2709</p> <p>権元 由香 印 一級建築士登録 第 365156 号</p> <p>所長 権元 担当 権元 製図 権元</p> <p>法適合確認</p> <p>〇〇〇〇構造設計事務所 登録 第 1-00-000 号 鹿児島県〇〇市〇〇町〇〇〇</p> <p>〇〇〇〇設備設計事務所 登録 第 1-00-000 号 鹿児島県〇〇市〇〇町〇〇〇</p> <p>・構造設計 ・構造法適合確認 構造設計一級建築士 第 0000 号 〇〇〇〇</p> <p>・設備設計 ・設備法適合確認 設備設計一級建築士 第 0000 号 〇〇〇〇</p> <p>設計年月日 令和 4年 3月 工事名称 R8国分北小学校渡り廊下B改築工事 図面名称 特記仕様書 (新営その16)</p> <p>図面番号 A-16</p>
	材 種	種 類	質量区分	備 考																																																																																																																																																																																								
○ 間知石	○ 花こう岩 ○ 凝灰岩	—	—																																																																																																																																																																																									
○ コンクリート間知ブロック	—	○ A ○ B																																																																																																																																																																																										
材 質	厚さ (mm)	高さ (mm)	備 考																																																																																																																																																																																									
○ 網入り磨き板ガラス	○ 6.8	○ 500	7M2製枠付き																																																																																																																																																																																									
○ 網入り磨き板ガラス	○	○																																																																																																																																																																																										
種 類	材 質	高さ (mm)	備 考																																																																																																																																																																																									
○ 垂直下降式 (巻取り式)	○ 不織布 (不燃認定品) ○	○ 500 ○ 800	ガイドレール ○ 固定式 (壁埋込型) ○ 可動式 (天井収納型)																																																																																																																																																																																									
○ 回転下降式	鋼板製又は7M2製	○ 500 ○ 800 ○	表面仕上げ ○ 天井材張り ○																																																																																																																																																																																									
名 称	種 類	適用荷重	壁	備 考																																																																																																																																																																																								
鑄鉄製	○ 水封形	○ T-2用	○ 有	左記以外の品質等は																																																																																																																																																																																								
7M2製ふた	○ 簡易密閉形 (V字溝)	○ T-6用	○ 無	(公社) 空気調和衛生																																																																																																																																																																																								
	○ 密閉形 (V字溝)	○ T-20用		工学舎SHASE-S209に																																																																																																																																																																																								
	○ 中ふた付き密閉形 (V字溝)	○		よる。																																																																																																																																																																																								
	○																																																																																																																																																																																											
材 質	形 式	用 途	適用荷重	歩行面	蓋	蓋のめっき (付着量)	上面形状																																																																																																																																																																																					
● 鋼製	● 受枠付き、 蓋固定	○ 溝ふた (横断用) ○ 溝ふた (側溝用) ● 溝ふた ○ U字溝用	○ 歩行用	○ 網目 ○	○	○	○ 凹凸形 ○																																																																																																																																																																																					
○ ステン製	○ 受枠付き、 蓋固定	○ 溝ふた (横断用) ○ 溝ふた (側溝用) ○ 溝ふた ○ U字溝用	○ 歩行用	○	○	—	○ 凹凸形 ○ 凹凸形 ○ 凹凸形 ○ 凹凸形																																																																																																																																																																																					
舗装の種類	部 位	構 成	厚 さ (mm)																																																																																																																																																																																									
コンクリート舗装	斜路及び駐車場	○ 図示	○ 図示 ○ 150 ○																																																																																																																																																																																									
	歩行者用通路	● 図示	● 図示 ○ 70 ○																																																																																																																																																																																									
種 類	寸法 (mm)	厚さ (mm)	目地材	備 考																																																																																																																																																																																								
○ 普通平板 (N)	○ 300角	○ 60	○ 砂	表面加工																																																																																																																																																																																								
○ 透水平板 (P)	○	○	○ 砂	○ 研ぎ出し																																																																																																																																																																																								
○ 保水性平板 (M)	○	○	○	○ 洗い出し ○ たたき出し																																																																																																																																																																																								
種 類	厚さ (mm)	形状寸法	曲げ強度 (N/mm ²)	備 考																																																																																																																																																																																								
○ 普通ブロック (N)	厚路	○ 図示	○ 5.0	表面加工																																																																																																																																																																																								
○ 透水性ブロック (P)	○ 80	○	○	○																																																																																																																																																																																								
○ 保水性ブロック (M)	○	○	○	○																																																																																																																																																																																								
○ 普通ブロック (N)	歩行者用通路	○ 図示	○ 3.0	張り方																																																																																																																																																																																								
○ 透水性ブロック (P)	○ 60	○	○	○ ベルトボンド																																																																																																																																																																																								
○ 保水性ブロック (M)	○	○	○	○ ストレッチボンド ○ 図示																																																																																																																																																																																								
種 類	形状・寸法 (mm)	厚さ (mm)	施工方法	基 層	基層の厚さ (mm)																																																																																																																																																																																							
○ 花こう岩	○ 割石	○	○ うろこ張り	○ コンクリート版	○ 70																																																																																																																																																																																							
○	○ 図示	○	○	○ コンクリート混合物	○ 50																																																																																																																																																																																							
					○																																																																																																																																																																																							

別表-1 工事区分表 ※疑義を生じた場合は事前に確認し、監督員と協議すること。						別表-2																
工 事 内 容				建築	電気設備	機械設備	エレベーター設備	工 事 内 容				建築	電気設備	機械設備	エレベーター設備	品 目	対 象 材 料 名	品 目	対 象 材 料 名			
機器の基礎	電気関係	配電盤・制御盤の基礎	屋内		○			昇降機関連	機械室・昇降路の躯体	○					床型枠用鋼製デッキプレート	標準仕様書、6章8節に規定する床型枠用鋼製デッキプレートを対象						
			屋外		○												鉄骨柱下無収縮モルタル	標準仕様書、7章2節に規定する柱底均しモルタルを対象				
			屋上		○												無収縮グラウト材（ブレンズ形）（現場調合形）	改修標準仕様書、8章2節に規定する無収縮グラウト材とし、主として耐震補強工事及び逆打ち工事に使用される物を対象				
		自家発電機の基礎				○					機械室の床配管ピット・蓋	○					乾式保護材（防水立上部）	標準仕様書、9章2節に規定する乾式保護材を対象				
		エレベーターの基礎				○					機械室の上げ床コンクリート打設・仕上	○					巻上機周囲のチェッカープレート敷	標準仕様書、11章2節に規定する既製調合モルタルを対象とし、モルタルを下地としたタイル工事に使用する張り付け用モルタルとして、モルト、細骨材、混和材等をあらかじめ工場において所定の割合に配合して製造した材料とする				
		避雷針の基礎				○					昇降路内ピット防水・集水溝	○					既製調合モルタル（タイル工事用）	標準仕様書、11章2節に規定する既製調合モルタルを対象とし、モルタルを下地としたタイル工事に使用する張り付け用モルタルとして、モルト、細骨材、混和材等をあらかじめ工場において所定の割合に配合して製造した材料とする				
		テラコタの基礎				○					点検用タラップ											
		特記した基礎				○	○				各階出入口あけ・同補強	○						既製調合目地材	標準仕様書、11章2節に規定する既製調合目地材とし、主として外装用を対象			
											スリーブ					○	スリーブ	標準仕様書、13章5節に規定するスリーブとし、コンクリート打ち込みタイプを対象				
										三方枠取付・枠廻り埋戻し・同補強					○	三方枠取付（モルタル用）	標準仕様書、15章3節に規定する吸水調整材を対象とし、コンクリート、コンクリートブロック等の壁、床の表面に塗布する現場調合のモルタルを塗り下地に適用することとする					
										出入口扉・三方枠及び扉板					○	7mm以下製建具	標準仕様書、16章2節に規定する7mm以下製建具とし、一般的などに用建具を対象					
										昇降路がS造の時の出入口扉・三方枠及び扉板の固定用鋼材	○					鋼製建具（コンクリート系下地及び鉄骨下地）	新たに形材を製作するものや金属パネル及び防音パネルは対象外 ①（A種） ②（B種） ③（C種）					
	開口部	RC梁の貫通部		補強	○						昇降路の中間ビーム、ブラケット、レールブラケット支持柱、他昇降路内の鋼製部材一式					○	鋼製建具	標準仕様書、16章4節に規定する鋼製建具（標準型鋼製建具を含む）を対象 なお、片開き、親子開き及び両開き戸の1枚の戸の有効開口幅は950mm以下、有効高さは2,400mm以下とする				
鉄骨梁の貫通部		スリーブ	○	○	○			昇降路がS造の時の中間ビーム及びブラケットの受けベース	○					鋼製軽量建具	標準仕様書、16章5節に規定する鋼製軽量建具（標準型鋼製軽量建具を含む）を対象 なお、片開き、親子開き及び両開き戸の1枚の戸の有効開口幅は950mm以下、有効高さは2,400mm以下とする							
		補強	○					機械室大梁又は昇降路内にフックの取付（フック含む）	○					ステンレス製建具	標準仕様書、16章6節に規定するステンレス製建具を対象とし、簡易気密型は対象外							
RC造床及び壁の貫通部		スリーブ	○					ホール押釦・インジケータ・鋼索などの壁開口	○					錠前類	標準仕様書、16章8節に規定する建具用金物のうちのシリンダー錠・シリンダー本錠り錠とする							
		補強	○					ホール押釦・インジケータ・鋼索などの壁開口	○					加ゲート類	標準仕様書、16章8節に規定する建具用金物のうちの加ゲート、ピン加ゲート、707mm以下とする							
デッキプレートの貫通部		スリーブ	○	○	○			機械室・昇降路内換気設備	○					自動ドア機構	標準仕様書、16章9節に規定する自動ドア開閉装置のうちの駆動装置、検出装置、車輪子使用者用便房駆動装置とする							
		型枠	○					点検用コンセント・煙感知器		○				自閉式上吊り引戸機構（手動開き式）	標準仕様書、16章10節に規定する自閉式上吊り引戸装置とし、主として身体障がい者等が使用する一般庁舎等の事務室の出入口、屋内用、屋外用の身体障がい者用便所の出入口を対象							
		型枠	○					エレベーター制御盤までの動力・照明用電源、アース、火災時管制運要信号、非常用発電時管制運転信号、拡声設備（館内放送用）配管・配線工事		○				重量シャッター	標準仕様書、16章11節に規定する重量シャッターとし、内法寸法は、幅8.0m以下、高さ4.0m以下とする。なお、防煙シャッターは対象外とする							
		切込	○	○	○			エレベーター制御盤からエレベーター監視盤又はエレベーター警報盤までの配管・配線工事						軽量シャッター	標準仕様書、16章12節に規定する軽量シャッターを対象							
		切込	○	○	○			エレベーター警報盤又はエレベーター監視盤からエレベーター内監視カメラまでの配管・配線工事						オーバーヘッドドア	標準仕様書、16章13節に規定するオーバーヘッドドアを対象							
		切込	○	○	○			エレベーター警報盤又はエレベーター監視盤からエレベーター監視カメラまでの配管・配線工事						現場発泡断熱材	標準仕様書、19章9節に規定する現場発泡断熱材でノンフロンを対象							
		切込	○	○	○			エレベーター警報盤又はエレベーター監視盤からの保守遠隔監視用（電話回線）の配管工事		○				7mm以下製建具	標準仕様書、20章2節に規定する7mm以下製建具とし、使用用途は一般庁舎等の高さ600mm以下を対象とし、分類は下記による。また、高さは600mm以下を対象							
		切込	○	○	○			エレベーター警報盤又はエレベーター監視盤からの緊急地震速報用の配管工事		○				可動間仕切	標準仕様書、20章2節に規定する可動間仕切を対象とし国土交通省大臣認定の「耐火構造間仕切」及び空間の仕切り方のうち床置き形は対象外。また、対象の寸法は普通仕様とし、特注品及び大型仕様は対象外							
		切込	○	○	○			昇降路内の仮設物		○				移動間仕切（スライディングドア）	標準仕様書、20章2節に規定する移動間仕切を対象とし、主として一般庁舎用を対象							
点検口	床、壁、天井 ※位置は設備と協議			○										トリアックス	標準仕様書、20章2節に規定するトリアックスを対象とし、主として一般庁舎用を対象							
外部取付ガラリ	ダクト、チャンパーの接続用フランジを含む			○										天井点検口	標準仕様書、14章4節に規定する軽量鉄骨天井下地等に取付ける天井点検口とし、主として一般庁舎の屋内用を対象とするが、外部軒天用も含むものとする							
湯沸室等のフード														床点検口	一般庁舎等の屋内及び外部玄関部分の歩行用としてコンクリート床型用を対象とし、寸法は600mm角程度までとする							
換気扇	本体													グレチク	標準仕様書、21章2節に規定するものとし、一般庁舎の構内使用するグレチクとし、満ふた（横断用、側溝用）、ますふた用、かさあげ用、U字側溝を対象とし、大径用及び床板用は対象外							
取付枠														屋上緑化パネル	標準仕様書、23章5節及び改修標準仕様書9章4節に規定する屋上緑化を主とし、区分は下記による ① 屋上緑化パネル（板状成形品タイプ） ② 屋上緑化軽量パネル							
流し台	本体（排水トラップ共）		○											トリアックス	一般庁舎の屋上に単体で設置するもので、ガラス等を採光部に用いた小規模の既製金属部材による製品（開口部は最大2,000mm角または、長辺が3,000mm以下のもの）とし、30分以上の耐火性能を有するものを対象。また、耐火性の無い、透光性の合成樹脂系成形品等を持つ製品であっても、下部に網入りガラスを用い、30分以上の耐火性能を有するものも対象。ただし、大型の7mm以下、特別の形状を持つ特注品及び上部に人が乗ることを想定したものは対象外							
水栓	水栓		○		○									ガラスプレート	改修標準仕様書、4章2節に規定するガラスプレートモルタルを対象とし、コンクリート打ち直し仕上げ外壁、モルタル仕上げ外壁及びびり張り仕上げ外壁に適用するものを対象							
防油堤	オイルサービスタンクの防油堤、タンク基礎		○											鋼鉄製ふた（ワケルふた、弁柄ふた）	標準仕様書、21章2節に規定するワケルふた・弁柄ふたを対象							
地下貯蔵所	主燃料槽（自家発電）			○																		
	オイルタンク（空調用）				○																	
	タンク室（躯体、土工事）		○																			
屋内床下各種水槽等のマンホールふた			○																			
屋外排水管	雨水		○																			
	汚水、雑排水					○																
雨水立管（たてどい）			○																			
便所内に設置する手すり																						
便所内に設置する手すり（衛生器具ユニットに含まれる場合）																						
はめ込形洗面器用カウンター			○																			
洗面器等の衛生器具類																						
ペーパーシート ペーパーチェア			○																			
鏡			○																			
ガスボンベ転倒防止用の鎖																						
電気配管配線	機器などへの1次側配管配線及び接続				○																	
	機器などから操作スイッチ等への2次側配管及び埋込ボックス		○	○	○																	
	機器などから操作スイッチ等への2次側配線及び接続		○	○	○																	
	自動制御盤と動力盤との渡り配管配線		○	○	○																	
	個別パッケージの室内機、室外機の渡り配線（接地共）				○																	
	煙感知器から運動制御盤を経て防煙ダンパーに至る配管配線				○																	
	フリーアクセスフロアの複合アウトレット取付及び配線				○																	
	防火扉レリーズ				○																	
	電極棒				○																	
ガス漏れ感知器																						
電気錠	電気錠及び通電金具（配線を含む）		○																			
	TENキー及び制御盤		○	○																		
シャワーユニット、浴室ユニット類			○																			
洗濯機パン																						
システム天井	ボード・カバー		○																			
	照明ライン設備プレート				○																	
	空調ライン設備プレート					○																
灌水装置（補給用）	灌水コントローラー			○																		
	灌水ボックス			○																		
	灌水コントローラーまでの1次側配管配線及び接続			○																		
	灌水ボックスまでの1次側給水配管及び接続					○																

霧島市建築改修工事特記仕様書

設 計 者 (株) J U N 設 計
 鹿児島県知事登録 第 1-2-18 号
 〒899-4501 鹿児島県霧島市福山町福山4690番地6
 TEL 0995-56-2938 FAX 0995-56-2709

権元 由香 印
 一級建築士登録 第 365156 号
 所長 権元 担当 権元 製図 権元

法適合確認
 ○○○○構造設計事務所
 登録 第 1-00-000 号
 鹿児島県○○市○○町○○○
 ○○○○設備設計事務所
 登録 第 1-00-000 号
 鹿児島県○○市○○町○○○

設計年月日 令和 4年 3月
 工事名称 R8国分北小学校渡り廊下B改築工事
 図面番号 A-17
 図面名称 特記仕様書（新営その18）
 工事区分表・材料、機材等の品質及び性能

<p>■この建築非構造部材耐震性能特記仕様書は、建築設計基準（令和6年改定）による建築非構造部材の耐震性能の標準的な特記事項を示したものである。</p>																																																																								
17	カーテンウォール工事	<p>○ CW（メタル・PCa）</p> <p>CW工事 取付方法、性能等 地震力に対する安全性</p> <table border="1"> <tr> <th>設計用震度</th> <th>横壁（仕上面及び構造体から仕上げ面までの接合部材）の性能</th> </tr> <tr> <td>設計用水平震度 (K_H) ○ 1.0 ○ 設計用鉛直震度 (K_V) ○ 0.5 ○</td> <td>設計用震度の地震力に対して、部材に生じる応力度が所定の応力度以内にあり、有害な残留ひずみが生じないこと。ただし、所定の応力度以内にあることの確認が困難な場合は、試験等により設計用震度の地震力に対して有害な残留ひずみが生じないことを確認する。なお、水平方向の地震力に対する確認は面内方向及び面外方向について行う。所定の応力度は、短期許容応力度とし、短期許容応力度が定められていない材料については、関連基準（製造者等により構成される協会等が定める指針等を含む。）が定める値とする。</td> </tr> </table> <p>構造体の層間変形に対する追従性</p> <table border="1"> <tr> <th>層間変形角</th> <th>横壁（仕上面及び構造体から仕上げ面までの接合部材）の性能</th> </tr> <tr> <td>○ 1/100 ○ 1/200 ○</td> <td>左記の層間変形角に対して、脱落しないこと</td> </tr> </table> <p>層間変形角1/300に対して、ほとんど補修の必要がなく、継続使用に耐えること。</p>	設計用震度	横壁（仕上面及び構造体から仕上げ面までの接合部材）の性能	設計用水平震度 (K _H) ○ 1.0 ○ 設計用鉛直震度 (K _V) ○ 0.5 ○	設計用震度の地震力に対して、部材に生じる応力度が所定の応力度以内にあり、有害な残留ひずみが生じないこと。ただし、所定の応力度以内にあることの確認が困難な場合は、試験等により設計用震度の地震力に対して有害な残留ひずみが生じないことを確認する。なお、水平方向の地震力に対する確認は面内方向及び面外方向について行う。所定の応力度は、短期許容応力度とし、短期許容応力度が定められていない材料については、関連基準（製造者等により構成される協会等が定める指針等を含む。）が定める値とする。	層間変形角	横壁（仕上面及び構造体から仕上げ面までの接合部材）の性能	○ 1/100 ○ 1/200 ○	左記の層間変形角に対して、脱落しないこと	8 コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント工事 (続き)	8 内装工事	<p>○ システム天井</p> <p>耐震性 以下の設計用震度の地震力及び構造体の層間変形角に対して、脱落が生じないものとする。なお、水平方向の地震力に対する確認は面内方向及び面外方向について行う。</p> <p>設計用水平震度 (K_H) ○ 1.0 ○ 設計用鉛直震度 (K_V) ○ 0.5 ○</p> <p>構造体の層間変形角 ○ 1/100 ○ 1/200 ○</p>	19 ユニット及びその他工事	20 フリーアクセスフロア	<p>20章 フリーアクセスフロアの特記事項による</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>材質</th> <th>階区分</th> <th>建物周囲のクリアランス (mm)</th> <th>変異追従量 (mm)</th> <th>耐火性能</th> <th>断熱性能</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>● 7ホニカ製 ○ スパルス製</td> <td>2階 ～ R階</td> <td>○ 50 ● 100 ○ 150 ○</td> <td>避難経路の床等 以上 その他 以上</td> <td>● 有り ○ 無し</td> <td>○ 有り ● 無し</td> <td>1時間耐火</td> </tr> <tr> <td>○ 7ホニカ製 ○ スパルス製</td> <td>階 ～ 階</td> <td>○ 50 ○ 100 ○ 150 ○</td> <td>避難経路の床等 以上 その他 以上</td> <td>○ 有り ○ 無し</td> <td>○ 有り ○ 無し</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>外部に設置するものは防水型とする。</p> <p>7ホニカ'ジョイント'には、脱落防止措置を講ずる。</p> <p>固定方法 ○ 壁固定（図示） ○ 床固定（図示）</p> <p>以下の設計用震度の地震による引抜き力に対して固定金具に生じる応力度が所定の応力度以内にあり、有害な残留ひずみが生じないものとする。ただし、所定の応力度以内にあることの確認が困難な場合は、試験等により設計用震度の地震による引抜き力に対して有害な残留ひずみが生じないことを確認する。なお、水平方向の地震力に対する確認は面内方向及び面外方向について行う。所定の応力度は、短期許容応力度とし、短期許容応力度が定められていない材料については、関連基準（製造者等により構成される協会等が定める指針等を含む。）が定める値による。</p> <p>設計用水平震度 (K_H) ○ 1.0 ○ 設計用鉛直震度 (K_V) ○ 0.5 ○</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>家具名称</th> <th>設置場所</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>○</td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>○</td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>○</td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>○</td><td>○</td><td></td></tr> </tbody> </table> <p>○ 軽量鉄骨壁下地等への補強（○ 図示 ○）</p> <p>○ 収納物の散乱防止措置（ラック機構、ロック機構等）を講ずる</p>	材質	階区分	建物周囲のクリアランス (mm)	変異追従量 (mm)	耐火性能	断熱性能	備考	● 7ホニカ製 ○ スパルス製	2階 ～ R階	○ 50 ● 100 ○ 150 ○	避難経路の床等 以上 その他 以上	● 有り ○ 無し	○ 有り ● 無し	1時間耐火	○ 7ホニカ製 ○ スパルス製	階 ～ 階	○ 50 ○ 100 ○ 150 ○	避難経路の床等 以上 その他 以上	○ 有り ○ 無し	○ 有り ○ 無し		家具名称	設置場所	備考	○	○		○	○		○	○		○	○		16 建具工事	16 AD、SD、LD、SSD	<p>RC壁に設置する特定室等及び避難経路の扉</p> <p>○ 耐震ドア 面内変形追従性の等級（○） （建具符号：○ 建具表による ○）</p> <p>重量がある扉 以下の設計用震度の地震力に対して、脱落が生じないものとする。なお、水平方向の地震力に対する確認は面内方向及び面外方向について行う。</p> <p>設計用水平震度 (K_H) ○ 1.0 ○ 設計用鉛直震度 (K_V) ○ 0.5 ○ （建具符号：○ 建具表による ○）</p> <p>構造体の層間変形に対する追従性 以下の構造体の層間変形角に対して、破損、脱落が生じないよう取り付けられているものとする。</p> <p>構造体の層間変形角 ● 1/100 ○ 1/200 ○</p>	14 金属工事	○ 軽量鉄骨天井下地（特定天井）	<p>範囲 ○ 図示による ○</p> <p>特定天井の設計用震度及びクリアランスは、以下による。 特定天井告示（平成25年国土交通省告示第771号）による特定天井の設計用震度 検証ルート（○）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>室名</th> <th>階</th> <th>設計用水平震度 (K_H)</th> <th>クリアランス (mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> </tbody> </table>	室名	階	設計用水平震度 (K _H)	クリアランス (mm)	○	○	○	○	○	○	○	○	○ 軽量鉄骨天井下地（緊結吊天井）	<p>範囲 ○ 図示による ○</p> <p>標準仕様書（14.4.1）～（14.4.4）に加えて、天井下地材における耐震性を考慮した補強は、以下の1）～4）のとおりとする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 野縁受けは、相互に'ジョイント'を差し込んだ上でねじ留め。 野縁や野縁受けの隣り合う'ジョイント'の位置は、互いに1m以上離し干鳥状に配置。 野縁受けと吊り'ボルト'の接合に用いる'ハガ'は、ねじ留め等の措置（閉き止め）を講じる。 野縁と野縁受けの接合に用いる'クリップ'は、特定天井告示（平成25年国土交通省告示第771号）第3第3項に適合する天井に用いられるもの又は耐風圧'クリップ'相当の緊結度合を「新たな特定天井の技術基準（天井と周囲の壁等との間に隙間を設けない仕様追加）の解説（平成28年7月版）」（国土交通省国土技術政策総合研究所他）の「付録1'クリップ'の接合部の衝撃試験」により確認されたものを使用する。なお、当該'クリップ'は、JIS A 6517によらなくてもよいものとする。
		設計用震度	横壁（仕上面及び構造体から仕上げ面までの接合部材）の性能																																																																					
設計用水平震度 (K _H) ○ 1.0 ○ 設計用鉛直震度 (K _V) ○ 0.5 ○	設計用震度の地震力に対して、部材に生じる応力度が所定の応力度以内にあり、有害な残留ひずみが生じないこと。ただし、所定の応力度以内にあることの確認が困難な場合は、試験等により設計用震度の地震力に対して有害な残留ひずみが生じないことを確認する。なお、水平方向の地震力に対する確認は面内方向及び面外方向について行う。所定の応力度は、短期許容応力度とし、短期許容応力度が定められていない材料については、関連基準（製造者等により構成される協会等が定める指針等を含む。）が定める値とする。																																																																							
層間変形角	横壁（仕上面及び構造体から仕上げ面までの接合部材）の性能																																																																							
○ 1/100 ○ 1/200 ○	左記の層間変形角に対して、脱落しないこと																																																																							
材質	階区分	建物周囲のクリアランス (mm)	変異追従量 (mm)	耐火性能	断熱性能	備考																																																																		
● 7ホニカ製 ○ スパルス製	2階 ～ R階	○ 50 ● 100 ○ 150 ○	避難経路の床等 以上 その他 以上	● 有り ○ 無し	○ 有り ● 無し	1時間耐火																																																																		
○ 7ホニカ製 ○ スパルス製	階 ～ 階	○ 50 ○ 100 ○ 150 ○	避難経路の床等 以上 その他 以上	○ 有り ○ 無し	○ 有り ○ 無し																																																																			
家具名称	設置場所	備考																																																																						
○	○																																																																							
○	○																																																																							
○	○																																																																							
○	○																																																																							
室名	階	設計用水平震度 (K _H)	クリアランス (mm)																																																																					
○	○	○	○																																																																					
○	○	○	○																																																																					
8 コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント工事	○ ALCパネル	<p>○ 外壁'ハ'の耐震性 地震力に対する安全性</p> <table border="1"> <tr> <th>設計用震度</th> <th>横壁（仕上面及び構造体から仕上げ面までの接合部材）の性能</th> </tr> <tr> <td>設計用水平震度 (K_H) ○ 1.0 ○ 設計用鉛直震度 (K_V) ○ 0.5 ○</td> <td>設計用震度の地震力に対して、部材に生じる応力度が所定の応力度以内にあり、有害な残留ひずみが生じないこと。ただし、所定の応力度以内にあることの確認が困難な場合は、試験等により設計用震度の地震力に対して有害な残留ひずみが生じないことを確認する。なお、水平方向の地震力に対する確認は面内方向及び面外方向について行う。所定の応力度は、短期許容応力度とし、短期許容応力度が定められていない材料については、関連基準（製造者等により構成される協会等が定める指針等を含む。）が定める値とする。</td> </tr> </table> <p>構造体の層間変形に対する追従性</p> <table border="1"> <tr> <th>層間変形角</th> <th>横壁（仕上面及び構造体から仕上げ面までの接合部材）の性能</th> </tr> <tr> <td>○ 1/100 ○ 1/200 ○</td> <td>左記の層間変形角に対して、脱落しないこと</td> </tr> </table> <p>○ 間仕切り'ハ'の耐震性 地震力に対する安全性</p> <table border="1"> <tr> <th>設計用震度</th> <th>横壁（仕上面及び構造体から仕上げ面までの接合部材）の性能</th> </tr> <tr> <td>設計用水平震度 (K_H) ○ 1.0 ○ 設計用鉛直震度 (K_V) ○ 0.5 ○</td> <td>設計用震度の地震力に対して、部材に生じる応力度が所定の応力度以内にあり、有害な残留ひずみが生じないこと。ただし、所定の応力度以内にあることの確認が困難な場合は、試験等により設計用震度の地震力に対して有害な残留ひずみが生じないことを確認する。なお、水平方向の地震力に対する確認は面内方向及び面外方向について行う。所定の応力度は、短期許容応力度とし、短期許容応力度が定められていない材料については、関連基準（製造者等により構成される協会等が定める指針等を含む。）が定める値とする。</td> </tr> </table> <p>構造体の層間変形に対する追従性</p> <table border="1"> <tr> <th>層間変形角</th> <th>横壁（仕上面及び構造体から仕上げ面までの接合部材）の性能</th> </tr> <tr> <td>○ 1/100 ○ 1/200 ○</td> <td>左記の層間変形角に対して、脱落、転倒しないこと</td> </tr> </table> <p>● 外壁'ハ'の耐震性 地震力に対する安全性</p> <table border="1"> <tr> <th>設計用震度</th> <th>横壁（仕上面及び構造体から仕上げ面までの接合部材）の性能</th> </tr> <tr> <td>設計用水平震度 (K_H) ● 1.0 ○ 設計用鉛直震度 (K_V) ● 0.5 ○</td> <td>設計用震度の地震力に対して、部材に生じる応力度が所定の応力度以内にあり、有害な残留ひずみが生じないこと。ただし、所定の応力度以内にあることの確認が困難な場合は、試験等により設計用震度の地震力に対して有害な残留ひずみが生じないことを確認する。なお、水平方向の地震力に対する確認は面内方向及び面外方向について行う。所定の応力度は、短期許容応力度とし、短期許容応力度が定められていない材料については、関連基準（製造者等により構成される協会等が定める指針等を含む。）が定める値とする。</td> </tr> </table>	設計用震度	横壁（仕上面及び構造体から仕上げ面までの接合部材）の性能	設計用水平震度 (K _H) ○ 1.0 ○ 設計用鉛直震度 (K _V) ○ 0.5 ○	設計用震度の地震力に対して、部材に生じる応力度が所定の応力度以内にあり、有害な残留ひずみが生じないこと。ただし、所定の応力度以内にあることの確認が困難な場合は、試験等により設計用震度の地震力に対して有害な残留ひずみが生じないことを確認する。なお、水平方向の地震力に対する確認は面内方向及び面外方向について行う。所定の応力度は、短期許容応力度とし、短期許容応力度が定められていない材料については、関連基準（製造者等により構成される協会等が定める指針等を含む。）が定める値とする。	層間変形角	横壁（仕上面及び構造体から仕上げ面までの接合部材）の性能	○ 1/100 ○ 1/200 ○	左記の層間変形角に対して、脱落しないこと	設計用震度	横壁（仕上面及び構造体から仕上げ面までの接合部材）の性能	設計用水平震度 (K _H) ○ 1.0 ○ 設計用鉛直震度 (K _V) ○ 0.5 ○	設計用震度の地震力に対して、部材に生じる応力度が所定の応力度以内にあり、有害な残留ひずみが生じないこと。ただし、所定の応力度以内にあることの確認が困難な場合は、試験等により設計用震度の地震力に対して有害な残留ひずみが生じないことを確認する。なお、水平方向の地震力に対する確認は面内方向及び面外方向について行う。所定の応力度は、短期許容応力度とし、短期許容応力度が定められていない材料については、関連基準（製造者等により構成される協会等が定める指針等を含む。）が定める値とする。	層間変形角	横壁（仕上面及び構造体から仕上げ面までの接合部材）の性能	○ 1/100 ○ 1/200 ○	左記の層間変形角に対して、脱落、転倒しないこと	設計用震度	横壁（仕上面及び構造体から仕上げ面までの接合部材）の性能	設計用水平震度 (K _H) ● 1.0 ○ 設計用鉛直震度 (K _V) ● 0.5 ○	設計用震度の地震力に対して、部材に生じる応力度が所定の応力度以内にあり、有害な残留ひずみが生じないこと。ただし、所定の応力度以内にあることの確認が困難な場合は、試験等により設計用震度の地震力に対して有害な残留ひずみが生じないことを確認する。なお、水平方向の地震力に対する確認は面内方向及び面外方向について行う。所定の応力度は、短期許容応力度とし、短期許容応力度が定められていない材料については、関連基準（製造者等により構成される協会等が定める指針等を含む。）が定める値とする。	8 コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント工事	● 押出成形セメント板 (ECP)	<p>設計 (株) J U N 設計 鹿児島県知事登録 第 1-2-18 号 〒899-4501 鹿児島県霧島市福山町福山4690番地6 TEL 0995-56-2938 FAX 0995-56-2709</p> <p>榊元 由香 印 一級建築士登録 第 365156 号</p> <p>所長 榊元 担当 榊元 製図 榊元</p> <p>法適合確認</p> <p>○ ○ ○ ○ 構造設計事務所 登録 第 1-00-000 号 鹿児島県 ○ ○ 市 ○ ○ 町 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ 設備設計事務所 登録 第 1-00-000 号 鹿児島県 ○ ○ 市 ○ ○ 町 ○ ○ ○ ○</p> <p>・構造設計 ・構造法適合確認 構造設計一級建築士 第 0000 号 ○ ○ ○ ○ 印</p> <p>・設備設計 ・設備法適合確認 設備設計一級建築士 第 0000 号 ○ ○ ○ ○ 印</p>	<p>設計年月日 令和 4年 3月</p> <p>工事名称 R8国分北小学校渡り廊下B改築工事</p> <p>図面名称 特記仕様書（新営その2 1） 建築非構造部材耐震性能</p>	<p>図面番号 A-19</p>																																													
設計用震度	横壁（仕上面及び構造体から仕上げ面までの接合部材）の性能																																																																							
設計用水平震度 (K _H) ○ 1.0 ○ 設計用鉛直震度 (K _V) ○ 0.5 ○	設計用震度の地震力に対して、部材に生じる応力度が所定の応力度以内にあり、有害な残留ひずみが生じないこと。ただし、所定の応力度以内にあることの確認が困難な場合は、試験等により設計用震度の地震力に対して有害な残留ひずみが生じないことを確認する。なお、水平方向の地震力に対する確認は面内方向及び面外方向について行う。所定の応力度は、短期許容応力度とし、短期許容応力度が定められていない材料については、関連基準（製造者等により構成される協会等が定める指針等を含む。）が定める値とする。																																																																							
層間変形角	横壁（仕上面及び構造体から仕上げ面までの接合部材）の性能																																																																							
○ 1/100 ○ 1/200 ○	左記の層間変形角に対して、脱落しないこと																																																																							
設計用震度	横壁（仕上面及び構造体から仕上げ面までの接合部材）の性能																																																																							
設計用水平震度 (K _H) ○ 1.0 ○ 設計用鉛直震度 (K _V) ○ 0.5 ○	設計用震度の地震力に対して、部材に生じる応力度が所定の応力度以内にあり、有害な残留ひずみが生じないこと。ただし、所定の応力度以内にあることの確認が困難な場合は、試験等により設計用震度の地震力に対して有害な残留ひずみが生じないことを確認する。なお、水平方向の地震力に対する確認は面内方向及び面外方向について行う。所定の応力度は、短期許容応力度とし、短期許容応力度が定められていない材料については、関連基準（製造者等により構成される協会等が定める指針等を含む。）が定める値とする。																																																																							
層間変形角	横壁（仕上面及び構造体から仕上げ面までの接合部材）の性能																																																																							
○ 1/100 ○ 1/200 ○	左記の層間変形角に対して、脱落、転倒しないこと																																																																							
設計用震度	横壁（仕上面及び構造体から仕上げ面までの接合部材）の性能																																																																							
設計用水平震度 (K _H) ● 1.0 ○ 設計用鉛直震度 (K _V) ● 0.5 ○	設計用震度の地震力に対して、部材に生じる応力度が所定の応力度以内にあり、有害な残留ひずみが生じないこと。ただし、所定の応力度以内にあることの確認が困難な場合は、試験等により設計用震度の地震力に対して有害な残留ひずみが生じないことを確認する。なお、水平方向の地震力に対する確認は面内方向及び面外方向について行う。所定の応力度は、短期許容応力度とし、短期許容応力度が定められていない材料については、関連基準（製造者等により構成される協会等が定める指針等を含む。）が定める値とする。																																																																							
霧島市建築改修工事特記仕様書																																																																								

工事場所：鹿児島県霧島市国分新町1332の一部、1339、1357、1358



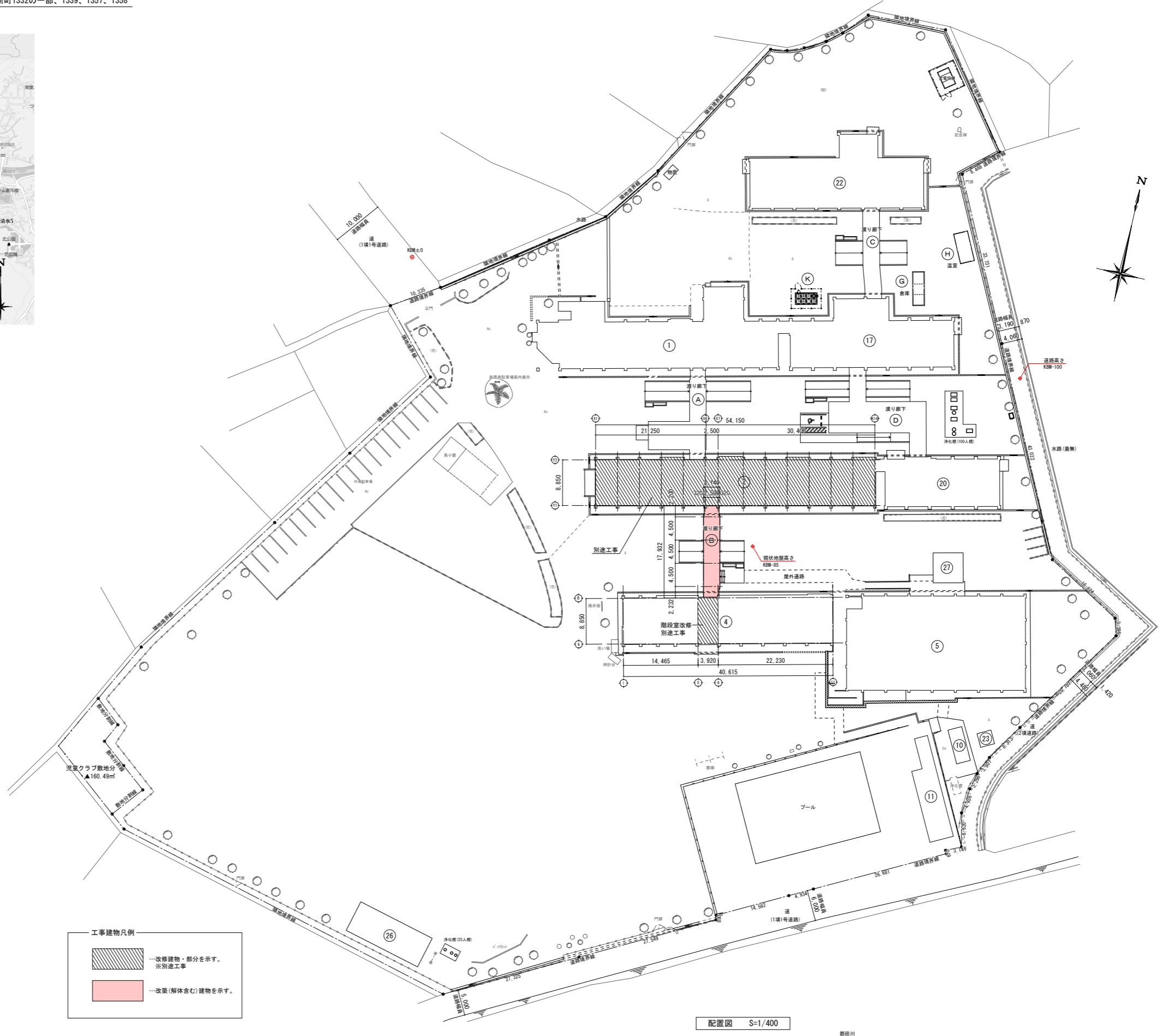
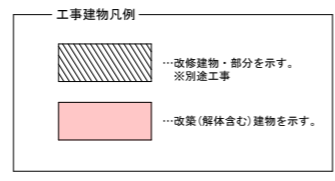
附近見取図 NO SCALE

面積表

種番号 (漢字は仮番号)	用途	延床面積 (㎡)	建築面積 (㎡)	構造	階数	耐火性能	新/増/改/解
1	校舎	893.95	540.13	RC	2	耐火	
2	校舎	1,003.60	518.90	RC	2	耐火	
4	校舎	751.18	384.99	RC	2	耐火	
5	屋内運動場	660.45	663.34	RC	2	準耐火(D-1)	
17	校舎	1,031.00	351.49	RC	3	耐火	
20	校舎	608.90	224.77	RC	3	耐火	
22	校舎	699.12	370.45	RC	2	耐火	
26	便所・倉庫	90.80	90.80	RC	1	耐火	
27	器具庫	33.64	33.64	S	1	準耐火(D-2)	
11	フリースペース	77.40	81.40	RC	1	耐火	
10	便所	16.70	16.70	CB	1	耐火	
23	キッズ室	6.76	6.76	RC	1	耐火	
A	渡り廊下 (1~2)	121.72	103.51	S	2	耐火	
B	渡り廊下 (2~4)	55.11	54.83	S (一部7/8)	2	耐火	解体 増築
C	渡り廊下 (22~17)	71.69	55.53	S	2	耐火	
D	渡り廊下 (17~20)	428.75	152.72	S	3	耐火	
G	倉庫	13.35	13.35	S	1	その他	
H	温室	15.55	15.55	7/8	1	その他	
K	消火水槽	4.00	4.00	対応なし	1	その他	

一棟階別面積表

種番号 (漢字は仮番号)	用途	1階床面積 (㎡)	2階床面積 (㎡)	3階床面積 (㎡)	PH階床面積 (㎡)	延床面積 (㎡)	建築面積 (㎡)
1	校舎	493.76	400.19			893.95	540.13
2	校舎	501.80	501.80			1,003.60	518.90
4	校舎	374.12	377.06			751.18	384.99
17	校舎	337.99	337.99	332.62	22.40	1,031.00	351.49
20	校舎	204.40	204.40	200.10		608.90	224.77
22	校舎	349.56	349.56			699.12	370.45
A	渡り廊下 (1~2)	66.46	55.26			121.72	103.51
B	渡り廊下 (2~4)		55.11			55.11	54.83
C	渡り廊下 (22~17)	14.40	57.29			71.69	55.53
D	渡り廊下 (17~20)	128.47	150.14	150.14		428.75	152.72
合計		2,470.96	2,488.80	682.86	22.40	5,665.02	2,757.32



配置図 S=1/400

特記



株式会社 JUN 設計
鹿児島県知事登録 第1-2-18
〒899-4501 鹿児島県霧島市福山町福山4690番地6
TEL(0995)56-2938 FAX(0995)56-2709

工事名 R8国分北小学校渡り廊下B改築工事
設計図
図面名 附近見取図、配置図
一級建築士登録 第365156号
設計 榊元 由香

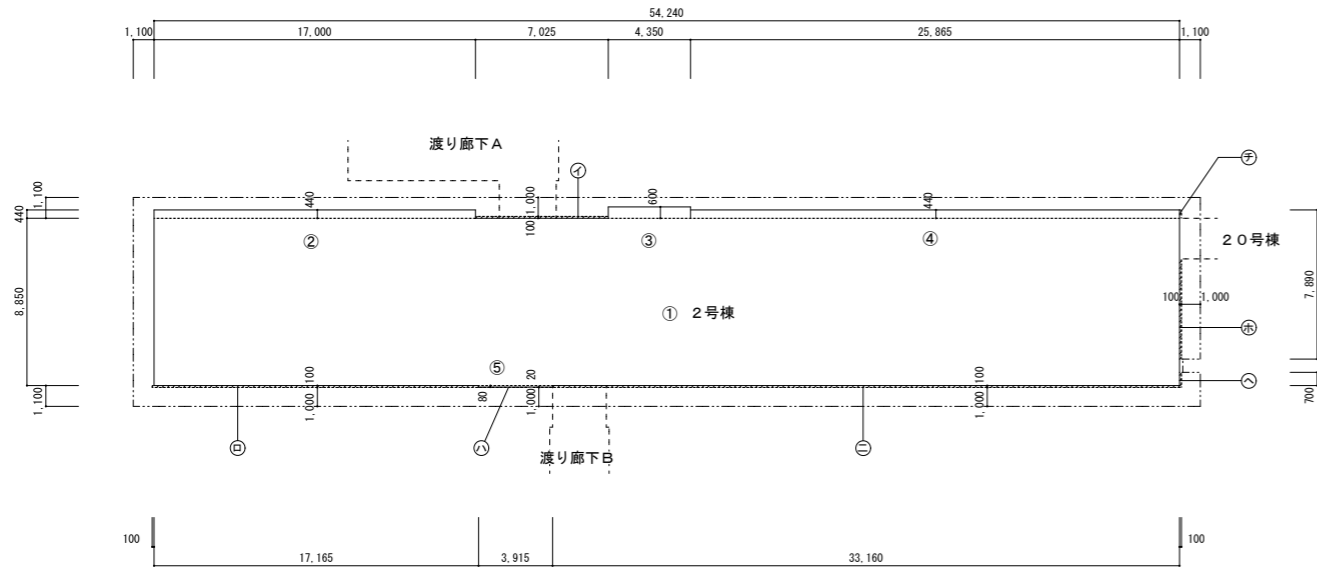
設計図
図面番号 A-20
縮尺 A1: NO SCALE, 1/400
A3: NO SCALE, 1/800
年月日 R 04. 03

建物求積表 (2号棟)					
符号	算式	計(m ²)	符号	算式	計(m ²)
①	54.24 * 8.85	480.024	㉑	3.915 * 0.02	0.0783
②	17.00 * 0.44	7.48	㉒	33.26 * 0.10	3.326
③	4.35 * 0.60	2.61	㉓	5.30 * 0.10	0.53
④	25.865 * 0.44	11.3806	㉔	0.70 * 0.10	0.07
⑤	3.92 * 0.08	0.3136	㉕	8.85 * 1.20	10.62
㉖	7.025 * 0.10	0.7025	㉗	0.44 * 0.10	0.044
㉘	17.265 * 0.10	1.7265			

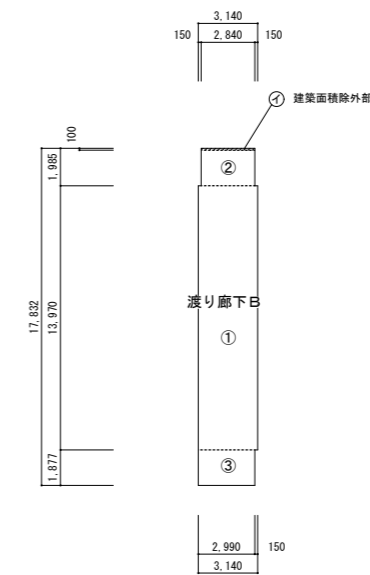
棟番号	階	建築面積	計(m ²)	合計(m ²)
2		①+②+③+④+⑤+㉖+㉗+㉘+㉙+㉚	—	518.9057
		床面積		
	1	①+②+③+④+⑤	501.8062	
	2	①+②+③+④+⑤	501.8062	
		延床面積		1,003.60

建物求積表 (渡り廊下B)		
符号	算式	計(m ²)
①	13.97 * 3.14	43.8658
②	2.84 * 1.985	5.6374
③	2.99 * 1.877	5.61223
④	2.84 * 0.10	0.284

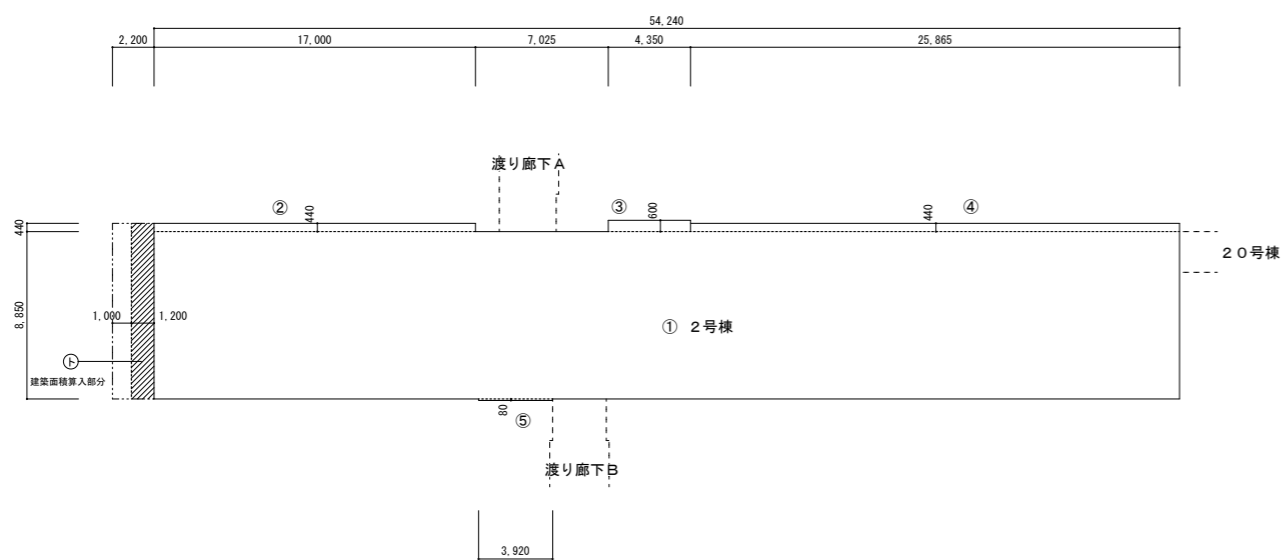
棟番号	階	建築面積	計(m ²)	合計(m ²)
渡り廊下B		①+②+③-④	—	54.8374
		床面積		
	1	※外面に有様に算取された渡り廊下床面積を算入	—	
	2	①+②+③	55.1154	
		延床面積		55.11



2階床面積求積図 S=1/200



2階床面積求積図 S=1/200



1階床面積求積図 S=1/200

特記



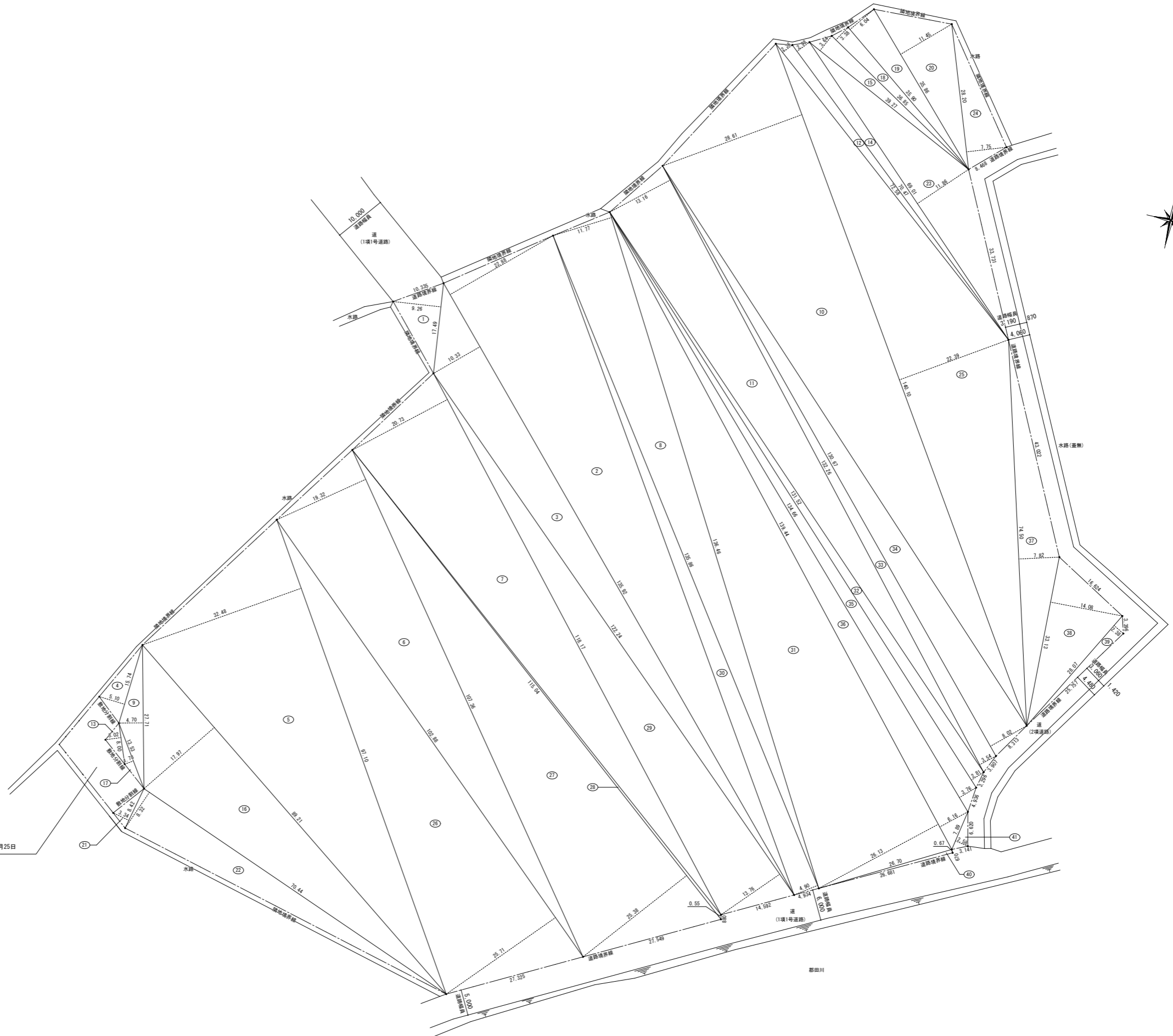
株式会社 JUN 設計
 鹿児島県知事登録 第1-2-18
 〒899-4501 鹿児島県霧島市福山町福山4690番地6
 TEL(0995)56-2938 FAX(0995)56-2709

工事名 R8国分北小学校渡り廊下B改築工事
 図面名 建物面積表
 一級建築士登録 第365156号
 構元 由香

設計 榎元 担当 榎元 構造 榎元 製図 榎元

設計図 図面番号 A-21
 縮尺 A1: 1/200, A3: 1/400
 年月日 R 04. 03

番号	底辺	高さ	倍面積	面積
1	17.49	9.26	161.9574	80.9767
2	135.92	22.88	3,109.8496	1,554.9248
3	135.92	10.33	1,404.0536	702.0268
4	15.74	5.10	80.2740	40.1370
5	97.10	32.48	3,153.8080	1,576.9040
6	107.36	19.32	2,074.1952	1,037.0976
7	118.17	20.73	2,449.6641	1,224.8321
8	136.46	11.77	1,606.1342	803.0671
9	27.71	4.70	130.2370	65.1185
10	140.10	28.61	4,008.2610	2,004.1305
11	132.26	13.16	1,740.5416	870.2708
12	72.58	2.36	171.2888	85.6444
13	8.00	3.02	24.1600	12.0800
14	70.47	2.98	210.0006	105.0003
15	39.27	3.64	142.9428	71.4714
16	89.21	17.97	1,603.1037	801.5519
17	13.53	1.78	24.0834	12.0417
18	36.85	3.38	124.5530	62.2765
19	35.90	6.04	216.8360	108.4180
20	35.86	11.45	410.5970	205.2985
21	8.42	3.34	28.1228	14.0614
22	70.44	8.32	586.0608	293.0304
23	69.01	11.86	818.4586	409.2293
24	28.20	7.75	218.5500	109.2750
25	140.10	22.39	3,136.8390	1,568.4195
26	102.88	25.71	2,645.0448	1,322.5224
27	115.04	25.38	2,919.7152	1,459.8576
28	115.04	0.55	63.2720	31.6360
29	122.24	13.76	1,682.0224	841.0112
30	135.86	4.90	665.7140	332.8570
31	139.44	26.13	3,643.5672	1,821.7836
32	131.52	2.81	369.5712	184.7856
33	132.26	3.54	468.2004	234.1002
34	130.67	8.02	1,047.9734	523.9867
35	134.66	3.76	506.3216	253.1608
36	139.44	6.16	858.9504	429.4752
37	74.50	7.82	582.5900	291.2950
38	33.13	14.08	466.4704	233.2352
39	28.07	2.38	66.8066	33.4033
40	26.70	0.67	17.8890	8.9445
41	7.89	2.58	20.3562	10.1781
合計				21,829.5186
敷地面積				21,829.51 m ²



霧島市国分新町1332の一部
 児童クラブ敷地分 160.49m²
 第19霧建007計完-1号 平成20年3月25日

敷地求積図 S=1/400

特記



株式会社 JUN 設計
 鹿児島県知事登録 第1-2-18
 〒899-4501 鹿児島県霧島市福山町福山4690番地6
 TEL(0995)56-2938 FAX(0995)56-2709

工事名	R8国分北小学校渡り廊下B改築工事
図面名	敷地求積図
一級建築士登録 第365156号	設計 榊元由香
担当 榊元由香	構造 榊元由香
製図 榊元由香	

設計図	図面番号	A - 22
縮尺	A1 : 1/400 A3 : 1/800	
年月日		R 04. 03

外部仕上表

渡り廊下棟	屋根	平部：コンクリート金網押えの上、外気遮断防水(X-1) 立上：コンクリート打放しの上、外気遮断防水(X-2) 断熱材：屋根スラブ裏 硬質ウレタンフォーム吹付 厚30	天井	珪酸塩ウレタン板 厚6.0目隠し張りの上、EP塗布 (LGS25型下地)	建具	7&製建具(サッシ周囲シリング MS-2 W=15)	E X P . J	7&製 (1時間耐火仕様) 9775&100947
	柱型	押出成形ワイド板 厚60 好種(塗装品)	巾木	コンクリート打放し 8種	笠木	7&製 W=325		
下棟	外壁	押出成形ワイド板 厚60 好種(塗装品)	土間	コンクリート金網押えの上、剛毛引き仕上(3ヶ所目地)	スロープ	土間：コンクリート金網押えの上、剛毛引き仕上(3ヶ所目地) 立上：コンクリート打放し 8種 H=100		
		断熱材：硬質ウレタンフォーム吹付 厚30	縦樋	好種買込管φ100 (SUS製組み金物φ1,000)		手摺：SUS製φ32・38 2段(H=600・800) 400H		
			ドレン	鋼鉄製 8-Fドレンφ100 横引用				

内部仕上表

棟	階	室名	部位	床			巾木			腰			壁			天井			備考			
				仕上区分	仕上	塗装	床高(各階L基準)	仕上	塗装	H	仕上	塗装	見切	仕上	塗装	仕上	塗装	天井高		屋根	木製	非木製
渡り廊下棟	2	渡り廊下	新設	防滑性ビニル床シート 厚2.0 (コンクリート下地)	—	0+19	ビニル巾木	—	100	石膏ボード 厚12.5 (突付張り)	—	100	石膏ボード 厚12.5 (突付張り) 0面一部：珪酸塩ウレタン板 厚5.5張の上、掲示板が1張	EP	—	石膏ボード 厚12.5 (突付張り) 0面一部：珪酸塩ウレタン板 厚5.5張の上、掲示板が1張	EP	化粧石膏ボード 厚9.5 (目隠し張り)	—	2,700x2,719	○	7&製天井点検口 450角 床用 7&EXP. J 100947 (2階:1時間耐火仕様)、壁用 7&EXP. J 100947、天井用 7&EXP. J 100947

国土交通大臣認定防火材料リスト

国土交通大臣認定防火材料リスト				構造認定リスト					
GB-R9.5	QM-9828 同等品以上	GB-F15	NM-8615 同等品以上	繊維混入石膏板	NM-2967 同等品以上	外壁/1時間耐火 (外壁非耐力壁)	FP060NE-9035	柱合成被覆/1時間耐火	FP060CN-9200
GB-R12.5	NM-8619 同等品以上		NM-1498 同等品以上	ケイ酸カルシウム板	NM-8578 同等品以上	押出成形ワイド板 厚60 (縦張工法)		押出成形ワイド板 厚60+吹付ロック 厚30 (かさ比重0.3以上)	
GB-R15	NM-8619 同等品以上	GB-F21	NM-8615 同等品以上	岩綿吸音板 A12	NM-8599 同等品以上	床/1時間耐火	FP060FL-9095	柱単体被覆 (かさ比重0.28以上)/1時間耐火	FP060CN-9460
GB-S12.5	NM-9346 同等品以上	GB-D9.5	QM-9824 同等品以上	長尺バスリブ	QM-9050 同等品以上	QLチッププレート 厚50+コンクリート 厚30		吹付ロック 厚25	
GB-R-H9.5	NM-1139 同等品以上	GB-L9.5	NM-8617 同等品以上	メラミン化粧合板	NM-9300 同等品以上			梁合成被覆/1時間耐火	FP060BM-9171
GB-R-H12.5	NM-1139 同等品以上	GB-NC9.5	NM-2816 同等品以上	ビニルクロス	QM-9479 同等品以上			押出成形ワイド板 厚60+吹付ロック 厚30 (かさ比重0.3以上)	
GB-F12.5	NM-8615 同等品以上			無機質クロス	NM-0950 同等品以上			梁単体被覆/1時間耐火	FP060BM-9408
								吹付ロック 厚25 (かさ比重0.28以上)	

- ・解体撤去については、躯体及び存置仕上げ材に悪影響の無いよう注意して施工する事。
- ・産業廃棄物の処理に当たっては関連法令に従い適正処理する事。
- ・施工にあたっては特記仕様書、共通仕様書、各メーカー仕様書、施工計画書、施工図、承認図に基づいて施工する事。
- ・施工上撤去、移設を要する軽微なものは契約内にて処理する事。
- ・特記無き新設躯体は次による。 コンクリート(土間:FC=18,SL=15、その他:FC=21,SL=15)、鉄筋(SD295A 重ね継手)
- ・特記なき壁の下地は、LGSとする。
- ・特記なき天井の下地は、LGS 19型とする。

- ・特記無き木材の種類、等級は下記とする。
- 下地材(調湿) 樹種：杉 等級：特1等
- 造作材(柱・出隅材・見切・巾木・縦樋) 樹種：杉
- ・杉以外の木材は、「認証かごしま材」とする。
- ・屋根防水の保証期間(10年)は、トゲノリを含んだ保障とする。
- ・押出成形ワイド板の表面塗装の種類は好種(親水性)素樹脂塗料仕上とする。

石綿含有建材使用箇所一覧表

棟	階数	室名 (既存室名)	部位/建築材料の種類/石綿の有無/石綿無しと判断した根拠																		備考		
			床			巾木			腰			壁			天井			その他(具体的部位)					
			材料	有無	根拠	材料	有無	根拠	材料	有無	根拠	材料	有無	根拠	材料	有無	根拠	部位	材料	有無		根拠	
渡り廊下棟	外部																					解体建物 建設時期：昭和46年(1971年)8月 外壁改修時期：平成12年(2000年) 報告書(証明書)番号：ア2021-100-3	建設時期：昭和47年(1972年)4月 ※平成13年(2001年)大規模改修
																			外壁	⑤	□		
教室2号棟	外部																					解体建物 建設時期：不明 報告書(証明書)番号：ア2021-233-5	建設時期：昭和45年(1970年)9月・昭和46年(1971年)8月 ※平成12年(2000年)大規模改修
																			軒裏	⑥	□		
教室4号棟	外部																					報告書(証明書)番号：ア2021-100-3	建設時期：昭和47年(1972年)4月 ※平成13年(2001年)大規模改修
																			軒裏	⑤	□		

建築材料の種類(材料間空欄の部位は石綿含有建材でないことが明らかなるものを示す)

①吹付材 ④屋根用折板断熱材 ⑦スレート波板 ⑩珪酸塩ウレタン板第1種 ⑬ビニル床シート ⑯ロックウール吸音天井板

②保温材 ⑤耐火被覆材(吹付材を除き、珪酸塩ウレタン板第2種を含む) ⑧スレートボード ⑪押出成形ワイド板 ⑭窯業系サイディング ⑰その他の材料

③煙突断熱材 ⑥仕上塗材 ⑨屋根用化粧スレート ⑫A7ワイド板 ⑮石膏ボード

石綿の有無

■ 石綿有り

□ 石綿無し

石綿無しと判断した根拠

1. 目視

2. 設計図書等(4を除く)

3. 分析

4. 建築材料製造者による証明

5. 建築材料の製造年月日

特記

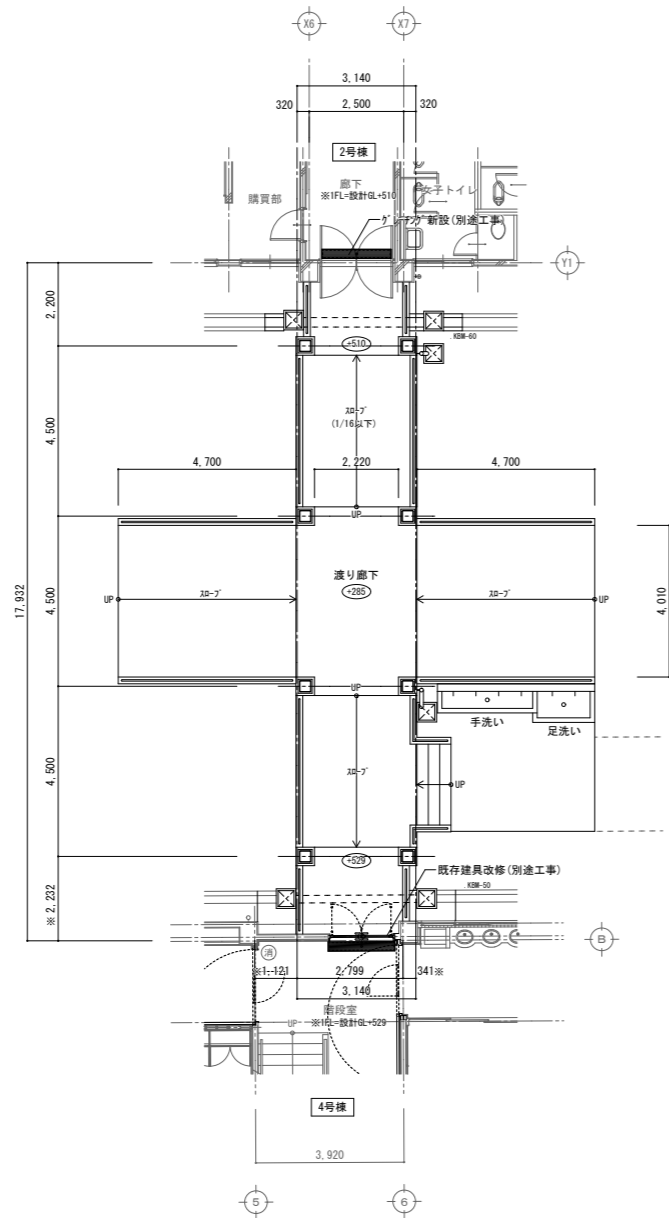
株式会社 JUN 設計

鹿児島県知事登録 第1-2-18

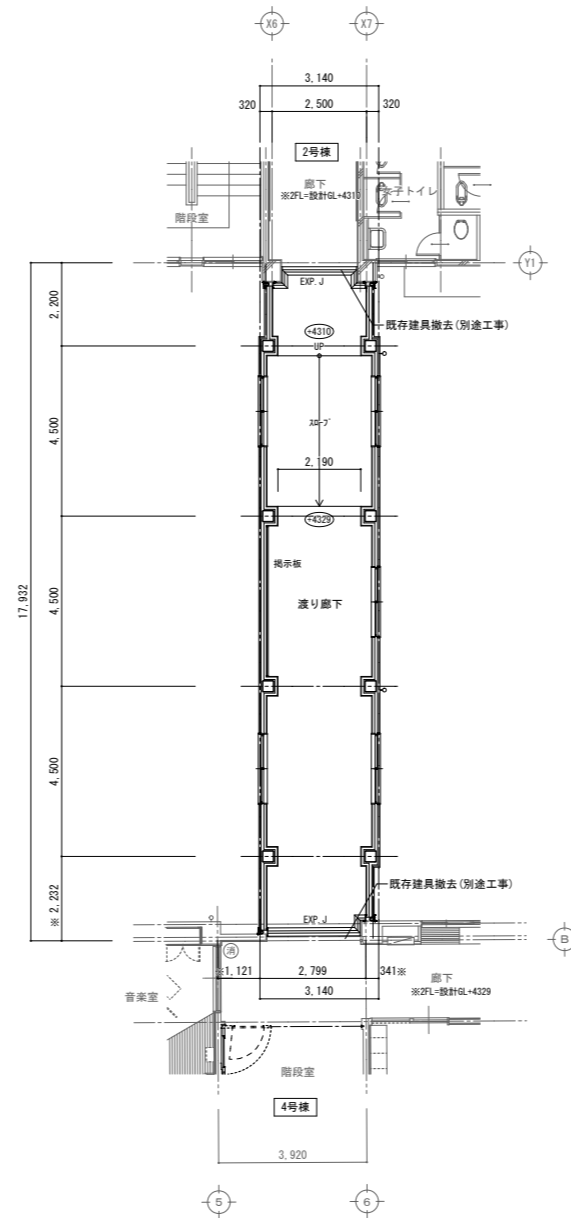
〒899-4501 鹿児島県霧島市福山町福山4690番地6

TEL(0995)56-2938 FAX(0995)56-2709

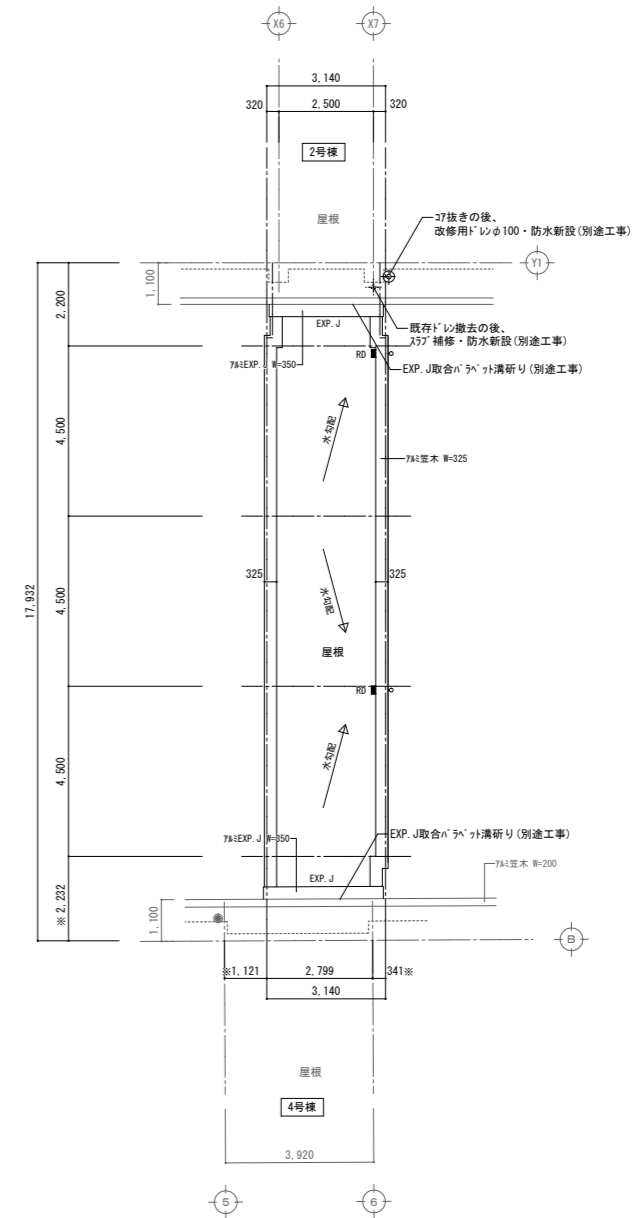
工事名	R8国分北小学校渡り廊下B改築工事	設計図	図面番号	A - 23
図面名	外部・内部仕上表、石綿含有建材使用箇所一覧表	縮尺	A1 : NO SCALE A3 : NO SCALE	
一級建築士登録 第365156号 榊元由香	設計	榊元	担当	榊元
製図	榊元	構造	榊元	年月日
				R 04. 03



1階平面図 S=1/100



2階平面図 S=1/100



R階平面図 S=1/100

特記

「※」の数値等は参考値とし、施工に先立ち実測を行い設定するものとする。(XD-7 勾配は1/16以下とする。)

*** …設計GLからの仕上げ高さを示す。(設計GL=KBW-55)



株式会社 JUN 設計
 鹿児島県知事登録 第1-2-18
 〒899-4501 鹿児島県霧島市福山町福山4690番地6
 TEL(0995)56-2938 FAX(0995)56-2709

工事名 R8国分北小学校渡り廊下B改築工事

図面名 渡り廊下B 1・2・R階平面図

一級建築士登録 第365156号
 榊元 由香

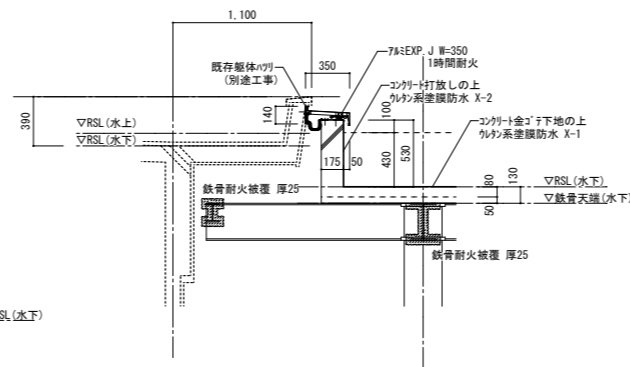
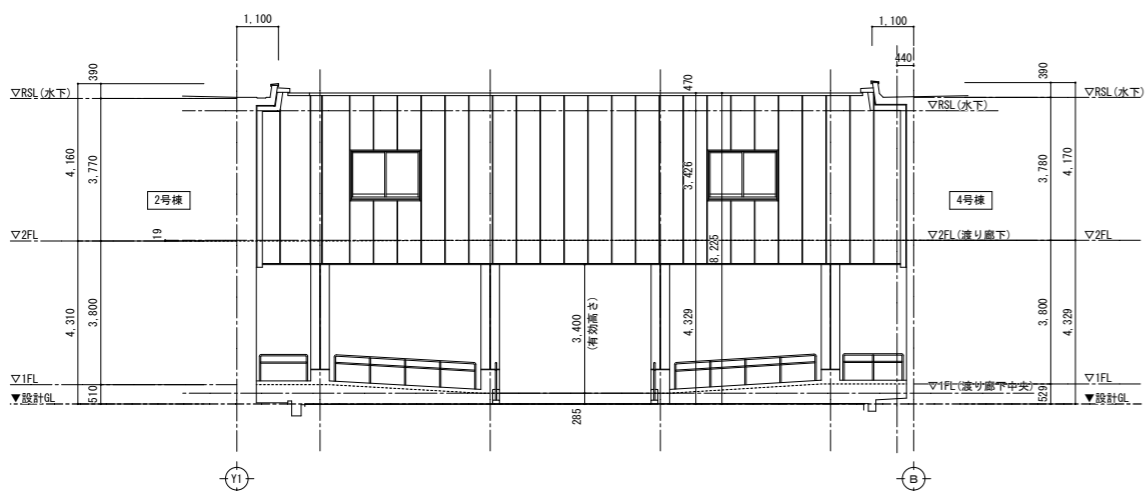
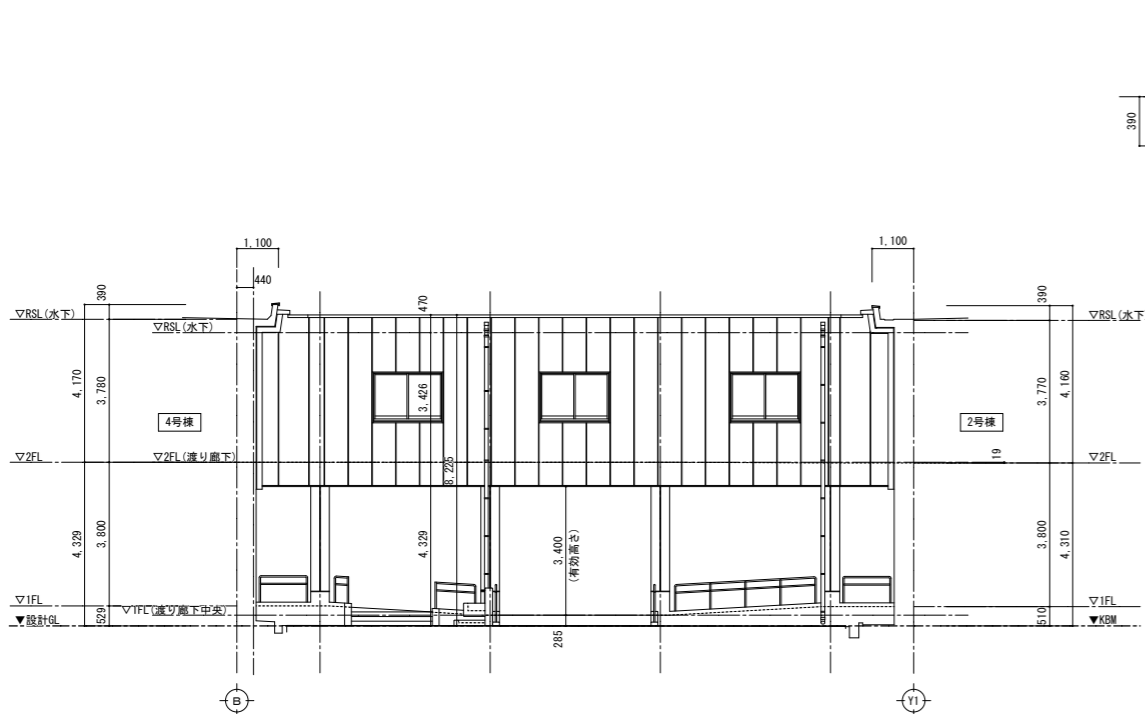
設計 榊元 担当 榊元 構造 榊元 製図 榊元

設計図

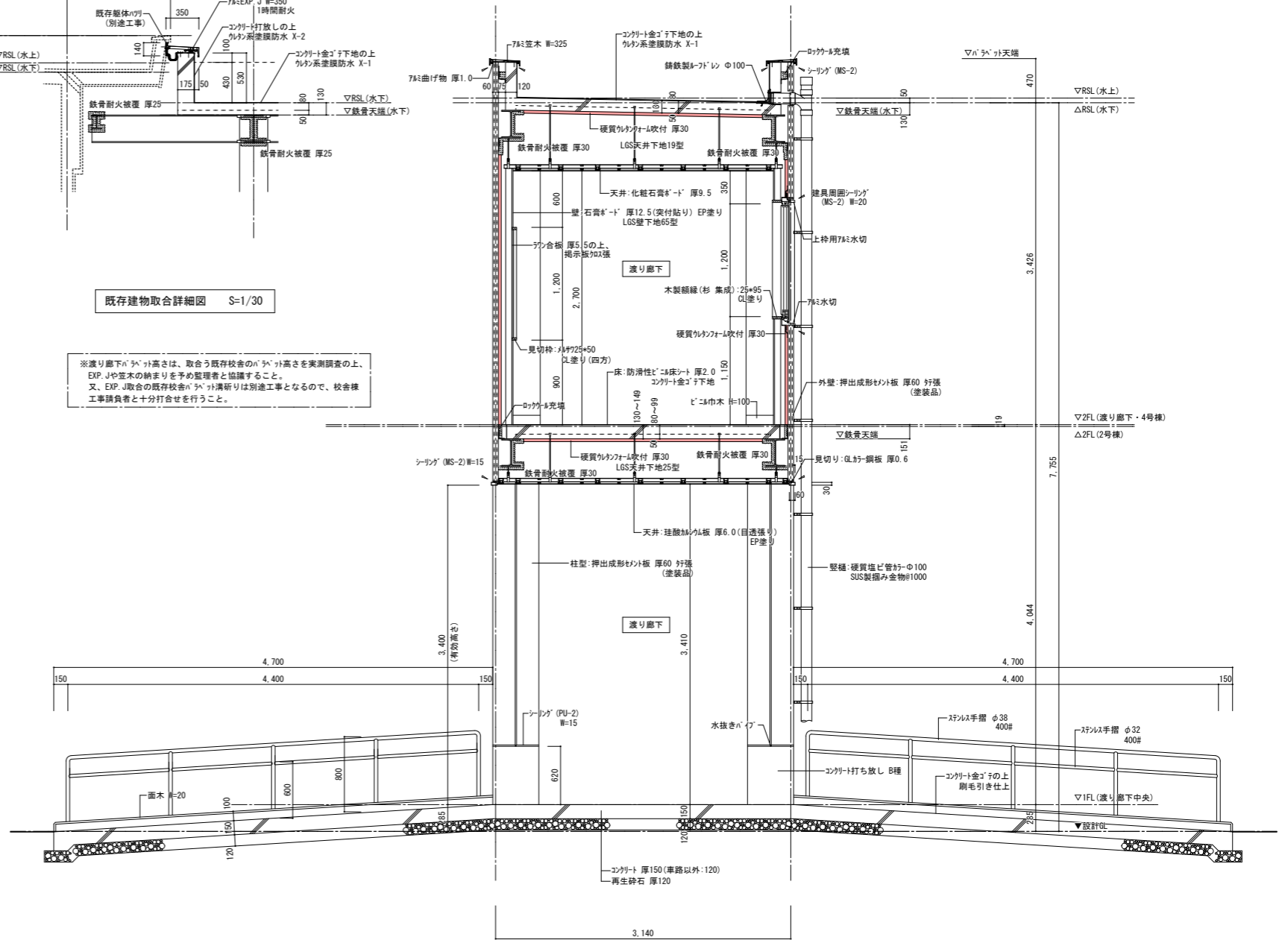
図面番号 A - 24

縮尺 A1 : 1/100
 A3 : 1/200

年月日 R 04. 03



※渡り廊下ハイト高さは、取合う既存校舎のハイト高さを実測調査の上、EXP. Jや壁木の納まりを予め監理者と協議すること。
又、EXP. J取合の既存校舎ハイト高さは別途工事となるので、校舎様工事請負者と十分打合せを行うこと。



特記

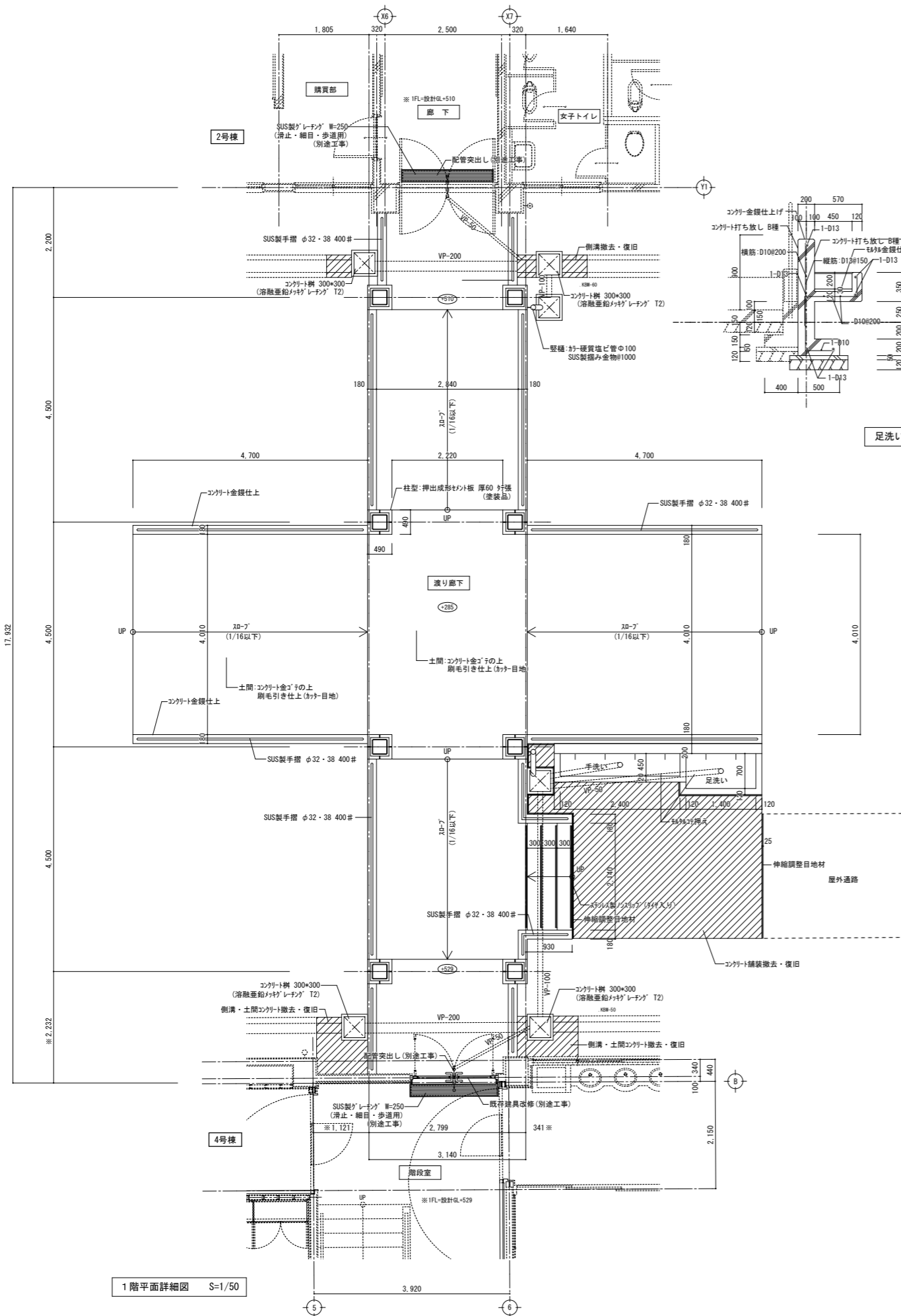


株式会社 JUN 設計
鹿児島県知事登録 第1-2-18
〒899-4501 鹿児島県霧島市福山町福山4690番地6
TEL (0995) 56-2938 FAX (0995) 56-2709

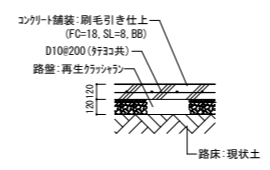
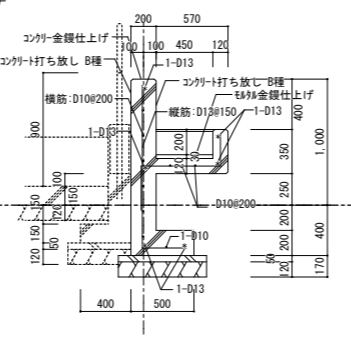
工事名 R8国分北小学校渡り廊下B改築工事
図面名 渡り廊下B 立面図・矩計図
一級建築士登録 第365156号
棟元 由香

設計 榎元 榎元 榎元
担当 榎元 榎元 榎元
構造 榎元 榎元 榎元
製図 榎元 榎元 榎元

設計図 図面番号 A-25
縮尺 A1 : 1/30, 1/100
A3 : 1/60, 1/200
年月日 R 04. 03

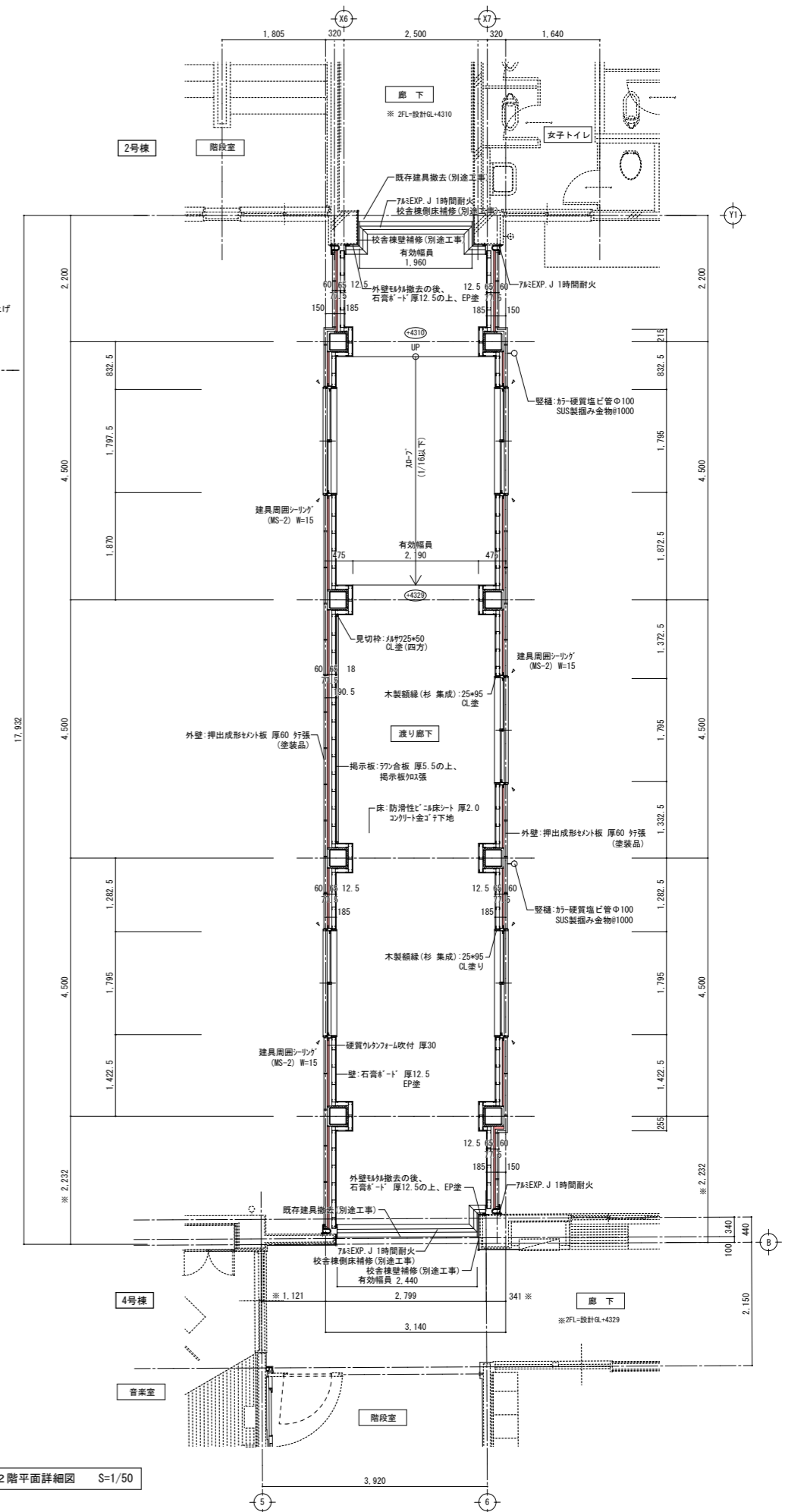


足洗い・手洗い断面詳細図 S=1/30



コンクリート舗装詳細図 1/30

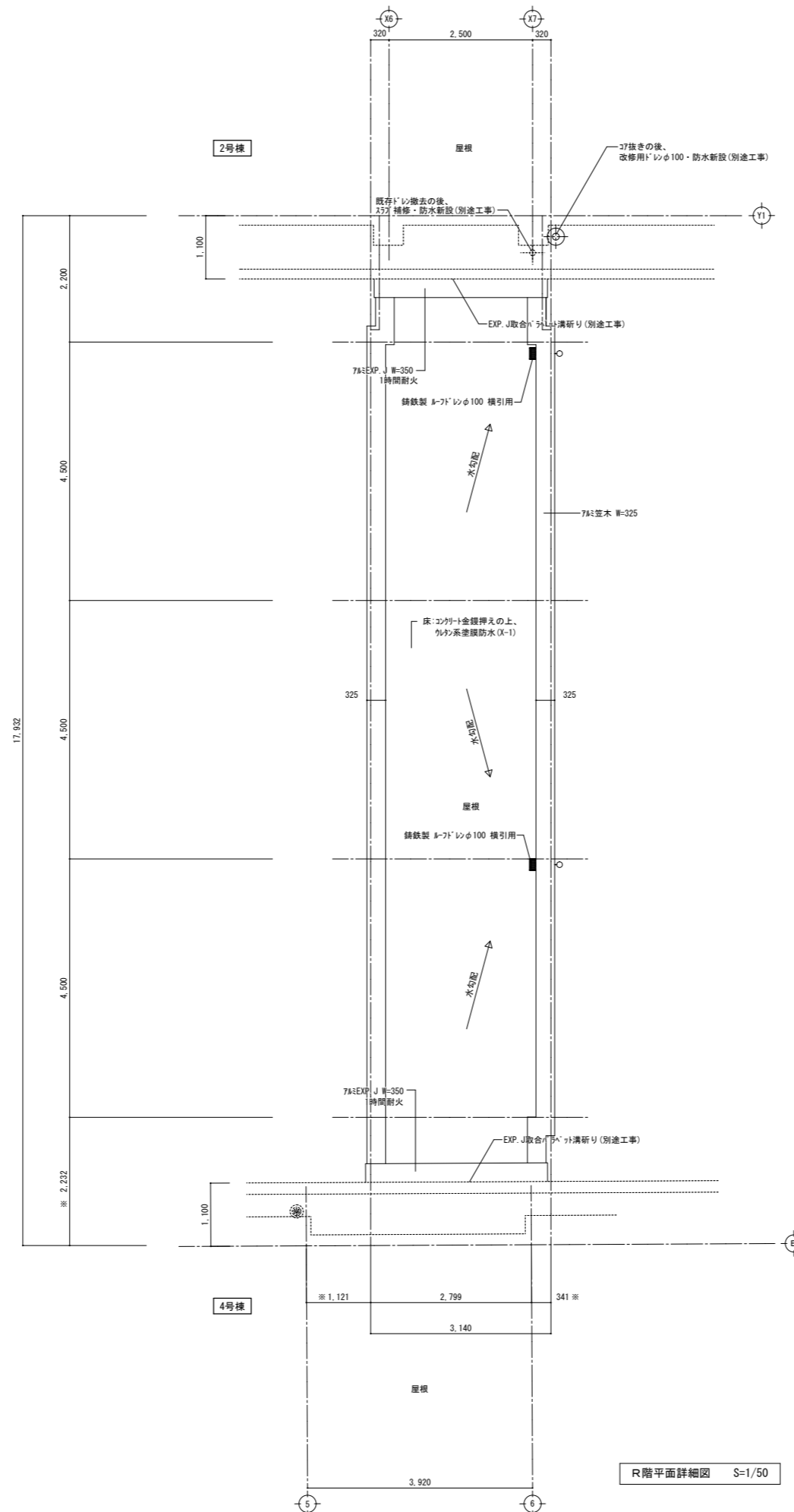
※既存土間、工作物、拵と取合う部分は伸縮調整目地材 W=25を設けること。



特記
 「※」の数値等は参考値とし、施工に先立ち実測を行い設定するものとする。(2D-7勾配は1/16以下とする。)
 (***): 設計図からの仕上げ高さを示す。(設計図-KW-85)

JUN ARCHITECTURE DESIGN CORPORATION
株式会社 JUN 設計
 鹿児島県知事登録 第1-2-18
 〒899-4501 鹿児島県霧島市福山町福山4690番地6
 TEL(0995)56-2938 FAX(0995)56-2709

工事名 R8国分北小学校渡り廊下B改築工事
設計図 図面番号 A-26
図面名 渡り廊下B 1・2階平面詳細図、足洗い・手洗い断面詳細図
縮尺 A1: 1/30, 1/50
 A3: 1/60, 1/100
年月日 年 月 日
設計 榎元 由香
担当 榎元 由香
構造 榎元 由香
製図 榎元 由香
検査 榎元 由香



特記

「※」の数値等は参考値とし、施工に先立ち実測を行い設定するものとする。(2D-3勾配は1/16以下とする。)

*** 設計図からの仕上げ高さを示す。(設計図=KBW-85)



株式会社 JUN 設計
 鹿児島県知事登録 第1-2-18
 〒899-4501 鹿児島県霧島市福山町福山4690番地6
 TEL(0995)56-2938 FAX(0995)56-2709

工事名 R8国分北小学校渡り廊下B改築工事

図面名 渡り廊下B R階平面詳細図

一級建築士登録 第365156号
 榎元 由香

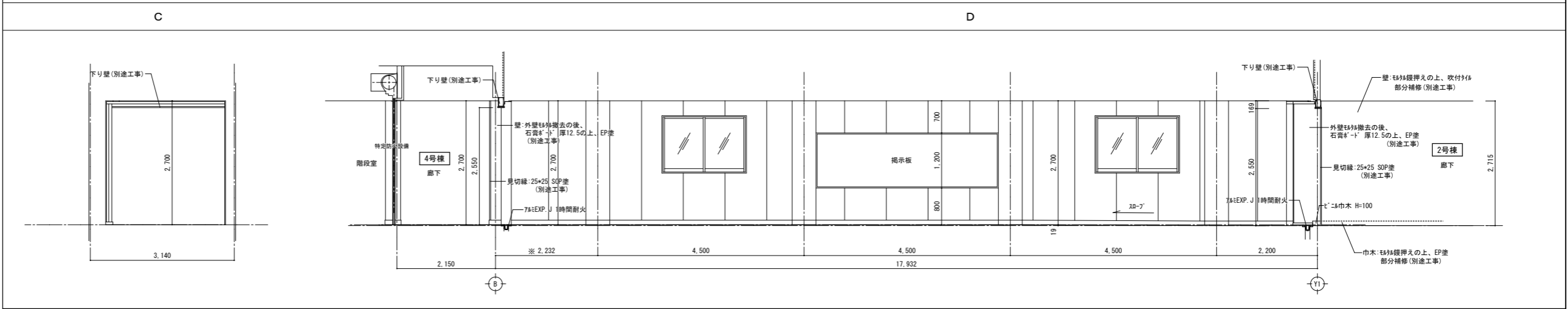
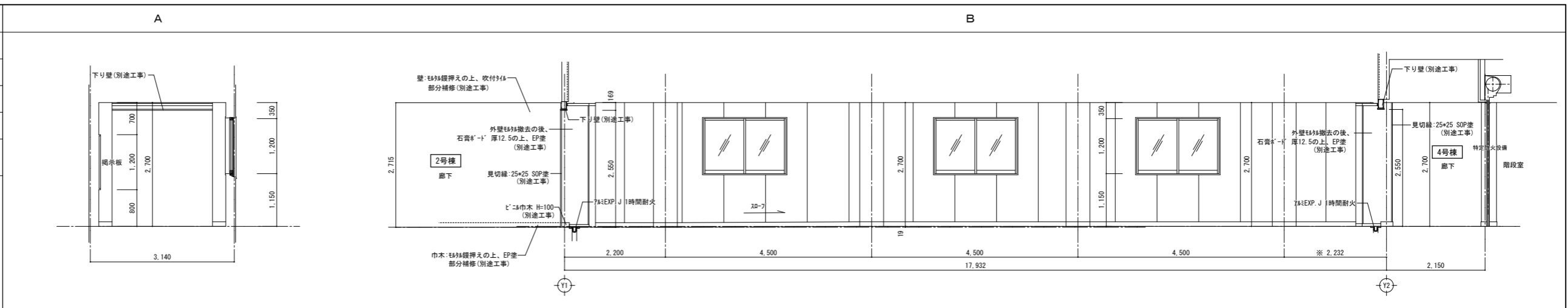
設計 榎元
 担当 榎元
 構造 榎元
 製図 榎元

図面番号 A - 27

縮尺 A1 : 1/50
 A3 : 1/100

年月日 R 04. 03

2階 渡り廊下		CH=2.700~2.719
床	防滑ビニル床シート 厚2.0 (コンクリート下地)	
巾木	ビニル巾木 H=100	
壁	石膏ボード 厚12.5 EP塗 D面一部：珪藻合板 厚5.5張の上、掲示板702張	
天井	化粧石膏ボード 厚9.5	
備考		

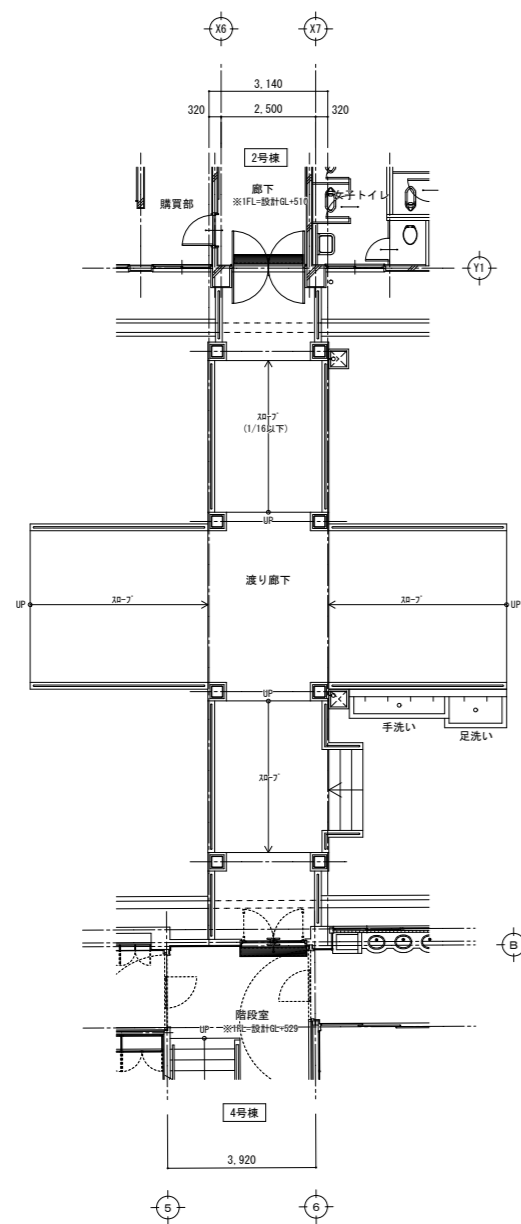


特記

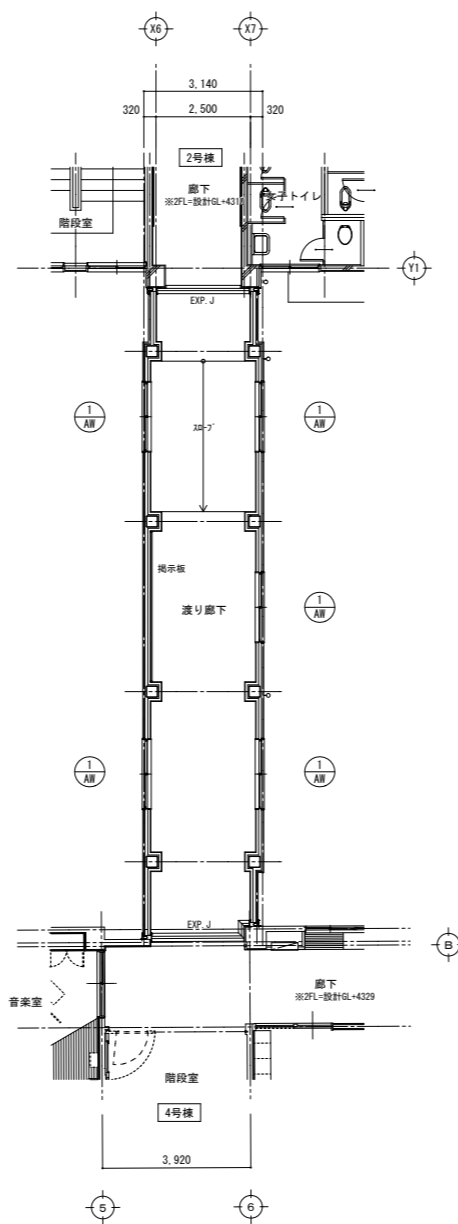

株式会社 JUN 設計
 鹿児島県知事登録 第1-2-18
 〒899-4501 鹿児島県霧島市福山町福山4690番地6
 TEL (0995) 56-2938 FAX (0995) 56-2709

工事名 R8国分北小学校渡り廊下B改築工事 図面名 渡り廊下B 展開図 <small>一級建築士登録 第365156号 榊元 由香</small>	設計図 <small>設計 榊元 担当 榊元 構造 榊元 製図 榊元</small>
---	--

図面番号 A - 28 縮尺 A1 : 1/50 A3 : 1/100 年月日 R 04. 03
--



1階建具キープラン S=1/100



2階建具キープラン S=1/100

記号・数量	① AW	5ヶ所
姿図・寸法		
場所	1・2階 渡り廊下	
型式	引違窓 (RC用)	
見込	70	
仕上	7ö	
硝子	学校用強化透明硝子 厚4.0	
金物	付属金物一式	
備考	サッシ、7ö7ö、7ö水切、上枠用7ö水切、整枠用7ö見切	
記号・数量		
姿図・寸法		
場所		
型式		
見込		
仕上		
硝子		
金物		
備考		
記号・数量		
姿図・寸法		
場所		
型式		
見込		
仕上		
硝子		
金物		
備考		
記号・数量		
姿図・寸法		
場所		
型式		
見込		
仕上		
硝子		
金物		
備考		

特記
特記以外の外部材の性能は、S-5、A-4、W-5、T-1以上とする。

JUN
ARCHITECTURE
DESIGN
CORPORATION

株式会社 JUN 設計
鹿児島県知事登録 第1-2-18
〒899-4501 鹿児島県霧島市福山町福山4690番地6
TEL(0995)56-2938 FAX(0995)56-2709

工事名 R8国分北小学校渡り廊下B改築工事

設計図

図面番号

A-29

図面名 渡り廊下B 1・2階建具キープラン、建具表

縮尺

A1 : 1/50、1/100
A3 : 1/100、1/200

一級建築士登録 第365156号
標元 由香

設計 榎元

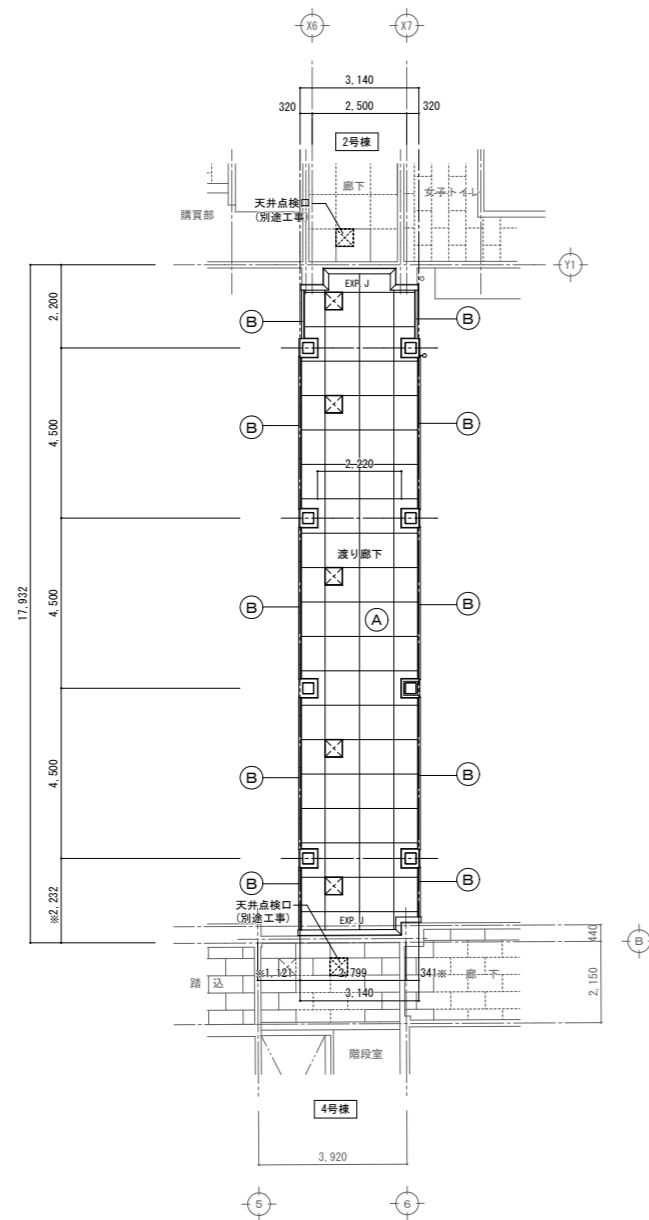
担当 榎元

構造 榎元

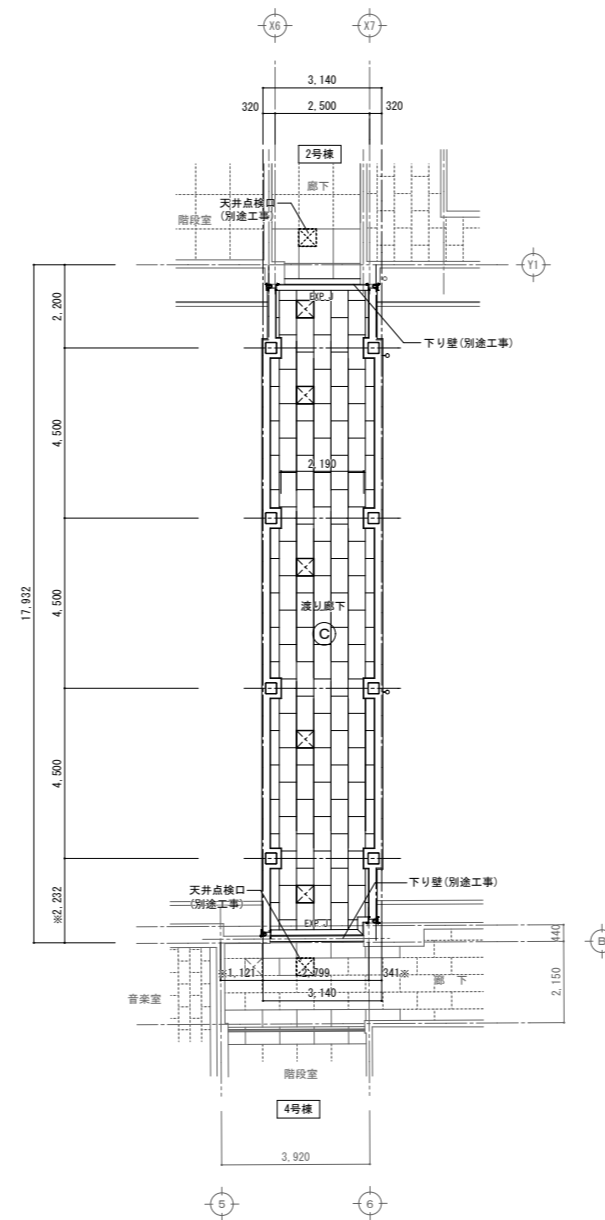
製図 榎元

年月日

R 04. 03



1階天井伏図 S=1/100



2階天井伏図 S=1/100

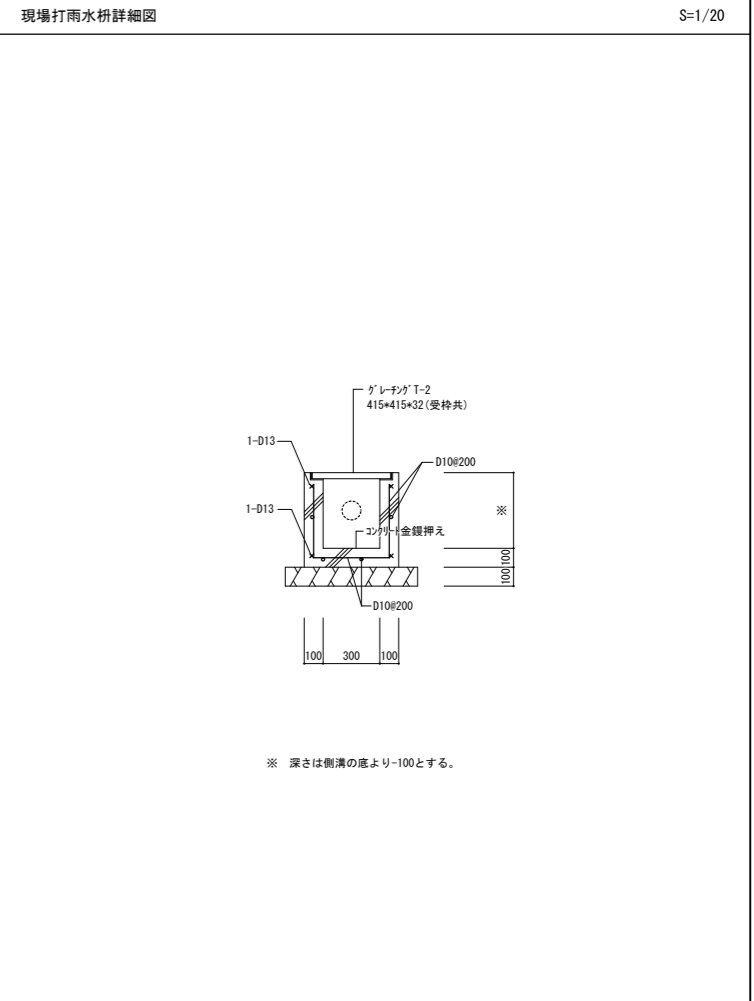
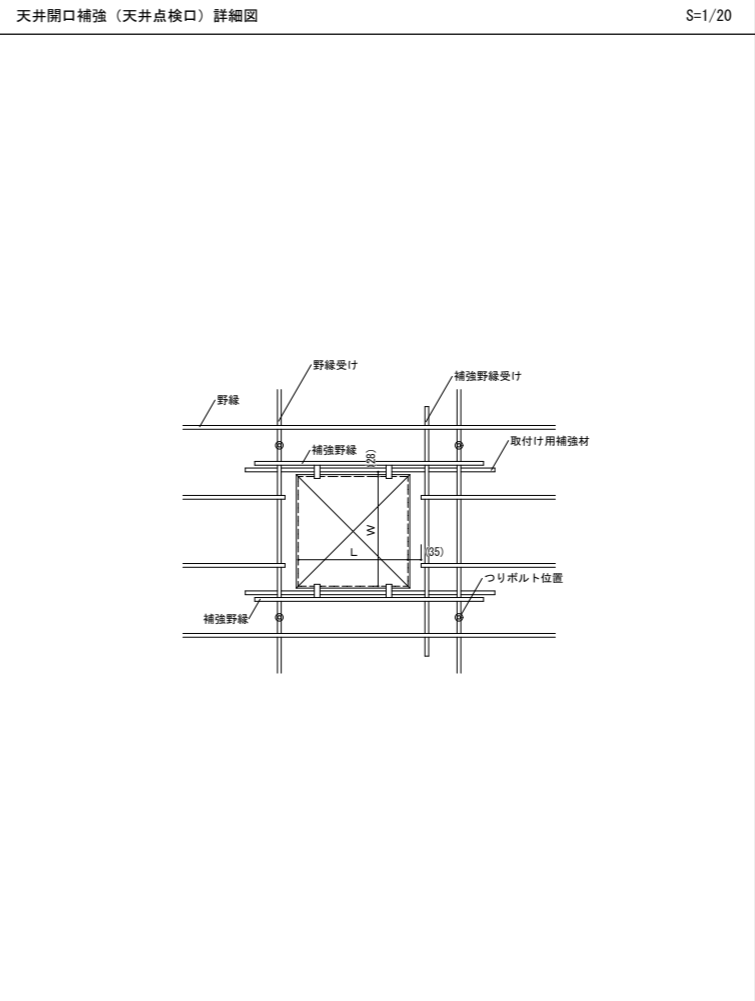
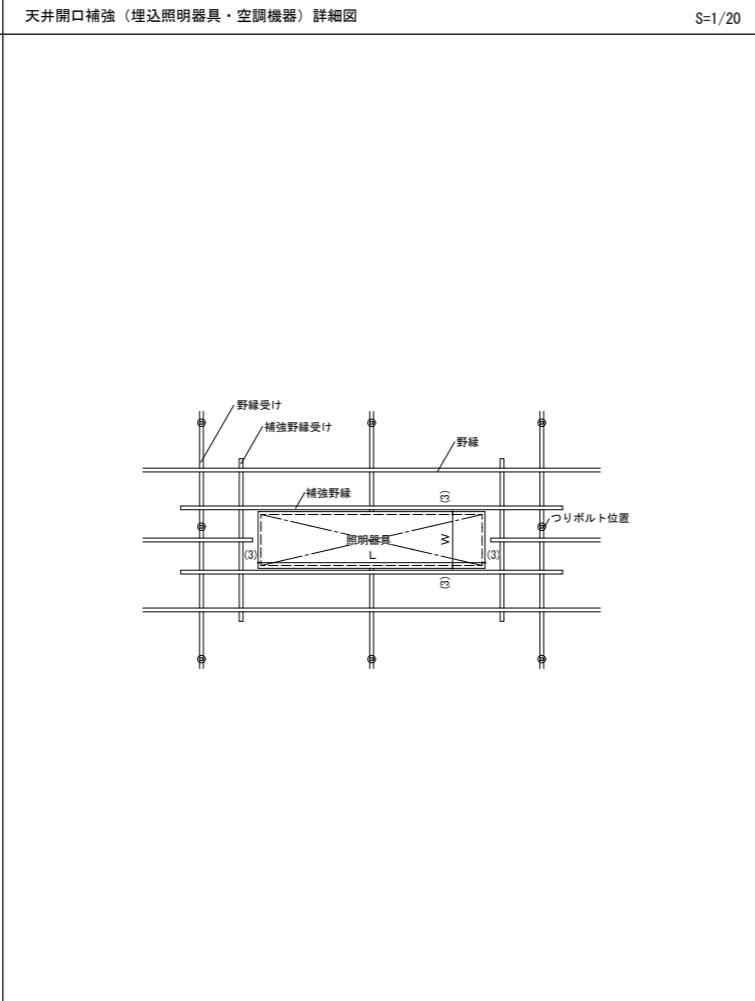
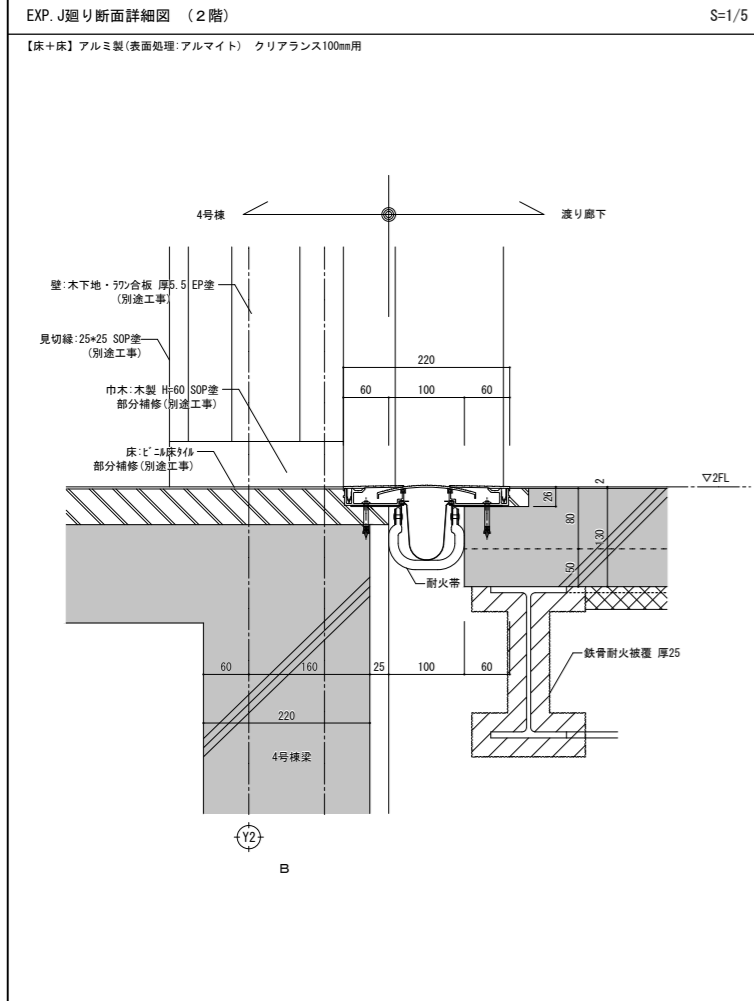
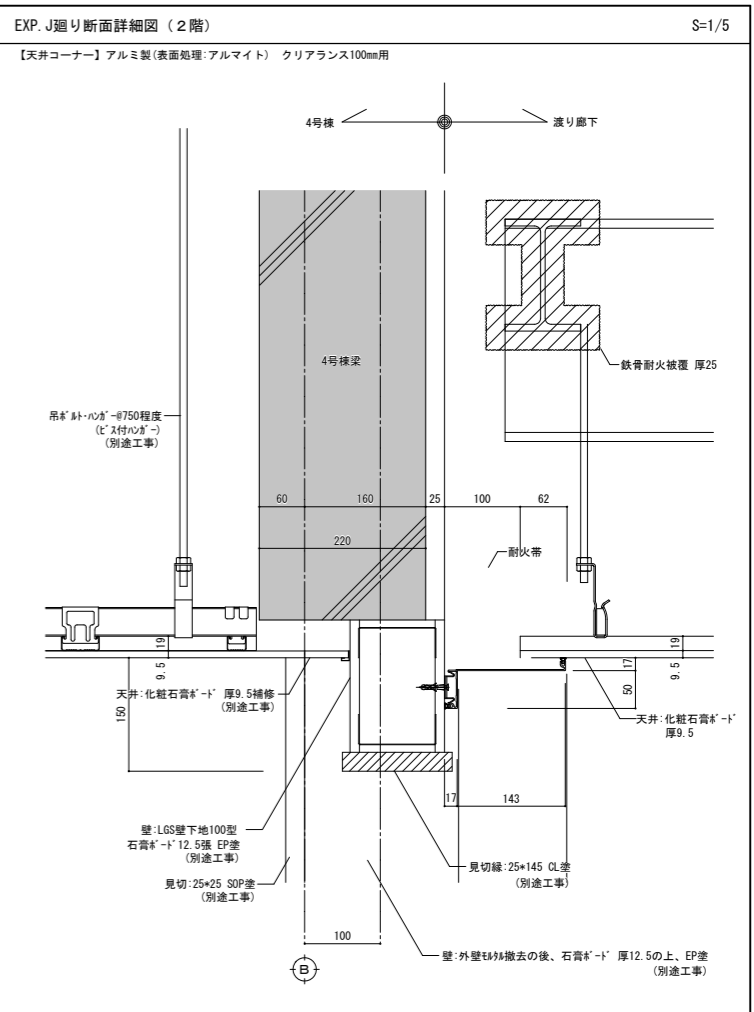
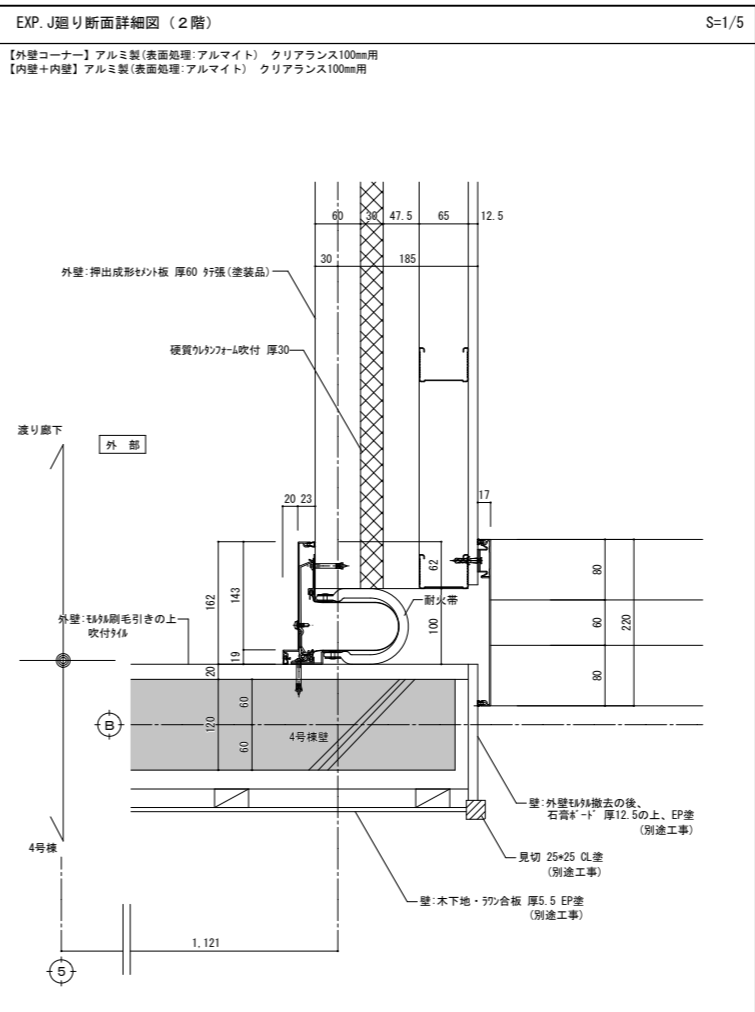
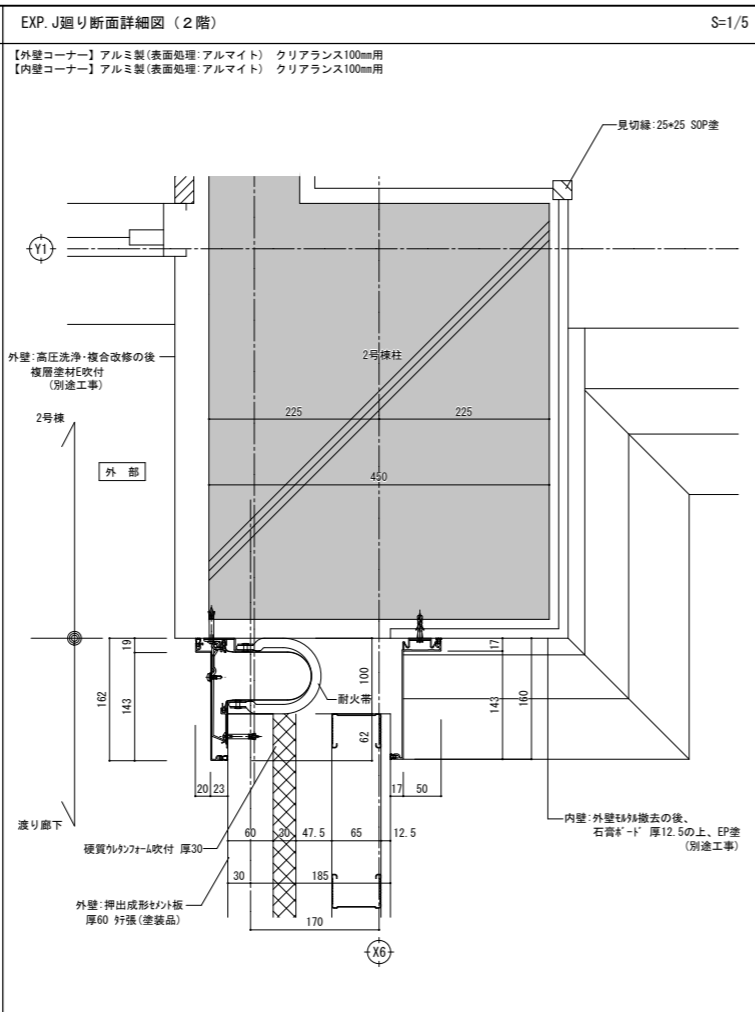
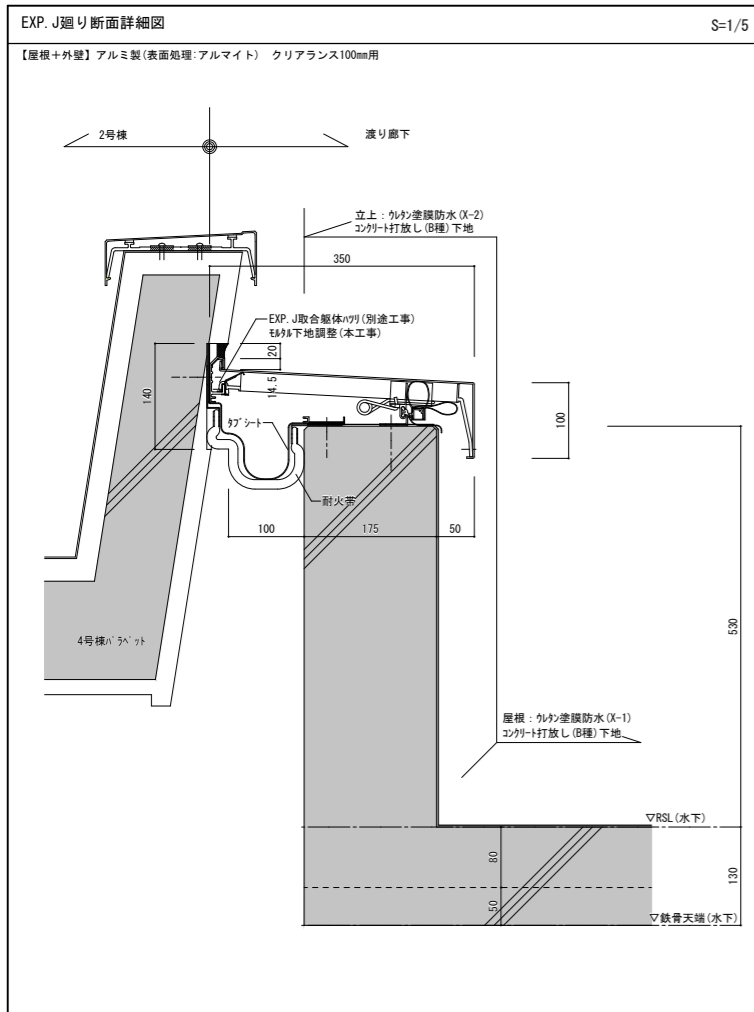
符号	上段：改修前	仕 上
	下段：改修後	
—	—	—
Ⓐ	—	珪酸カルシウム板 厚6.0目透し張 EP塗 (LGS25型下地)
—	—	—
Ⓑ	—	見切り：GL57-鋼板 厚0.6
—	—	—
Ⓒ	—	化粧石膏板 厚9.5
☒	—	…天井点検口450角(7ö製) 額縁347 ※開き勝手は協議による。

特記
「※」の数値等は参考値とし、施工に先立ち実測を行い設定するものとする。

JUN ARCHITECTURE DESIGN CORPORATION
株式会社 JUN 設計
 鹿児島県知事登録 第1-2-18
 〒899-4501 鹿児島県霧島市福山町福山4690番地6
 TEL (0995) 56-2938 FAX (0995) 56-2709

工事名 R8国分北小学校渡り廊下B改築工事
図面名 渡り廊下B 1・2階天井伏図
 一級建築士登録 第365156号
 榎元 由香

設計図
図面番号 A - 30
縮尺 A1 : 1/100
 A3 : 1/200
年月日 R 04. 03



特記

JUN ARCHITECTURE DESIGN CORPORATION

株式会社 JUN 設計
鹿児島県知事登録 第1-2-18
〒899-4501 鹿児島県霧島市福山町福山4690番地6
TEL (0995) 56-2938 FAX (0995) 56-2709

工事名 R8国分北小学校流り廊下B改築工事

図面名 流り廊下B 雑詳細図1

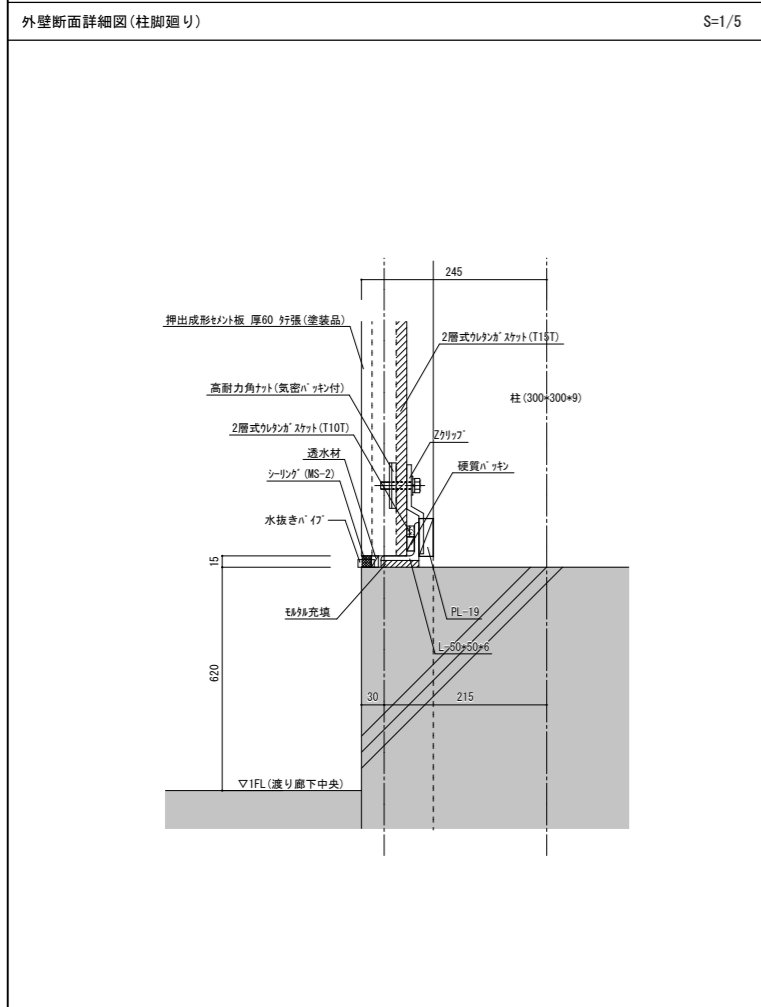
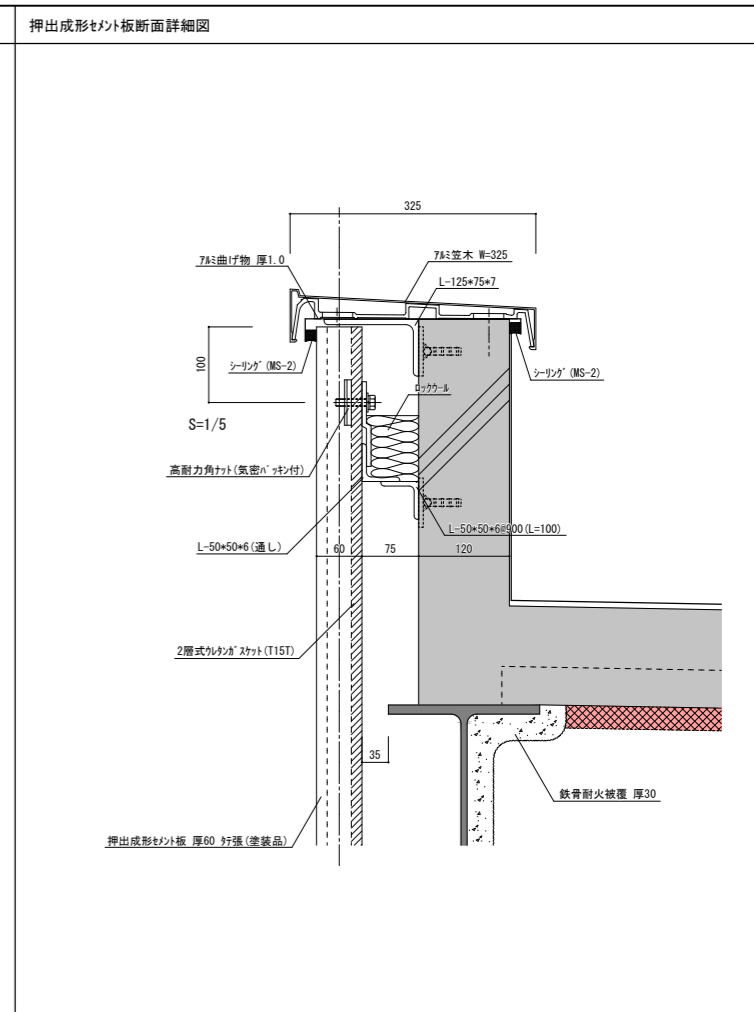
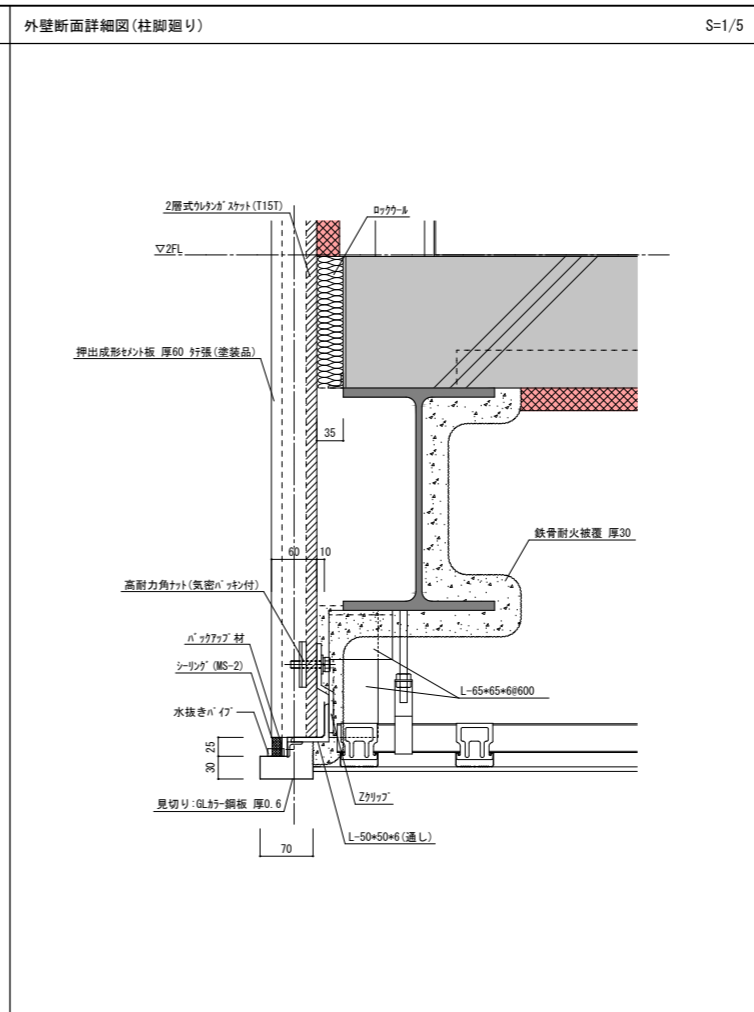
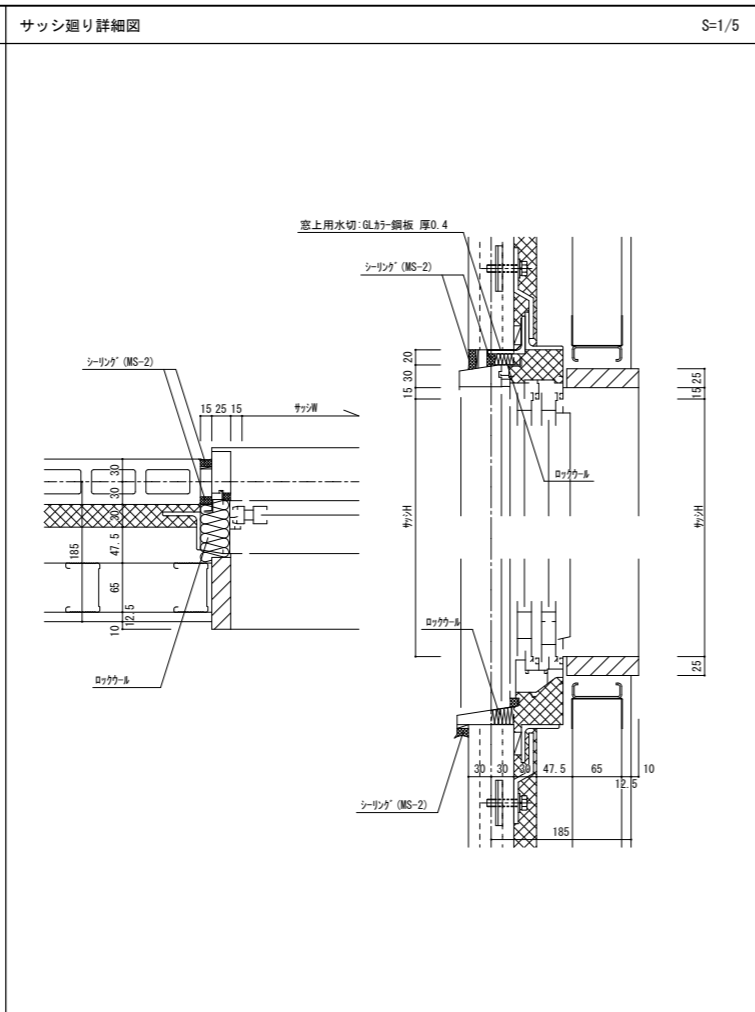
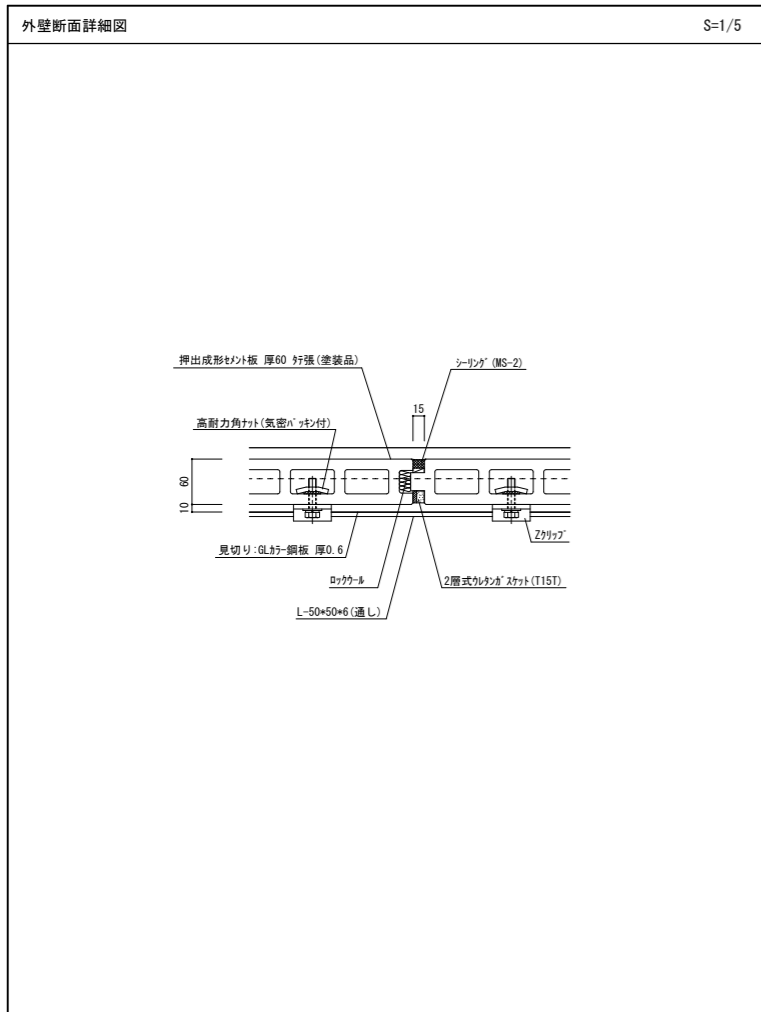
一級建築士登録 第365156号
榊元由香

設計 榊元 担当 榊元 構造 榊元 製図 榊元

設計図 図面番号 A-31

縮尺 A1: 1/5, 1/20
A3: 1/10, 1/40

年月日 R 04. 03

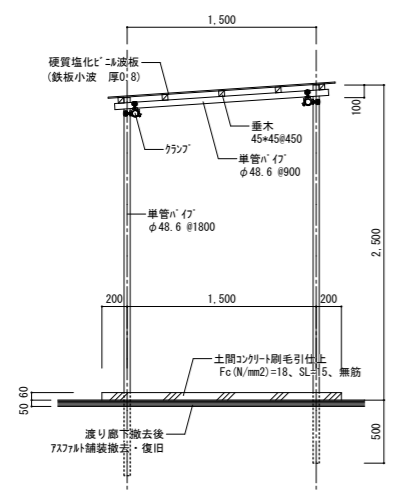


特記

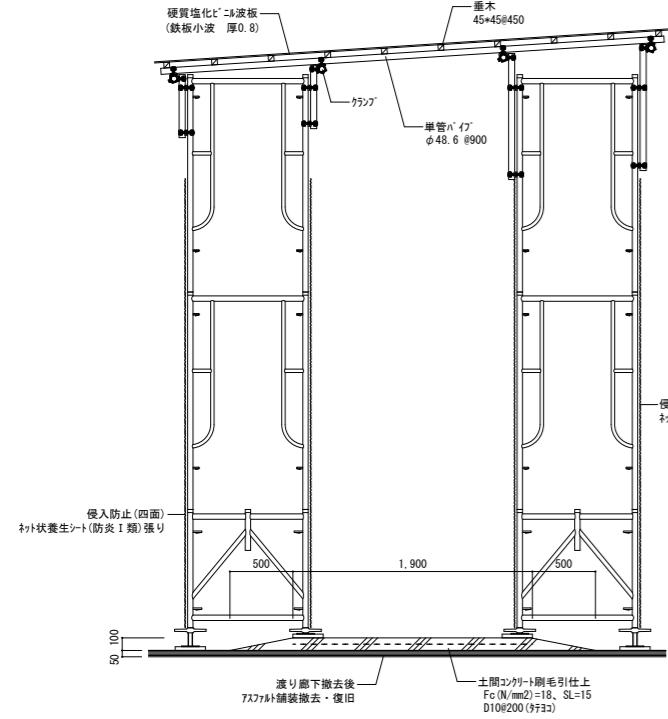
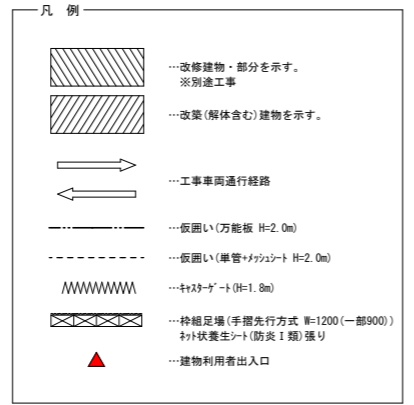
株式会社 JUN 設計
 JUN ARCHITECTURE DESIGN CORPORATION
 〒899-4501 鹿児島県霧島市福山町福山4690番地6
 TEL(0995)56-2938 FAX(0995)56-2709

工事名	R8国分北小学校渡り廊下B改築工事
図面名	渡り廊下B 雑詳細図2
設計	榊元 由香
担当	榊元 由香
構成	榊元 由香
製図	榊元 由香

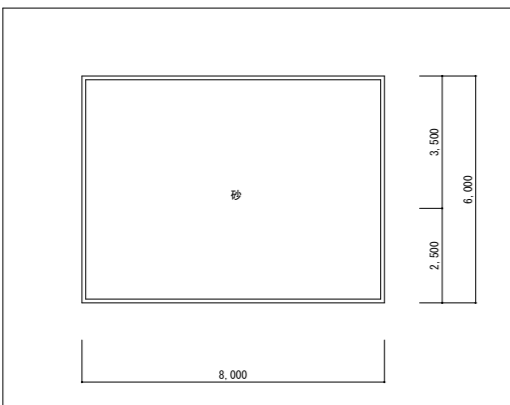
図面番号	A - 32
縮尺	A1 : 1/5 A3 : 1/10
年月日	R 04. 03



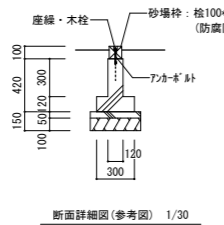
假設吹さらし渡り廊下断面図(参考) S=1/30
※工事終了後撤去とする。



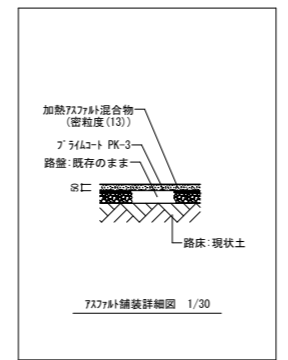
假設吹さらし渡り廊下断面図(車両入口参考) S=1/30
※工事終了後撤去とする。
※必要に応じ転倒防止措置を講ずること。



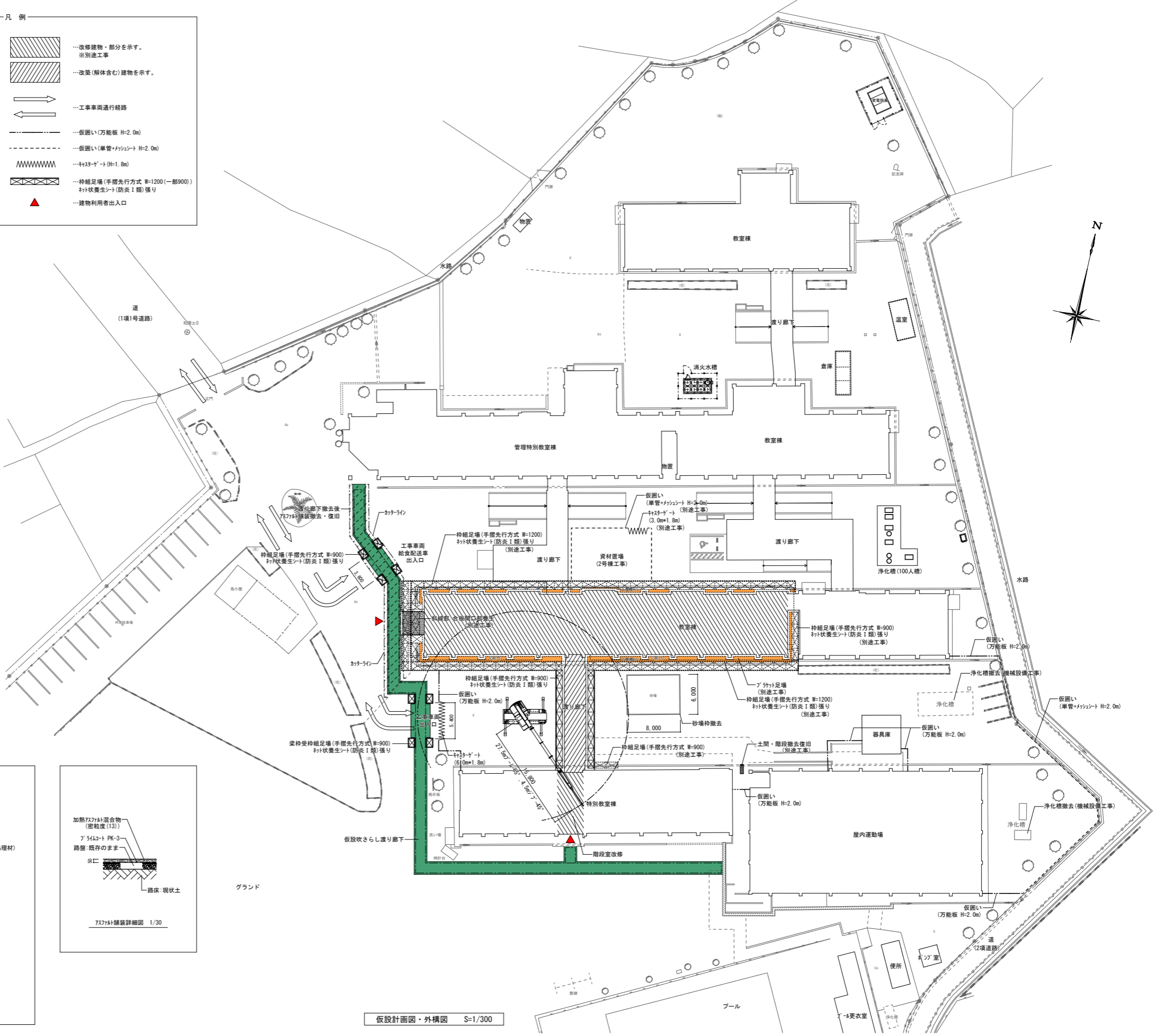
木製砂場枠平面図 S=1/100



断面詳細図(参考図) 1/30



7377針舗装詳細図 1/30



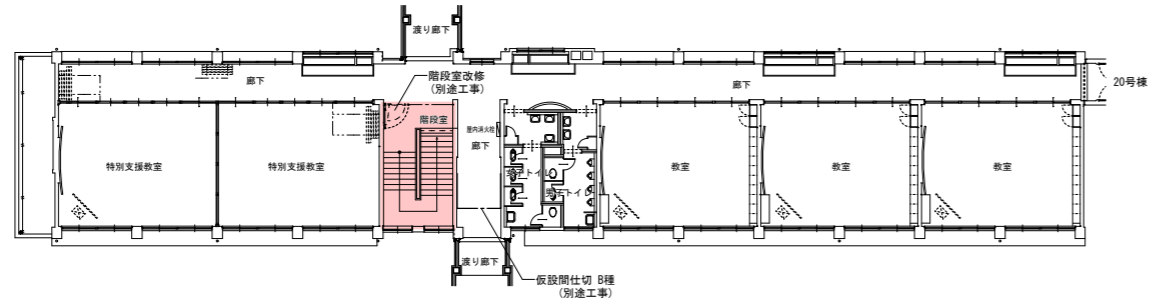
仮設計画面・外構図 S=1/300

特記	・仮囲い外での作業の際は、おこなう等により作業範囲の安全対策を講ずること。
	・工事に支障となる樹木の枝打範囲は、発注元及び学校側と協議の上決定する。
	・仮設吹さらし渡り廊下土間下に仕切りや樹根等がある場合、工事期間中の操作や点検等ができるようにコンクリートに代えて合板等による床とする。(別途工事)

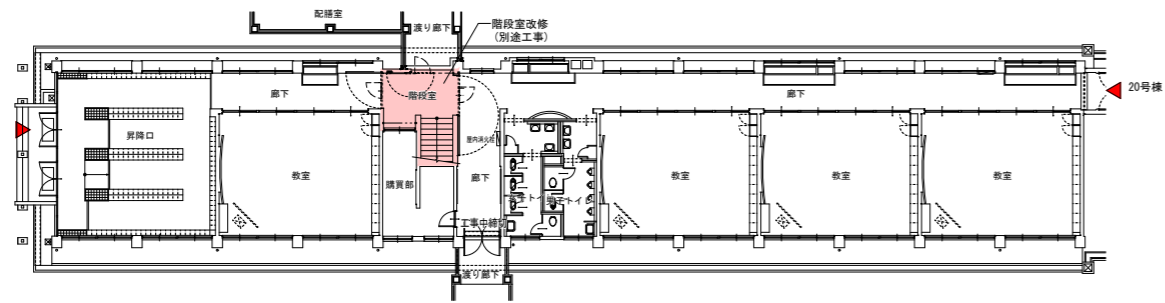
株式会社 JUN 設計
 鹿児島県知事登録 第1-2-18
 〒899-4501 鹿児島県霧島市福山町福山4690番地6
 TEL (0995) 56-2938 FAX (0995) 56-2709

工事名	R8国分北小学校渡り廊下B改築工事
設計図	仮設計画面1・外構図
図面番号	A-33
縮尺	A1: 1/30, 1/100, 1/300 A3: 1/60, 1/200, 1/600
年月日	R 04. 03

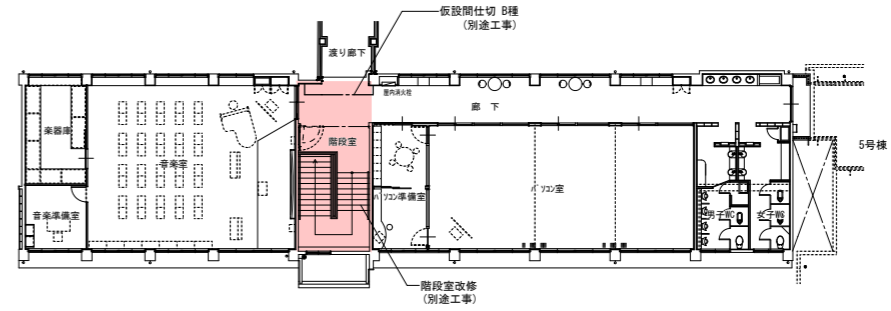
設計	榊元	担当	榊元	構造	榊元	製図	榊元
----	----	----	----	----	----	----	----



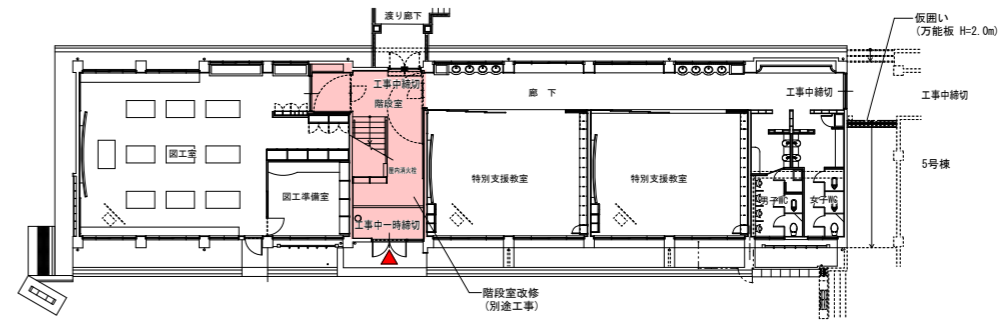
仮設間仕切計画図 2号棟 2階 S=1/200



仮設間仕切計画図 2号棟 1階 S=1/200



仮設間仕切計画図 4号棟 2階 S=1/200



仮設間仕切計画図 4号棟 1階 S=1/200

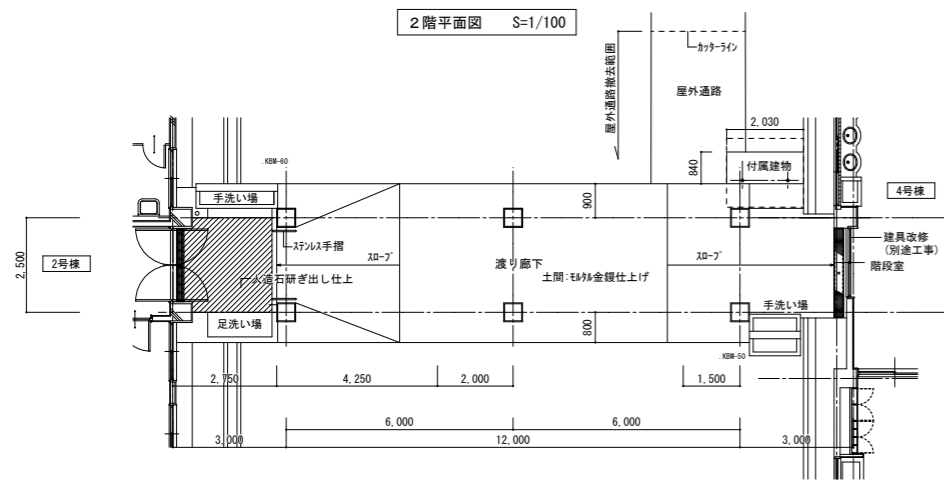
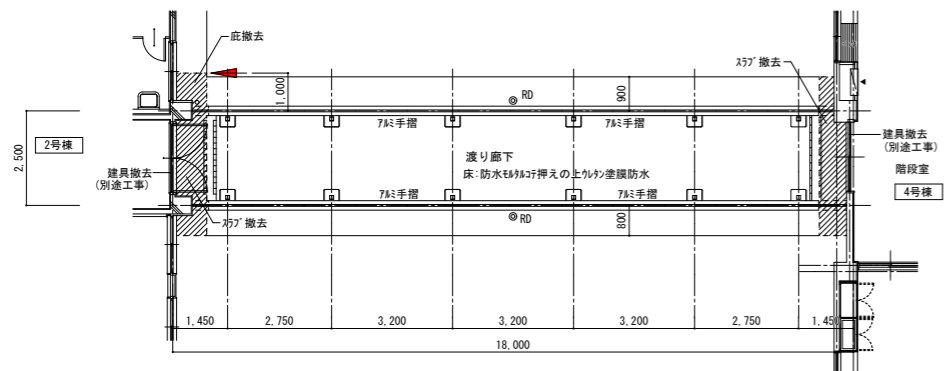
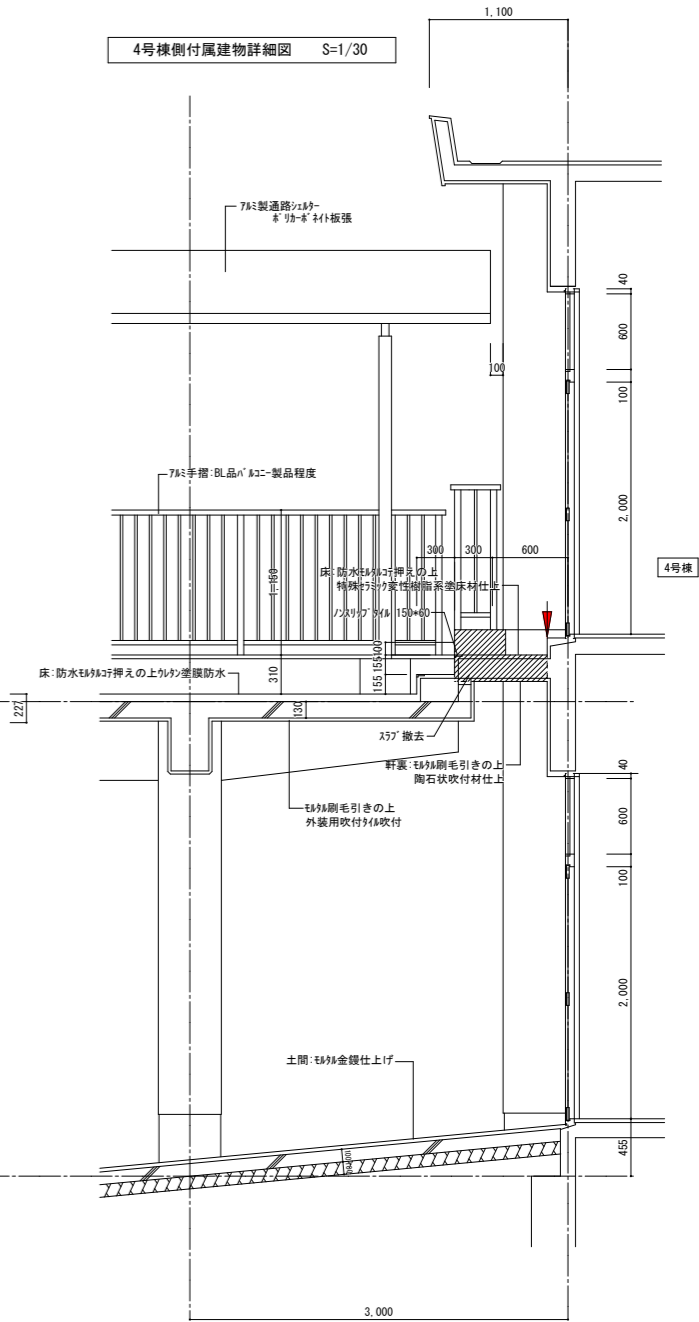
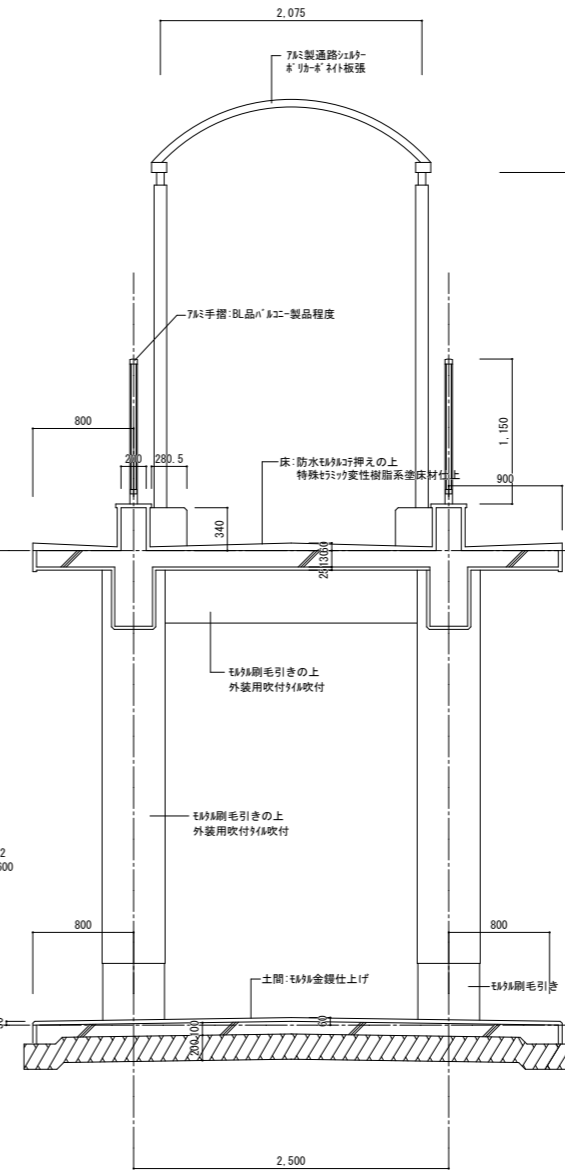
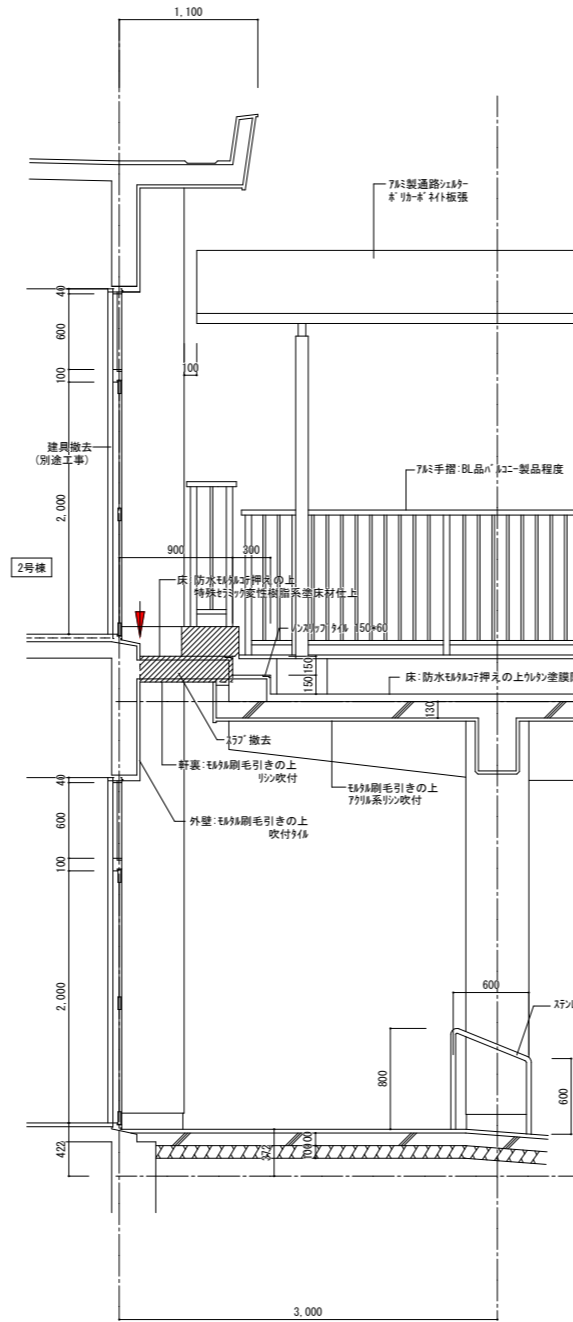
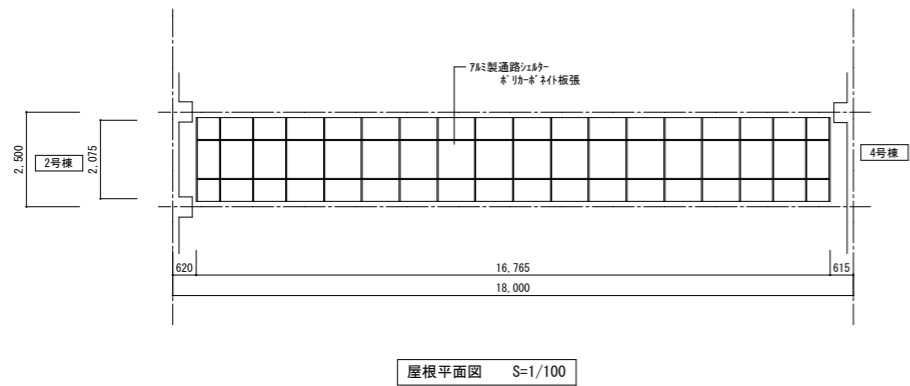
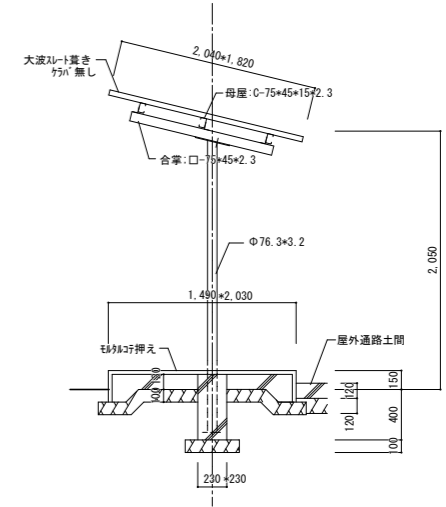
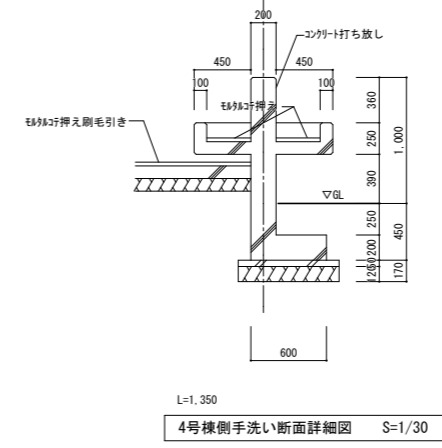
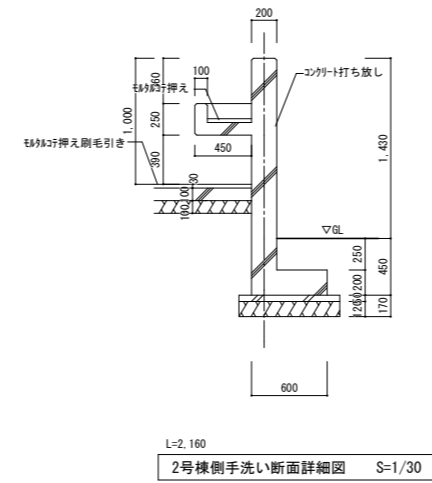
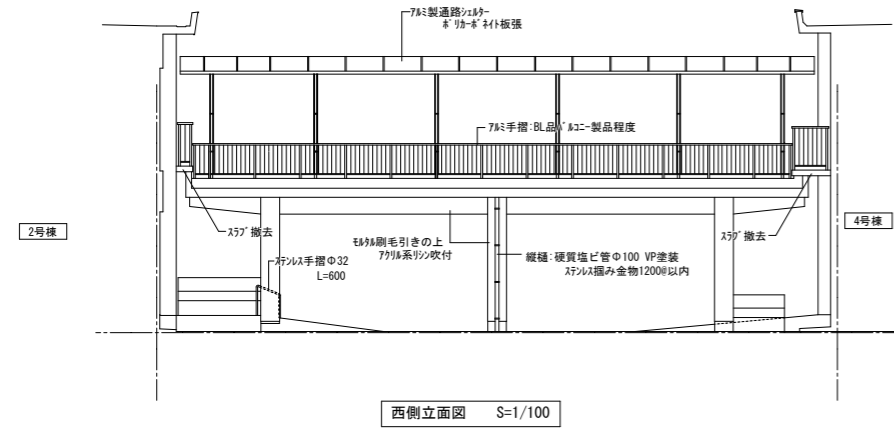
特記
 ・階段室改修工事は、別途工事とする。



株式会社 JUN 設計
 鹿児島県知事登録 第1-2-18
 〒899-4501 鹿児島県霧島市福山町福山4690番地6
 TEL (0995) 56-2938 FAX (0995) 56-2709

工事名 R8国分北小学校渡り廊下B改築工事
図面名 仮設計計画図 2
 一級建築士登録 第365156号
 榊元 由香

設計図
 榊元 由香
図面番号 A - 34
縮尺 A1 : 1/200
 A3 : 1/400
年月日 R 04. 03

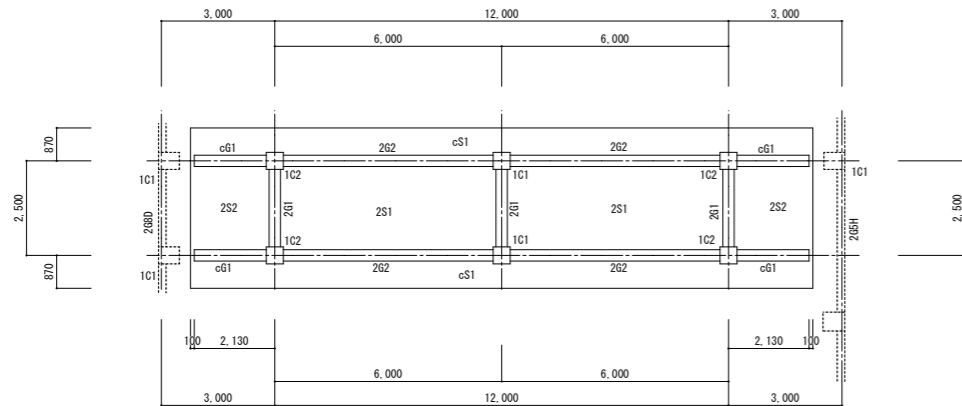


断面詳細図 S=1/30

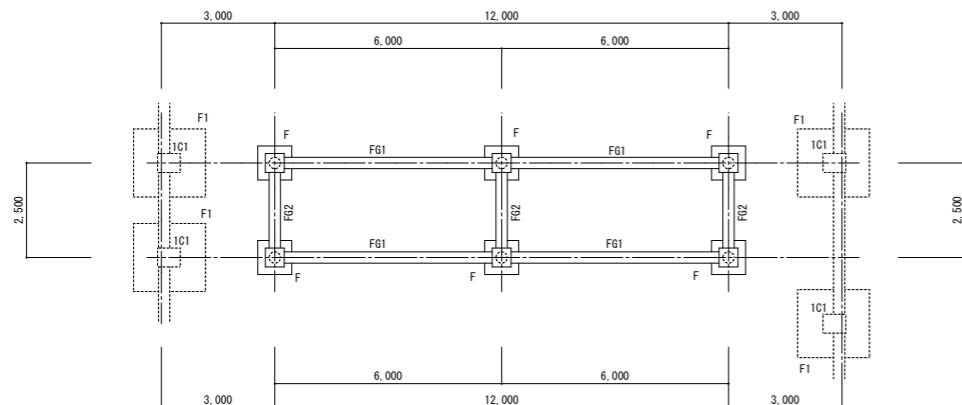
特記
 ※渡り廊下、付属建物、一部屋外通路は撤去とする。
 ※渡り廊下接続棟の広等撤去跡補修は別途工事とする。

JUN ARCHITECTURE DESIGN CORPORATION
 株式会社 JUN 設計
 鹿児島県知事登録 第1-2-18
 〒899-4501 鹿児島県霧島市福山町福山4690番地6
 TEL (0995) 56-2938 FAX (0995) 56-2709

工事名 R8国分北小学校渡り廊下B改築工事
 設計図 図面番号 A-36
 図面名 既存渡り廊下B撤去図 平面図・立面図・断面詳細図
 縮尺 A1: 1/30, 1/100
 A3: 1/60, 1/200
 年月日 R 04. 03



2階梁伏図 S=1/100



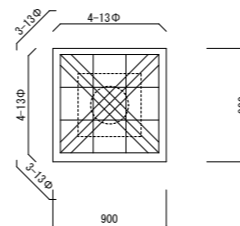
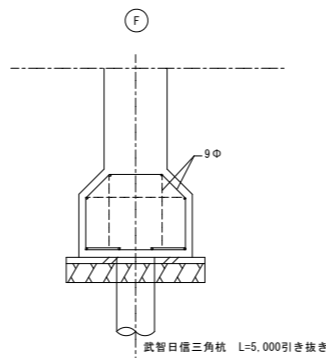
基礎伏図 S=1/100

柱リスト	
符号	1C1.2
断面	
B×D	450×450
主筋	4-16φ, 4-19φ
フープ	9φ-100@
D.フープ	9φ-600@

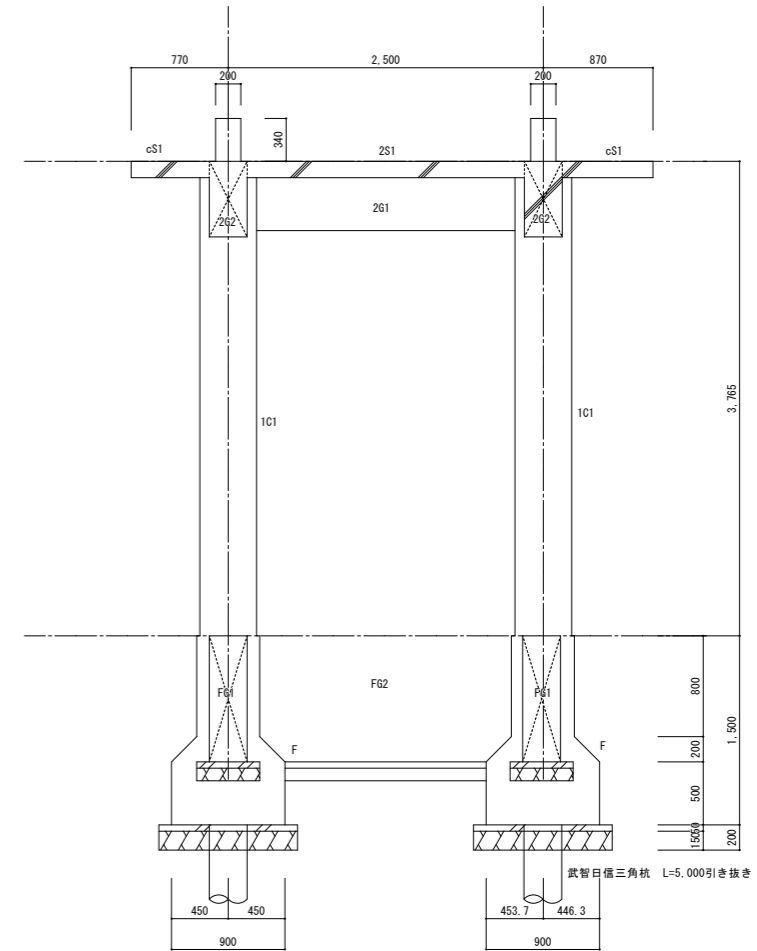
スラブリスト		短辺方向				長辺方向			
符号	スラブ厚	位置	柱間部		柱列帯	柱間部		柱列帯	
			両端	中央		両端	中央		
2S1	130	上端筋	9φ-200@	9φ-400@	9φ-250@	9φ-200@	9φ-400@	9φ-250@	
		下端筋	9φ-400@	9φ-200@	9φ-250@	9φ-400@	9φ-200@	9φ-250@	
2S1	130	上端筋	9φ-200@	9φ-200@	9φ-200@	9φ-200@	9φ-200@	9φ-200@	
		下端筋	9φ-400@	9φ-400@	9φ-400@	9φ-400@	9φ-400@	9φ-400@	
2S1	130	上端筋	9φ-200@	9φ-200@	9φ-200@	9φ-300@	9φ-300@	9φ-300@	
		下端筋	9φ-300@	9φ-300@	9φ-300@	9φ-300@	9φ-300@	9φ-300@	

梁リスト					
符号	2G1	2G2	cG1		
位置	全断	短部	中央	元短	先端
断面					
b×D	300×550	300×600		300×600	300×400
上端筋	3-16φ	2-16φ, 2-19φ	2-19φ	2-16φ, 2-19φ	
下端筋	3-16φ	2-19φ	2-16φ, 2-19φ		2-19φ
スタラップ	9φ-300@	9φ-300@		9φ-300@	9φ-300@
腹筋		2-9φ		2-9φ	

※土間配筋: 9φ-300@ 併・31
 武智日信三角杭 L=5,000引き抜き・・・6本



地中梁リスト	
符号	FG1.2
位置	全断
断面	
b×D	300×1,000
上端筋	3-19φ
下端筋	3-19φ
スタラップ	9φ-300@
腹筋	4-9φ



特記



株式会社 JUN 設計
 鹿児島県知事登録 第1-2-18
 〒899-4501 鹿児島県霧島市福山町福山4690番地6
 TEL (0995) 56-2938 FAX (0995) 56-2709

工事名 R8国分北小学校渡り廊下B改築工事
 図面名 既存渡り廊下B撤去図 基礎伏図・梁伏図・架構図・詳細図
 一級建築士登録 第365156号
 構 造 製 図
 設 計 担 当 構 造 製 図
 榊 元 由 香

設計図 図面番号 A-37
 縮尺 A1: 1/30, 1/100
 A3: 1/60, 1/200
 年月日 R 04. 03

構造設計標準仕様

適用は 印を記入する。

1. 建築物の構造内容
(1) 工事名称 R8国分北小学校渡り廊下B改築工事 (渡り廊下B)
(2) 工事種別 新築 増築 増改築 改築
(3) 構造種別 屋根木造 (W) 補強コンクリートブロック造 (CB) 鉄骨造 (S)
(4) 階数 地下 一 階 地上 2 階 塔屋 一 階
(5) 主要用途 渡り廊下
(6) 屋上付属物 広告塔 高架水槽 t
 煙突 キュービクル t
(7) 増築計画 有 () 無
(8) 付帯工事 門扉 換壁
(9) 特別な荷重 エレベーター 11人乗 (ロープ式、油圧式) リフト ホイストクレーン
 倉庫積載用 k a / m² 受水槽
(10) 構造計算ルート X方向: ルート1-1 Y方向: ルート1-1

2. 使用構造材料
(1) コンクリート
適用箇所 種類 設計基準強度 FC=N/mm² スランプ cm 構造体強度補正係数(S)
捨コンクリート 普通 16 18 15
土間コンクリート 普通 18 21 24 15
基礎、地中梁 普通 21 24 27 15 3
デッキコンクリート 普通 18 21 24 15 3
 普通 24 27 30
 普通 24 27 30
 普通 24 27 30

(2) コンクリートブロック (CB)
 A種 B種 C種 厚 100 120 150 190
(3) 鉄筋
種類 径 使用箇所 継手工法
異形鉄筋 SD295A D10~D16 重ね継手 D10~D16
 SD295B
 SD345 D19~D25 ガス圧継手 D19以上
 SD390
丸鋼 SR235
溶接金鋼 φ6-150×150 特殊継手 ()

(4) 鉄骨
種類 使用箇所 現場溶接 設計溶接強度
鋼材 SS400 SM400 SM400B 大梁、小梁、他 有 無 0.9F 1.0F
STK400 STK400 BCR295 柱 有 無 0.9F 1.0F
SM400A SM490B SM490C ダイセラムラ スニスラプレート 有 無 0.9F 1.0F
SSC400 網織 有 無 0.9F 1.0F

(5) ボルト
高力ボルト F10T F8T S10T 認定品 (M12 M16 M20 M22)
中ボルト φ=M12 φ= 高力ボルトすべり係数試験 要 否
アンカーボルト (主柱) φ=M30 (ABR400) L=750mm ナット (シングル ダブル)
アンカーボルト (間柱) φ= L= mm ナット (シングル ダブル)
隅付スタッド φ= L=

(6) 屋根、床、壁 使用箇所
ALC板 厚 mm
折板 (屋根) H= mm t= mm (庇) H= mm t= mm
デッキプレート 型式: QL99-50-1.2同等品 コンクリート厚80mm 床
フラットデッキ 型式
瓦葺き
角溶サイディング
押出成形瓦板 厚60mm タテ張 外壁

3. 地盤
(1) 地盤調査資料
 有 (敷地内 近隣) ボーリング調査 平板載荷試験 水平地盤反力係数の測定 スクエーデン式サウンディング試験
 無 (調査予定 有 無)
(2) 地盤調査計画
 ボーリング調査 静的貫入試験 標準貫入試験 水平地盤反力係数の測定
 土質試験 物理探査 平板載荷試験
(3) 地盤調査及び試験杭の結果により杭長、杭径、直接基礎の深さ、形状を変更する場合もある。
(4) ボーリング標準貫入値、土質構成 (基礎・杭の位置を明記すること)
別図 (S-08) 参照

4. 地業工事
(1) 直接基礎 ベタ基礎 布基礎 独立基礎 地盤改良杭 試験杭 有 無
深さGL-1.1m 支持層= 長期許容支持力 50 kN/m² 載荷試験 有 無
(2) 杭基礎

杭基礎
種類 材料 施工法 備考
 PHC PC PHC (A種 B種 C種) 打ち込み工法 (オーガー併用)
 JP-NPH H鋼 JP-NPH (A種 B種 C種) セメントミルク工法 (オーガー併用)
 鋼管 摩擦杭 鋼材 STK490 STK400
場所打ちコンクリート杭 コンクリート Fc= om オールケーシング 拡張杭 拡張杭
スランプ リバースケーキュレーション 日本建築センター認定
セメント量 k a / m³ アースドリル ミニアース 第 号
鉄筋 主筋 SD BH 深礎 手掘 機械掘
Hoop SD 機械掘

杭仕様 施工計画書承認 杭施工結果報告書
試験杭 (有 無) (打ち込み 掘削) 本

杭径 (mm) 杭種・杭長 設計支持力 (kN/本) 本数 特記事項
杭状図、杭リスト参照

5. 鉄筋コンクリート工事
(1) コンクリート
コンクリートはJIS認定工場の製品とし施工に関してはJASS5による。
セメントは、JIS R5210の普通ポルトランドセメントを標準とする。
調合計画は、工事開始前に工事管理者の承認を得ること。
高中、重中、その他特殊コンクリートの適用を受ける場合は、調合、打ち込み、養生、管理方法など必要事項について、工事管理者の承認を得ること。
フレッシュコンクリートの塩化物質測定は、原則として工事現場で(財)国土開発技術センターの技術評価を受けた測定器を用いて行い、試験結果の記録及び測定値の表示部を一回の測定ごとに撮影した写真(カラー)を保管し承認を得る。
測定検査の回数は、通常の場合、1日1回以上とし、1回の検査における測定試験は、同一試料から取り分けて3回行い、その平均値を試験値とする。
構造体コンクリート現場の圧縮強度試験供試体(JASST-603)は、現場水中養生、または現場から養生し、採取は打ち込み区ごと、打ち込み日ごととする。
また、打ち込みが150m³をこえる場合は150m³ごとまたは、その塊数ごとに一回を標準とする。一回に採取する供試体は、適当な間隔を有した3台の運搬車からその必要本数を採取する。なお、供試体の数量は、特別指示なき場合は、1回当たり6本以上とし、そのうち4適用に3本用いる。
ポンプ打ちコンクリートは、打ち込む位置にできるだけ近づけて直直に打ちコンクリートの自由落下高さは、コンクリートが分離しない範囲とする。ポンプ圧送に際しては、コンクリート圧送機または同等以上の技能を有するものが従事すること。なお、打ち込み継続中における打継ぎ時間間隔の限度は、外気温が25℃未満の場合は150分、25℃以上の場合は120分以内とする。
(2) 鉄筋
鉄筋はJIS-G3112の規格品を標準とする。
鉄筋の加工寸法、形状、かぶり厚さ、鉄筋の継手位置、継手の重なり長さ、定着長さは「鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)(2)」または「壁式鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)(2)」による。
D19未満は、すべて重ね継手とする。継手(D19以上)をガス圧接とする場合は、日本圧接協会「鉄筋のガス圧接工事標準仕様書」による。
ガス圧接部の抜き取り検査は、同一作業班が同一日に施工した圧接箇所ごと(200箇所を超えるときは、200箇所ごと)に1回行い、1回の試験は5本以上とする。
外観検査 有 無、引張試験 有 無、超音波探傷試験 有 無
柱の帯筋(HOOP)の加工方法は、 H型(タガ型) W型(溶接型) S型(スパイラル型)とする。
コンクリート及び鉄筋の試験は工事管理者の承認する試験機関で行うこと。
試験機関名
代行業者名
代行業者名とは、試験、検査に伴う業務を代行するものをいう。
(3) 型枠
材料 合板厚 12 mm を標準とする。
型枠許容期間

コンクリートの材料区分
種類 部位 せき板 支柱
基礎、はり側、柱、壁 スラブ下、はり下 スラブ下 はり下
早強ポルトランドセメント 普通ポルトランドセメント 早強ポルトランドセメント 普通ポルトランドセメント 早強ポルトランドセメント 普通ポルトランドセメント 早強ポルトランドセメント 普通ポルトランドセメント
A種 A種 A種 A種 A種 A種 A種 A種
シリカセメント シリカセメント シリカセメント シリカセメント シリカセメント シリカセメント シリカセメント シリカセメント
コンクリート 15℃以上 2 3 4 6 8 17 28
5℃~15℃ 3 5 6 10 12 25 28
5℃未満 5 8 10 16 15 28 28
コンクリート 5 N/mm² 設計基準強度の50%
圧縮強度 85% 100%

- 注) 1 片持ばり、庇、サンバ、0以上のはり下は、工事管理者の指示による。
注) 2 大ばりの支柱の盛りかえは行わない。また、その他のはりの場合も原則として行わない。
注) 3 支柱の盛りかえは、必ず直上のコンクリート打ち後とする。
注) 4 盛りかえ後の支柱頂部には、薄い受板、角材または、これに代わるものを置く。
注) 5 支柱の盛りかえは、小ばりが終ってから、スラブを行う。
一時に全部の支柱を取り払って、盛りかえしてはならない。
注) 6 上表以外のセメントを使用する場合は工事管理者の指示による。

6. 鉄骨工事
(1) 鉄骨工事は指示のない限り下記による
日本建築学会「JASS6」「鉄骨精度検査基準」「鉄骨工事技術指針」
鋼材供集部「建築鉄骨工事施工指針」
建築研究所「建築せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補正マニュアル」
(2) 工事管理者の承認を必要とするもの
製作工場 製作要領書 工作図 施工計画書
製作工場は Mグレード以上 とする
材料規格証明書または試験成績書
鋼材 高力ボルト 特殊ボルト スタッドボルト
社内検査表
(3) 工事管理者が行う検査項目
(印以外の項目の検査結果については、工事管理者に報告すること)
現状検査 組立・開先検査 製品検査
溶接検査
(4) 接合部の溶接は下記によること
東京都アーク溶接工事管理基準 (建築構造設計指針第12章)
鉄骨造等の建築物の工事に関する東京都取組要綱 (建築構造設計指針第12章)
日本建築学会「溶接工作基準、同解説 I、II、III、IV、V、VI、VII、IX」
(5) 接合部の検査
溶接部の検査 (検査結果は後日工事管理者に報告すること)

検査箇所 検査方法 検査率又は検査数 備考
突合せ溶接部 超音波探傷試験 100% 10% %
外観(目視)検査 100% 10% %
マクロ試験・その他 個 個 個
第三者機関名
第三者検査機関とは、建築主、工事管理者又は工事施工者が、受入れ検査を代行させるために自ら契約した検査会社をいう。

- 注) 現場溶接部については原則として第三者による全数検査を行うこと。
高力ボルトは「JIS-B-1186の高力ボルト」を標準とする。摩擦面の処理は黒皮などを産金外径2倍以上の範囲でショットブラスト、グラインダー掛け等を用いて除去した後、屋外に自然放置して発生した、赤さび状態であること。ただし、ショットブラスト、グリットブラストによる処理で表面あさが50S以上である場合は、赤さびは発生しないまでよい。
溶融亜鉛メッキ高力ボルト (F8) の摩擦面の処理はメッキ後、軽くプラスチック処理を施し、表面粗度は150µm以上とし、すべり係数を 0.40 以上確保する。
高力ボルトの締付けに使用する機器はよく調整されたものを使用し、締付けの順序は部材が十分密着するよう注意して行う。また、締付けは原則として2段階とする。
締付け後の検査は、各種付け工法別に適切な締付けが行われているか検査する。
防錆塗装
防錆塗装の範囲は、高力ボルト接合の摩擦面及びコンクリートで被覆される以外の部分とする。
錆止めペイントは、JIS-K5674、2回塗りを標準とする。
現場における高力ボルト接合部及び接合部の実地調整は入念に行い、塗装は工場塗装と同じ錆止めペイントを使用し2回塗りとする。
耐火被覆の材料
ロックウール

7. 設備関係
特記以外の渠貫通孔は原則として設けない。設ける場合は設計者の承認を得ること。
設備機器の基台及び基礎については工事管理者の承認を得ること。
床スラブ内に設備配管等を埋込む場合はスラブ厚さの1/3以下とし管の間隔を5cm以上とする。
給湯設備は風圧、土圧及び水圧並びに地震その他の震動及び衝撃に対して安全上支障のないようH12年国交省第1389号に適合させる。

8. その他
諸官庁への届出書類は遅滞なく提出すること。
各試験の供試体は公的試験機関にて試験を行い工事管理者に報告すること。
必要に応じて記録写真を保管すること。

9. 令129条の2の3の事項
建築物に設ける建築設備については、構造耐力上安全なものとして、以下の構造方法による。
建築設備(昇降機を除く)、建築設備の支持構造部及び架設物等は、腐食又は腐朽のおそれがないものとする。
屋上から突出する水櫃、煙突、冷却塔その他これらに類するものは、支持構造部又は建築物の構造耐力上主要な部分に、支持構造部は、建築物の構造耐力上主要な部分に架設すること。
煙突の屋上突出部の高さは、れんが造、石造、コンクリート造又は鉄筋コンクリート造の場合は鉄筋の支持を設けたものを除き、90cm以下とする。
煙突で屋内にある部分は、鉄筋に対するコンクリートの厚さを5cm以上とし鉄筋コンクリート造または25cm以上の鉄筋コンクリート造、れんが造、石造、若しくはコンクリート造とする。
建築物に設ける給水、排水その他の配管設備は、
風圧、土圧、及び水圧並びに地震その他の震動及び衝撃に対して安全上支障のない構造とする。
建築物の部分貫通して配管する場合においては、当該貫通部分に配管スリーブを設ける等、有効な管の損傷防止のための措置を講ずること。
管の伸縮その他の変形により当該管に損傷が生ずる恐れがある場合において、伸縮継ぎ手又は可換継ぎ手等の有効な損傷防止のための措置を講ずること。
管を支持し、又は固定する場合においては、つり金物又は防振ゴムをもちいる等の有効な地震その他の震動及び衝撃の緩和のための措置を講ずること。
法第20条第一号から第三号までの建築物に設ける屋上から突出する水櫃、煙突、その他これらに類するものについては、建設省告示第1389号により、風圧並びに地震その他の震動及び衝撃に対して構造耐力上安全なものとする。

特記
構造設計者: 田島 康弘
構造設計一級建築士 第8061号
一級建築士 第313063号



株式会社 JUN 設計
鹿児島県知事登録 第1-2-18
〒899-4501 鹿児島県霧島市福山町福山4690番地6
TEL(0995)56-2938 FAX(0995)56-2709

工事名 R8国分北小学校渡り廊下B改築工事
設計図 図面番号 S-01
図面名 構造設計標準仕様
縮尺 NO.SCALE
年月日 R 04. 03

設計 榊元 担当 榊元 構造 田島 製図 田島

鉄筋コンクリート構造配筋要領図

(平成25年版)

- I. この配筋要領は、鉄筋コンクリート構造部分等の鉄筋工事に適用する。
- II. 本配筋要領に特記なき部分については、監督員の指示により施工するものとする。
- III. () 内表示番号は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書(平成25年版)」の当該項目、当該図を示す。

1 一般事項

総則 (5. 1. 3) (5. 3. 1) ~ (5. 3. 4)

- (1) 鉄筋は、設計図書に指定された寸法及び形状に合わせ、常温で正しく加工して組み立てる。なお、異形鉄筋の径(本文、図、表において「d」で示す)は、呼び名に用いた数値とする。
- (2) 有害な曲り又は損傷等のある鉄筋は使用しない。
- (3) コイル状の鉄筋は、直線状態にしてから使用する。この際、鉄筋に損傷を与えない。
- (4) 鉄筋には、点付け溶接を行わない。また、アークストライクを起こしてはならない。
- (5) 鉄筋の切断は、シャーカッター等によって行う。ただし、現場でやむを得ない場合は、ガス切断とすることができる。
- (6) 鉄筋の組立は、鉄筋継手部分及び交差部の要所を径0.8mm以上の鉄線と結束し、適切な位置にスベーサー、吊金物等を使用し行う。なお、スベーサーは、転倒及び作業荷重等に耐えられるものとし、スラブのスベーサーは、原則として鋼製とする。また、鋼製のスベーサーは、型枠に接する部分に、防錆処理を行ったものとする。
- (7) 鉄筋の継手は重ね継手、ガス圧接継手又は特殊な鉄筋継手とし、適用は特記による。
- (8) 主要な配筋は、コンクリート打込み前先立ち、種類、径、数量、かぶり、間隔、位置等について監督員の検査を受ける。

1-1 鉄筋の折曲げ基準

鉄筋の折曲げ形状及び寸法

(5. 3. 2 (a))

折曲げ角度	折曲げ図	折曲げ内法直径 (D)		
		SD295A, SD295B	SD345	SD390
180°		3d以上	4d以上	5d以上
135°		3d以上	4d以上	5d以上
90°		3d以上	4d以上	5d以上
135°及び90°(幅止め筋)		3d以上	4d以上	5d以上

- 1. 片持ちスラブの先端、壁筋の自由端側の先端で90°フック又は135°フックを用いる場合には、余長は4d以上とする。
- 2. 90°未満の折曲げの内法直径は特記による。

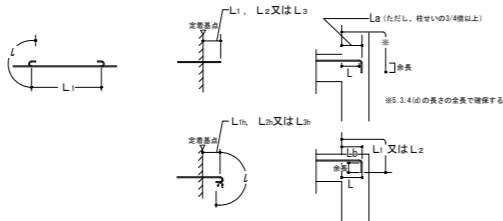
1-2 鉄筋の継手及び定着の長さ

(5. 3. 4 (e) (2))

○ 鉄筋の定着の長さは下表による。

鉄筋の種類	コンクリートの設計基準強度 (f _c) N/mm ²	鉄筋の定着の長さ				フックあり定着の長さ				L _s	L _b
		L ₁	L ₂	L ₃	L ₄	L _{1h}	L _{2h}	L _{3h}	L _{4h}		
SD295A SD295B	18	45d	40d	35d	30d	35d	30d	25d	20d	20d	15d
	24	27	35d	30d	25d	20d	15d	10d	5d	15d	10d
	30	33	35d	30d	25d	20d	15d	10d	5d	15d	10d
SD345	18	50d	40d	35d	30d	35d	30d	25d	20d	20d	15d
	24	27	40d	35d	30d	25d	20d	15d	10d	15d	10d
	30	33	35d	30d	25d	20d	15d	10d	5d	15d	10d
SD390	24	27	45d	40d	35d	30d	25d	20d	15d	20d	15d
	30	33	40d	35d	30d	25d	20d	15d	10d	20d	15d
	36	40d	35d	30d	25d	20d	15d	10d	5d	20d	15d

- (注) 1. L₁, L_{1h}: 2. 以外の直線定着長さ及びフックあり定着長さ。
- 2. L₂, L_{2h}: 鉄筋破壊のおそれのない箇所への直線定着長さ及びフックあり定着の長さ。
- 3. L₃: 小梁及びスラブの下端筋の直線定着長さ。ただし、基礎耐圧スラブ及びこれを受ける小梁を除く。
- 4. L_{3h}: 小梁下端筋のフックあり定着の長さ。
- 5. フックあり定着の場合は、下部に示すようにフック部分を含む。また、中間筋での折曲げは行わない。
- 6. 軽量コンクリートの場合は、表の数値に5dを加えたものとする。



1-3 隣り合う継手の位置

(5. 3. 4 (d))

隣り合う継手の位置は下表による。ただし壁の場合及びスラブ筋でD16以下は除く。

重ね継手	フックありの場合	フックなしの場合
圧接継手		
溶接継手		
機械式継手		

1-4 鉄筋のフック (必ずつける場所)

(5. 3. 2 (b))

- 次の部分に使用する異形鉄筋の末端部には、フックをつける。
- (1) 柱の四隅にある主筋で、重ね継手の場合及び最上層の柱頭にある場合。
- (2) 梁主筋の重ね継手が、梁の出端及び下端の両端にある場合。(基礎梁を除く)
- (3) 煙突の鉄筋(壁の一部となる場合を含む。)
- (4) 杭基礎のベース筋。
- (5) 帯筋、あばら筋及び幅止め筋。

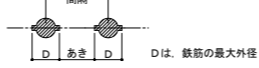
1-5 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔

(5. 3. 5)

- (a) 鉄筋及び溶接金網の最小かぶり厚さは、下表による。(柱及び梁の主筋にD29以上を使用する場合は、主筋のかぶり厚さを径の1.5倍以上として最小かぶり厚さを定める。)

構造部分の種類別		最小かぶり厚さ (mm)		
土に接しない部分	スラブ、耐力壁	20		
	以外の壁	仕上げあり	30	
		仕上げなし	30	
	柱、梁、耐力壁	屋内	仕上げあり	30
			仕上げなし	30
		屋外	仕上げあり	40
仕上げなし			40	
土に接する部分	柱、梁、スラブ、壁	40		
	基礎、擁壁、耐圧スラブ	60		
煙突等高温を受ける部分		60		

- (注) 1. ※ 印のかぶり厚さは、普通コンクリートに適用し、軽量コンクリートの場合は、特記による。
 - 2. 「仕上げあり」とは、モルタル塗り等の仕上げのあるものとし、鉄筋の耐久性上有効でない仕上げ(仕上げ材、吹付け又は塗装等)のものを除く。
 - 3. スラブ、梁、基礎及び擁壁で、直接土に接する部分のかぶり厚さには、捨コンクリートの厚さを含まない。
 - 4. 杭基礎の場合のかぶり厚さは、杭先端からとする。
 - 5. 塩害を受けるおそれのある部分等、耐久性上不利な箇所は、特記による。
 - 6. 増し打ち等がある場合は増し打ち厚さを考慮したスベーサーを使用する。
- (b) 柱、梁等の鉄筋の加工に用いるかぶり厚さは、最小かぶり厚さに10mmを加えた数値を標準とする。
 - (c) 鉄筋組立後のかぶり厚さは、最小かぶり厚さ以上とする。
 - (d) 鉄筋相互のあきは、次の値のうち最大のもの以上とする。ただし、特殊な鉄筋継手の場合はあきは、特記による。
 - (1) 粗骨材の最大寸法1.25倍
 - (2) 25mm
 - (3) 隣り合う鉄筋の平均径(5.3.1(a)による。)の1.5倍。

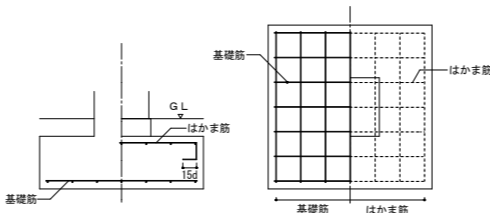


- (e) 鉄骨鉄筋コンクリート造の場合、主筋と平行する鉄骨とのあきは、(d)による。
- (f) 貫通孔に挿入する鉄筋のかぶり厚さは、(c)による。

2 基礎

2-1 直接基礎(独立基礎)の場合の配筋

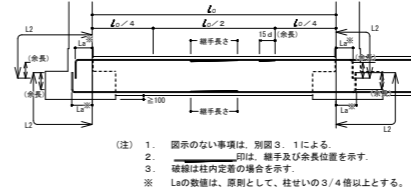
(参考図 1. 1)



3 基礎梁

3-1 独立基礎で基礎梁にスラブがつかない場合の主筋の継手、定着及び余長

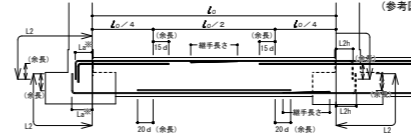
(参考図 1. 5)



- (注) 1. 図示のない事項は、別図3. 1による。
- 2. ※ 印は、継手及び余長位置を示す。
- 3. 破線は柱内定着の場合を示す。
- ※ Laの数値は、原則として、柱せいの3/4倍以上とする。

3-2 独立基礎で基礎梁にスラブが付く場合の主筋の継手・定着及び余長

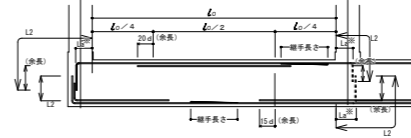
ただし、耐圧スラブが付く場合は3-3による。(参考図 1. 6)



- (注) 1. 図示のない事項は、別図3. 1による。
- 2. ※ 印は、継手及び余長位置を示す。
- 3. 破線は柱内定着の場合を示す。
- ※ Laの数値は、原則として、柱せいの3/4倍以上とする。

3-3 連続基礎及びべた基礎の場合の主筋の継手・定着及び余長

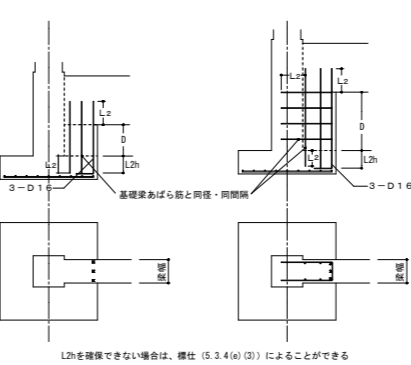
(参考図 1. 7)



- (注) 1. 図示のない事項は、別図3. 1による。
- 2. ※ 印は、継手及び余長位置を示す。
- 3. 破線は柱内定着の場合を示す。
- ※ Laの数値は、原則として、柱せいの3/4倍以上とする。

3-4 基礎合部部の補強

(参考図 1. 3)

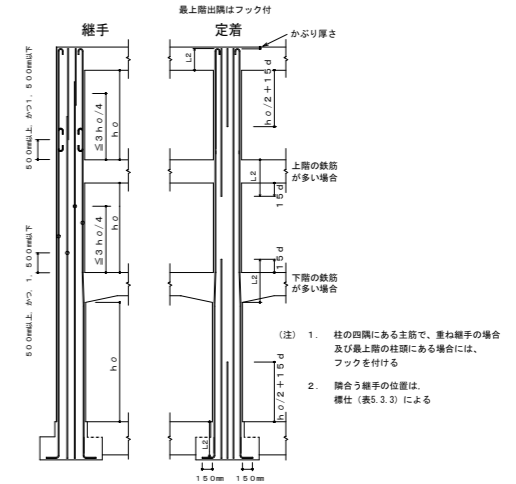


L2hを確保できない場合は、標仕(5.3.4(a)(2))によることができる

4 柱

4-1 柱主筋の継手、定着及び余長

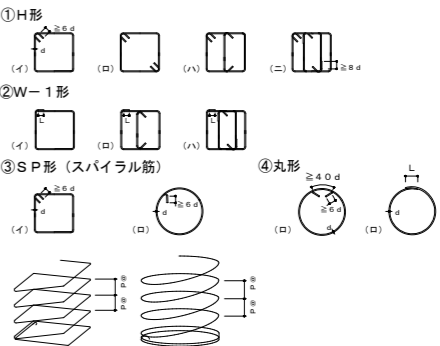
(参考図 2. 1)



- (注) 1. 柱の四隅にある主筋で、重ね継手の場合及び最上層の柱頭にある場合には、フックをつける。
- 2. 隣合う継手の位置は、標仕(表5.3.2)による。

4-2 帯筋の形

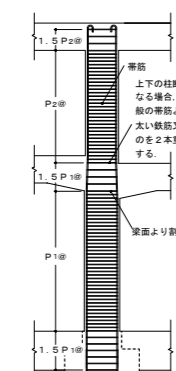
(参考図 2. 2)



- 1. H型を標準とする。
- 2. フック及び継手位置は交互とする。
- 3. 溶接する場合の帯筋長さは、両面フレア溶接の場合は5d以上、片面フレアの場合は10d以上とする。
- 4. S型において、柱筋及び柱筋の幅間は1.5倍以上の溶接きを行う。
- 5. H型の135°曲げのフックが困難な場合はW-1型とする。

4-3 帯筋の割付け

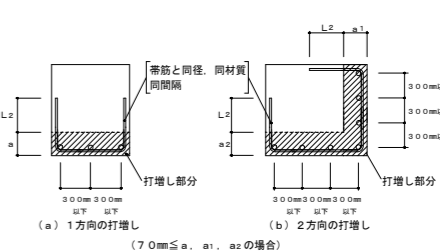
(参考図 2. 3)



柱に取り付く梁に段差がある場合、帯筋の間隔を1.5P1※又は1.5P2※とする範囲は、その柱に取り付くすべての梁を考慮して適用する。なお、P1※、P2※は、特記された帯筋の間隔を示す。

4-4 柱の打増し補強

(参考図 2. 4)



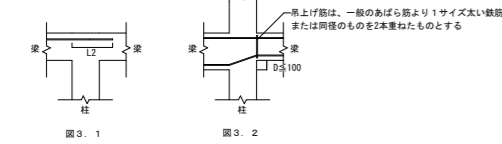
(70mm ≤ a₁, a₂ の場合)

- 1. 柱の打増し幅(a₁, a₂)が70mm以上の場合は補強を示す。
- 2. 帯筋と同一方向の補強筋は、帯筋と同径、同材質、同間隔とし定着長さはL2とする。
- 3. 軸方向の補強筋間隔は300mm以下とする。

5 梁

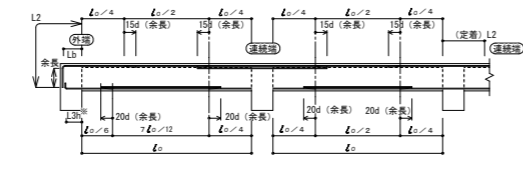
5-1 大梁主筋の継手及び定着及び余長 (参考図 3. 1~3)

- 1) 梁主筋は、原則として柱をまたいで引き通すものとし、引き通すことができない場合は、柱内に定着することができる。ただし、やむを得ず梁内に定着する場合は、図 3. 1による。
- 2) 梁主筋を柱内に折り曲げて定着する場合は次による。
なお、定着方法は標仕(5.3.4(e)(3))による。
上端筋：曲げ降ろす。
下端筋：原則として曲げ上げる。
- 3) 際違い梁は、図 3. 2によることができる。

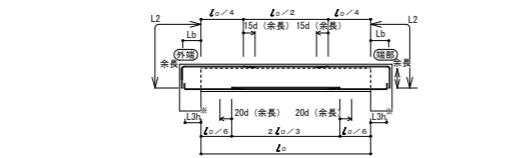


5-3 小梁主筋の継手、定着及び余長 (参考図 3. 4)

(1) 連続小梁の場合



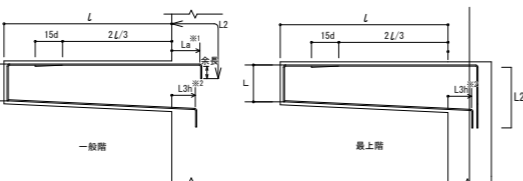
(2) 単独小梁の場合



- (注) 1. 印は、余長を示す。
2. 梁せいが小さく断面に余長が取れない場合、斜めにしてもよい。
3. 図示のない事項は、3-1, 3-2, 3-3及び5-1に準ずる。
※ L3hを確保できない場合は、標仕(5.3.4(e)(3))によることができる。

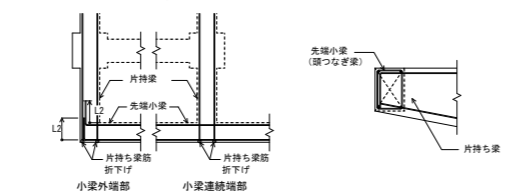
5-4 片持梁主筋の定着及び余長 (参考図 3. 13・14)

(1) 先端に小梁のない場合



- (注) 1. 印は、余長を示す。
2. 先端の折曲げの長さ L3hは、梁せいかから厚さを除いた長さとする。
3. 図示のない事項は、5. 1による。
※1 L3hを確保できない場合は、標仕(5.3.4(e)(3))によることができる。
※2 L3hを確保できない場合は、標仕(5.3.4(e)(3))によることができる。

(2) 先端に小梁がある場合

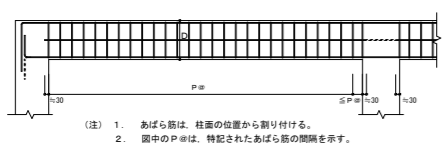


- (注) 1. 図示のない場合は、(1)による。
2. 先端小梁端筋の主筋は、片持梁内に水平定着する。
3. 先端小梁の連続筋は、片持梁の先端を貫通する通し筋としてよい。

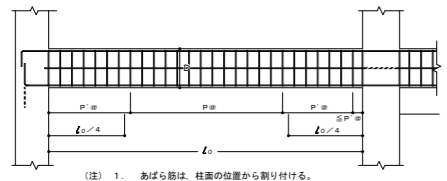
大梁主筋の水平定着長さの柱せいに対する比は「0.8」とする

5-2 あばら筋の割付け (参考図 3. 6・8)

(1) 間隔が一律で、ハンチのない場合

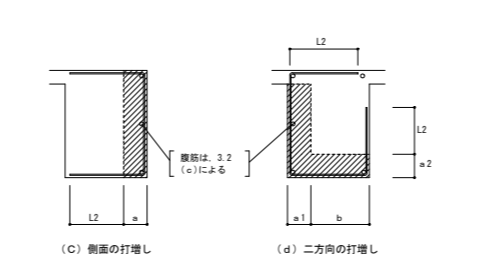
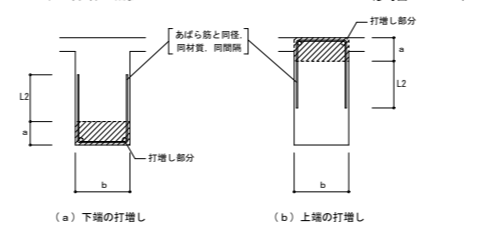


(2) 梁の端部で間隔の異なる場合



- (注) 1. あばら筋は、柱面の位置から割り付ける。
2. 図中のP#, P' #は、特記されたあばら筋の間隔を示す。

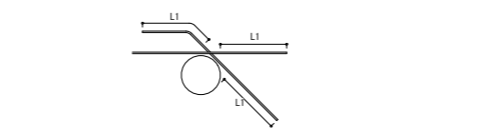
5-5 梁の打増し補強 (参考図 3. 10)



1. 梁の打増し幅 (a1, a2)が70mm以上の場合は補強を示す
2. あばら筋と同一方向の補強筋は、あばら筋と同様、同材質、同間隔とし、定着長さはL2とする

5-6 梁貫通孔の補強 (参考図 7. 1・2)

- 1) 梁貫通孔補強筋の名称等は、図7.1による。
- 2) 孔の径は、梁せいの1/3以下とし、孔が円形でない場合はこの外径とする。
- 3) 孔の上下方向の位置は梁せいの中心付近とし梁中央部は梁下端よりD/3 (Dは梁せい) の範囲に設けてはならない。
- 4) 孔は柱面から、原則として1.5D以上離す。ただし、基礎梁及び壁付梁を除く。
- 5) 孔が並列する場合の中心間隔は、孔の径の平均値の3倍以上とする。
- 6) 縦筋及び上下縦筋は、あばら筋の形に配筋する。
- 7) 補強筋は、主筋の内側とする。また鉄筋の定着長さは下図による。



- 8) 孔の径が梁せいの1/10以下、かつ、150mm未満のものは、鉄筋を緩やかに曲げることで開口部を避けて配筋できる場合は、補強を省略することができる。
- 9) 溶接金網の余長は1格子以上とし、突出しは10mm以上とする。
- 10) 溶接金網の貫通孔部分には、鉄筋13φのリング筋を取り付ける。
なお、リング筋は溶接金網に4箇所以上溶接する。
- 11) 溶接金網の新付け始点は、横筋ではあばら筋の下側とし、縦筋では貫通孔の中心とする。

凡 例	配 筋
斜め筋 4-2-D22	4本のD22が2箇所入ることを示す
縦筋 4-2-D13	4本のD13があばら筋状に孔の両側に2本づつ入ることを示す
上下縦筋 3-2-D13	孔の上下の部分には各々D13のあばら筋が3本入ることを示す
溶接金網 2-6φ-1000	6φ-1000の溶接金網が2箇所入ることを示す

H形配筋 (表 7. 1)

階数	斜め筋	縦筋	横筋	上下縦筋	配筋図
H1		なし			
H2	2-2-D13		なし	なし	
H3	4-2-D13				
H4	4-2-D18		2-2-D13	2-2-D13	
H5	4-2-D16				
H6	4-2-D19	4-2-D13	2-2-D13	3-2-D13	
H7	4-2-D22				

(注)は、一般部のあばら筋を示す。

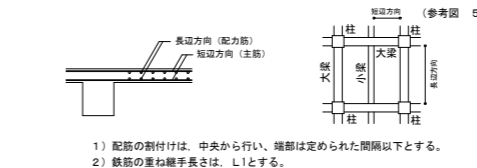
6 スラブ

6-1 スラブリ配筋 (表 5. 1)

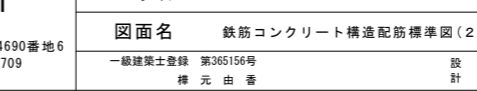
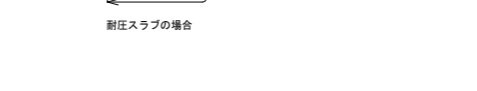
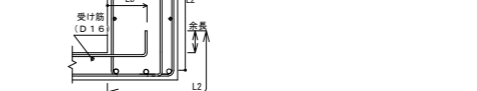
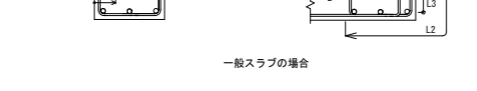
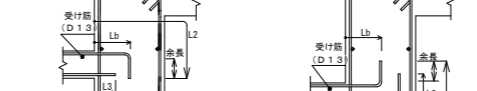
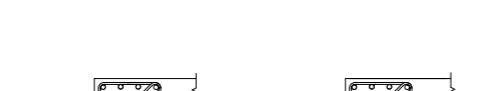
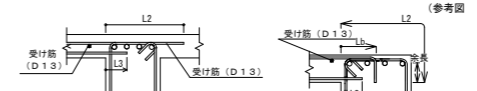
○スラブ基準配筋

配筋種別	短辺方向 (注) 全域	長辺方向 (配筋) 全域	配筋種別	短辺方向 (注) 全域	長辺方向 (配筋) 全域
S1	D13-100φ	D13-100φ	S8	D10, D13-150φ	D10-150φ
S2	同上	D13-150φ	S9	同上	D10-200φ
S3	同上	D10, D13-150φ	S10	D10, D13-200φ	D10, D13-200φ
S4	D13-150φ	D13-150φ	S11	同上	D10-200φ
S5	同上	D10, D13-150φ	S12	同上	D10-250φ
S6	同上	D10-150φ	S13	D10-200φ	D10-200φ
S7	D10, D13-150φ	D10, D13-150φ	S14	同上	D10-250φ

(注) 上端筋、下端筋とも同一配筋とする。



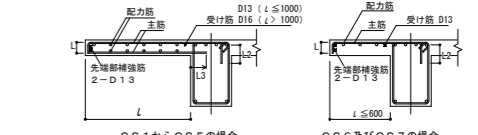
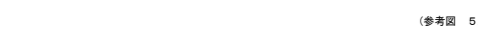
- 1) 配筋の新付けは、中央から行い、端部は定められた間隔以下とする。
- 2) 鉄筋の重ね手長さは、L1とする。



6-2 片持ちスラブ (表 5. 3)

(1) 片持ちスラブリ配筋

配筋種別	主筋	配筋種別	主筋
CS1	上 D13-100φ	CS5	上 D10-200φ
	下 D13-200φ		下 D10-400φ
CS2	上 D13-150φ	CS6	上 D10, D13-200φ
	下 D13-300φ		下
CS3	上 D10, D13-150φ	CS7	上 D10-200φ
	下 D10, D13-300φ		下
CS4	上 D10, D13-200φ		上 D10, D13-200φ
	下 D10-200φ		下



- (注) 1. 先端の折曲げ長さは、スラブ厚さよりかぶり厚さを除いた長さとする。
2. スラブリ段差のない場合は、主筋を引き通してスラブリ定着してもよい。

(2) 先端に壁が付く場合 (参考図 5. 6)

